

資料編

資料 1 第 2 期音更町子ども・子育て支援事業計画
策定のためのニーズ調査報告書

音更町子ども・子育て支援事業計画策定
のためのニーズ調査

結果報告書

平成31年3月

□■目次■□

調査の概要について.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の概要.....	1
3. 報告書のみかた.....	1
就学前児童のいる世帯の調査結果.....	2
A. お住まいの地域について.....	2
(1) 居住地区.....	2
B. あて名のお子さんご家族の状況について.....	3
(2) お子さんの生年月.....	3
(3) 回答者とお子さんの関係.....	4
(4) 回答者の配偶関係.....	4
(5) お子さんの子育てを主に行っている方.....	4
C. 保護者の就労状況について.....	5
(6) 両親の就労状況.....	5
(6-1) 1週あたりの就労日数と1日あたりの就労時間.....	6
(6-2) 出勤時刻と帰宅時刻.....	8
(6-3) 今後の就労希望（パート・アルバイトで就労している方）.....	10
(6-4) 今後の就労希望（就労していない方・就労したことがない方）.....	11
(6-5) 今後の希望する就労形態（就労していない方・就労したことがない方）.....	11
D. 子どもの育ちをめぐる環境について.....	13
(7) 子育てに日常的に関わっている方（施設含む）.....	13
(8) 子育てに影響すると思われる環境.....	13
(9) お子さんを預かってもらえる親族・知人の有無.....	14
(9-1) 親族にお子さんを預かってもらっている状況.....	14
(9-2) 友人・知人にお子さんをあずかってもらっている状況.....	15
(10) 子育てをする上で気軽に相談できる相手・場所の有無.....	15
(10-1) 子育てをする上で気軽に相談できる相手・場所.....	16
E. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について.....	17
(11) 定期的な教育・保育事業の利用の有無.....	17
(11-1) 定期的にご利用している教育・保育事業.....	17
(11-2) 定期的にご利用している教育・保育事業の利用状況と利用希望.....	18
(11-3) 利用している教育・保育事業の場所.....	22
(11-4) 利用を希望する教育・保育事業の施設・場所.....	23
(11-5) 定期的な教育・保育事業を利用していない理由.....	25
(12) 現在の利用の有無にかかわらず、今後定期的にご利用したい教育・保育事業.....	26
(12-1) 特に幼稚園の利用を強く希望するか.....	26
(12-2) 子育て支援事業の利用状況と利用希望.....	27
F. あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について.....	32
(13) 子育て支援センターの利用状況.....	32
(14) 子育て支援センターの利用希望.....	34
(15) 子育て支援事業の認知度・利用状況・利用希望について.....	36
G. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について.....	42

(16) 土曜日・日曜日・祝日における定期的な教育・保育の事業の利用希望	42
(16-1) たまに利用したい理由	45
(17) 長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望	45
(17-1) たまに利用したい理由	47
H. 病気やケガの際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）	48
(18) 病気やケガを理由に定期的な教育・保育事業を利用できなかったことの有無	48
(18-1) 病気やケガを理由に定期的な教育・保育事業を利用できなかったときの対処方法	48
(18-2) 病児・病後児保育の利用希望	52
(18-3) 病児・病後児保育を利用する際に希望する事業形態	53
(18-4) 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由	53
(18-5) 父母のいずれかが仕事を休みたいと思ったか	54
(18-6) 仕事を休むことが難しい理由	54
I. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時あずかり等の利用について	55
(19) 通院や不定期の就労等を目的とした不定期に利用している事業の有無	55
(19-1) 不定期に事業を利用していない理由	57
(20) 不定期な事業の利用希望の有無と希望利用日数	58
(20-1) 不定期な事業を利用する際に希望する事業形態	61
(21) お子さんを泊りがけで家族以外に預けた経験の有無	62
(21-1) 親族・知人にお子さんを預ける困難度	64
J. 5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について	65
(22) 小学校入学後の放課後の過ごし方	65
(23) 土曜日・日曜日・祝日における学童保育の利用希望	70
(24) 長期休暇期間中における学童保育の利用希望	72
K. 育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について	73
(25) 育児休業を取得した経験の有無	73
(25-1) 育児休業給付・保険料免除の認知状況	75
(25-2) 育児休業取得後の復帰状況	75
(25-3) 育児休業から復帰したタイミング	76
(25-4) 育児休業から復帰した際のお子さんの年齢	77
(25-5) お子さんが何歳まで育児休業を取得したかったか	78
(25-6) 希望の時期に職場復帰しなかった理由	79
(25-7) 育児休業から復帰時の短時間勤務制度の利用有無	81
(25-8) 短時間勤務制度を利用しなかった理由	82
(25-9) お子さんのあずけ先が確保できる場合の育児休業取得希望	83
(26) 子育ての環境や支援への満足度	84
L. 町の子育て支援策について	85
(27) 町の子育て支援に関する取組の満足度	85
(28) 子育て支援について特に期待すること	91
(29) 自由意見	92
小学生のいる世帯の調査結果	106
A. お住まいの地域について	106
(1) 居住地区	106
B. あて名のお子さんご家族の状況について	106
(2) お子さんの学年	106
(3) 回答者とお子さんの関係	107
(4) 回答者の配偶関係	107
(5) お子さんの子育てを主に行っている方	108

(6) 普段の家計	108
(7) 経済的な理由から日常生活に不自由した経験の有無	109
(8) 経済的な理由から支払いができなかった経験の有無	110
C. 保護者の就労状況について.....	112
(9) 両親の就労状況	112
D. 子どもの育ちをめぐる環境について.....	113
(10) 子育て（教育含む）に日常的に関わっている方	113
(11) 子育てに影響すると思われる環境	113
(12) お子さんを預かってもらえる親族・知人の有無	114
(12-1) 親族にお子さんをあずかってもらっている状況	114
(12-2) 友人・知人にお子さんをあずかってもらっている状況	115
(13) 子育てをする上で気軽に相談できる相手・場所の有無	115
(13-1) 子育てをする上で気軽に相談できる相手・場所	116
E. 学童保育所について.....	117
(14) 学童保育所の利用有無	117
(14-1) 学童保育所の利用状況	117
(14-2) 学童保育所の利用希望	119
(14-3) 学童保育所を利用したい理由	120
(15) お子さんの放課後の過ごし方	120
F. ご家庭での子育てと子育て環境について.....	121
(16) 父親の育児参加状況	121
(17) 家事の分担について	121
(18) 子育てに不安や負担を感じるか	122
(19) 子育てに関する悩み	122
(20) 子育てをしやすい環境だと思うか	123
(21) 子育てをする上で近所や地域に望むこと	124
(22) 町の子育て支援に期待すること	125
G. 制度の利用について.....	126
(23) 子育てや生活に関する相談状況	126
(24) 制度の利用状況	128
H. 町の子育て支援策について.....	130
(25) 町の子育て支援に関する取組の満足度	130
(26) 自由意見	135

調査の概要について

1. 調査の目的

「第2期音更町子ども・子育て支援事業計画」（2020～2024年度）を策定するに当たり、町民の皆様の子育て支援に関する事業の利用状況や今後の利用希望等を把握するため、本調査を実施いたしました。

2. 調査の概要

(1) 就学前（小学校入学前）児童のいる世帯

- 調査対象：就学前児童の保護者 750人
- 調査期間：平成30年11月28日～平成30年12月14日
- 調査方法：郵送配付・回収
- 配布・回収：

	配布数	回収数	回収率
合計	750票	379票	50.5%

(2) 小学生のいる世帯

- 調査対象：小学生の保護者 750人
- 調査期間：平成30年11月28日～平成30年12月14日
- 調査方法：郵送配付・回収
- 配布・回収：

	配布数	回収数	回収率
合計	750票	356票	47.5%

3. 報告書のみかた

この調査の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分比による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出し、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記します。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。
- 設問の中には前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、表中の「回答者数」が全体より少なくなる場合があります。
- 表・グラフ中の「不明」の表記については、無記入、回答の読み取りが著しく困難な場合は「不明」として処理しました。

就学前児童のいる世帯の調査結果

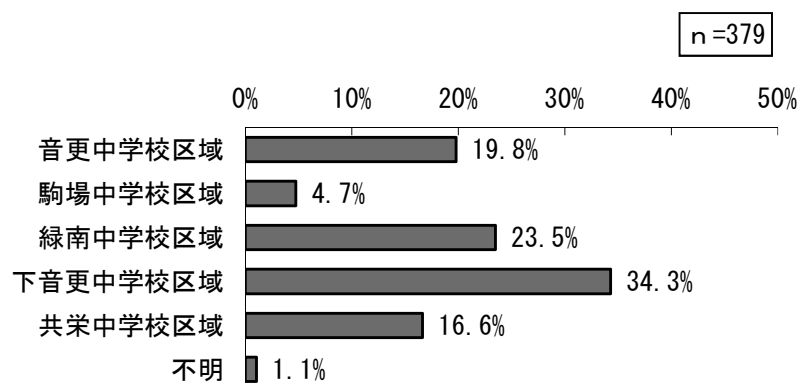
A. お住まいの地域について

(1) 居住地区

問 1 お住まいの地区としてあてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

回答者の居住地区は、「下音更中学校区域」が34.3%、「緑南中学校区域」が23.5%、「音更中学校区域」が19.8%となっています。

問1. お住まいの地区



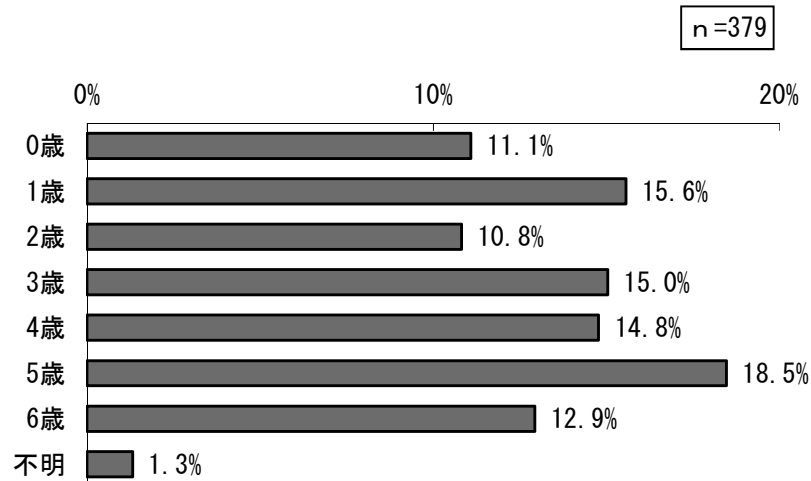
B. あて名のお子さんご家族の状況について

(2) お子さんの生年月

問 2 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。([] 内に数字でご記入ください)

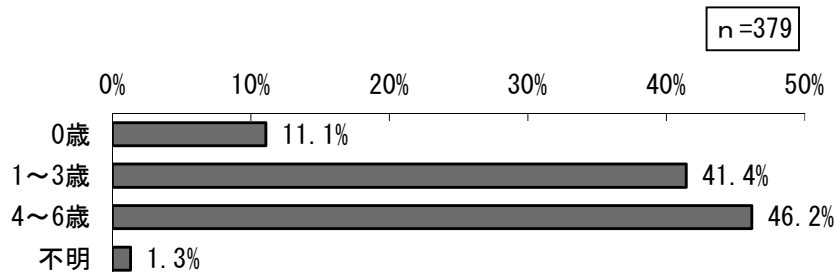
お子さんの年齢は、「5歳」が18.5%と最も高く、次いで「1歳」が15.6%、「3歳」が15.0%、「4歳」が14.8%となっています。

問2. お子さんの生年月 (年)



年齢を3区分に分けると、「0歳」が11.1%、「1～3歳」が41.4%、「4～6歳」が46.2%となっています。

問2. お子さんの生年月 (3区分)

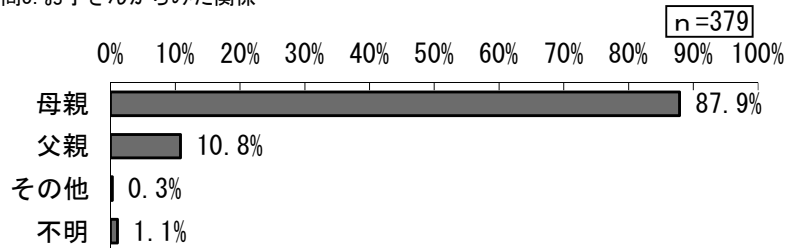


(3) 回答者とお子さんの関係

問 3 この調査票にお答えいただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。あてはまる番号1つに○をつけてください。

この調査票に回答した人は、「母親」が87.9%、「父親」が10.8%、「その他」が0.3%となっています。

問3. お子さんからみた関係



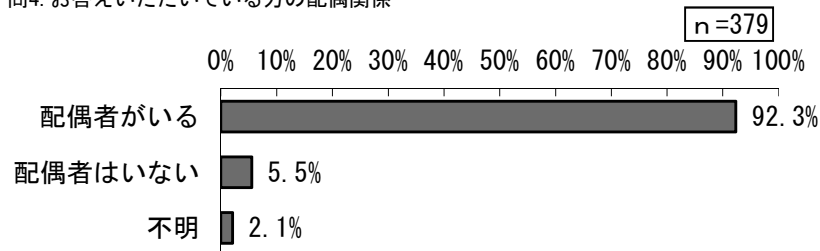
●その他
里母親

(4) 回答者の配偶関係

問 4 この調査票にお答えいただいている方の配偶関係についてお答えください。あてはまる番号1つに○をつけてください。

回答者の配偶者の有無については、「配偶者がいる」が92.3%、「配偶者はいない」が5.5%となっています。

問4. お答えいただいている方の配偶関係

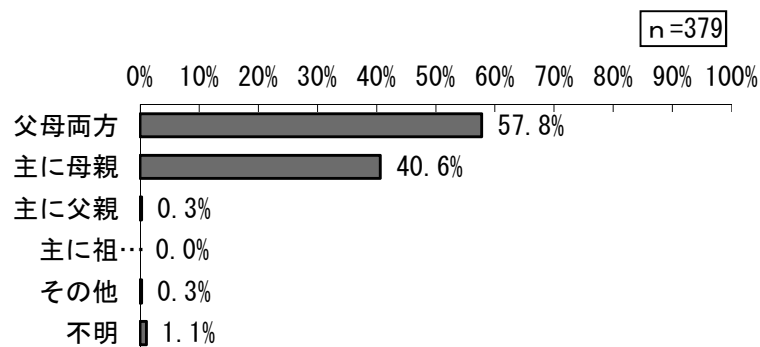


(5) お子さんの子育てを主に行っている方

問 5 あて名のお子さんの子育て（教育含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係であてはまる番号1つに○をつけてください。

主に子育てを行っているのは、「父母両方」が57.8%と最も高く、次いで「主に母親」が40.6%、「主に父親」が0.3%となっています。

15. お子さんの子育て（教育含む）を主に行っているのはどなたですか



●その他
里父親、里母親両方

C. 保護者の就労状況について

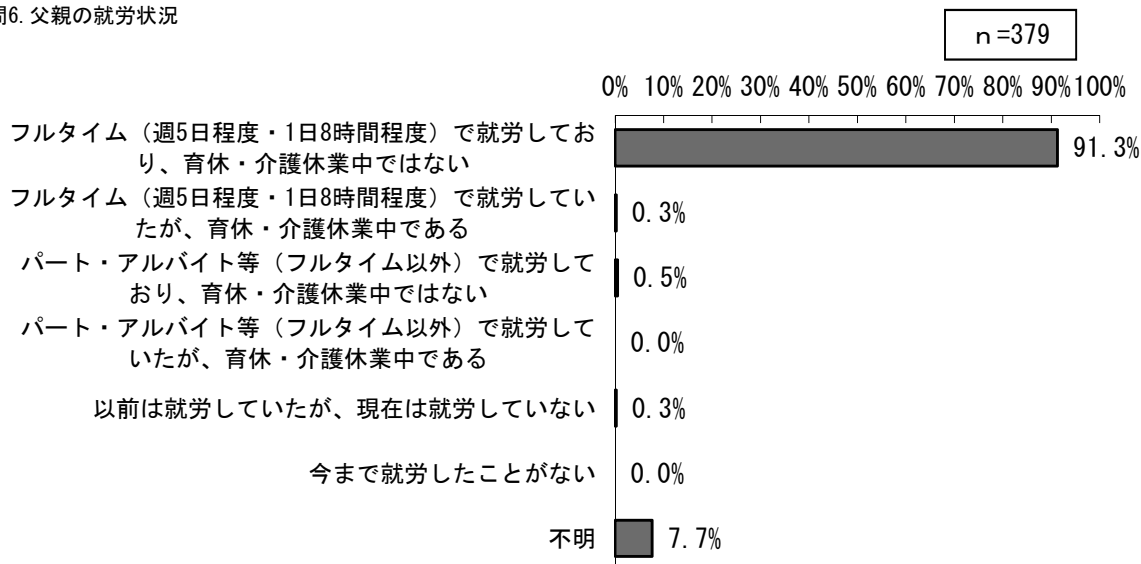
(6) 両親の就労状況

問 6 あて名のお子さんのご両親の就労状況（自営業の方とその家族従事者を含む）についてうかがいます。

(1) 父親

父親の就労状況は、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が91.3%と最も高く、9割以上を占めています。

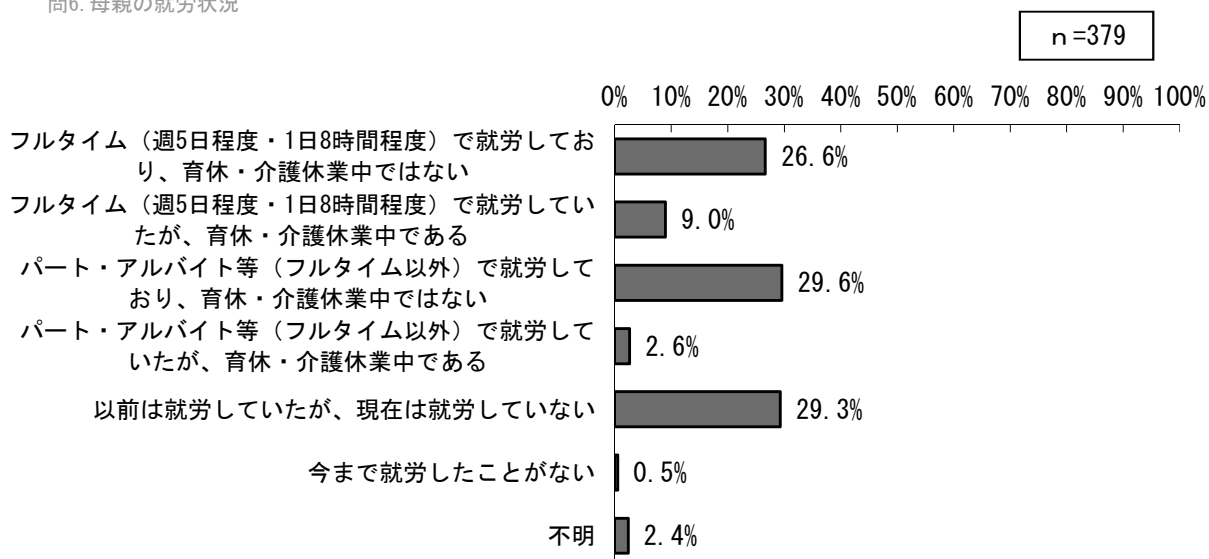
問6. 父親の就労状況



(2) 母親

母親の就労状況は、「パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が29.6%と最も高く、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が29.3%の僅差で続き、次いで「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が26.6%となっています。

問6. 母親の就労状況



(6-1) 1週あたりの就労日数と1日あたりの就労時間

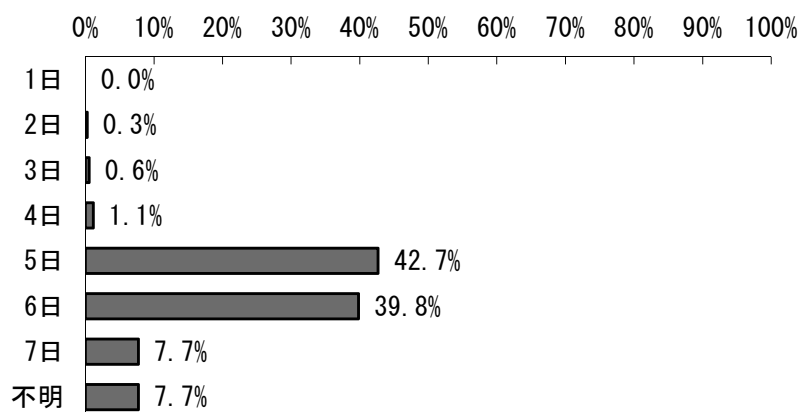
問 6-1 問 6 で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。「1週あたりの就労日数」と「1日あたりの就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。

(1) 父親

父親の「1週あたりの就労日数」は、「5日」が42.7%、また「1日あたりの就労時間(残業時間を含む)」は「8時間」が33.8%でそれぞれ最も高くなっています。

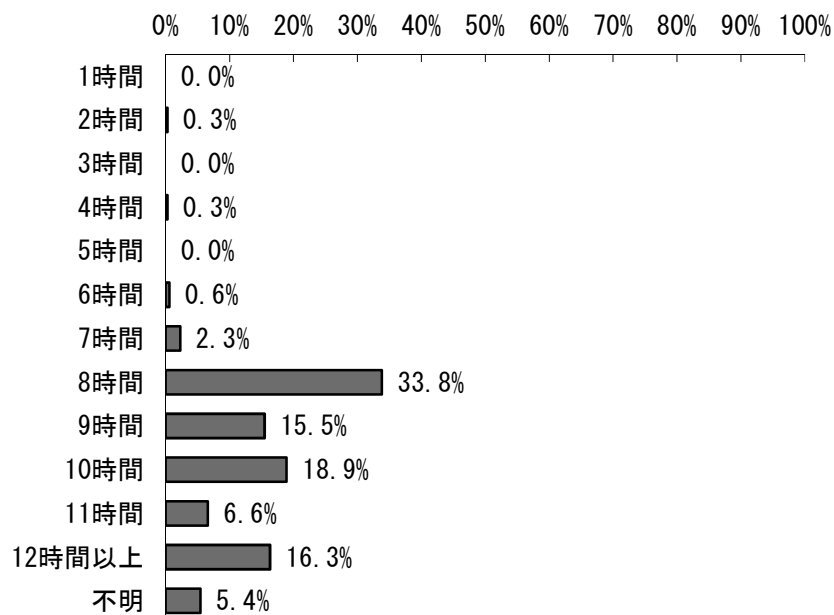
問6-1. 父親の1週あたりの就労日数

n=349



問6-1. 父親の1日あたりの就労時間

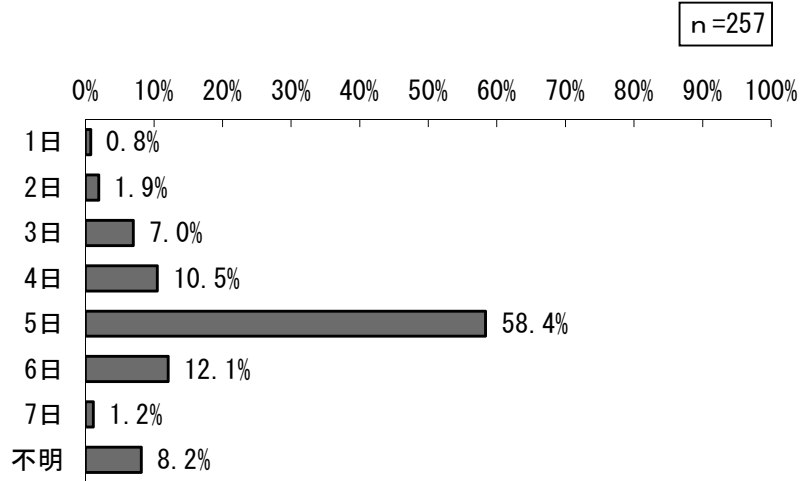
n=349



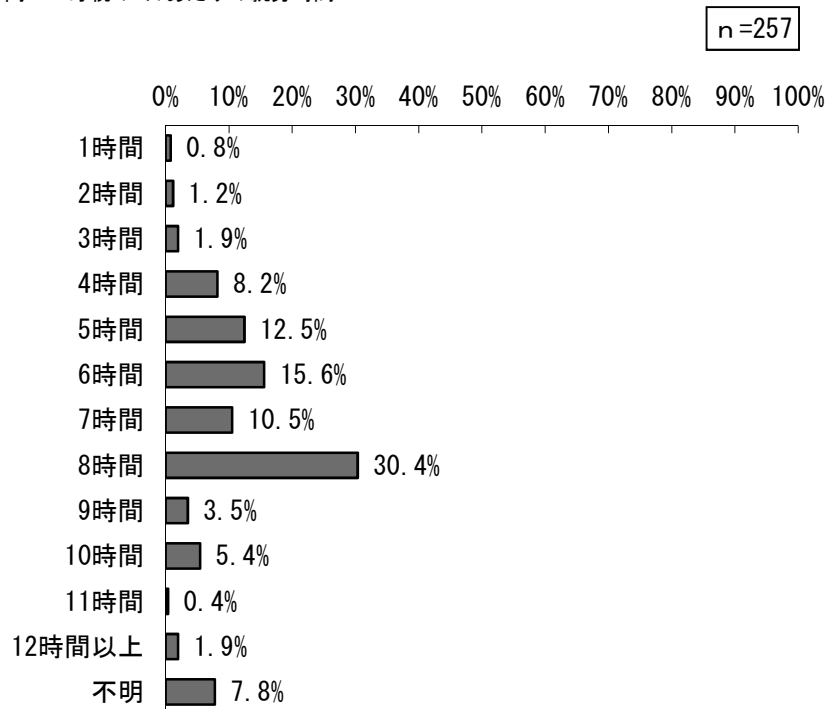
(2) 母親

母親の「1週あたりの就労日数」は、「5日」が58.4%、また「1日あたりの就労時間（残業時間を含む）」は「8時間」が30.4%でそれぞれ最も高くなっています。

問6-1. 母親の1週あたりの就労日数



問6-1. 母親の1日あたりの就労時間



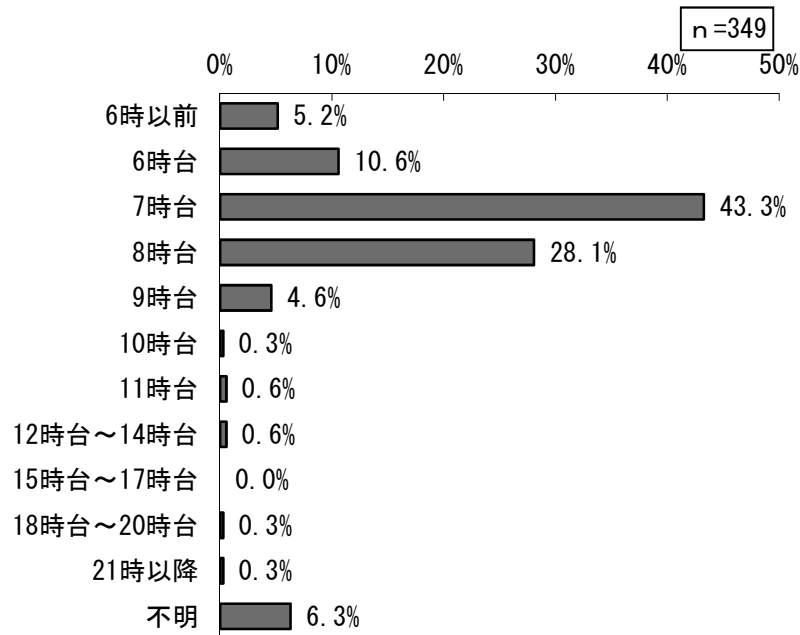
(6-2) 出勤時刻と帰宅時刻

問 6-2 問 6 で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。「家を出るおおよその時刻」と「帰宅するおおよその時刻」をお答えください。

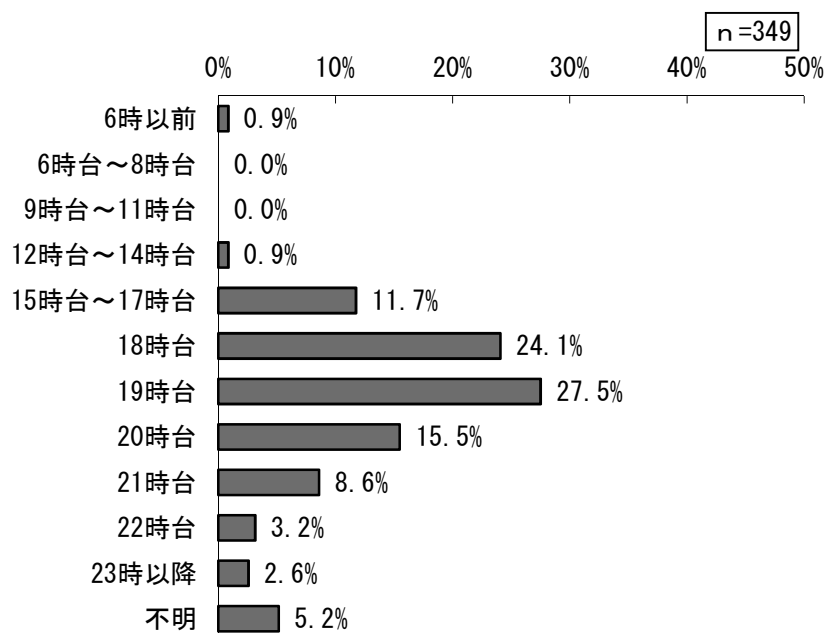
(1) 父親

父親が「家を出るおおよその時刻」は、「7時台」が43.3%、また「帰宅するおおよその時刻」は「19時台」が27.5%でそれぞれ最も高くなっています。

問6-2. 父親の家を出るおおよその時刻



問6-2. 父親の帰宅するおおよその時刻

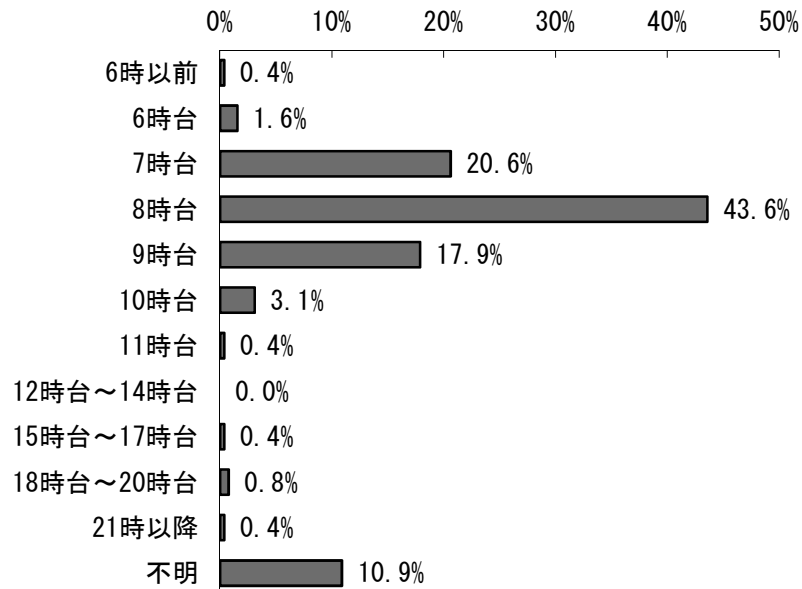


(2) 母親

母親が「家を出るおおよその時刻」は、「8時台」が43.6%、また「帰宅するおおよその時刻」は「15時台～17時台」が44.0%でそれぞれ最も高くなっています。

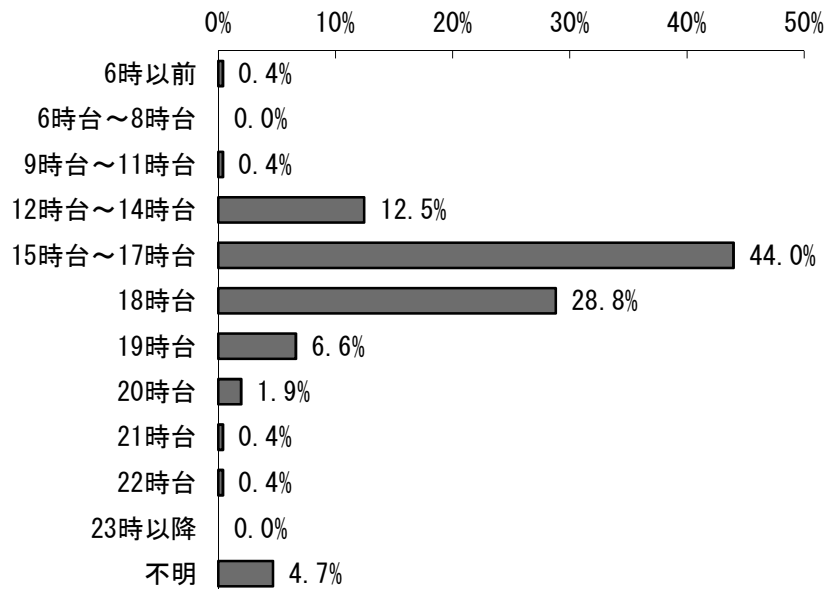
問6-2. 母親の家を出るおおよその時刻

n=257



問6-2. 母親の帰宅するおおよその時刻

n=257



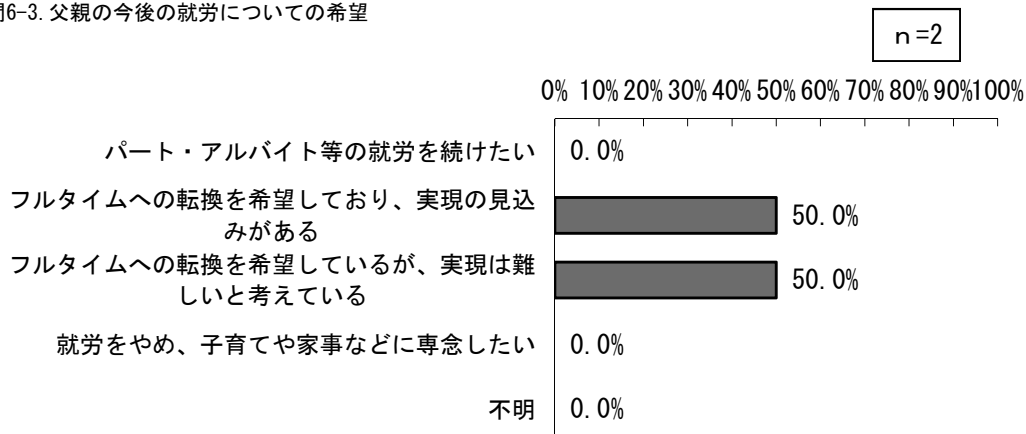
(6-3) 今後の就労希望 (パート・アルバイトで就労している方)

問6-3 問6で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方
にうかがいます。今後の就労についての希望をお聞かせください。

(1) 父親

パート・アルバイト等で就労中の父親の今後の就労についての希望は、「フルタイムへの転換を希望しており、実現の見込みがある」と「フルタイムへの転換を希望しているが、実現は難しいと考えている」の2つの回答に分かれています。

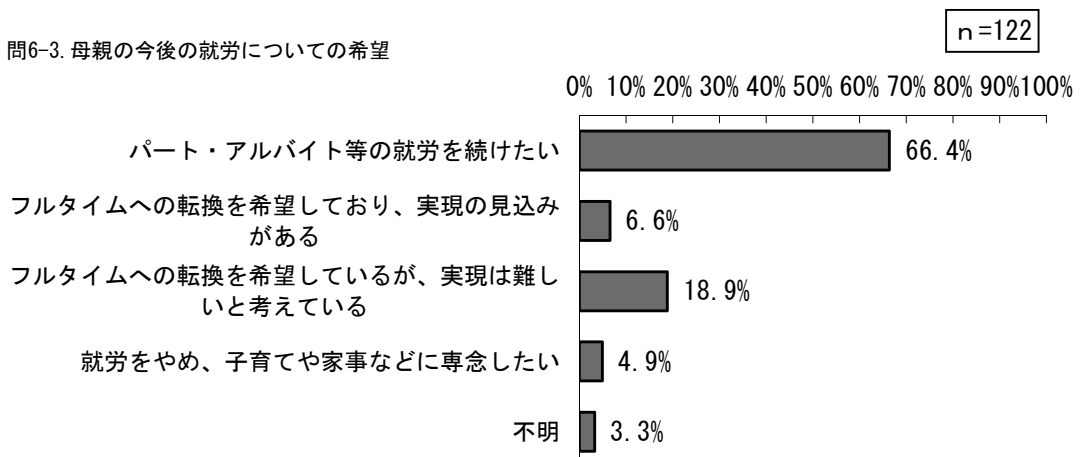
問6-3. 父親の今後の就労についての希望



(2) 母親

パート・アルバイト等で就労中の母親の今後の就労についての希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が66.4%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換を希望しているが、実現は難しいと考えている」が18.9%となっています。

問6-3. 母親の今後の就労についての希望



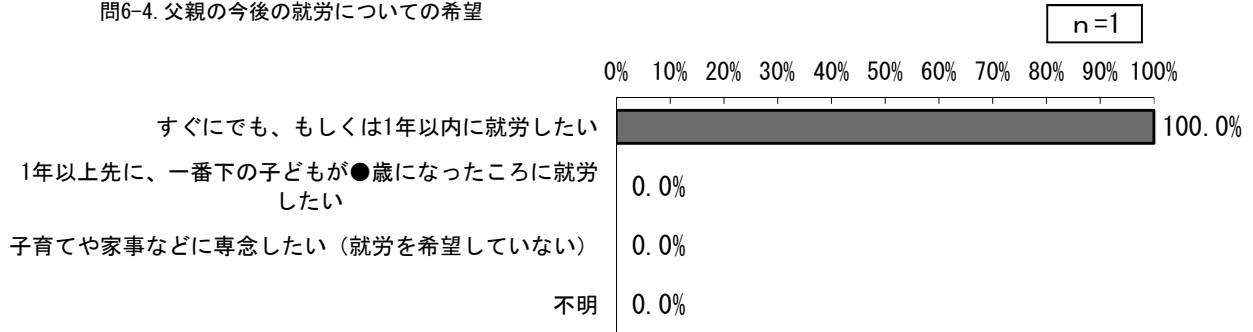
(6-4) 今後の就労希望 (就労していない方・就労したことがない方)

問 6-4 問 6 で「5」または「6」(就労していない・就労したことがない) に○をつけた方にかがいます。今後の就労についての希望をお聞かせください。

(1) 父親

就労していない父親の今後の就労についての希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が100%となっています。

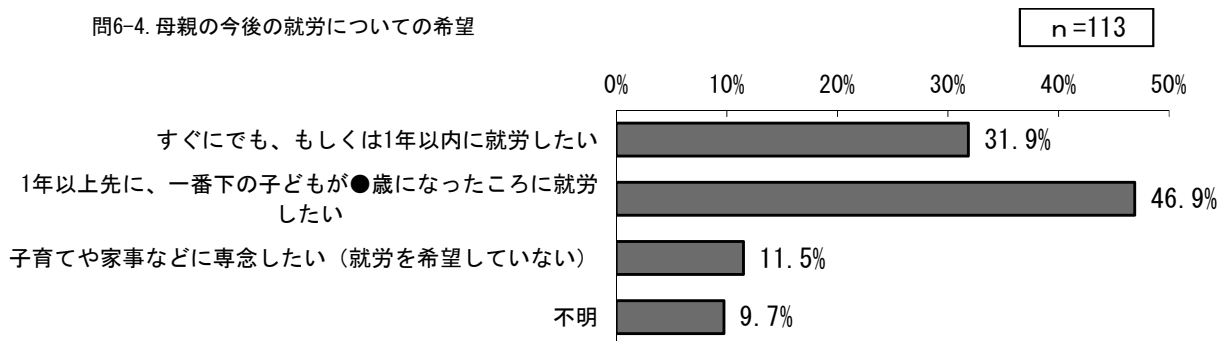
問6-4. 父親の今後の就労についての希望



(2) 母親

就労していない母親の今後の就労についての希望は、「1年以上先に、一番下の子どもが●歳になったころに就労したい」が46.9%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が31.9%となっています。

問6-4. 母親の今後の就労についての希望



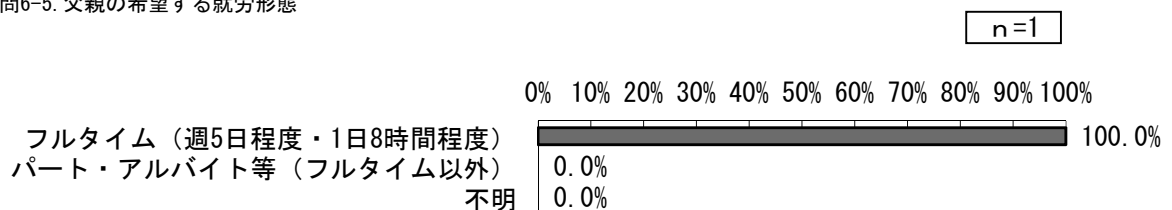
(6-5) 今後の希望する就労形態 (就労していない方・就労したことがない方)

問 6-5 問 6-4 で「1」または「2」(就労したい) に○をつけた方にかがいます。希望する就労形態をお答えください。

(1) 父親

就労を希望している父親の、希望する就労形態は、「フルタイム (週5日程度・1日8時間程度)」が100%となっています。

問6-5. 父親の希望する就労形態



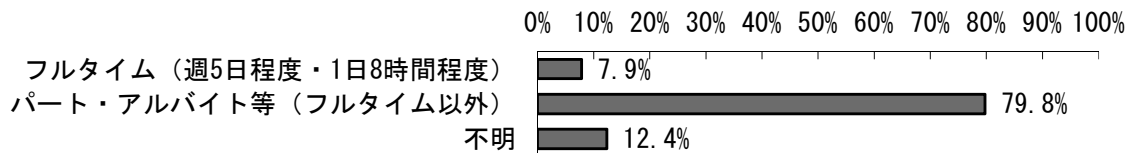
(2) 母親

就労を希望している母親の、希望する就労形態は、「パート・アルバイト等(フルタイム以外)」が79.8%と最も高く、次いで「フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)」が7.9%となっています。

また、「パート・アルバイト等(フルタイム以外)」の場合、希望する日数は週に「3日」が33.8%、1日の勤務時間は「5時間」が38.0%とそれぞれ最も高くなっています。

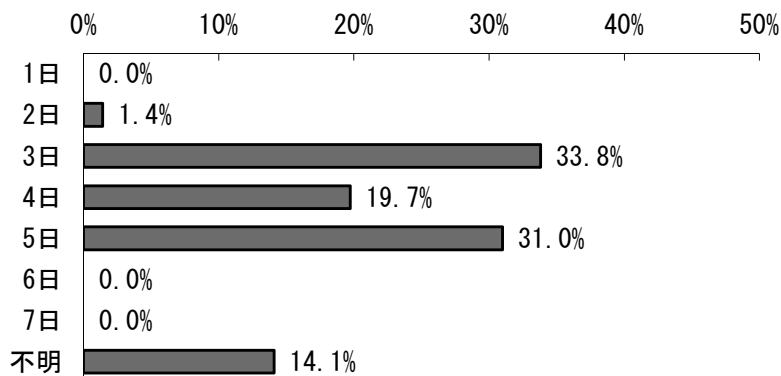
問6-5. 母親の希望する就労形態

n=89



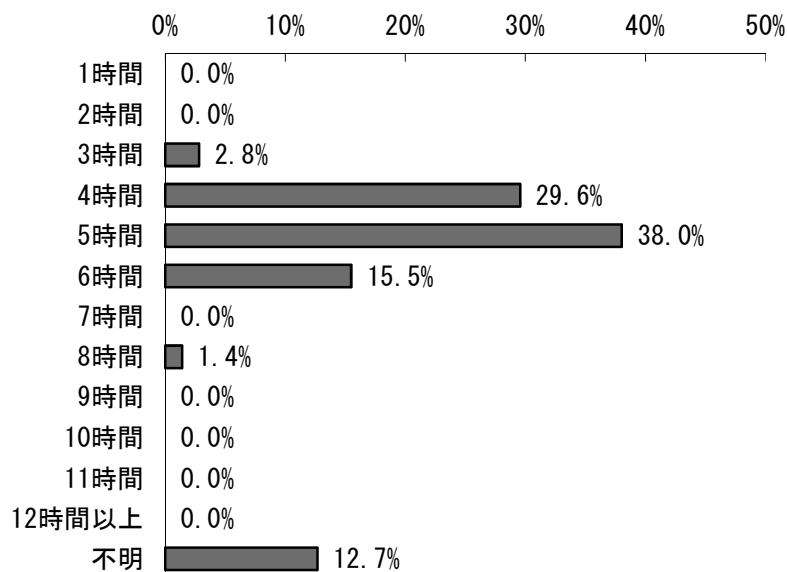
問6-5. 母親. 週に何日

n=71



問6-5. 母親. 1日に何時間

n=71

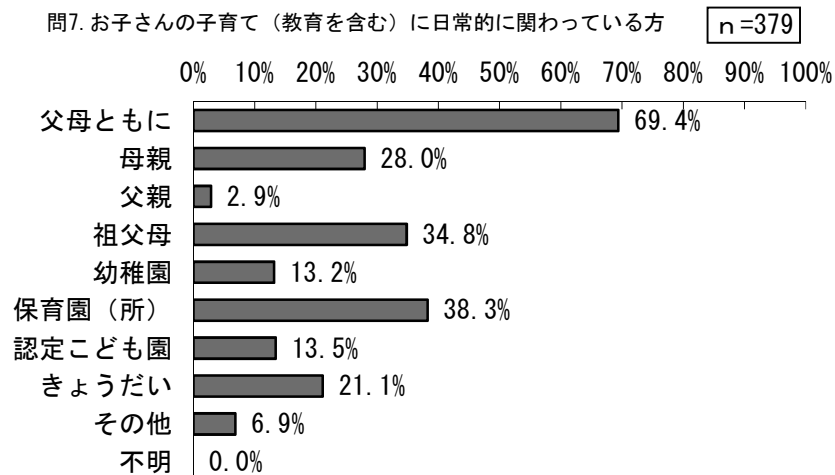


D. 子どもの育ちをめぐる環境について

(7) 子育てに日常的に関わっている方（施設含む）

問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんから見た関係であてはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てに日常的に関わっているのは、「父母ともに」が69.4%と最も高く、次いで「保育園（所）」が38.3%、「祖父母」が34.8%となっています。



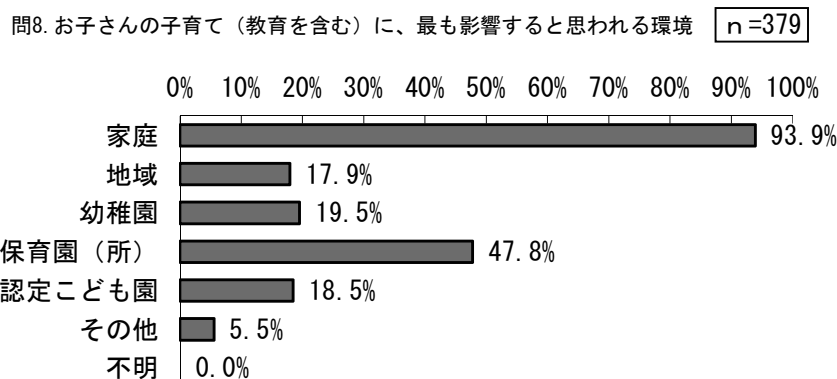
●その他

叔母／託児所／叔父／従兄／習い事／幼保園／発達支援センター／一時預かり／子育て支援センター／食育の会／里父、里母共に／YMCA／言葉の教室／ていくたく など

(8) 子育てに影響すると思われる環境

問8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、最も影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

子育てに最も影響すると思われる環境は、「家庭」が93.9%と圧倒的で、続く「保育園（所）」の47.8%、「幼稚園」の19.5%などを大きく引き離しています。



●その他

託児所／発達支援センター／習い事／ことばの教室／子育て支援センター／YMCA／病院／ていくたく など

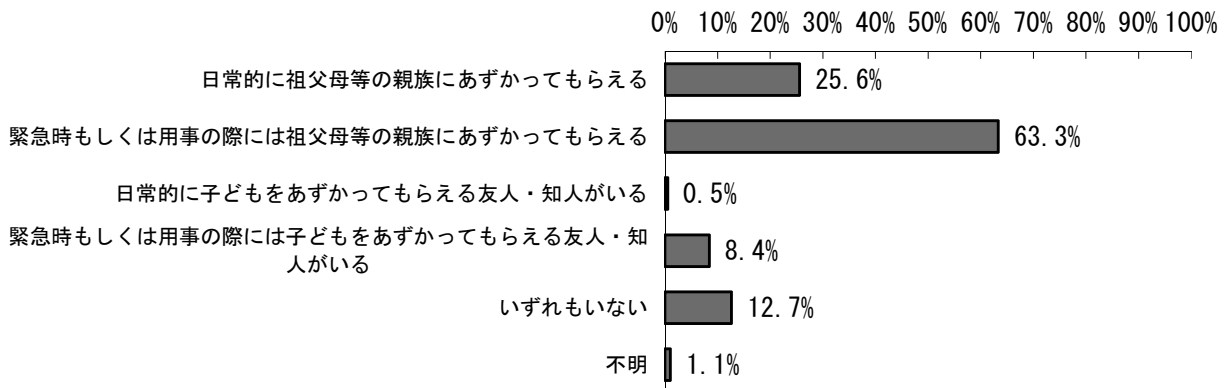
(9) お子さんを預かってもらえる親族・知人の有無

問9 日ごろ、あて名のお子さんをあずかってもらえる親族・知人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

日ごろ、子どもをあずかってもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にあずかってもらえる」が63.3%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にあずかってもらえる」が25.6%となっています。「いずれもない」はそれに次ぐ12.7%となっています。

問9. お子さんをあずかってもらえる親族・知人はいますか

n=379



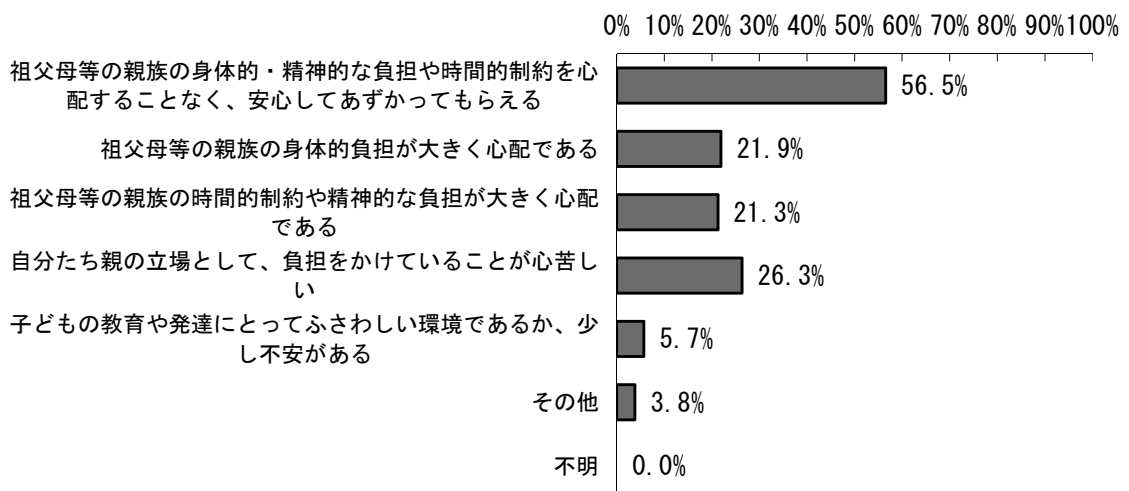
(9-1) 親族にお子さんを預かってもらっている状況

問9-1 問9で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをあずかってもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

祖父母等の親族に子どもをあずかってもらっている状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心してあずかってもらえる」が56.5%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が26.3%となっています。

問9-1. 祖父母等の親族にお子さんをあずかってもらっている状況について

n=315



●その他

夫の親しか近くにいないため、負担が片寄って申し訳ない／母方の祖父母でないと安心して預けられない など

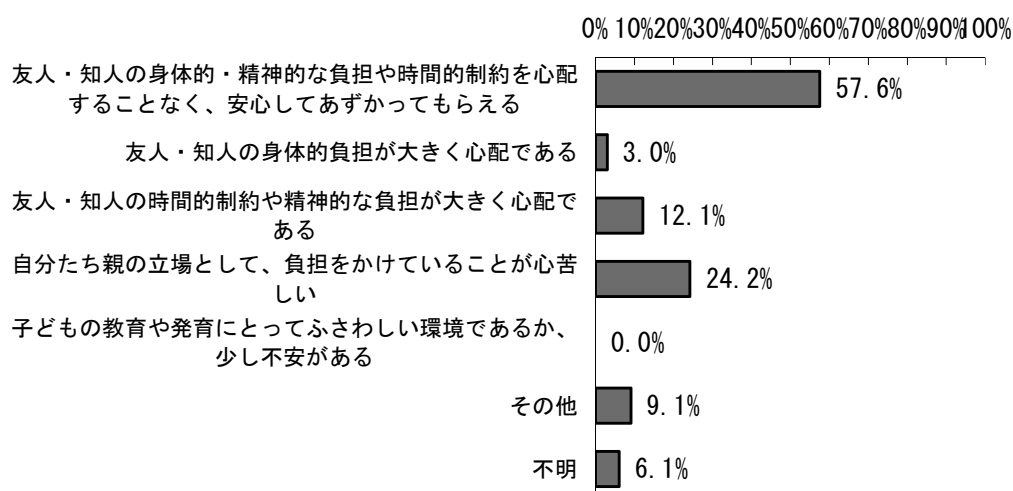
(9-2) 友人・知人にお子さんをあずかってもらっている状況

問 9-2 問9で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをあずかってもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

友人・知人に子どもをあずかってもらっている状況については、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心してあずかってもらえる」が57.6%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が24.2%となっています。

問9-2. 友人・知人にお子さんをあずかってもらっている状況について

n=33



●その他

相手方に確認するので心配はない／緊急時等には他の里親にお願いできるシステムがあるなど

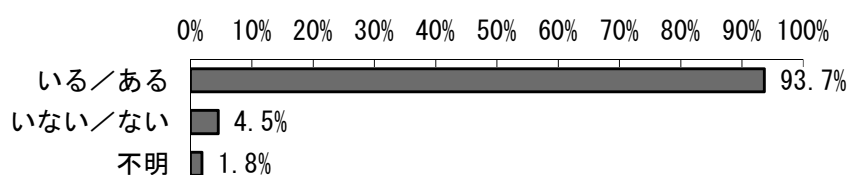
(10) 子育てをする上で気軽に相談できる相手・場所の有無

問 10 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

子育てをする上で気軽に相談できる相手・場所の有無については、「いる／ある」が93.7%と大半を占めています。

問10. お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか

n=379

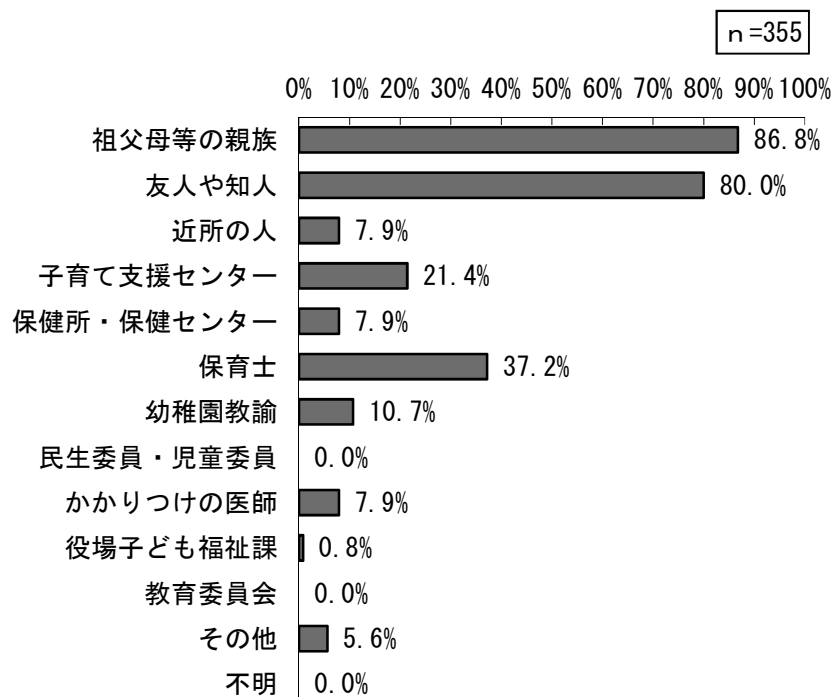


(10-1) 子育てをする上で気軽に相談できる相手・場所

問 10-1 問 10 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる相手先は、誰（どこ）ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てをする上で気軽に相談できる相手・場所は、「祖父母等の親族」が86.8%と最も高く、続く「友人や知人」の80.0%とともに8割を超えています。次いで「保育士」が37.2%、「子育て支援センター」が21.4%となっています。

問10-1. お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる相手先



●その他

みらい／ぶれいおんとかち（NPO 法人）／看護師、保健師、心理士／職場の人／ママリ（アプリ）／習い事の先生／子育て心理アドバイザー／発達支援センター／里親のきょうだい／言葉の教室／訪問看護師／ていくたく など

E. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

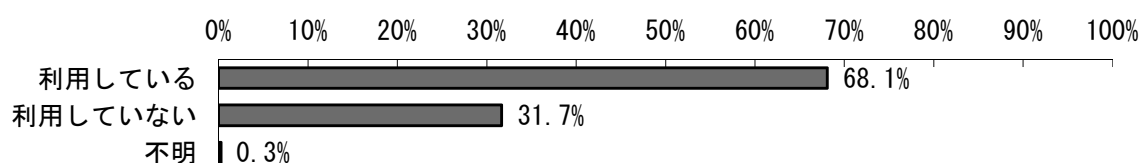
(11) 定期的な教育・保育事業の利用の有無

問 11 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育園（所）などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

幼稚園や保育園（所）など「定期的な教育・保育の事業」の利用の有無については、「利用している」が68.1%、「利用していない」が31.7%となっています。

問11. お子さんは現在、幼稚園や保育園（所）などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか

n=379



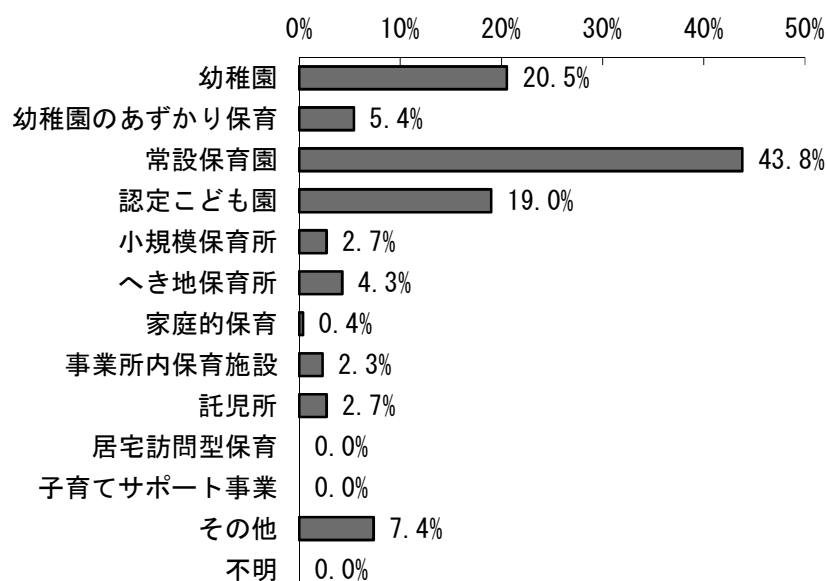
(11-1) 定期的にご利用している教育・保育事業

問 11-1 問 11-1～3 は、問 11 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

平日、定期的にご利用している教育・保育事業については、「常設保育園」が43.8%と最も高く、次いで「幼稚園」が20.5%、「認定こども園」が19.0%となっています。

問11-1. お子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか

n=258



●その他

みらい、ぶりんぐ／ていくたく／発達支援センター／無認可幼保園／YMCA／あおとり教室など

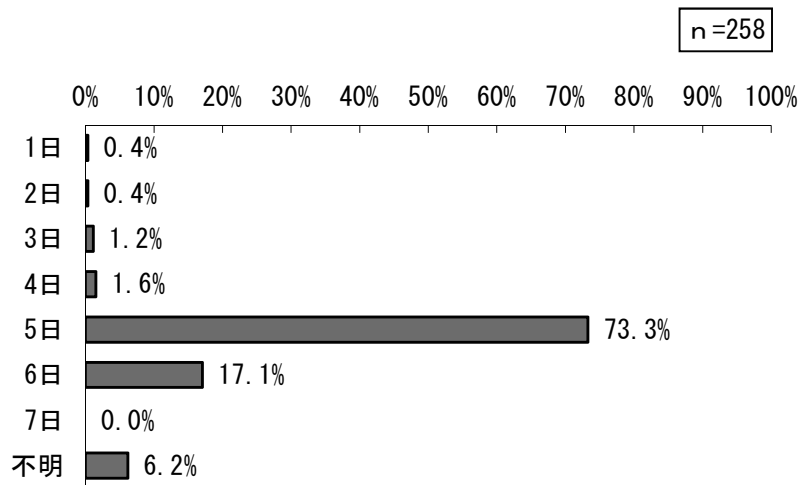
(11-2) 定期的に利用している教育・保育事業の利用状況と利用希望

問 11-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）かを、[]内に具体的な数字でご記入ください。

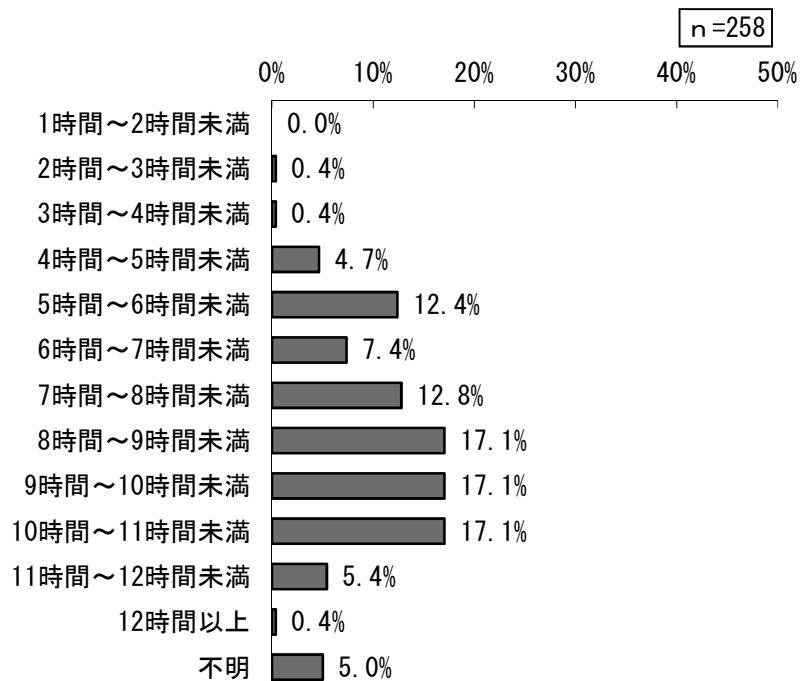
(1) 利用日数・時間の現状

平日に定期的に利用している教育・保育の事業についての現在の利用状況は、週に「5日」が73.3%、1日あたりでは「8時間～9時間未満」「9時間～10時間未満」「10時間～11時間未満」が17.1%とそれぞれ最も高くなっています。また、開始時刻は「8時台」が39.1%、終了時刻は「17時台～18時台」が44.6%とそれぞれ最も高くなっています。

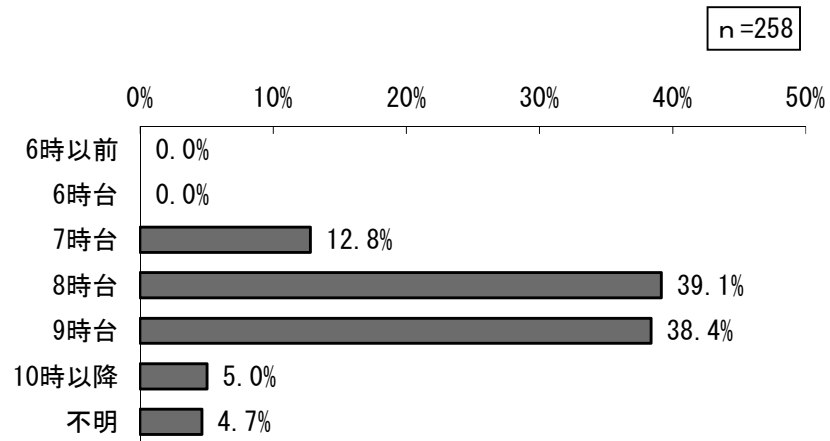
問11-2(1). 現在の教育・保育の事業の利用状況（1週あたりの日数）



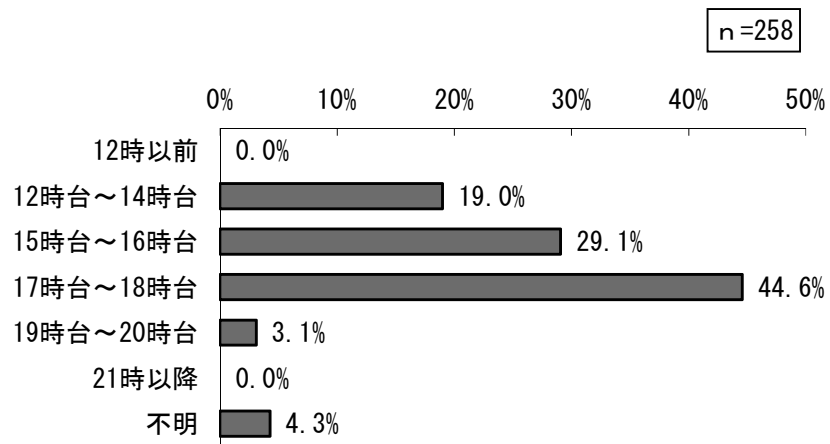
問11-2(1). 現在の教育・保育の事業の利用状況（1日あたりの時間）



問11-2(1). 現在の教育・保育の事業の利用状況（開始時刻）



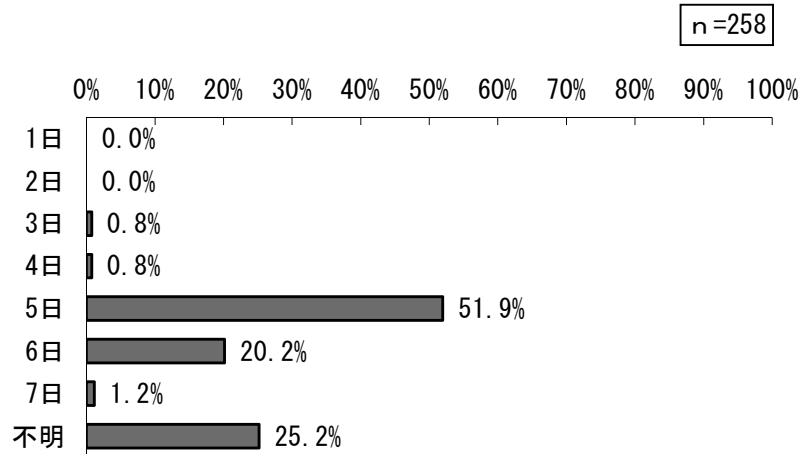
問11-2(1). 現在の教育・保育の事業の利用状況（終了時刻）



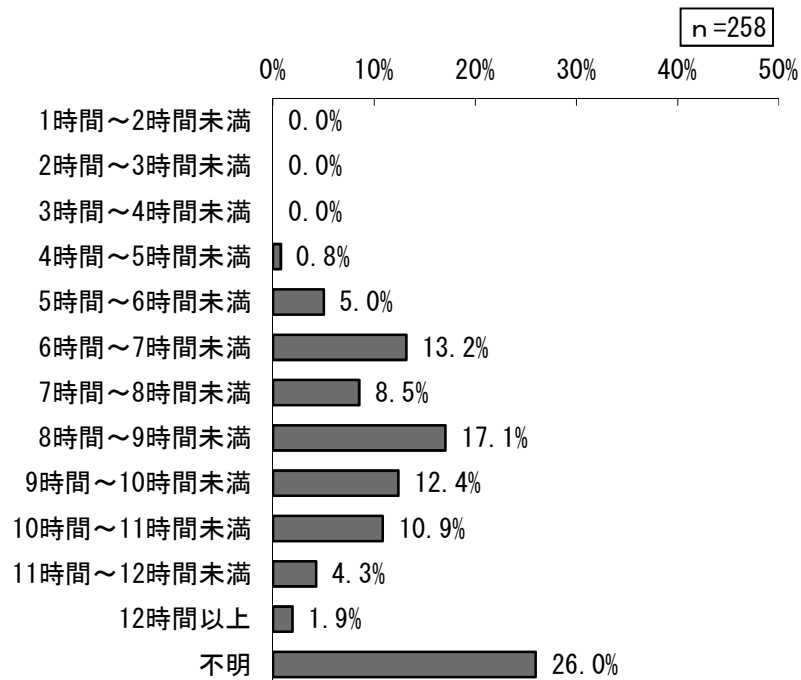
(2) 利用日数・時間の希望

教育・保育の事業を平日に定期的にどのくらい利用したいかについては、週に「5日」が51.9%、1日あたりでは「8時間～9時間未満」が17.1%とそれぞれ最も高くなっています。また、開始時刻は「8時台」が32.9%、終了時刻は「17時台～18時台」が36.4%とそれぞれ最も高くなっています。

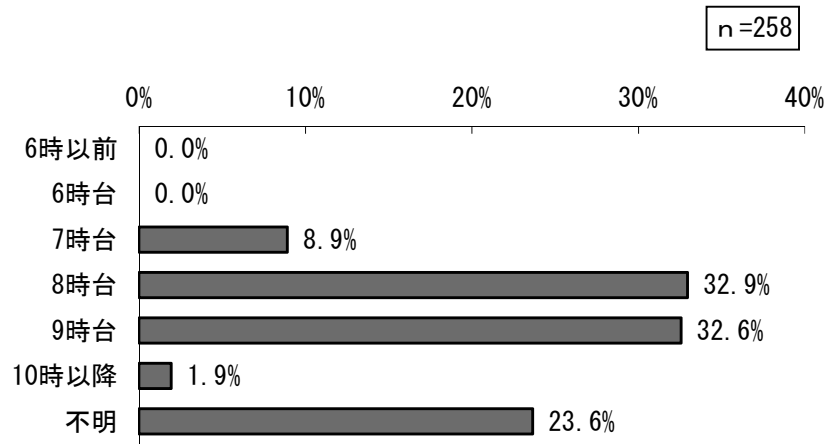
問11-2(2). 希望の教育・保育の事業の利用状況 (1週あたりの日数)



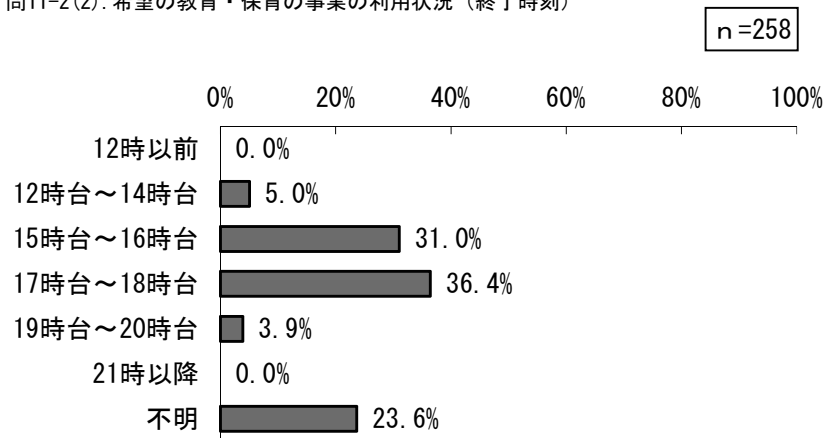
問11-2(2). 希望の教育・保育の事業の利用状況 (1日あたりの時間)



問11-2(2). 希望の教育・保育の事業の利用状況（開始時刻）



問11-2(2). 希望の教育・保育の事業の利用状況（終了時刻）

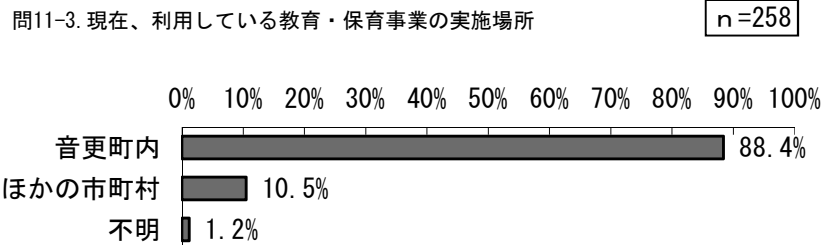


区分	1週あたり 利用日数	1日あたり 利用時間
(1) 現在	(平均)5.23日	(平均)7.83時間
(2) 希望	(平均)5.45日	(平均)8.08時間

(11-3) 利用している教育・保育事業の場所

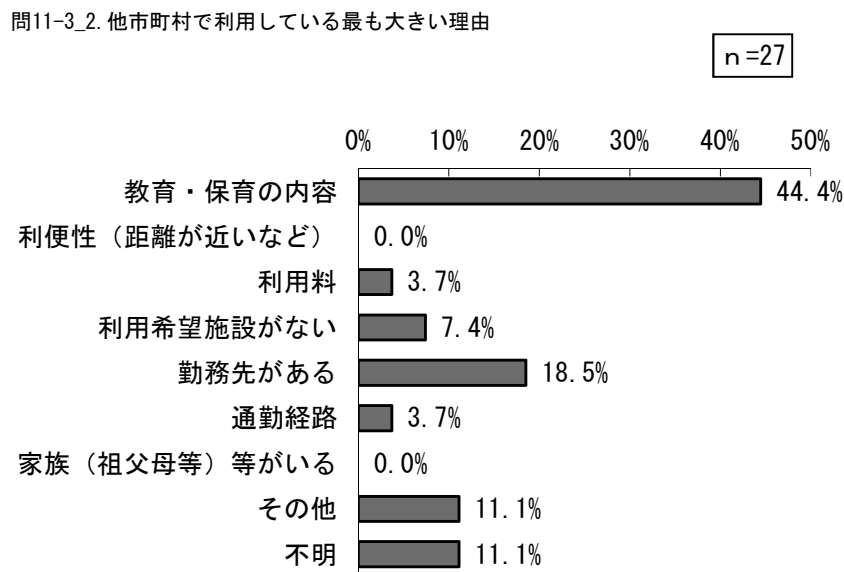
問 11-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1」「2」のいずれかに○をつけてください。

現在、利用している教育・保育事業の実施場所は、「音更町内」が88.4%となっています。



●ほかの市町村・内訳
帯広市／芽室町

他市町村で利用している場合、その最も大きい理由は、「教育・保育の内容」が44.4%と最も高くなっています。



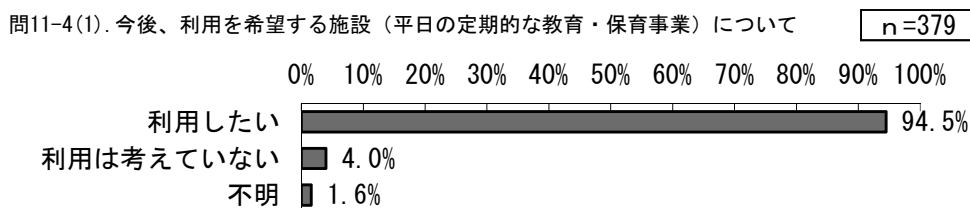
●その他
音更の常設保育園に入れなかったから

(11-4) 利用を希望する教育・保育事業の施設・場所

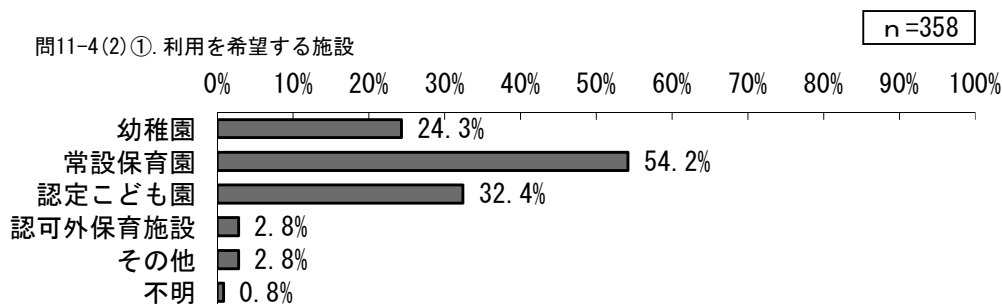
問 11-4 すべての方にうかがいます。今後、利用を希望する施設（平日の定期的な教育・保育事業）についてうかがいます。

- (1) 今後のご希望についてお聞きします。あてはまる番号1つに○をつけてください。
 (2) ①利用を希望する施設に○をつけてください。
 ②希望する所在地1つに○をつけてください。ほかの市町村の場合は、具体名をお書きください。

(1) 今後、平日の定期的な教育・保育事業を利用したいかについては、「利用したい」が94.5%と大半を占めています。



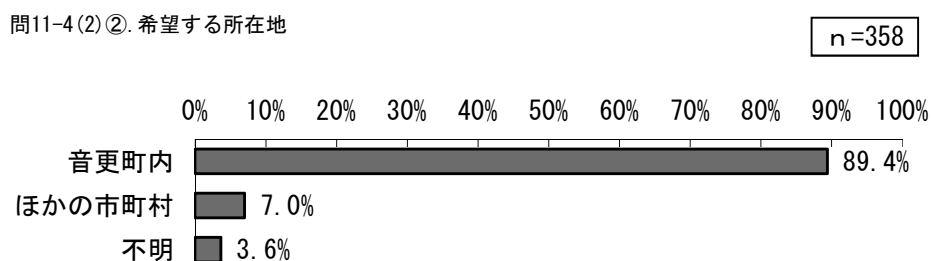
(2) ①利用を希望する施設は、「常設保育園」が54.2%と最も高くなっています。



●その他

へき地保育所／学童／事業所内保育所

②希望する所在地は、「音更町内」が89.4%と最も高くなっています。



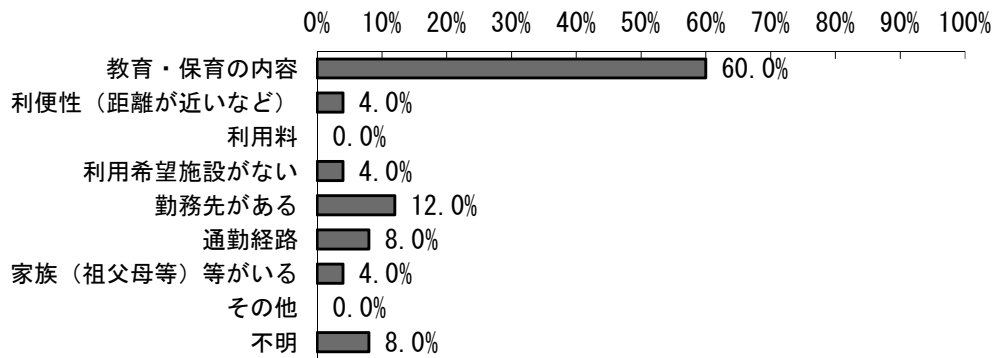
●ほかの市町村の内訳

帯広市／芽室町

ほかの市町村を希望する場合、その最も大きい理由は、「教育・保育の内容」が60.0%と最も高くなっています。

問11-4(2)②_2. ほかの市町村を希望する最も大きい理由

n=25

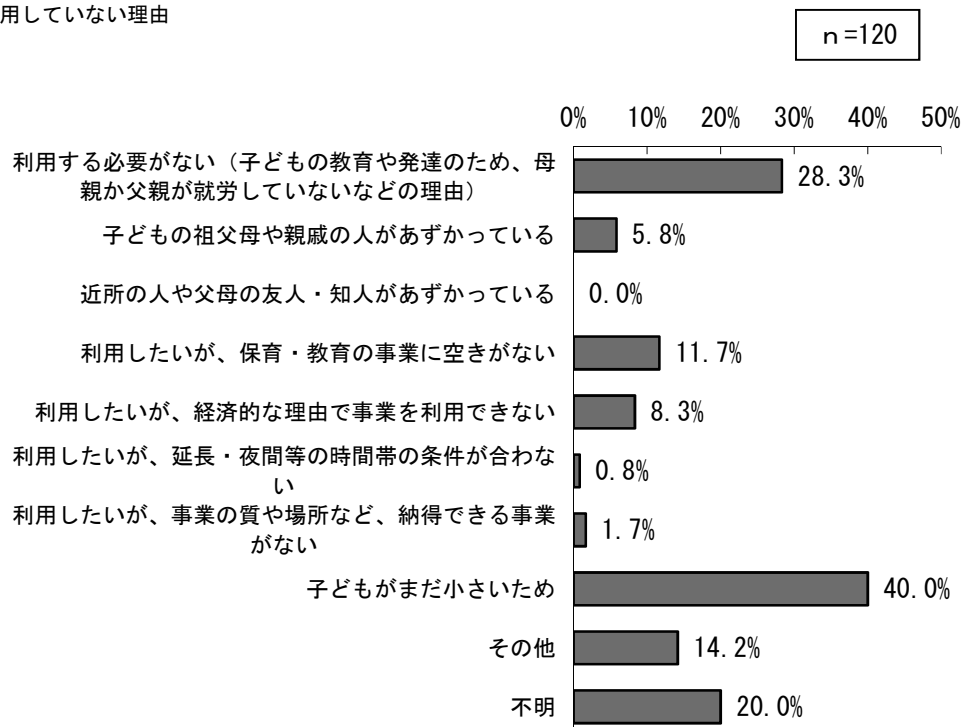


(11-5) 定期的な教育・保育事業を利用していない理由

問 11-5 問 11 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

平日、定期的に教育・保育事業を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため」が 40.0% と最も高く、次いで「利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、母親か父親が就労していないなどの理由）」が 28.3% となっています。

問11-5. 利用していない理由

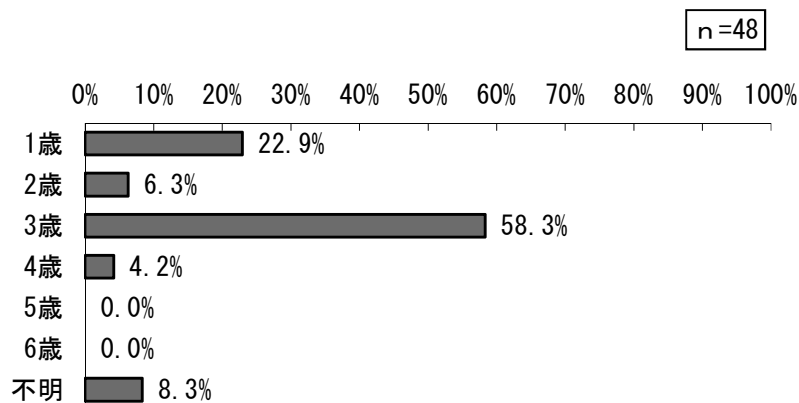


●その他

現在育児休暇中／出産が重なったため／保育園待機中／ニュースで保育園、幼稚園の先生からの体罰など見ると預けたくない／申請中／医療行為が必要な為／転居予定のため など

「子どもがまだ小さいため」と回答した場合、利用開始を考えている年齢は「3歳」が 58.3% と最も高くなっています。

問11-5_8. 子供の年齢（歳）



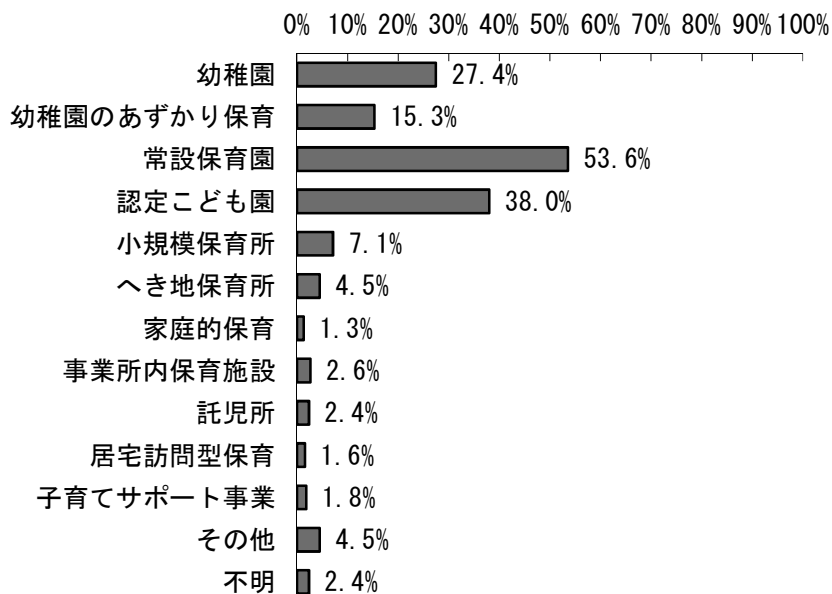
(12) 現在の利用の有無にかかわらず、今後定期的に利用したい教育・保育事業

問 12 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないに関わらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

現在の利用の有無にかかわらず、今後平日に定期的に利用したい教育・保育事業は、「常設保育園」が53.6%と最も高く、次いで「認定こども園」が38.0%、「幼稚園」が27.4%となっています。

問12. 定期的に利用したいと考える事業

n=379



●その他

認可外保育園／発達支援センターていくたく／YMCA／信用できないから／発達支援事業所／子育て支援センター／あおいとり教室／言葉教室

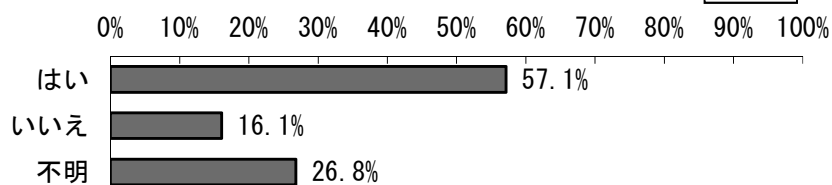
(12-1) 特に幼稚園の利用を強く希望するか

問 12-1 問 12 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園のあずかり保育」に○をつけ、かつ「3～12」にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園のあずかり保育をあわせて利用する場合も含む）の利用を強く希望しますか。「1」「2」のいずれかに○をつけてください。

特に幼稚園（幼稚園のあずかり保育をあわせて利用する場合も含む）の利用を強く希望するかについて、「はい」が57.1%、「いいえ」が16.1%となっています。

問12-1. 幼稚園（幼稚園のあずかり保育をあわせて利用する場合も含む）の利用を強く希望しますか

n=112



(12-2) 子育て支援事業の利用状況と利用希望

問 12-2 現在利用しているか、かつて利用したことがある方に、今後利用したい子育て支援事業についてうかがいます。各区分ごとに現在及び今後の利用について、「有」「無」いずれかに○をつけ、「有」の場合は実施場所についてもいずれかに○をつけてください。また、「2. ほかの市町村」を選択した場合は、() 内に市町村名を記載してください。

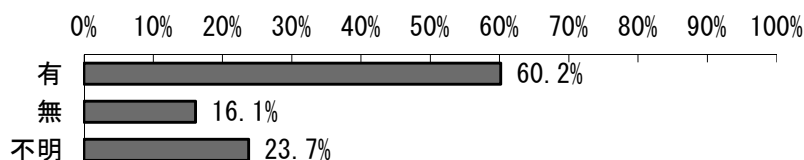
子育て支援事業の現在の利用の有無については、「子育て支援センター」の利用が 60.2%と最も高くなっています。また、今後の利用希望についても、「子育て支援センター」が 40.9%と最も高く、「病児・病後児保育」が 39.3%で続いています。

また、各項目において「ほかの市町村」と回答した大半の人が「帯広市」を挙げています。ほかに芽室町、浦幌町、幕別町、上士幌町などが挙げられています。

1. 子育て支援センター

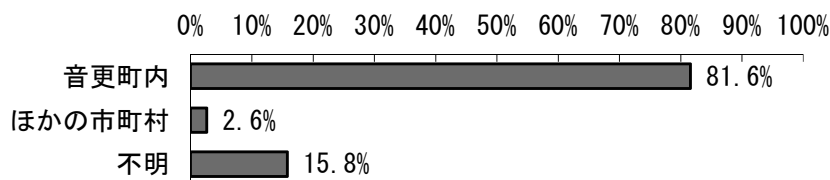
問12-2-1. 現在の子育て支援センターの利用有無

n=379



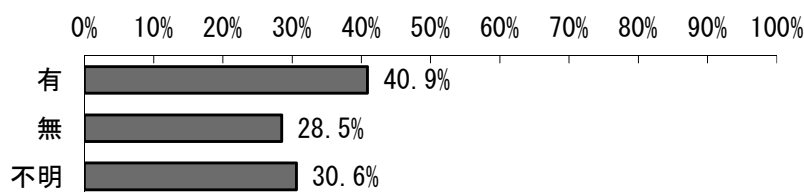
問12-2-1. 現在の子育て支援センターの実施場所

n=228



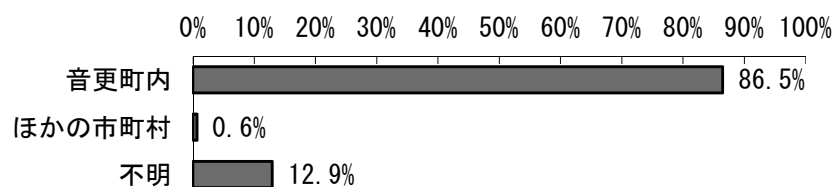
問12-2-1. 今後の子育て支援センターの利用希望

n=379



問12-2-1. 今後の子育て支援センターの実施場所

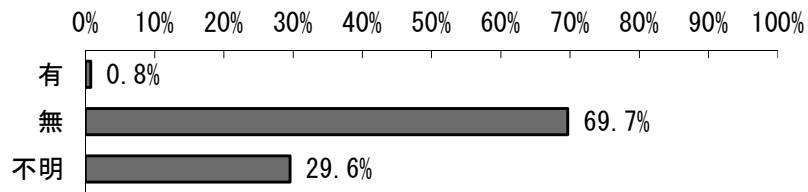
n=155



2. 子育て短期支援事業

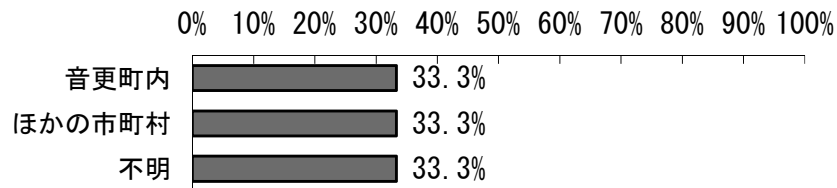
問12-2-2. 現在の子育て短期支援事業の利用有無

n=379



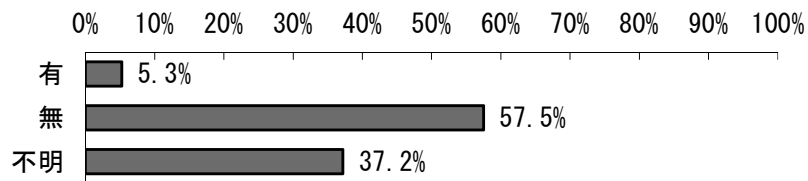
問12-2-2. 現在の子育て短期支援事業の実施場所

n=3



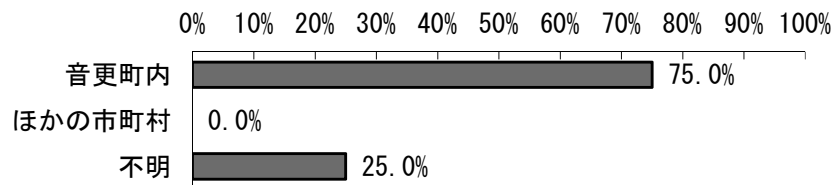
問12-2-2. 今後の子育て短期支援事業の利用希望

n=379



問12-2-2. 今後の子育て短期支援事業の実施場所

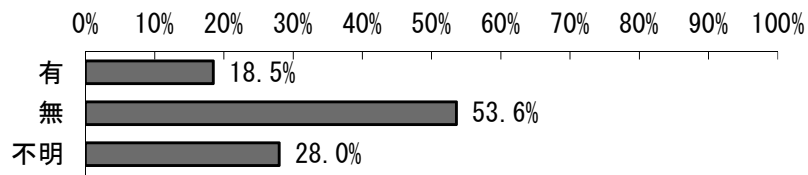
n=20



3. 一時あずかり

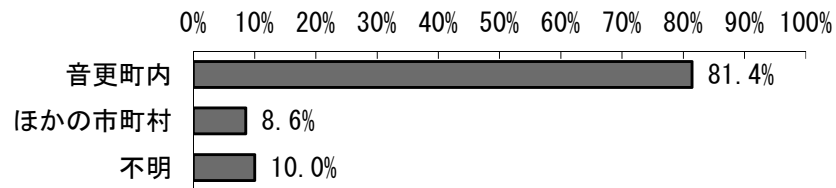
問12-2-3. 現在の一時あずかりの利用有無

n=379



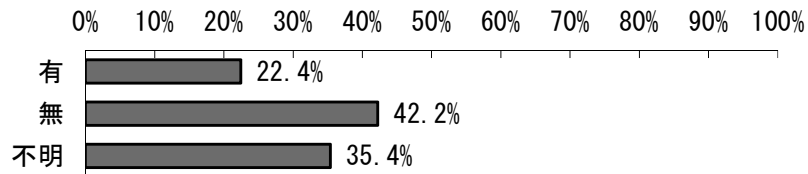
問12-2-3. 現在の一時あずかりの実施場所

n=70



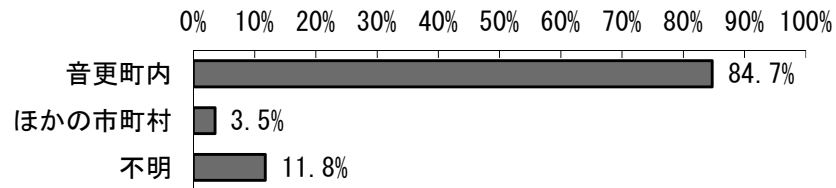
問12-2-3. 今後の一時あずかりの利用希望

n=379



問12-2-3. 今後の一時あずかりの実施場所

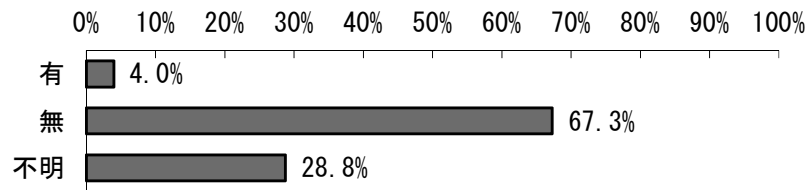
n=85



4. 休日保育

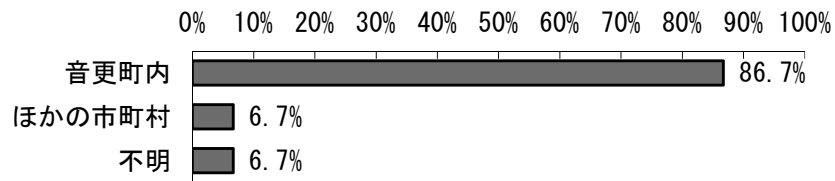
問12-2-4. 現在の休日保育の利用有無

n=379



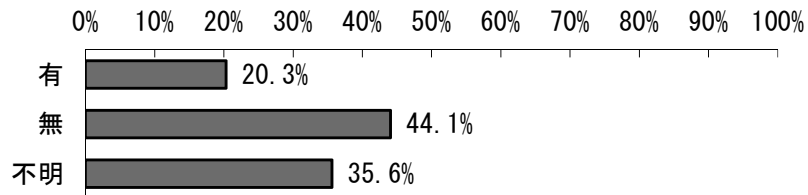
問12-2-4. 現在の休日保育の実施場所

n=15



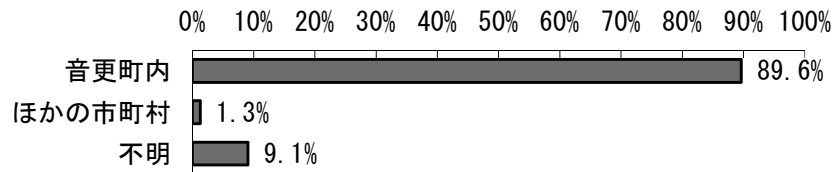
問12-2-4. 今後の休日保育の利用希望

n=379



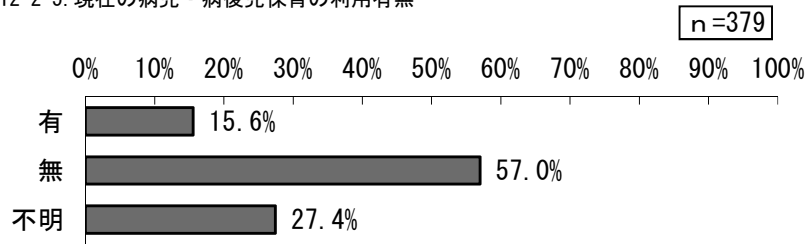
問12-2-4. 今後の休日保育の実施場所

n=77

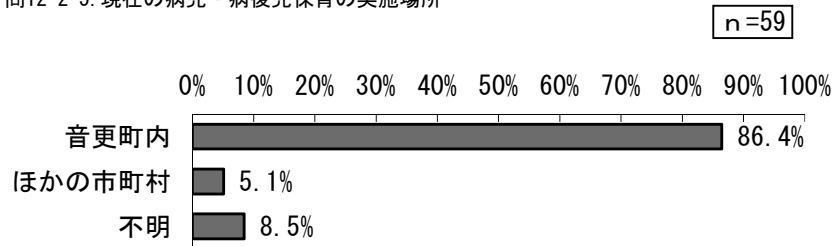


5. 病児・病後児保育

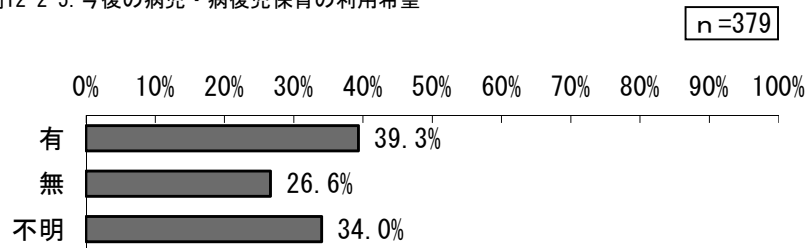
問12-2-5. 現在の病児・病後児保育の利用有無



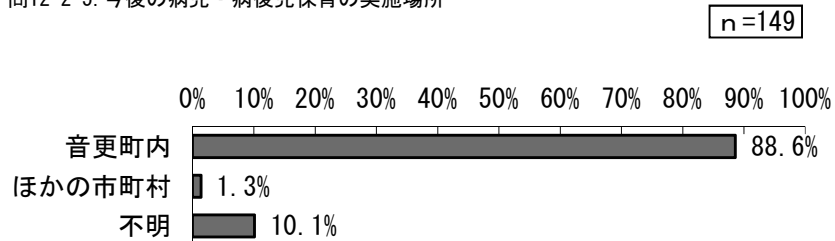
問12-2-5. 現在の病児・病後児保育の実施場所



問12-2-5. 今後の病児・病後児保育の利用希望



問12-2-5. 今後の病児・病後児保育の実施場所



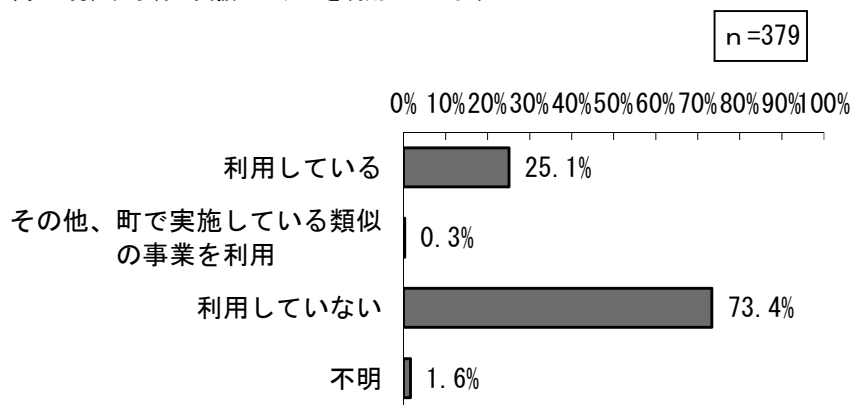
F. あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

(13) 子育て支援センターの利用状況

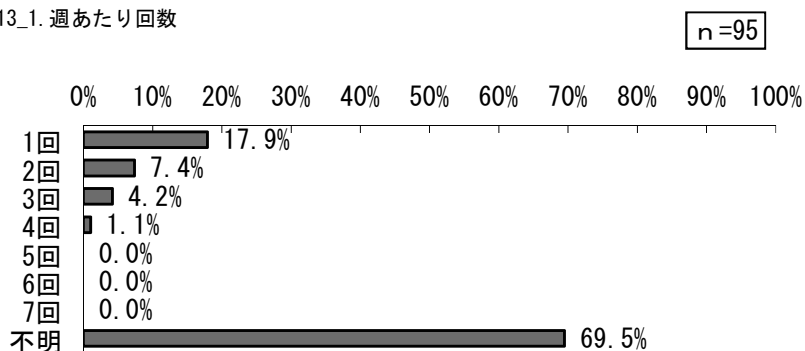
問 13 あて名のお子さんは、現在、子育て支援センターを利用していますか。次の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を[]内に数字でご記入ください。

子育て支援センターの利用状況は、「利用していない」が73.4%、「利用している」が25.1%となっています。1週間あたりの利用回数では「1回」が17.9%、1か月あたりでは「1～2回」が37.9%とそれぞれ最も高くなっています。

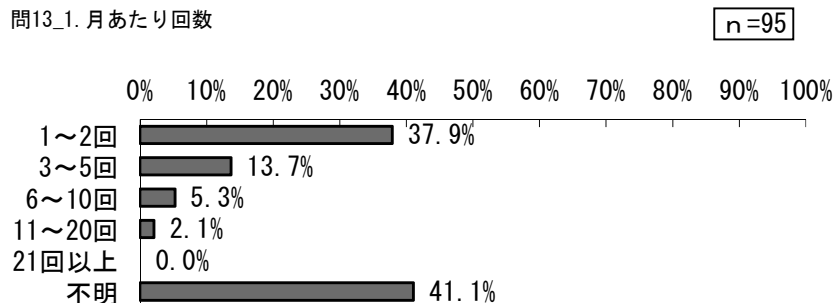
問13. 現在、子育て支援センターを利用していますか



問13_1. 週あたり回数



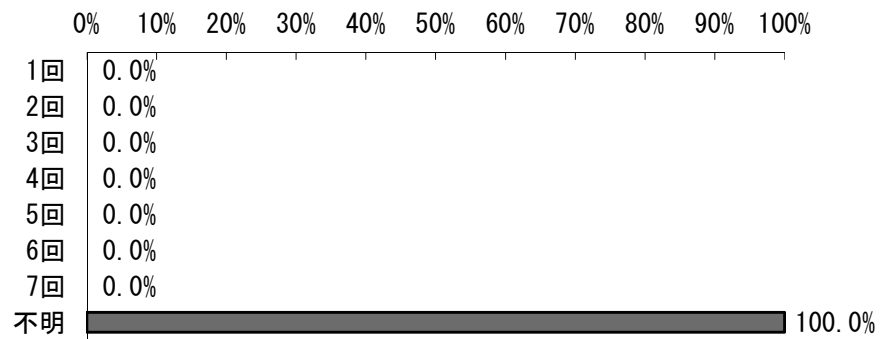
問13_1. 月あたり回数



「その他、町で実施している類似の事業を利用」の場合は、月あたり「1~2回」となっています。

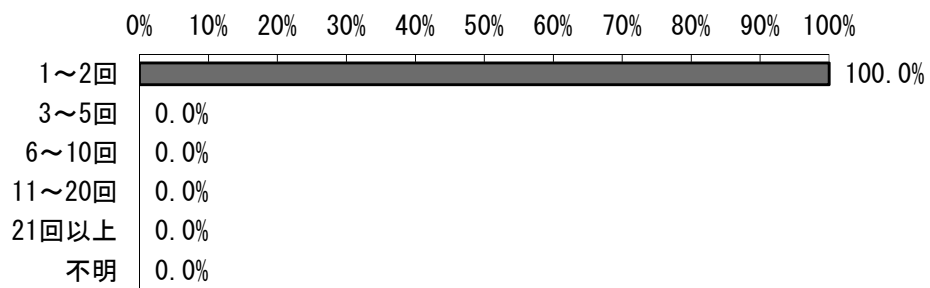
問13_2. 週あたり回数

n=1



問13_2. 月あたり回数

n=1

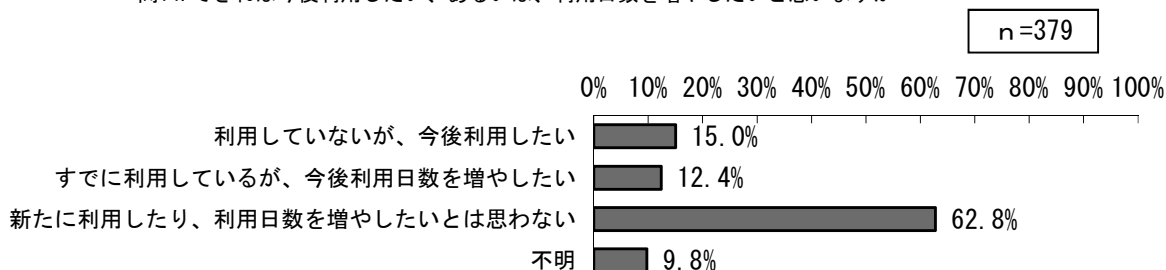


(14) 子育て支援センターの利用希望

問 14 問 13 の子育て支援センターについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を[]内に数字でご記入ください。

今後の子育て支援センターの利用意向については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が62.8%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が15.0%となっています。

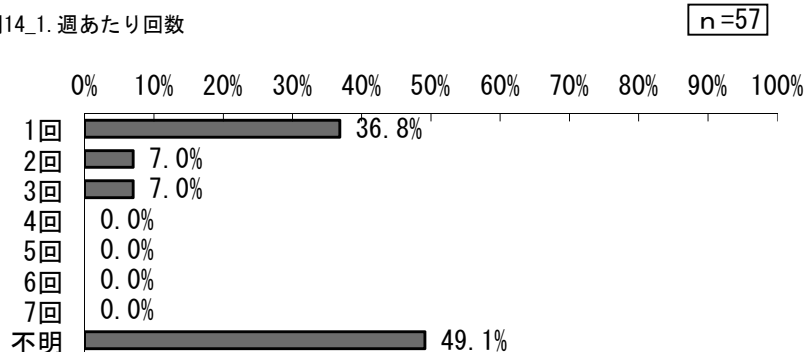
問14. できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか



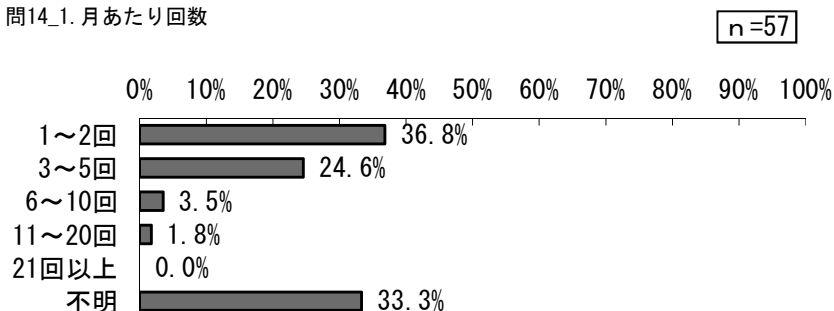
【利用回数（頻度）】

子育て支援センターの今後の週あたりの利用希望回数について、「利用していないが、今後利用したい」人では、週あたり「1回」が36.8%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」人では、週あたり「1回」が23.4%とそれぞれ最も高くなっています。

問14_1. 週あたり回数

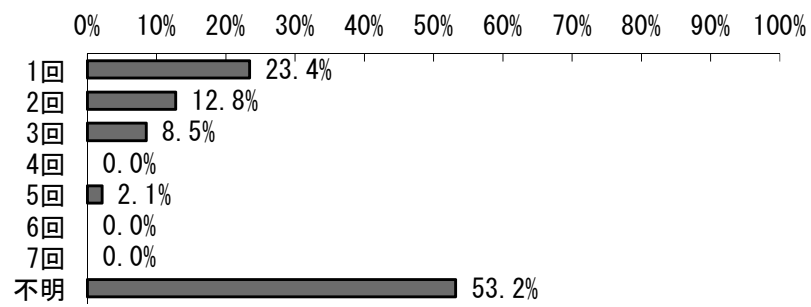


問14_1. 月あたり回数



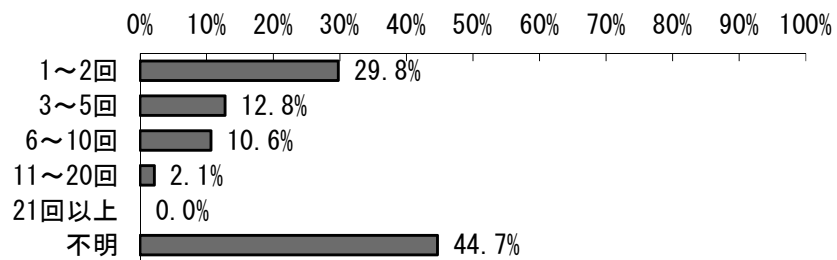
問14_2. 週あたり回数

n=47



問14_2. 月あたり回数

n=47



	1週あたり回数 (平均)	1か月あたり回数 (平均)
利用していないが、今後利用したい	1.4回	2.8回
すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	1.8回	3.8回

(15) 子育て支援事業の認知度・利用状況・利用希望について

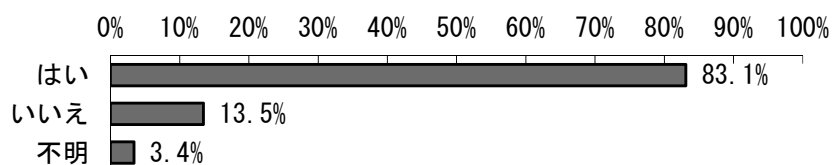
問 15 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。1～11の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

【認知度（知っている）】

子育て支援に関する事業の認知度について、「はい」の割合が最も高い事業は「病児・病後児保育」の86.3%で、次いで「一時保育」が85.8%、「パパママ教室」が83.1%、「役場子ども福祉課の窓口」が76.5%となっています。

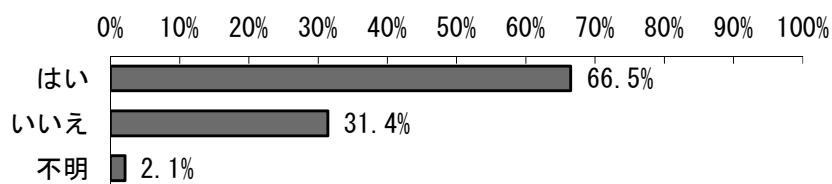
問15-1. パパママ教室の認知

n=379



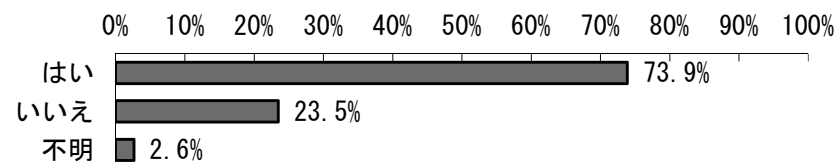
問15-2. 子育て世代包括支援センターすくすくの認知

n=379



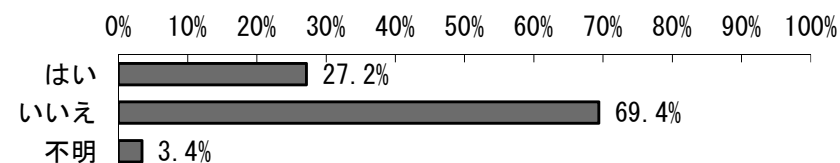
問15-3. 子育て支援センターの相談事業の認知

n=379



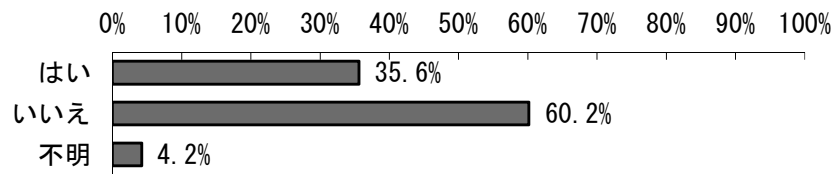
問15-4. 幼児家庭教育学級（ママとパパの講座）の認知

n=379



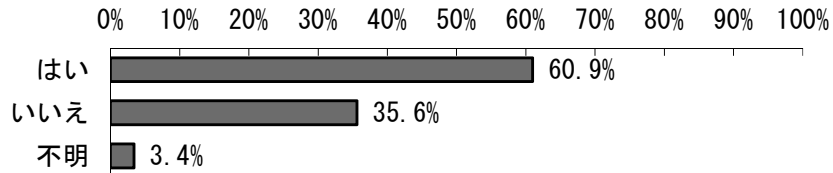
問15-5. 教育相談の認知

n=379



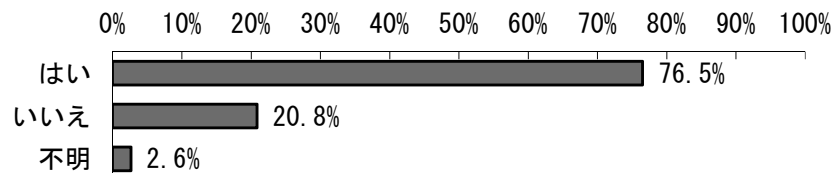
問15-6. 保育園や幼稚園の園庭等の開放の認知

n=379



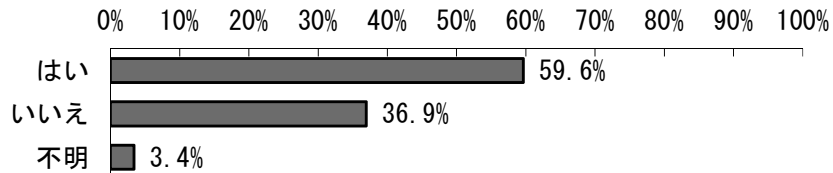
問15-7. 役場子ども福祉課の窓口の認知

n=379



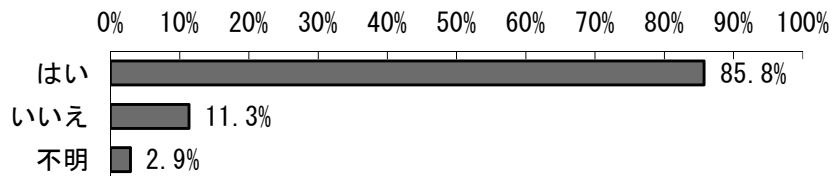
問15-8. 子育てサポート事業の認知

n=379



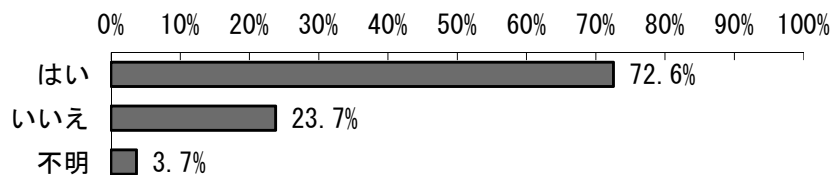
問15-9. 一時保育の認知

n=379



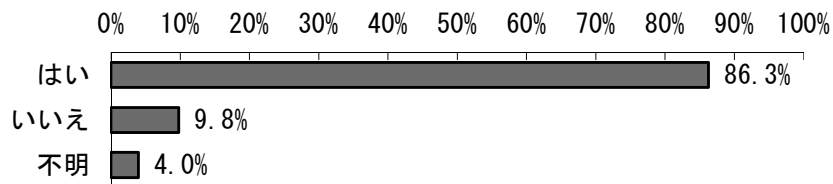
問15-10. 休日保育の認知

n=379



問15-11. 病児・病後児保育の認知

n=379

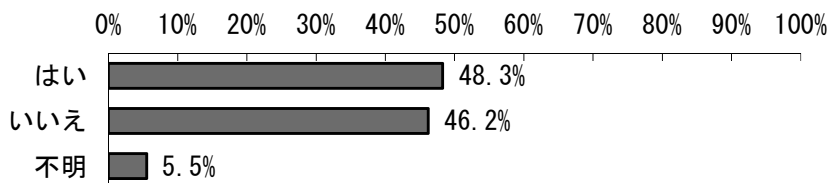


【利用状況（利用している）】

子育て支援に関する事業の利用の有無について、「はい」の割合が最も高い事業は「パパママ教室」の48.3%で、次いで「役場子ども福祉課の窓口」が32.2%、「一時保育」が23.2%となっています。

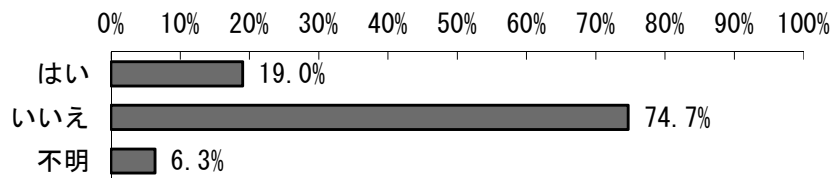
問15-1. パパママ教室の利用有無

n=379



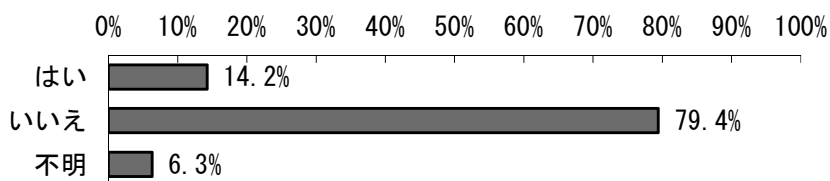
問15-2. 子育て世代包括支援センターすくすくの利用有無

n=379



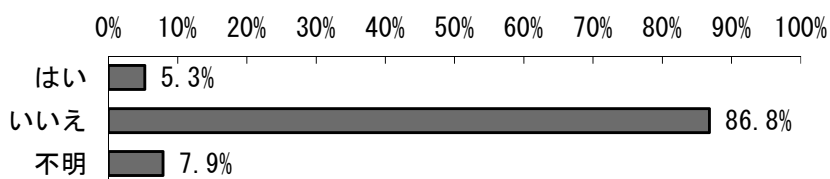
問15-3. 子育て支援センターの相談事業の利用有無

n=379



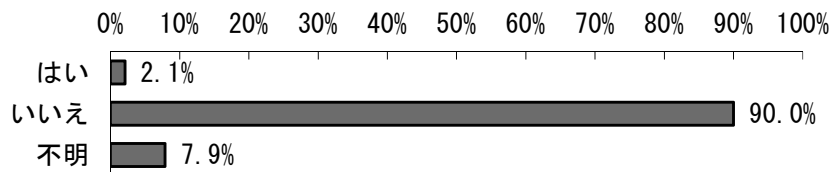
問15-4. 幼児家庭教育学級（ママとパパの講座）の利用有無

n=379



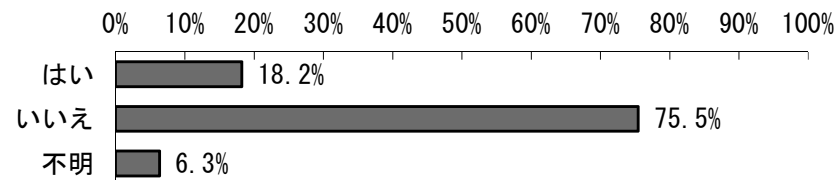
問15-5. 教育相談の利用有無

n=379



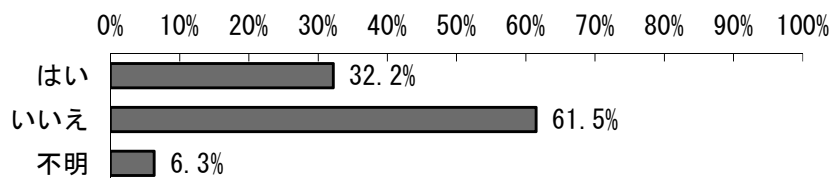
問15-6. 保育園や幼稚園の園庭等の開放の利用有無

n=379



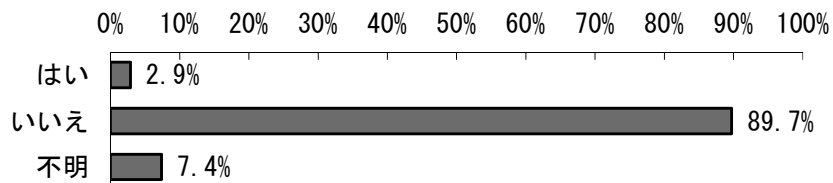
問15-7. 役場子ども福祉課の窓口の利用有無

n=379



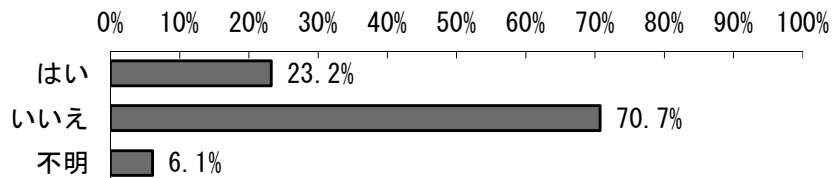
問15-8. 子育てサポート事業の利用有無

n=379



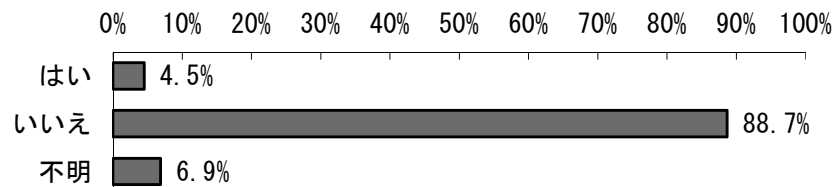
問15-9. 一時保育の利用有無

n=379



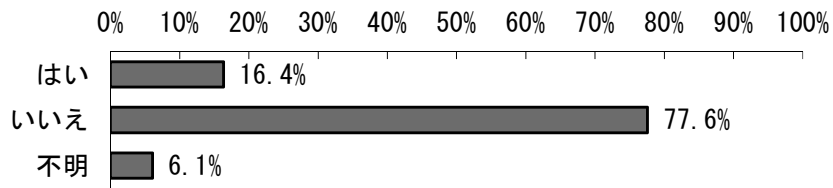
問15-10. 休日保育の利用有無

n=379



問15-11. 病児・病後児保育の利用有無

n=379

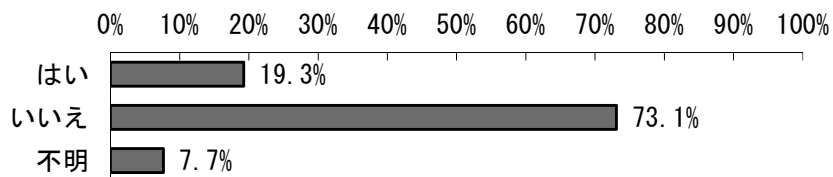


【利用意向（今後利用したい）】

子育て支援に関する事業の今後の利用意向について、「はい」の割合が最も高い事業は「病児・病後児保育」の54.6%で、次いで「保育園や幼稚園の園庭等の開放」が39.6%、「役場子ども福祉課の窓口」が38.8%、「一時保育」が38.3%となっています。

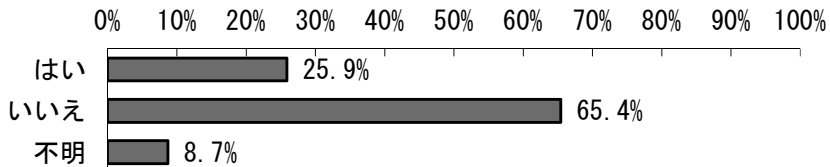
問15-1. パパママ教室の利用希望

n=379



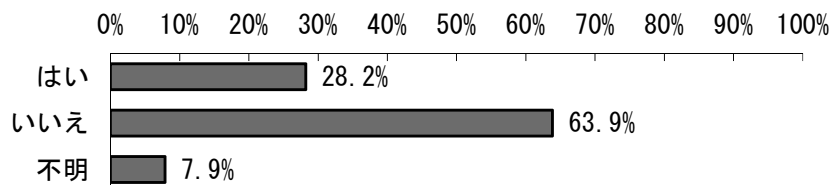
問15-2. 子育て世代包括支援センターすくすくの利用希望

n=379



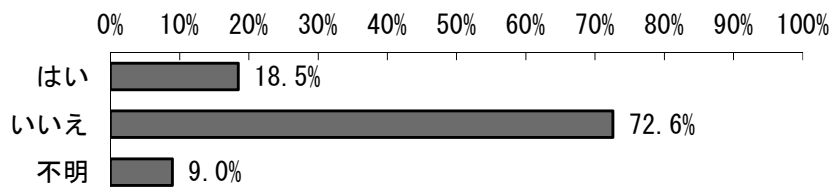
問15-3. 子育て支援センターの相談事業の利用希望

n=379



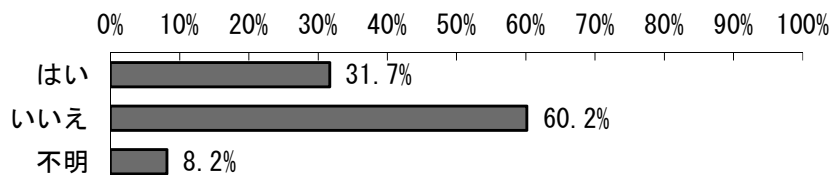
問15-4. 幼児家庭教育学級（ママとパパの講座）の利用希望

n=379



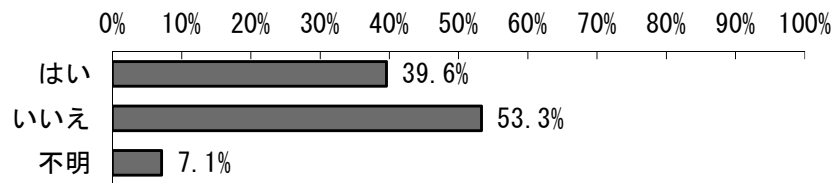
問15-5. 教育相談の利用希望

n=379



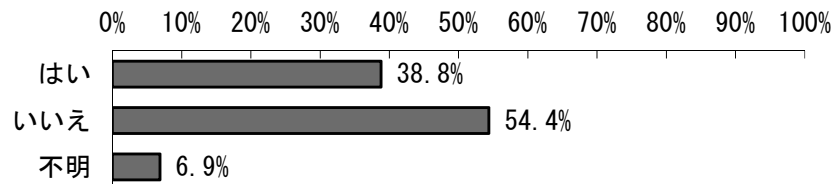
問15-6. 保育園や幼稚園の園庭等の開放の利用希望

n=379



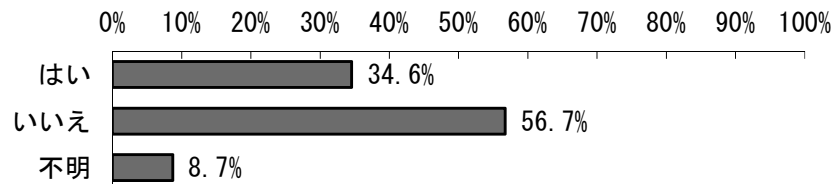
問15-7. 役場子ども福祉課の窓口の利用希望

n=379



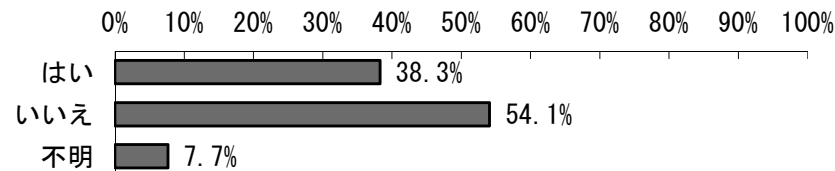
問15-8. 子育てサポート事業の利用希望

n=379



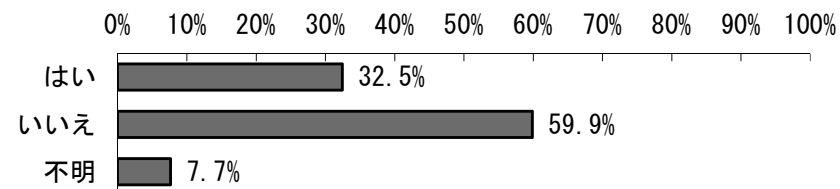
問15-9. 一時保育の利用希望

n=379



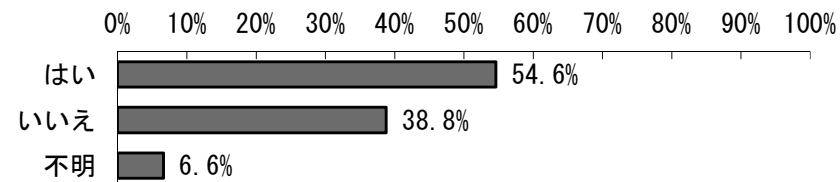
問15-10. 休日保育の利用希望

n=379



問15-11. 病児・病後児保育の利用希望

n=379



G. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

(16) 土曜日・日曜日・祝日における定期的な教育・保育の事業の利用希望

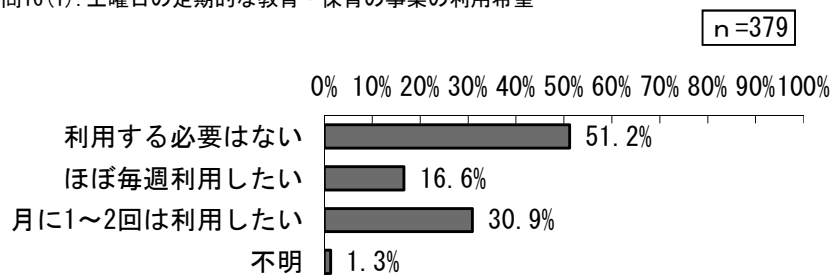
問 16 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。(1) (2) それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9時～18時のように24時間制でご記入ください。

- (1) 土曜日
(2) 日曜日・祝日

(1) 土曜日

土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、「利用する必要はない」が51.2%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が30.9%、「ほぼ毎週利用したい」が16.6%となっています。

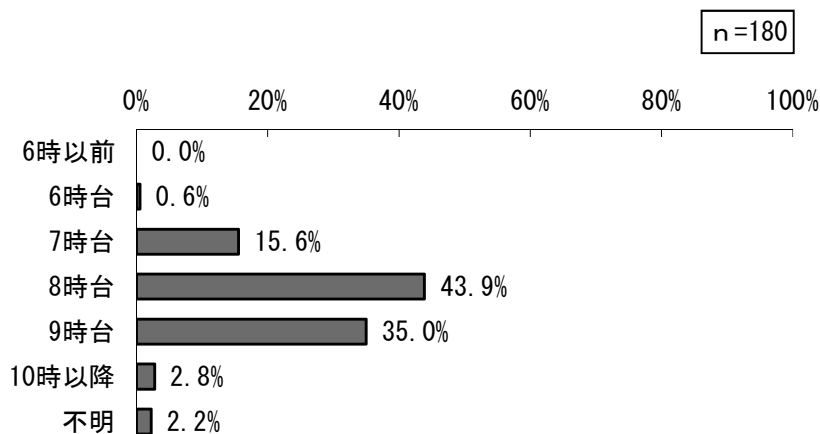
問16(1). 土曜日の定期的な教育・保育の事業の利用希望



【開始時間】

利用したい時間帯（開始時間）については、「8時台」が43.9%と最も高く、次いで「9時台」が35.0%、「7時台」が15.6%となっています。

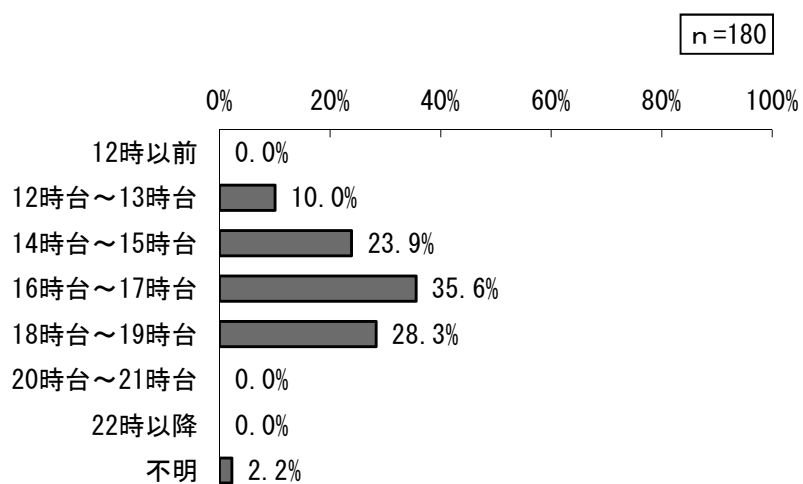
問16(1). 利用したい時間帯（時から）



【終了時間】

利用したい時間帯（終了時間）については、「16時台～17時台」が35.6%と最も高く、次いで「18時台～19時台」が28.3%、「14時台～15時台」が23.9%となっています。

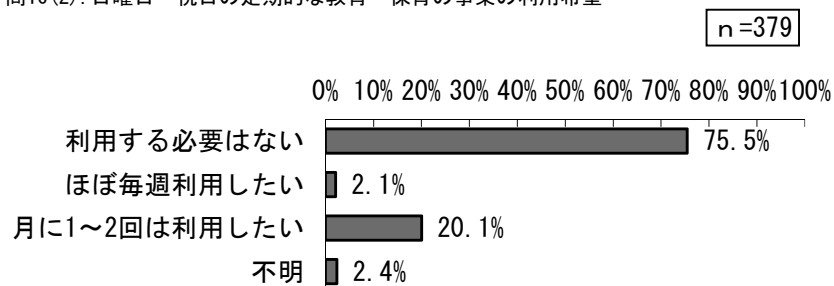
問16(1). 利用したい時間帯（時まで）



(2) 日曜・祝日

日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、「利用する必要はない」が75.5%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が20.1%、「ほぼ毎週利用したい」が2.1%となっています。

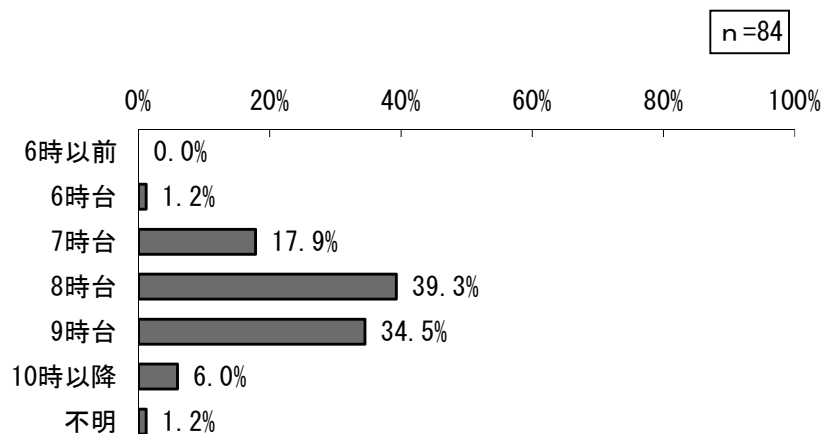
問16(2). 日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望



【開始時間】

利用したい時間帯（開始時間）については、「8時台」が39.3%と最も高く、次いで「9時台」が34.5%、「7時台」が17.9%となっています。

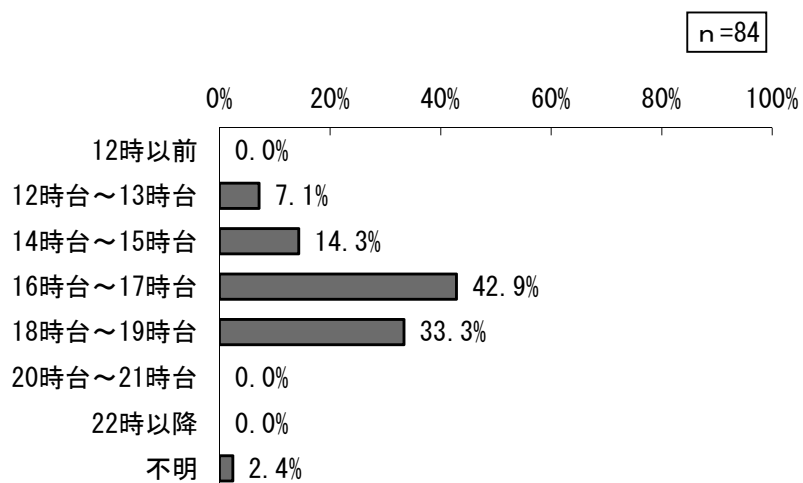
問16(2). 利用したい時間帯（時から）



【終了時間】

利用したい時間帯（終了時間）については、「16時台～17時台」が42.9%と最も高く、次いで「18時台～19時台」が33.3%、「14時台～15時台」が14.3%となっています。

問16(2). 利用したい時間帯（時まで）



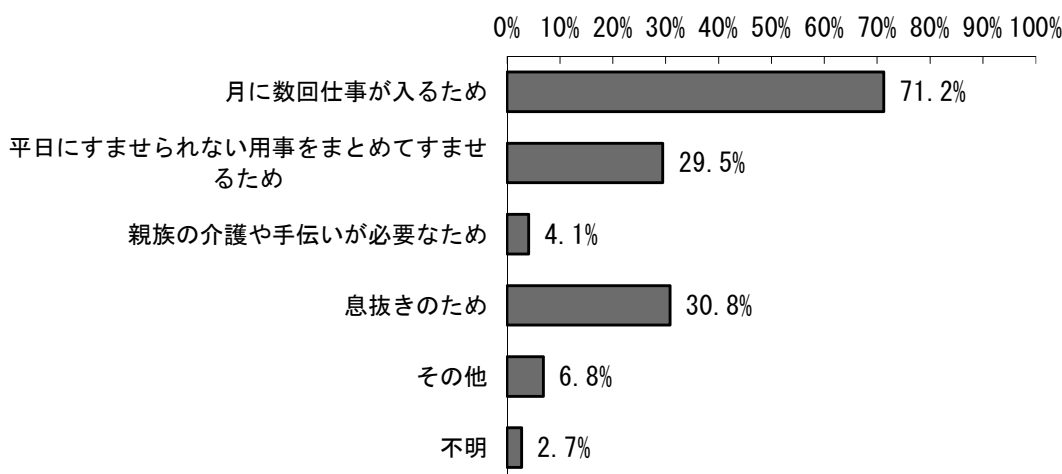
(16-1) たまに利用したい理由

問 16-1 問 16 の (1) もしくは (2) で「3. 月に1~2回は利用したい」に○をつけた方
 にかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号
 すべてに○をつけてください。

毎週ではなくたまに利用したい理由については、「月に数回仕事が入るため」が 71.2%と最も高く、次いで「息抜きのため」が 30.8%、「平日にすませられない用事をまとめてすませるため」が 29.5%となっています。

問16-1. 毎週ではなく、たまに利用したい理由

n=146



●その他

子供同士の交流、遊び／子供も楽しそうだから／大人の保育者がいないときに仕事があることがある為 など

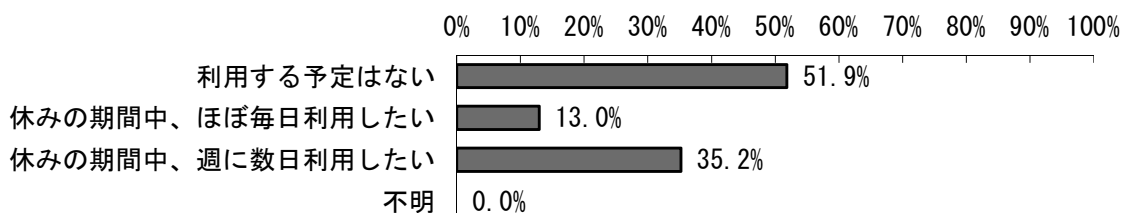
(17) 長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望

問 17 「幼稚園」を利用されている方にかがいます。あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9時~18時のように 24 時間制でご記入ください。

幼稚園利用者の長期休暇期間中の利用希望については、「利用する予定はない」が 51.9%と最も高く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」が 35.2%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 13.0%となっています。

問17. 長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか

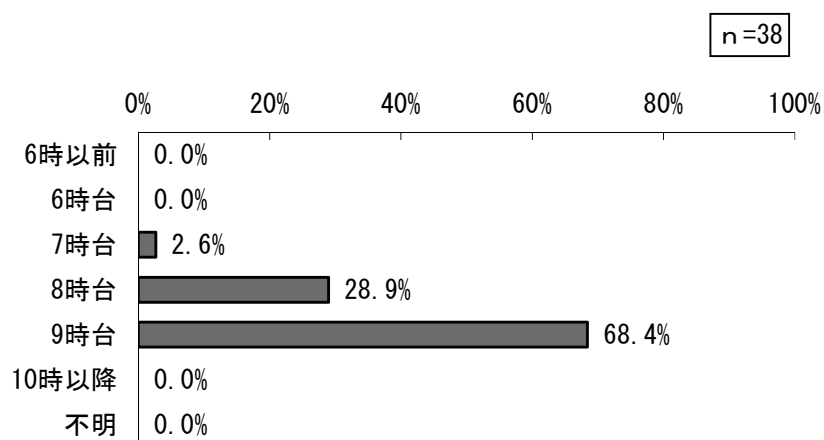
n=54



【開始時間】

利用したい時間帯（開始時間）については、「9 時台」が 68.4%と最も高く、次いで「8 時台」が 28.9%、「7 時台」が 2.6%となっています。

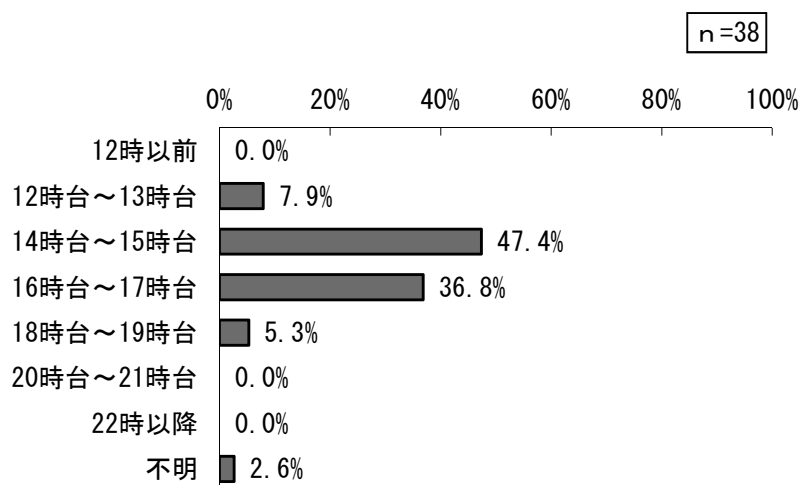
問17. 利用したい時間帯（時から）



【終了時間】

利用したい時間帯（終了時間）については、「14 時台～15 時台」が 47.4%と最も高く、次いで「16 時台～17 時台」が 36.8%となっています。

問17. 利用したい時間帯（時まで）



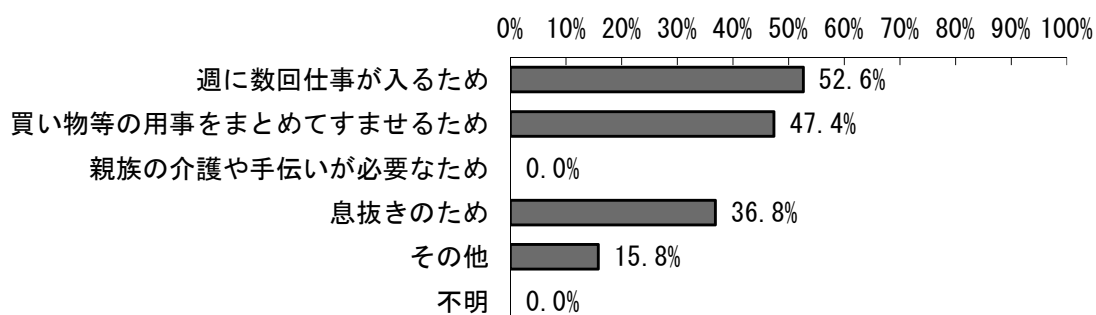
(17-1) たまに利用したい理由

問 17-1 問 17 で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

毎日ではなくたまに利用したい理由については、「週に数回仕事が入るため」が 52.6%と最も高く、次いで「買い物等の用事をまとめてすませるため」が 47.4%、「息抜きのため」が 36.8%となっています。

問17-1. 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか

n=19



●その他

祖父母に預けているので負担をかけすぎないように／通院のため など

H. 病気やケガの際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）

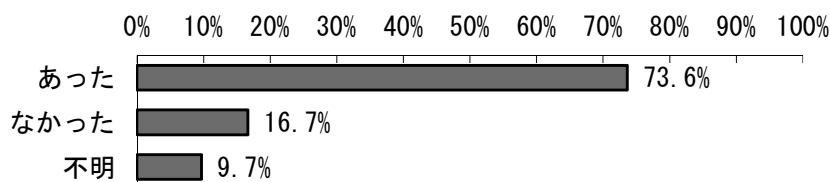
(18) 病気やケガを理由に定期的な教育・保育事業を利用できなかったことの有無

問 18 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 11 で「1」に○をつけた方）にうかがいます。この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。「1」「2」いずれかに○をつけてください。

子どもが病気やケガで平日の教育・保育事業が利用できなかったことの有無について、「あった」が73.6%、「なかった」が16.7%となっています。

問18. お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか

n=258



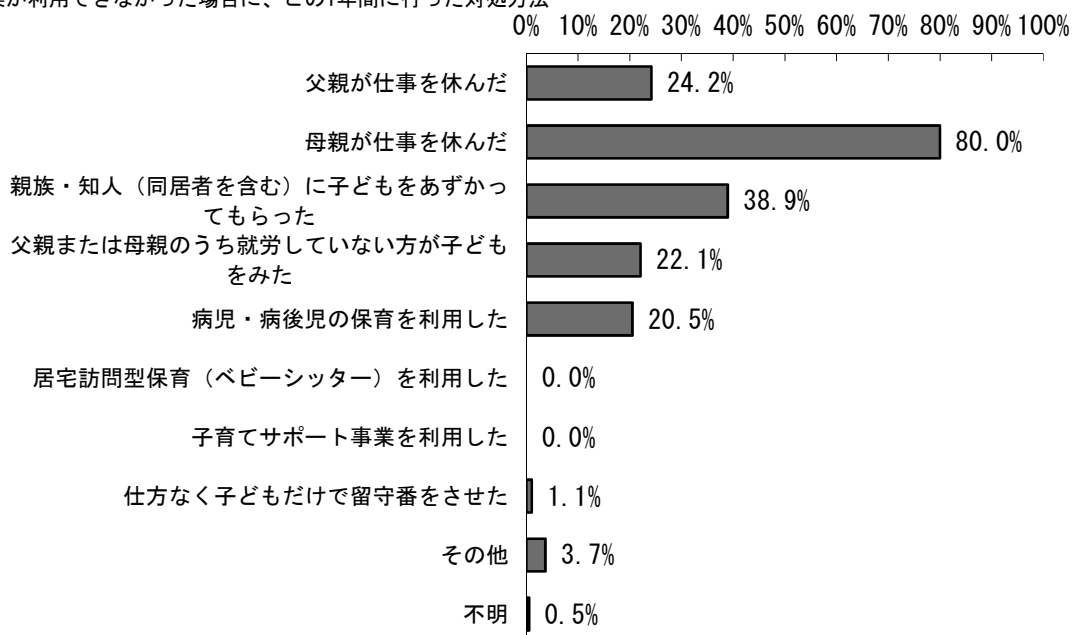
(18-1) 病気やケガを理由に定期的な教育・保育事業を利用できなかったときの対処方法

問 18-1 あて名のお子さんが病気やケガでふだん利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も[]内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）

子どもが病気やケガでふだん利用している教育・保育事業が利用できなかったときの対処方法については、「母親が仕事を休んだ」が80.0%と最も高く、次いで「親族・知人（同居者を含む）に子どもをあずかってもらった」が38.9%、「父親が仕事を休んだ」が24.2%、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が22.1%となっています。

問18-1. お子さんが病気やケガでふだん利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法

n=190



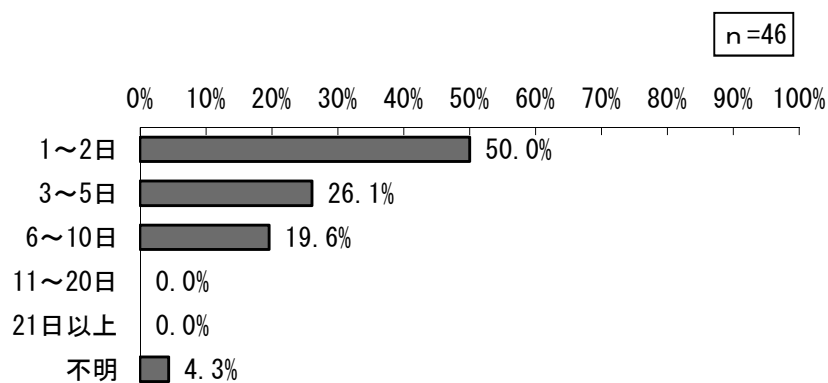
●その他

母親が職場と一緒に連れていった／家庭保育をした など

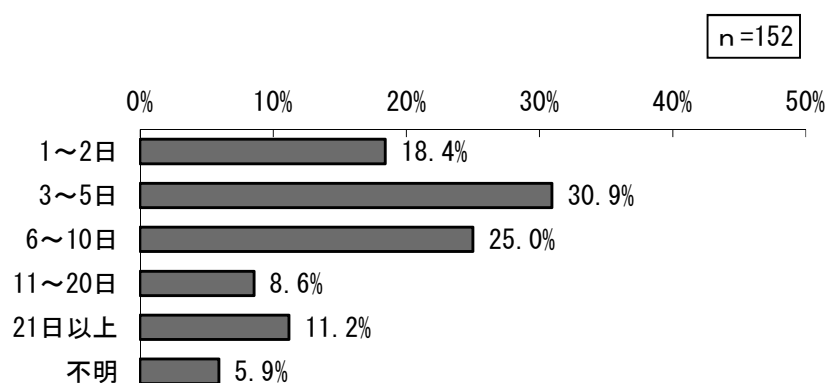
【1年間の対処日数】

子どもが病気やケガでふだん利用している教育・保育事業が利用できなかったときの、1年間に対処した日数を対処方法別にみると、「父親が仕事を休んだ」は「1～2日」が50.0%であるのに対して、「母親が仕事を休んだ」では「3～5日」が30.9%と最も高く、次いで「6～10日」が25.0%、さらに「21日以上」が11.2%となっています。

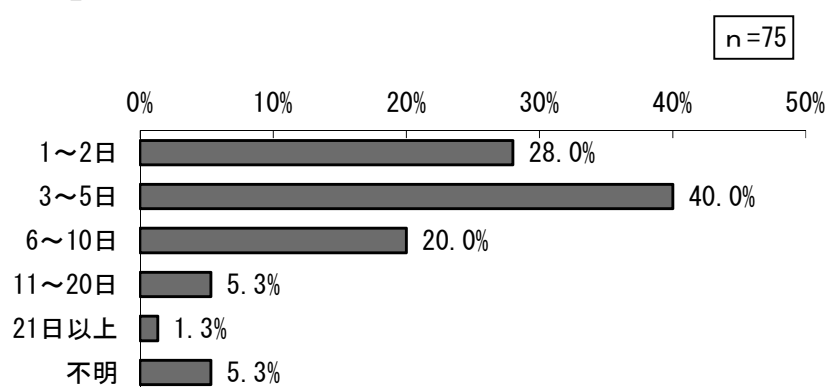
問18-1_1. 父親が仕事を休んだ日数



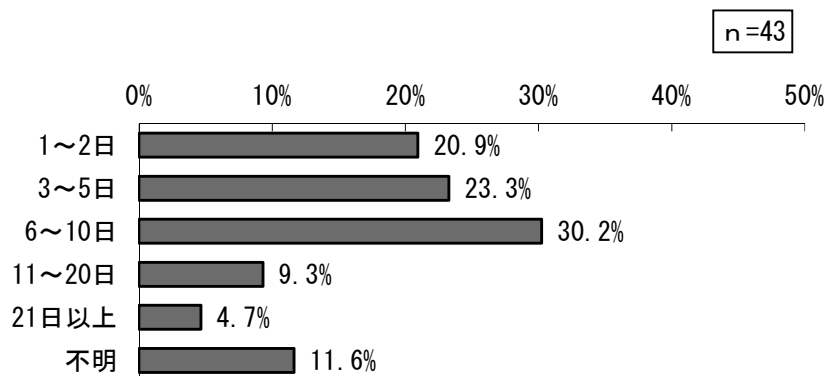
問18-1_2. 母親が仕事を休んだ日数



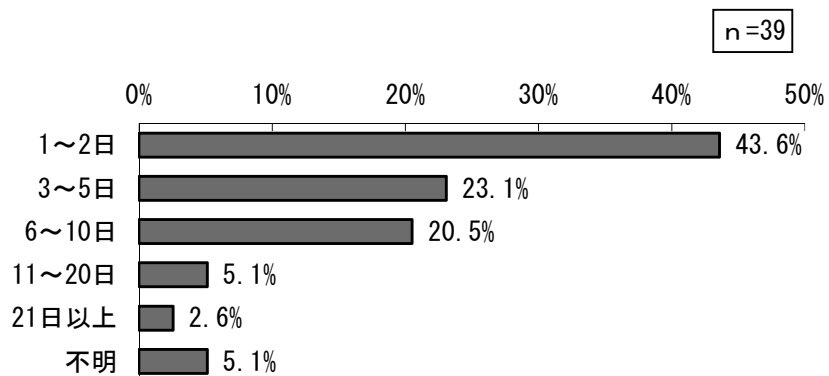
問18-1_3. 親族・知人（同居者を含む）に子どもをあずかってもらった日数



問18-1_4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた日数

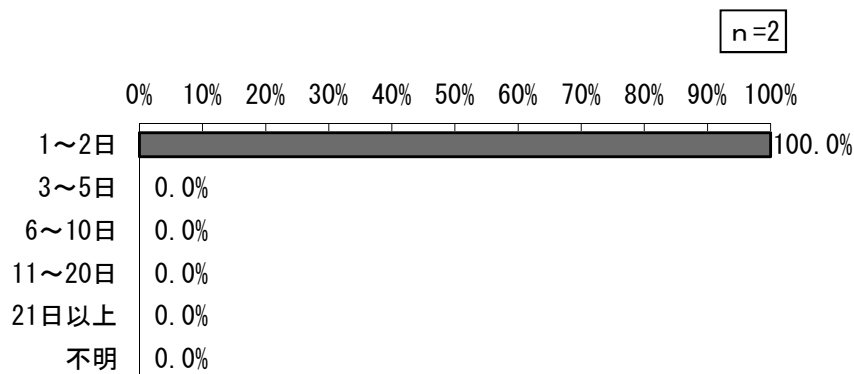


問18-1_5. 病児・病後児の保育を利用した日数

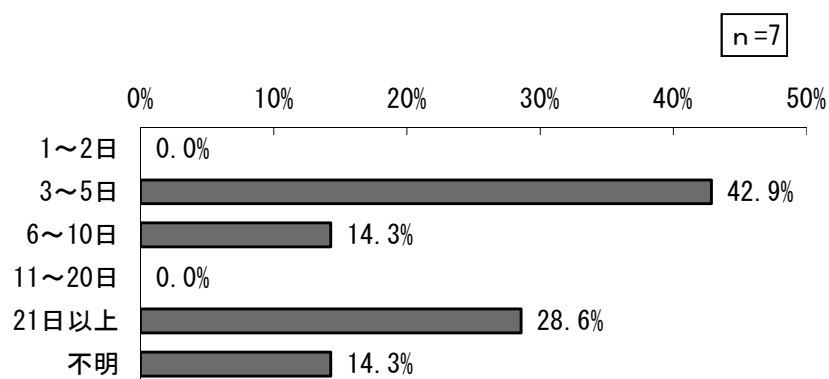


※ 「6. 居宅訪問型保育（ベビーシッター）を利用した」と 「7. 子育てサポート事業を利用した」は該当者がいませんでした。

問18-1_8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数



問18-1_9. その他の日数



	対処日数 (平均)
父親が仕事を休んだ	3.6日
母親が仕事を休んだ	9.6日
親族・知人 (同居者を含む) に子どもをあずかってもらった	5.5日
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	7.7日
病児・病後児の保育を利用した	5.0日
居宅訪問型保育 (ベビーシッター) を利用した	-
子育てサポート事業を利用した	-
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1.0日
その他	16.7日

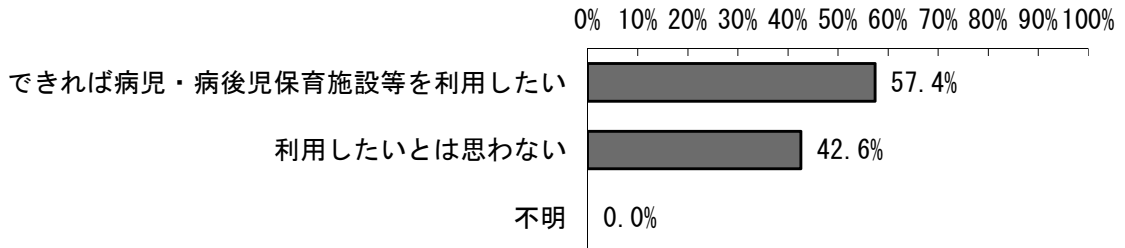
(18-2) 病児・病後児保育の利用希望

問 18-2 問 18-1 で「1」「2」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても[]内に数字でご記入ください。

病児・病後児保育施設等の利用意向について、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が57.4%、「利用したいとは思わない」が42.6%となっています。

問18-2. その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか

n=155

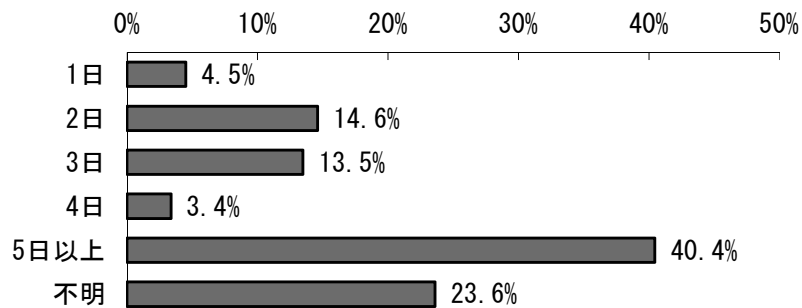


【利用したい日数】

病児・病後児保育施設等を1年間に利用したい日数は、「5日以上」が40.4%と最も高く、次いで「2日」が14.6%、「3日」が13.5%となっています。

問18-2. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数

n=89

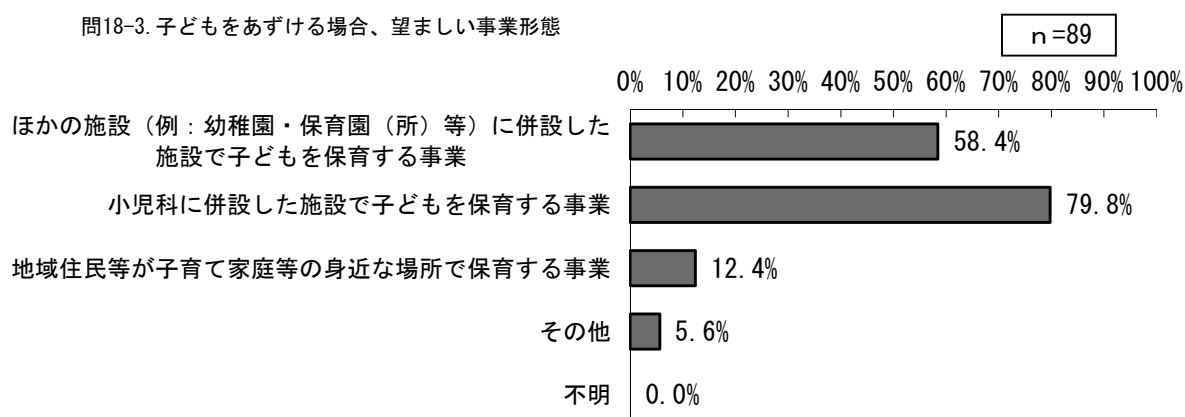


	対処日数 (平均)
できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	5.3日

(18-3) 病児・病後児保育を利用する際に希望する事業形態

問 18-3 問 18-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方
 にかがいます。上記の目的で子どもをあずける場合、下記のいずれの事業形態が望
 ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

病児・病後児保育施設等に子どもをあずける場合、望ましい事業形態は、「小児科に併設した
 施設で子どもを保育する事業」が79.8%と最も高く、次いで「ほかの施設（例：幼稚園・保育
 園（所）等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が58.4%、「地域住民等が子育て家庭等
 の身近な場所で保育する事業」が12.4%となっています。



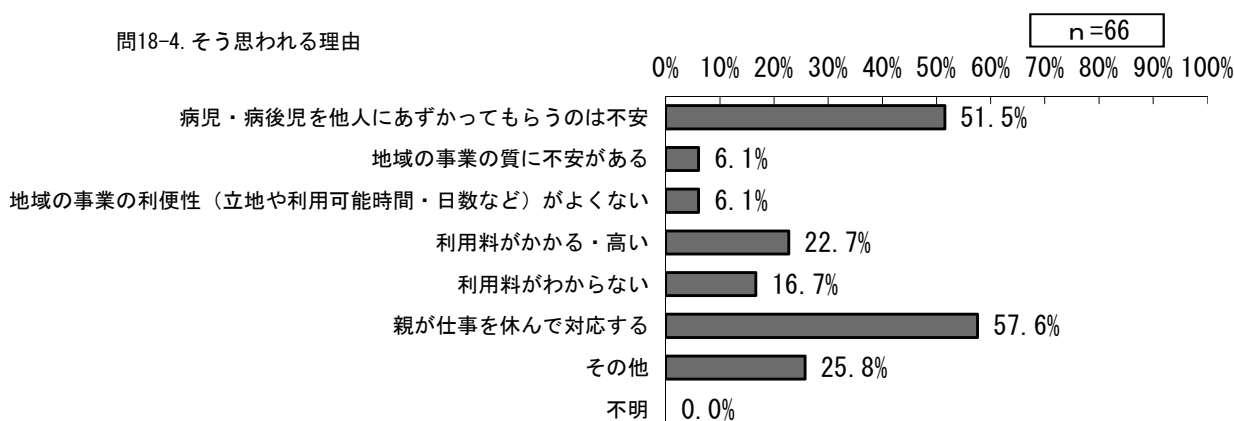
●その他

今通っている施設で子どもを預かってくれること。※同様の意見が複数

(18-4) 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由

問 18-4 問 18-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にかがいます。そう
 思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は、「親が仕事を休んで対応する」が
 57.6%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人にあずかってもらうのは不安」が51.5%、「利
 用料がかかる・高い」が22.7%となっています。



●その他

母親は仕事をしていないので／祖母に預けるから／今は仕事をしていないので利用する必
 要がない／具合が悪い時くらい甘えさせてあげたい／子供のそばにいたい／子供が場所見
 知りして休まらない／申込が面倒／他の感染症をもらってくるのが嫌／隔離や看護が徹底
 しているとは思えない

(18-5) 父母のいずれかが仕事を休みたいと思ったか

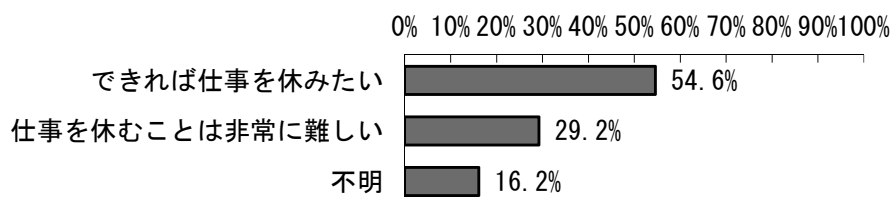
問 18-5 問 18-1 で「3」から「8」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休みたい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、「3」から「8」の日数のうち仕事を休みたかった日数についても数字でご記入ください。

仕事を休まなかった人に、その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休みたい」と思ったか聞いたところ、54.6%が「できれば仕事を休みたい」と思ったと回答しています。「仕事を休むことは非常に難しい」が29.2%となっています。

また、「仕事を休みたかった日数」については、「5日以上」が33.8%と最も高く、次いで「3日」が22.5%、「1日」が15.5%となっています。

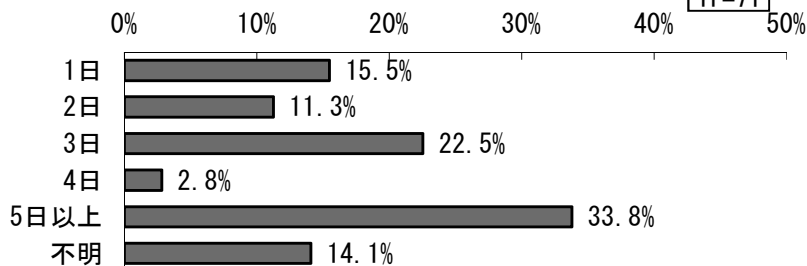
問18-5. その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休みたい」と思われましたか

n=130



問18-5. できれば仕事を休みたい日数

n=71



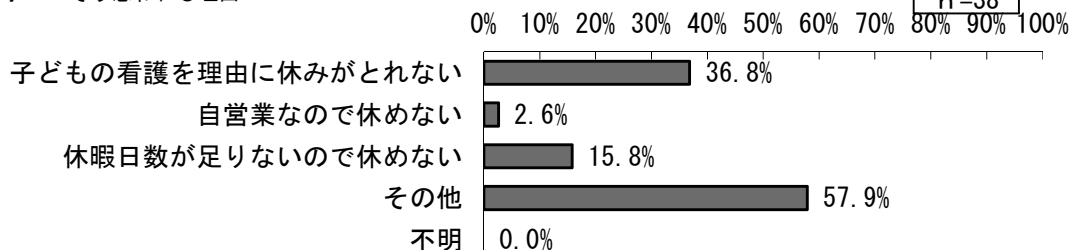
(18-6) 仕事を休むことが難しい理由

問 18-6 問 18-5 で「2. 仕事を休むことは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「仕事を休むことは非常に難しい」と思う理由は、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が36.8%と最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」が15.8%となっています。

問18-6. そう思われる理由

n=38



●その他

人手不足で普段の休みも取れてないから／育児も大切だが仕事も大切だから毎回は休みたくない／長い日数は休めない／時給のため給料が低くなる／仕事の予定があると急には休めない（営業なので）／給料が減り生活が苦しくなる／母親が仕事をしておらず、看護ができるので父親が仕事を休む必要がない

I. 不規則の教育・保育事業や宿泊を伴う一時あずかり等の利用について

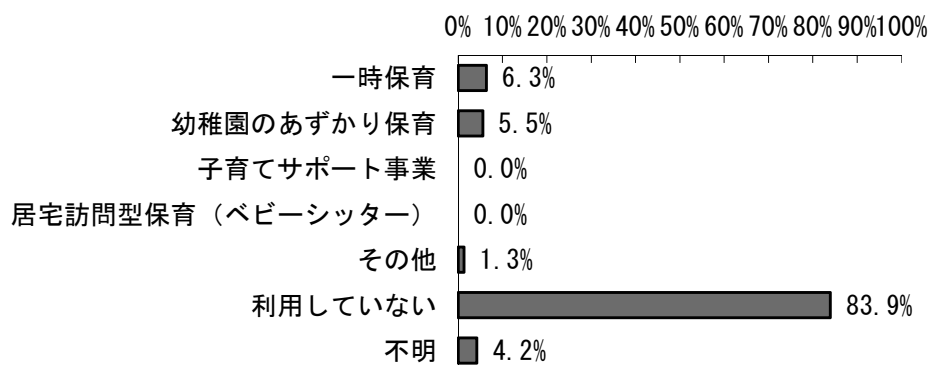
(19) 通院や不規則の就労等を目的とした不規則に利用している事業の有無

問 19 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も[]内に数字でご記入ください。

不規則の教育・保育事業の利用状況については、「利用していない」が83.9%と最も高く、次いで「一時保育」が6.3%、「幼稚園のあずかり保育」が5.5%となっています。

問19. 私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用している事業はありますか

n=379



●その他

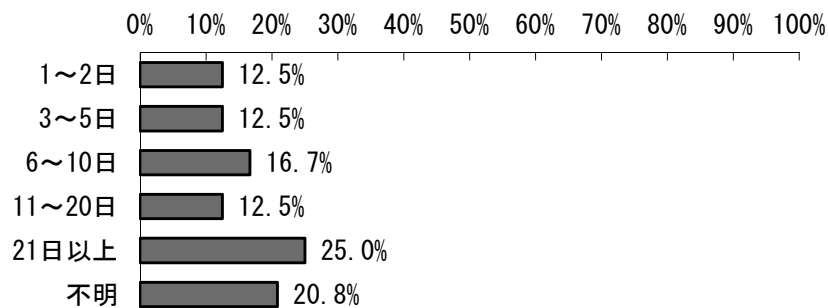
認可外託児所／保育園に通っている／幼稚園2号のため／日曜保育 など

【1年間の利用日数】

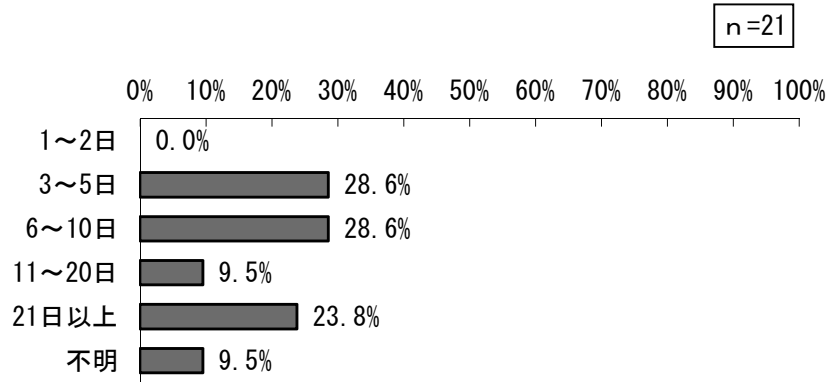
不規則の教育・保育事業を1年間に利用した日数は、「一時保育」では「21日以上」が25.0%と最も高く、「幼稚園のあずかり保育」では「3～5日」と「6～10日」が同率の28.6%で最も高くなっています。

問19_1. 一時保育の日数

n=24

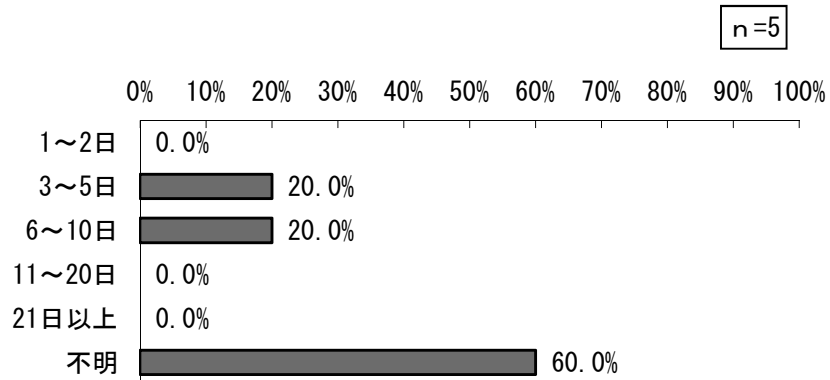


問19_2. 幼稚園のあずかり保育の日数



※「3. 子育てサポート事業」と「4. 居宅訪問型保育（ベビーシッター）」は該当者がいませんでした。

問19_5. その他の日数



※サンプル数が少ない事に留意する必要があります。

	利用日数（平均）
一時保育	16.7日
幼稚園のあずかり保育	20.4日
子育てサポート事業	-
居宅訪問型保育（ベビーシッター）	-
その他	7.5日

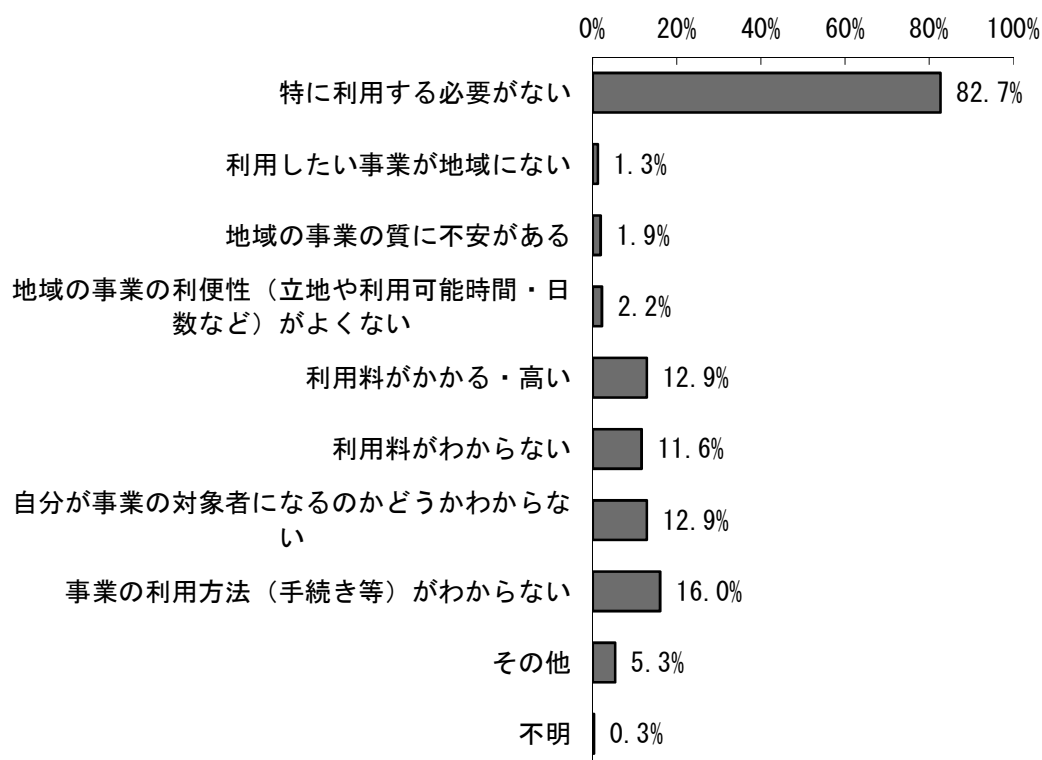
(19-1) 不定期に事業を利用していない理由

問 19-1 問 19 で「6. 利用していない」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

不定期の教育・保育事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が 82.7%と最も高く 8 割を超えています。以下は「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が 16.0%、「利用料がかかる・高い」と「自分が事業の対象者になるのかどうかわからない」が同率の 12.9%、「利用料がわからない」が 11.6%などとなっています。

問19-1. 現在利用していない理由

n=318



●その他

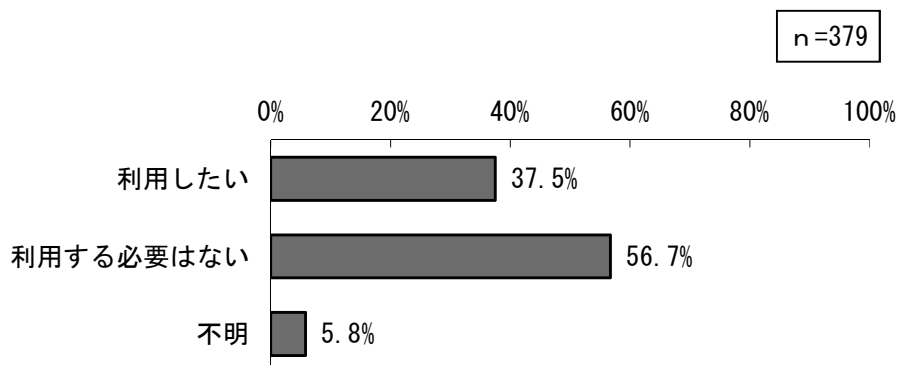
まだ1歳未満で利用できない／子どもが人見知りする年頃なので、慣れてない人にいきなり預けられない／里親サポート制度がある為／時間帯が合わない／予防接種を全て受けなければ利用できないが全ては受けさせたくない／私用で預ける罪悪感／障害児を受け入れてくれるかわからない など

(20) 不規則な事業の利用希望の有無と希望利用日数

問 20 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について、あてはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を[]内に数字でご記入ください。

不規則の教育・保育事業の利用希望については、「利用したい」が37.5%、「利用する必要はない」が56.7%となっています。

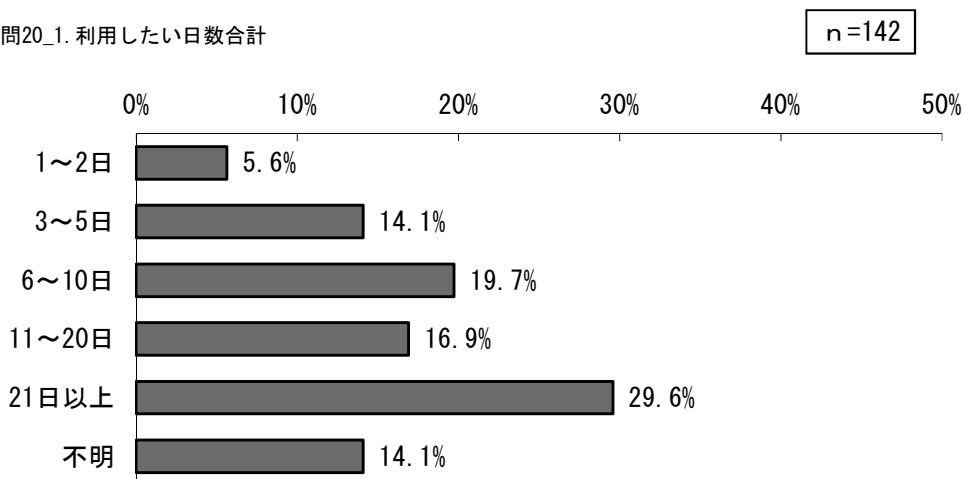
問20. 私用、親の通院、不規則の就労等の目的で、年間何日くらい事業の利用希望



【1年間の利用希望日数】

不規則の教育・保育事業を1年間に利用したい日数の合計は、「21日以上」が29.6%と最も高く、次いで「6～10日」が19.7%、「11～20日」が16.9%となっています。

問20_1. 利用したい日数合計

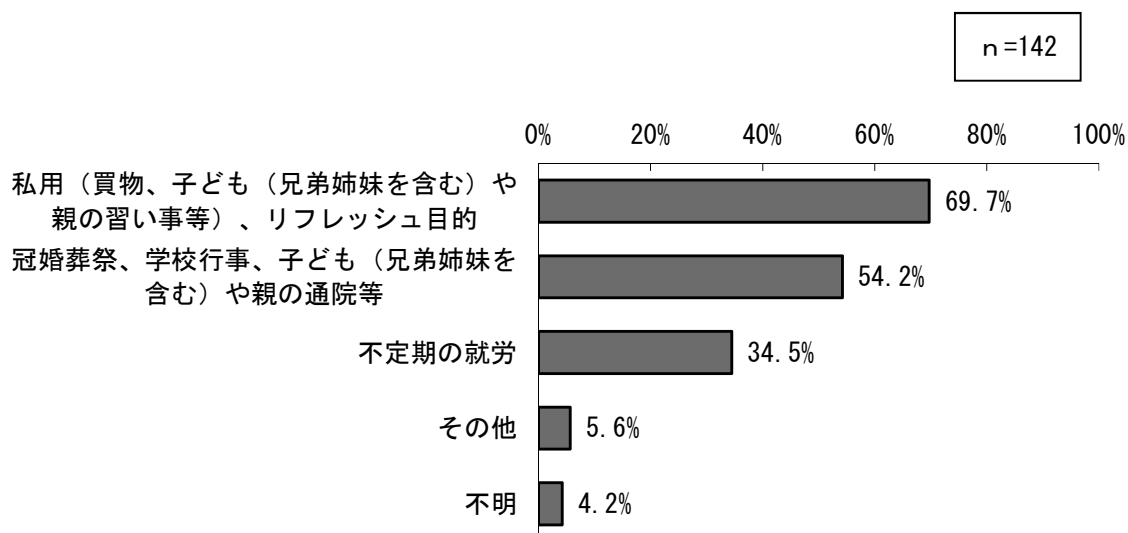


	利用日数 (平均)
利用したい	25.9日

【利用目的】

不定期の教育・保育事業の利用目的は、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が69.7%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が54.2%となっています。

問20_1. 目的別の内訳



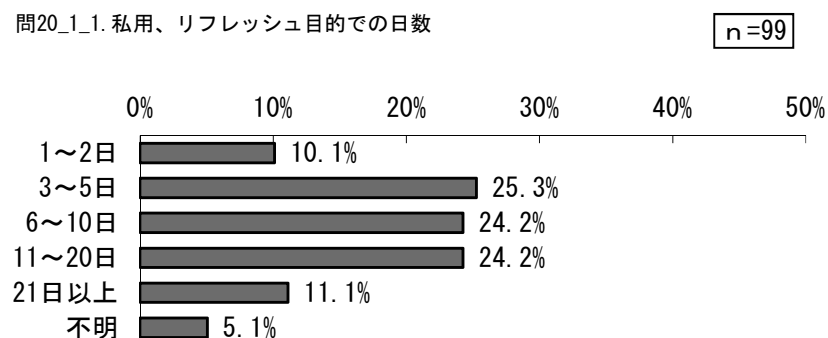
●その他

就労のため冬季間のみ／保育園に通っている／自身の病院の為／兄弟の学校の用事／正月明け4日～の仕事／就労中、祖父母に預かってもらってるが、祖父母の突然の私用等で預かれない・・・という時など

【利用目的別の利用希望日数】

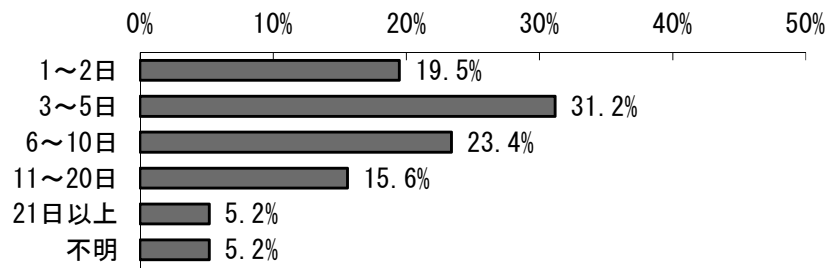
不定期の教育・保育事業を1年間に利用したい日数を、利用目的別にみると、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の「3～5日」が31.2%と最も高くなっています。

問20_1_1. 私用、リフレッシュ目的での日数



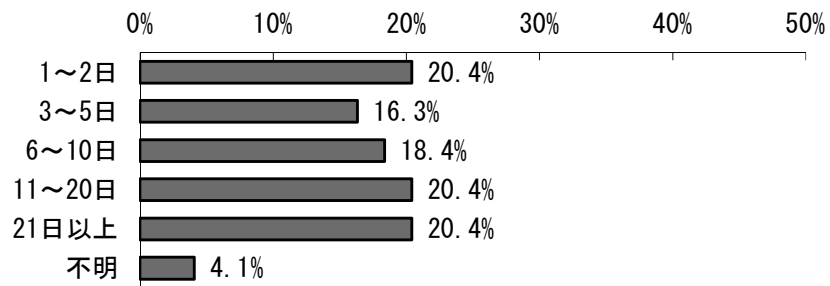
問20_1_2. 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等の日数

n=77



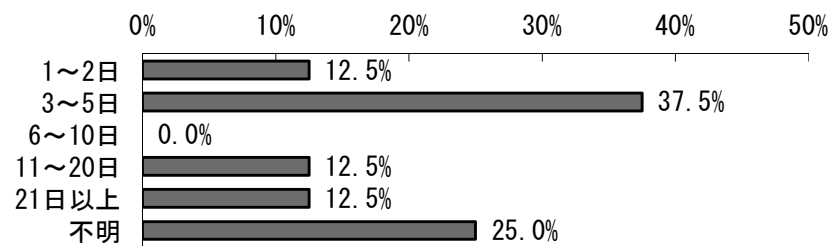
問20_1_3. 不定期の就労の日数

n=49



問20_1_4. その他の日数

n=8



	利用日数 (平均)
私用・リフレッシュ目的	11.4日
冠婚葬祭・学校行事、子どもや親の通院等	8.5日
不定期の就労	29.0日
その他	9.2日

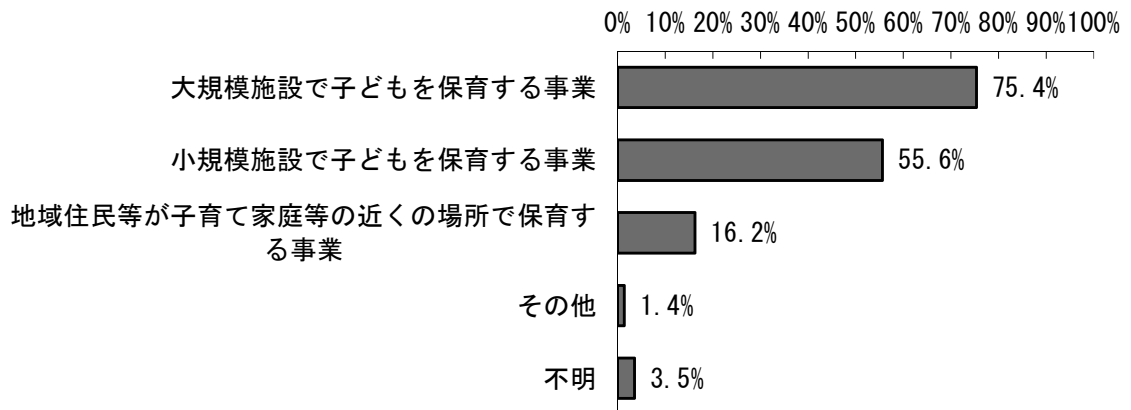
(20-1) 不規則な事業を利用する際に希望する事業形態

問 20-1 問 20 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 20 の目的でお子さんをあずける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

不規則の教育・保育事業を利用する際に望ましい事業形態は、「大規模施設で子どもを保育する事業」が 75.4%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」が 55.6%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」が 16.2%となっています。

問20-1. お子さんをあずける場合の望ましい事業形態

n=142



●その他

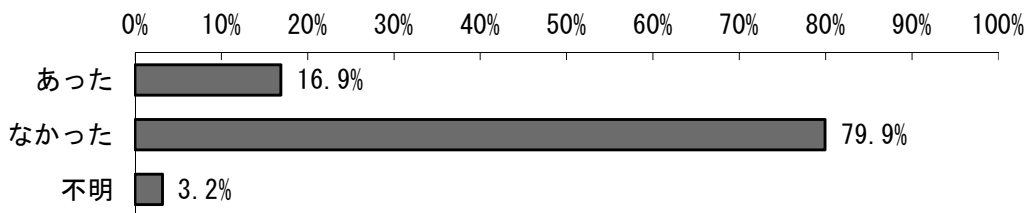
利便性があれば、どれでもいい／スーパー、デパートの店舗内や併設、小児科付

(21) お子さんを泊りがけで家族以外に預けた経験の有無

問 21 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にあずかってもらわなければならないことはありましたか（あずけ先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も[]内に数字でご記入ください。

この1年間に子どもを泊りがけで家族以外にあずけなければならないことの有無について、「あった」が16.9%、「なかった」が79.9%となっています。

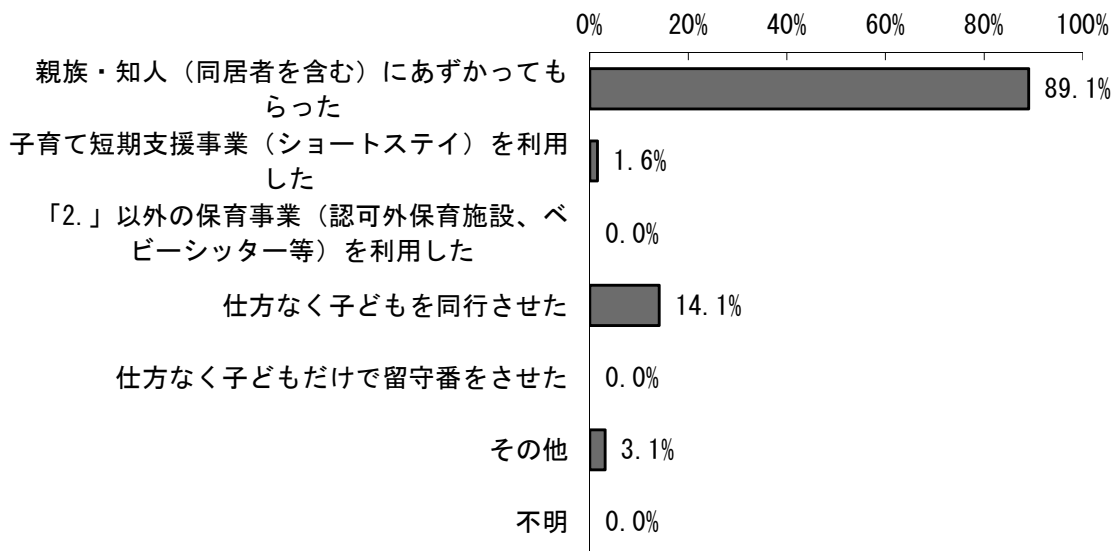
問21. お子さんを泊りがけで家族以外にあずかってもらわなければならないことはありましたか n=379



【対処方法】

子どもを泊りがけで家族以外にあずけなければならない場合の、この1年間の対処方法は、「親族・知人（同居者を含む）にあずかってもらった」が89.1%と最も高く、9割近くにのぼります。次いで「仕方なく子どもを同行させた」が14.1%となっています。

問21_1. 1年間の対処方法 n=64

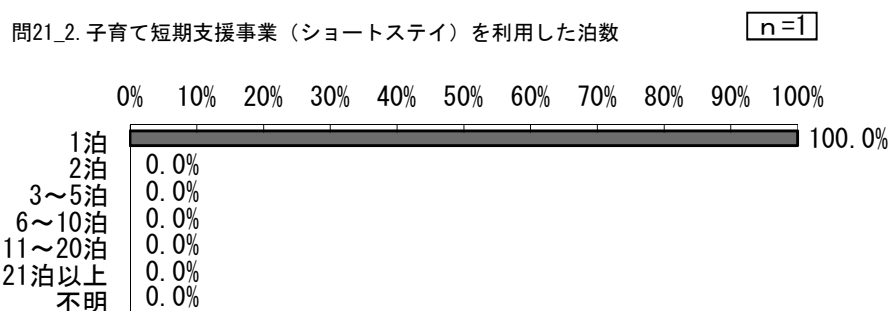
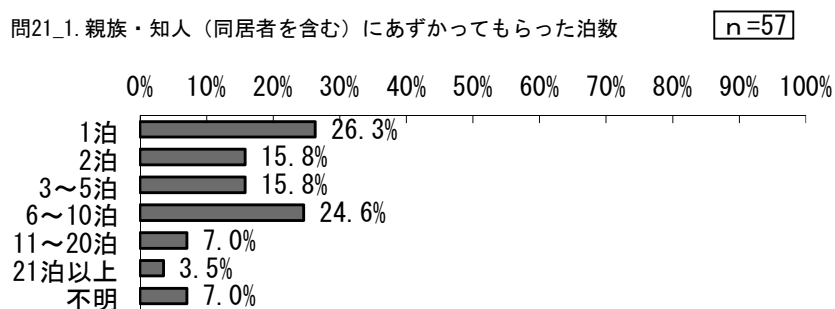


●その他

他の里親に預かってもらった／仕方なく用事をあきらめた

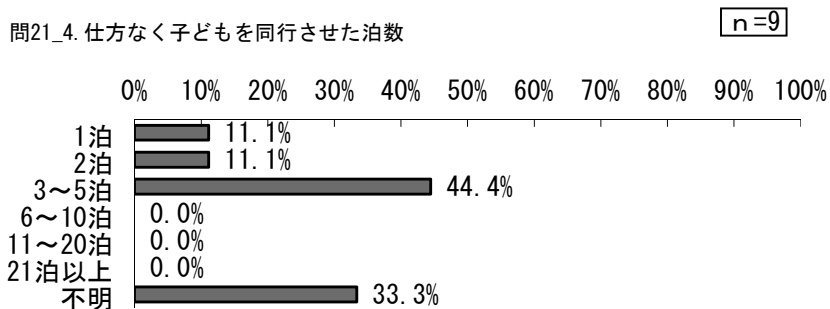
【1年間の対処日数】

子どもを泊りがけであずけなければならなかった日数を対処方法別にみると、「親族・知人（同居者を含む）にあずかってもらった」では「1泊」が26.3%と最も高く、次いで「6～10泊」が24.6%となっています。

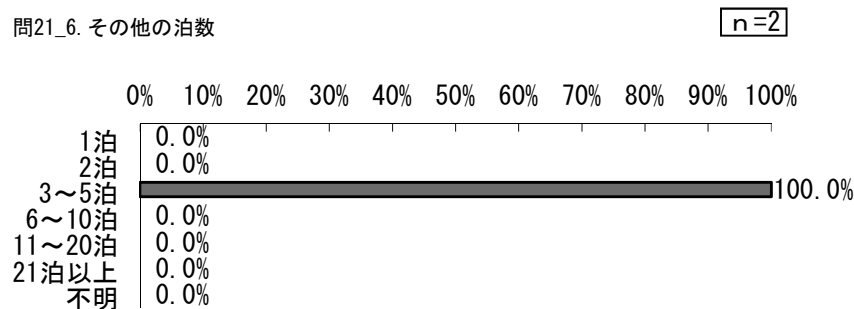


※サンプル数が少ない事に留意する必要があります。

※「3. 「2.」以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した」は該当者がいませんでした。



※「5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」は該当者がいませんでした。



※サンプル数が少ない事に留意する必要があります。

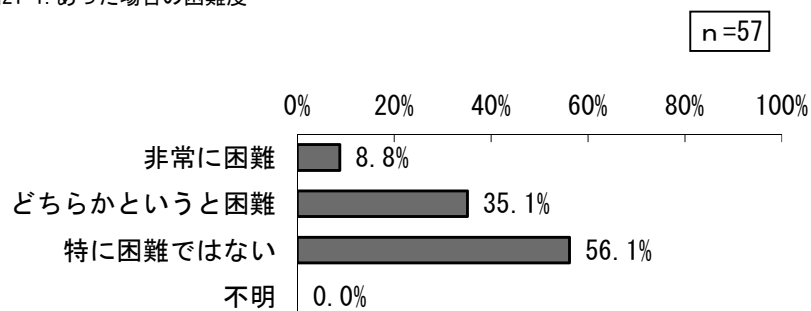
	対処日数（平均）
親族・知人（同居者を含む）にあずかってもらった	5.9日
子育て短期支援事業（ショートステイ）を利用した	1.0日
その他の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	-
仕方なく子どもを同行させた	3.0日
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	-
その他	4.0日

(21-1) 親族・知人にお子さんを預ける困難度

問 21-1 問 21 で「1. あった 1. 親族・知人（同居者を含む）にあずかってもらった」と答えた方にうかがいます（⇒1. 以外を選択した方は問 22 へ）。その場合の困難度はどの程度でしたか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

親族・知人（同居者を含む）にあずかってもらった場合の困難度は、「特に困難ではない」が 56.1%と最も高く、次いで「どちらかというと困難」が 35.1%、「非常に困難」が 8.8%となっています。

問21-1. あった場合の困難度



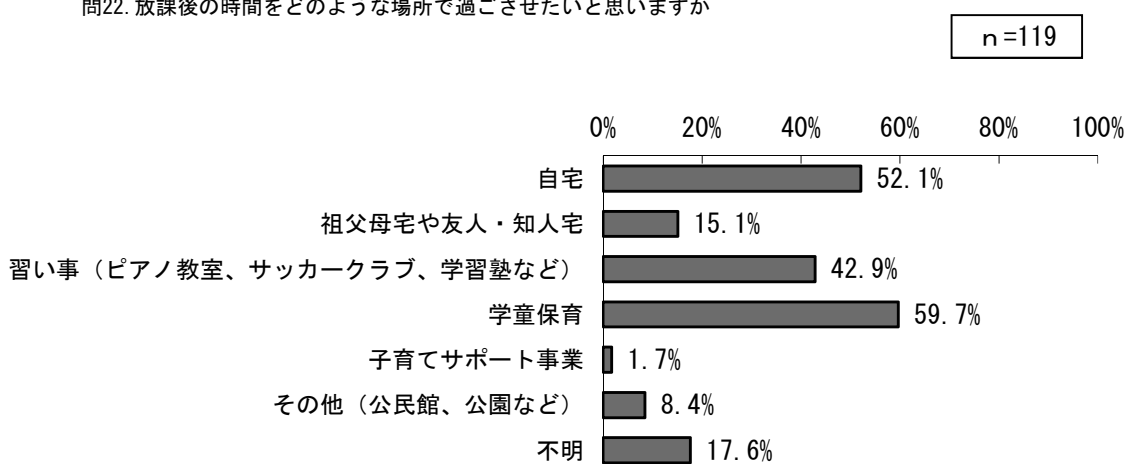
J. 5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について

(22) 小学校入学後の放課後の過ごし方

問 22 あて名のお子さんが小学校に入学した後、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。低学年と高学年、それぞれの期間についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。（現在、お持ちのイメージでお答えください。）また、利用を希望する日数（学童保育の場合は利用希望時間も）を[]内に数字でご記入ください。

子どもが小学校に入学した後、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思うかについては、「学童保育」が59.7%と最も高く、次いで「自宅」が52.1%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が42.9%となっています。

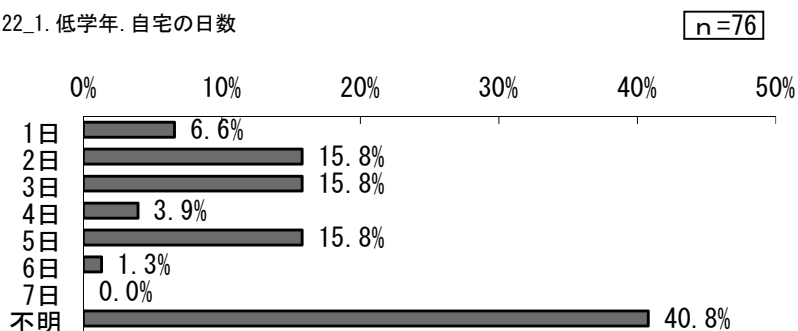
問22. 放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか



【週当たり日数（低学年）】

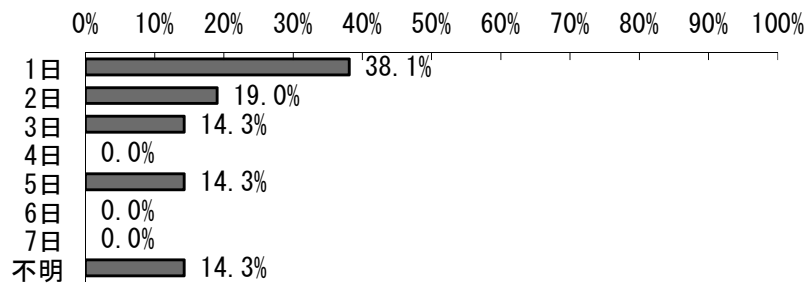
小学校低学年期間に放課後の時間を週何日どこで過ごさせたいか、場所別にみると、その他を除くと「学童保育」の「5日」が63.2%と最も高くなっています。

問22_1. 低学年. 自宅の日数



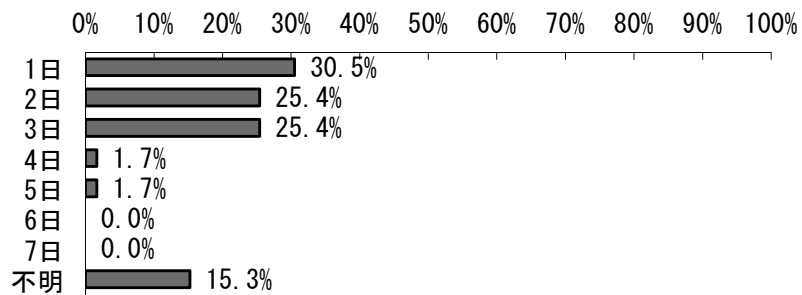
問22_2. 低学年. 祖父母宅や友人・知人宅の日数

n=21



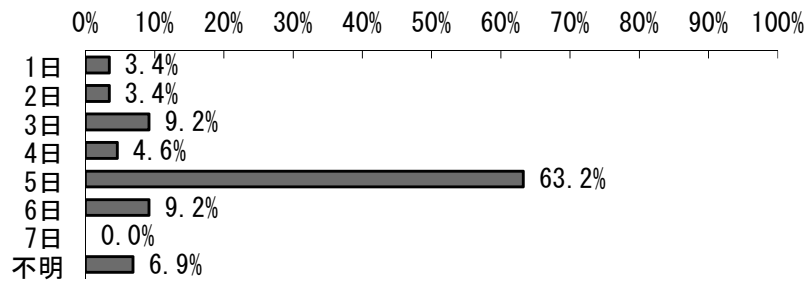
問22_3. 低学年. 習い事の日数

n=59



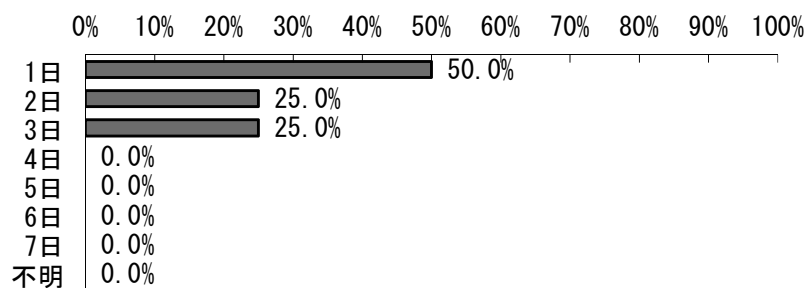
問22_4. 低学年. 学童保育の日数

n=87



問22_5. 低学年. 子育てサポート事業の日数

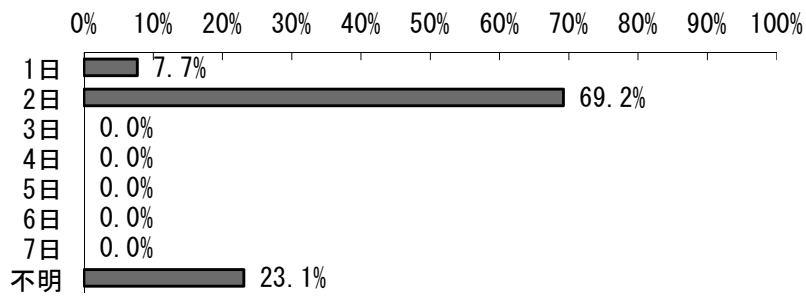
n=4



※サンプル数が少ない事に留意する必要があります。

問22_6. 低学年. その他の日数

n=13



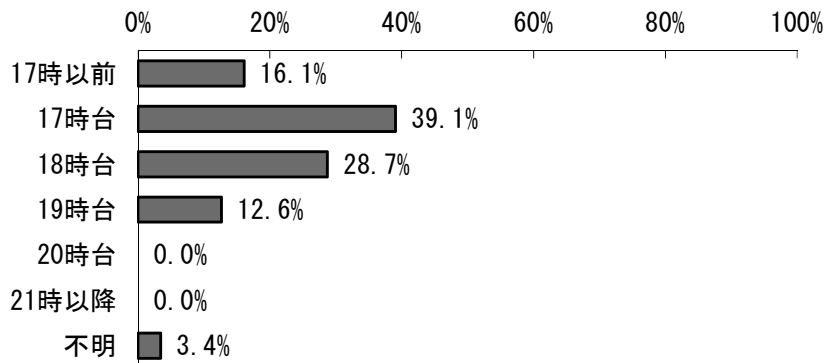
	週当たり日数 (平均)		週当たり日数 (平均)
自宅	3.2日	学童保育	4.8日
祖父母宅や友人・知人宅	2.2日	子育てサポート事業	1.8日
習い事	2.0日	その他	1.9日

【終了時間】

小学校低学年期間、学童保育で過ごさせたい場合、希望する終了時間は、「17時台」が39.1%と最も高く、次いで「18時台」が28.7%となっています。

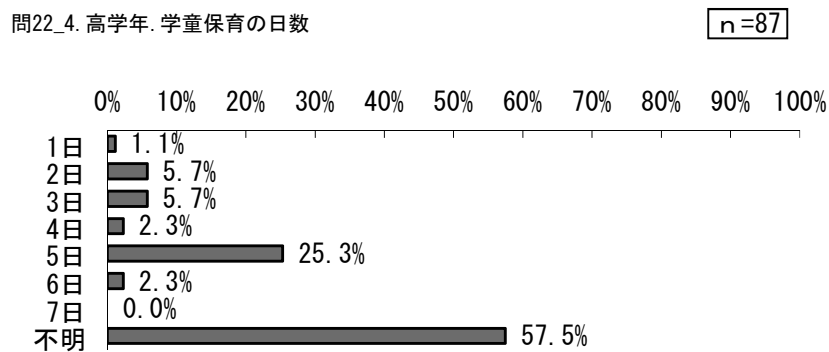
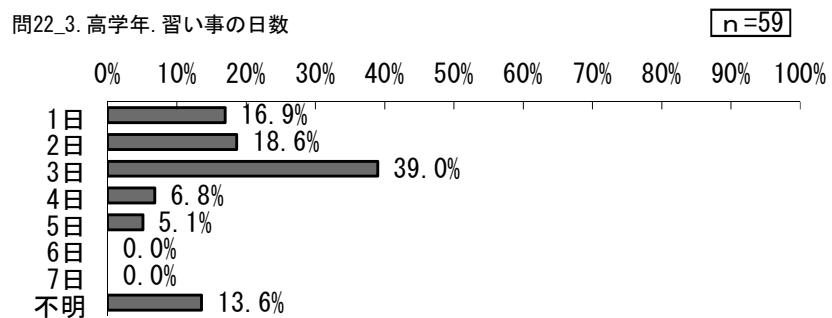
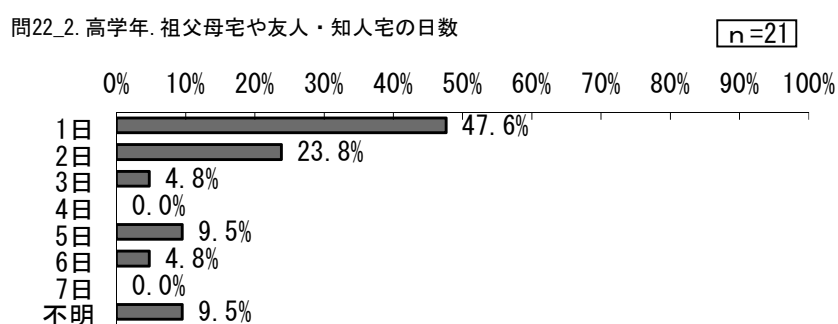
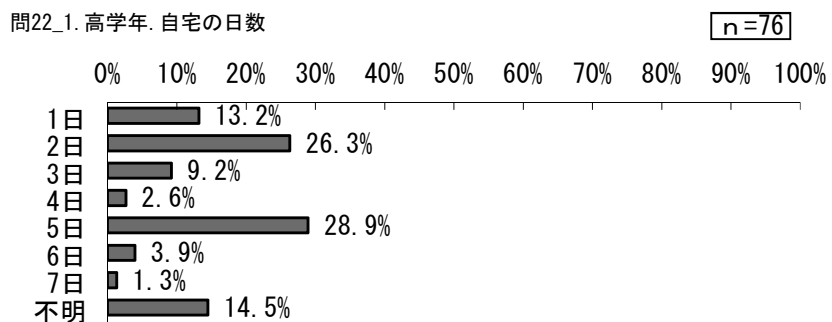
問22_4. 低学年. 学童保育の下校時から何時まで

n=87



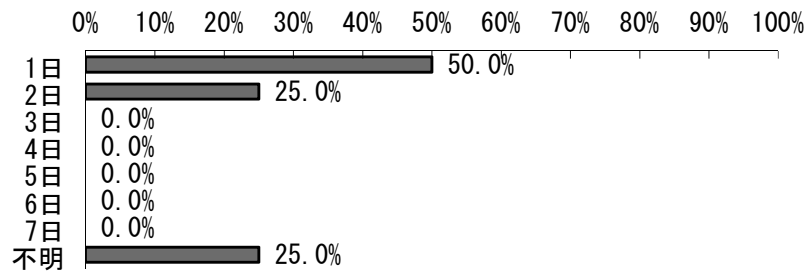
【週当たり日数（高学年）】

小学校高学年期間に放課後の時間を週何日どこで過ごさせたいか、場所別にみると、低学年では高い割合を示している「学童保育」の「5日」は25.3%に下がっていることが分かります。



問22_5. 高学年. 子育てサポート事業の日数

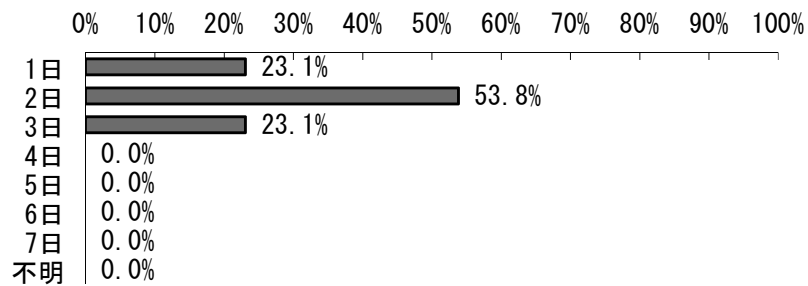
n=4



※サンプル数が少ない事に留意する必要があります。

問22_6. 高学年. その他の日数

n=13



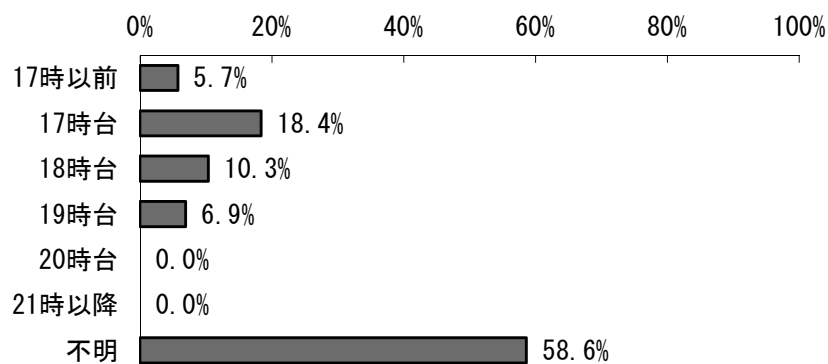
	週あたり日数 (平均)		週あたり日数 (平均)
自宅	3.3日	学童保育	4.2日
祖父母宅や友人・知人宅	2.1日	子育てサポート事業	1.3日
習い事	2.6日	その他	2.0日

【終了時間】

小学校高学年期間、学童保育で過ごさせたい場合、希望する終了時間は、「17時台」が18.4%と最も高く、次いで「18時台」が10.3%となっています。

問22_4. 高学年. 学童保育の下校時から何時まで

n=87



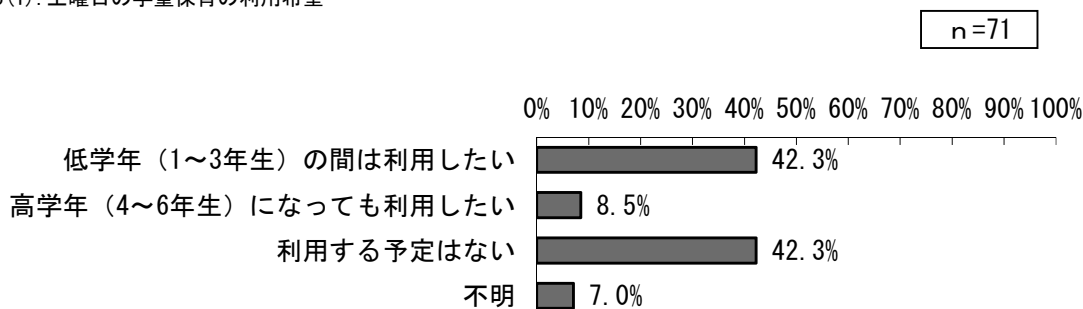
(23) 土曜日・日曜日・祝日における学童保育の利用希望

問 23 問 22 で「4. 学童保育」に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。以下の(1)(2)それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を[]内に(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。

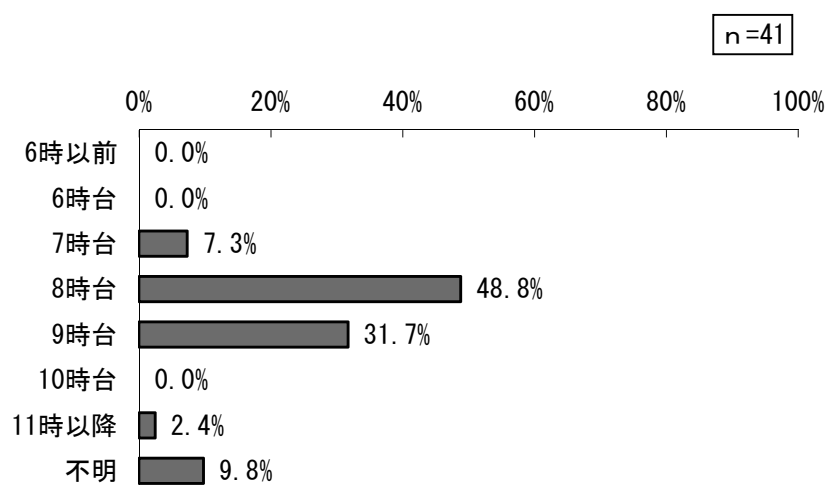
土曜日に学童保育の利用を希望するかについては、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」と「利用する予定はない」が同率の42.3%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が8.5%となっています。

また、利用したい時間帯の、開始時間は「8時台」が48.8%、終了時間は「15時台～17時台」が51.2%とそれぞれ最も高くなっています。

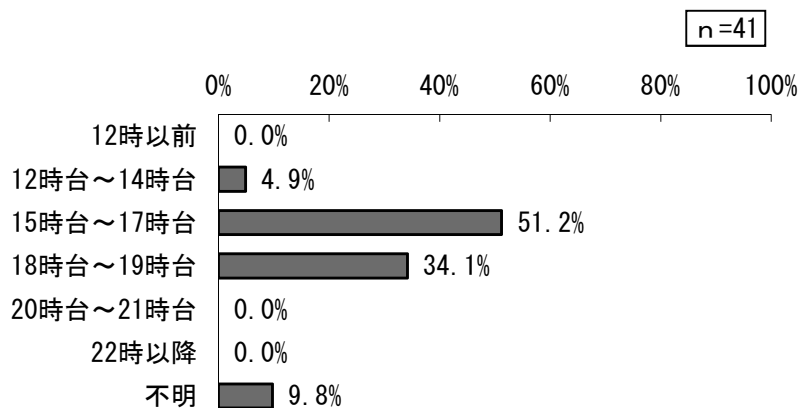
問23(1). 土曜日の学童保育の利用希望



問23(1). 利用したい時間帯(時から)



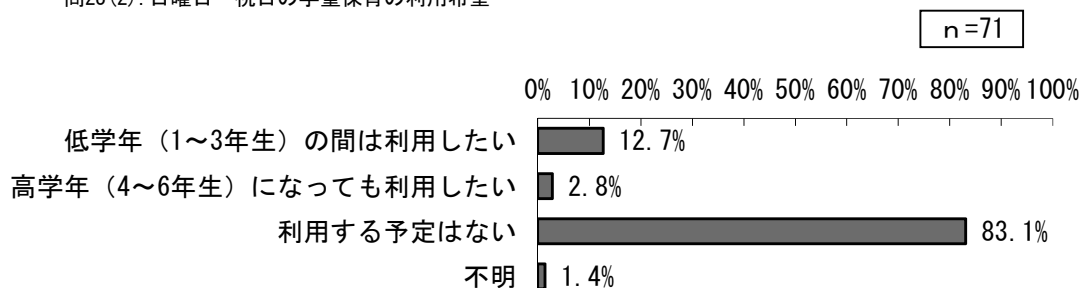
問23(1). 利用したい時間帯(時まで)



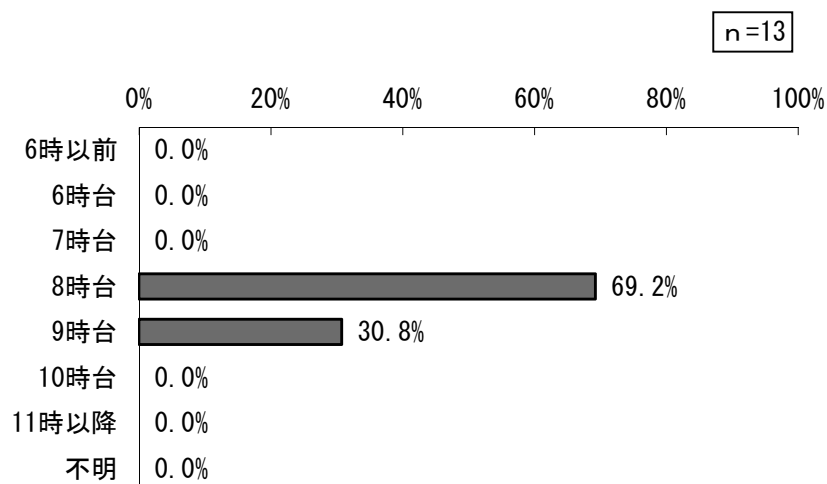
日曜日・祝日に学童保育の利用を希望するかについては、「利用する予定はない」が 83.1%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が 12.7%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 2.8%となっています。

また、利用したい時間帯の、開始時間は「8時台」が 69.2%、終了時間は「15時台～17時台」が 61.5%とそれぞれ最も高くなっています。

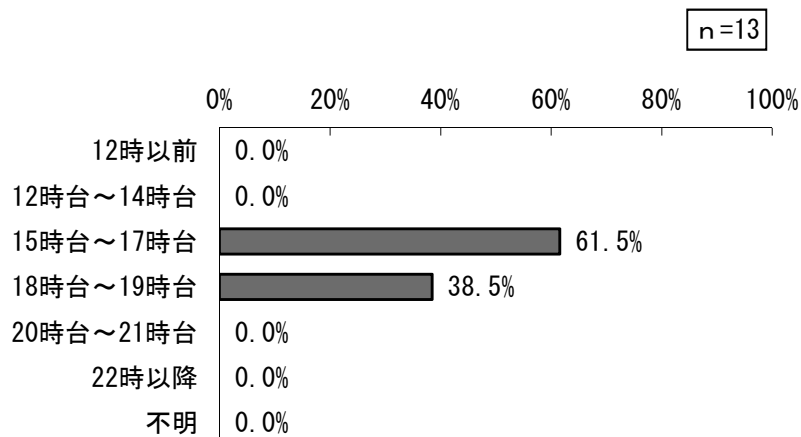
問23(2). 日曜日・祝日の学童保育の利用希望



問23(2). 利用したい時間帯（時から）



問23(2). 利用したい時間帯（時まで）



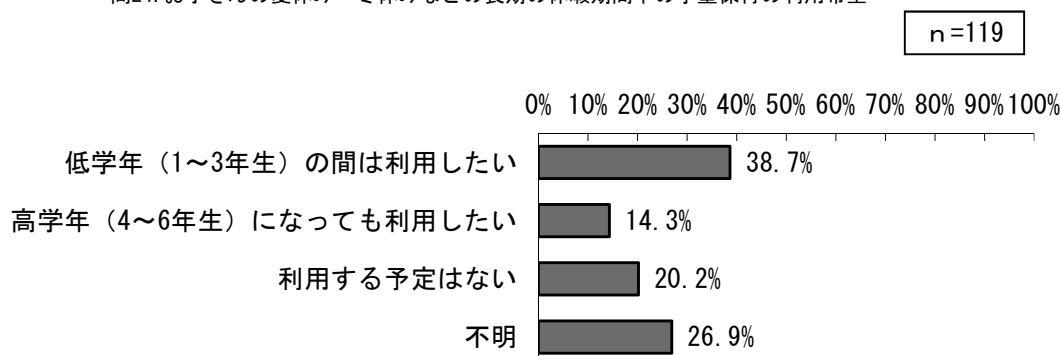
(24) 長期休暇期間中における学童保育の利用希望

問 24 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育の利用希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、[]内に(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。

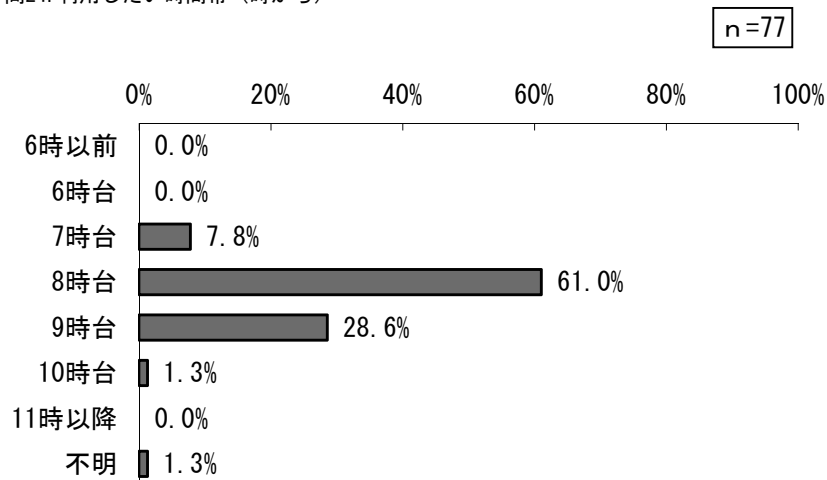
子どもの長期休暇期間中の、学童保育の利用希望については、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が38.7%と最も高く、次いで「利用する予定はない」が20.2%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が14.3%となっています。

また、利用したい時間帯の、開始時間は「8時台」が61.0%、終了時間は「15時台～17時台」が55.8%とそれぞれ最も高くなっています。

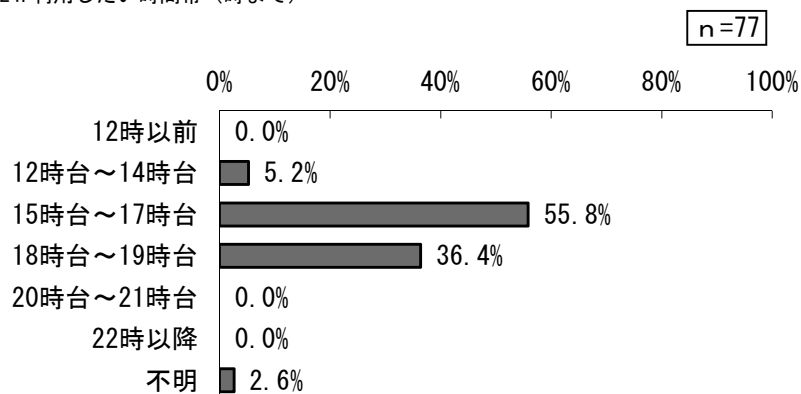
問24. お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育の利用希望



問24. 利用したい時間帯(時から)



問24. 利用したい時間帯(時まで)



K. 育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について

(25) 育児休業を取得した経験の有無

問 25 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。父親、母親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

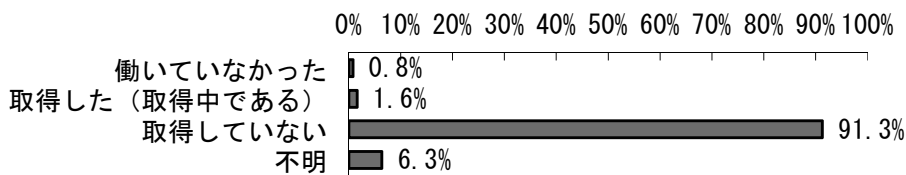
【父親】

子どもが生まれた時、父親は育児休業を取得したかについては、「取得していない」が91.3%と大半を占め、「取得した（取得中である）」は1.6%にとどまっています。

取得していない理由は、「仕事が忙しかった」が43.1%と最も高く、次いで「配偶者が無職、祖父母等の親族にあずかってもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が33.5%となっています。

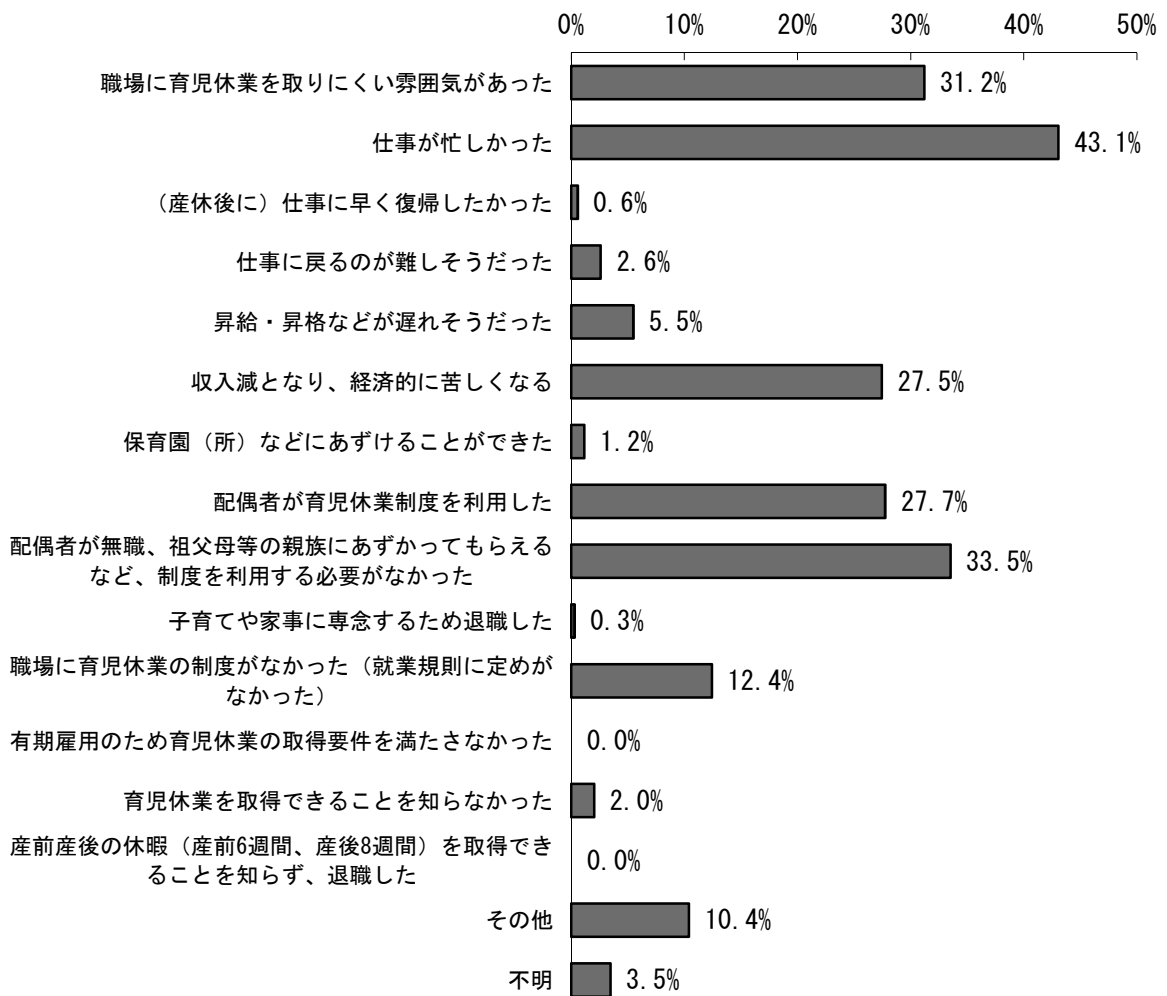
問25. 父親は育児休業を取得しましたか

n=379



問25. 父親が取得していない理由

n=346

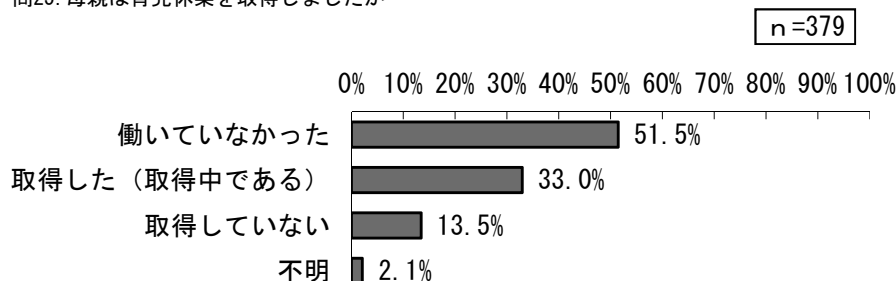


【母親】

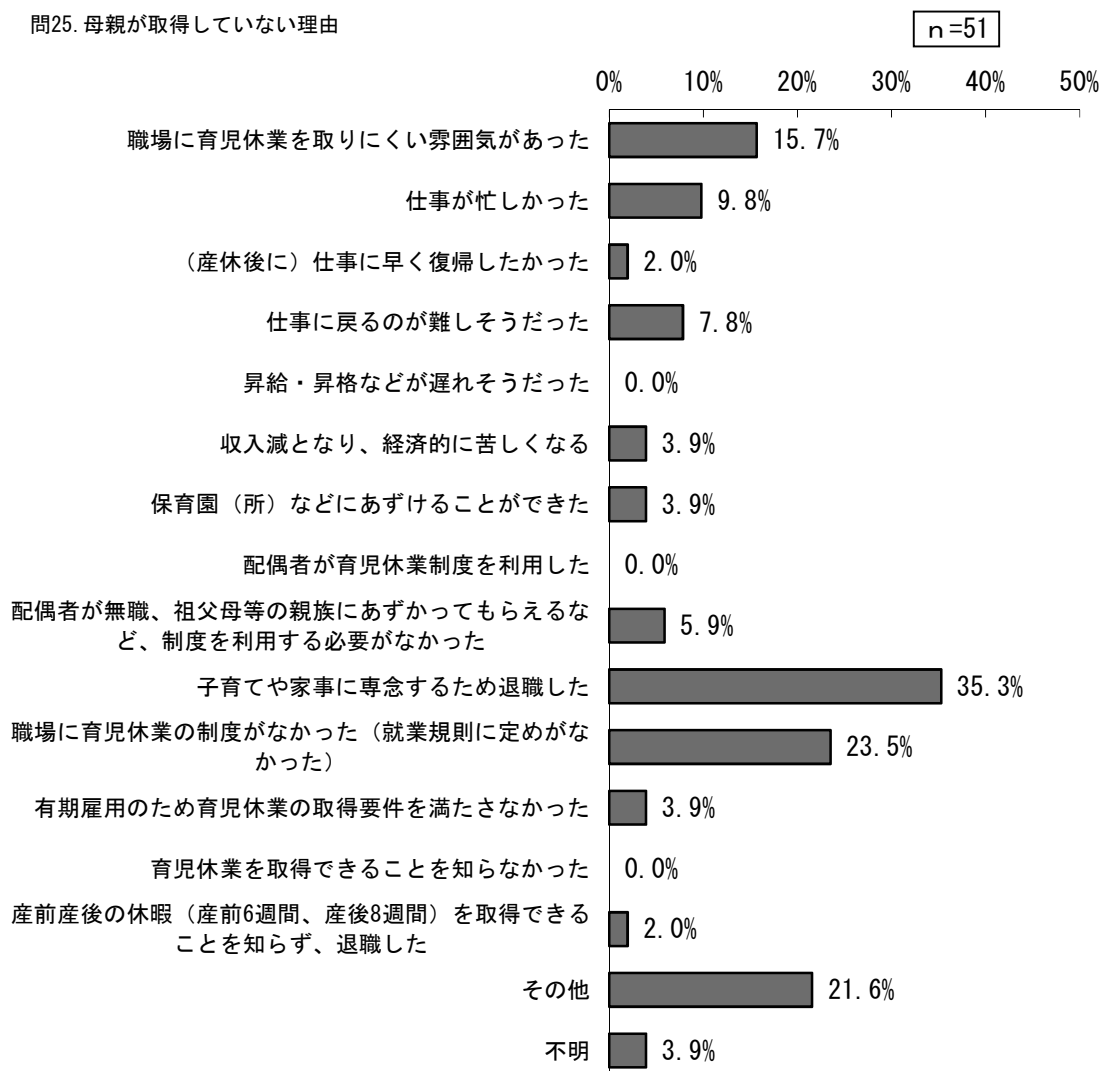
子どもが生まれた時、母親は育児休業を取得したかについては、「働いていなかった」が51.5%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」が33.0%、「取得していない」が13.5%となっています。

取得していない理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」が35.3%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が23.5%となっています。

問25. 母親は育児休業を取得しましたか



問25. 母親が取得していない理由



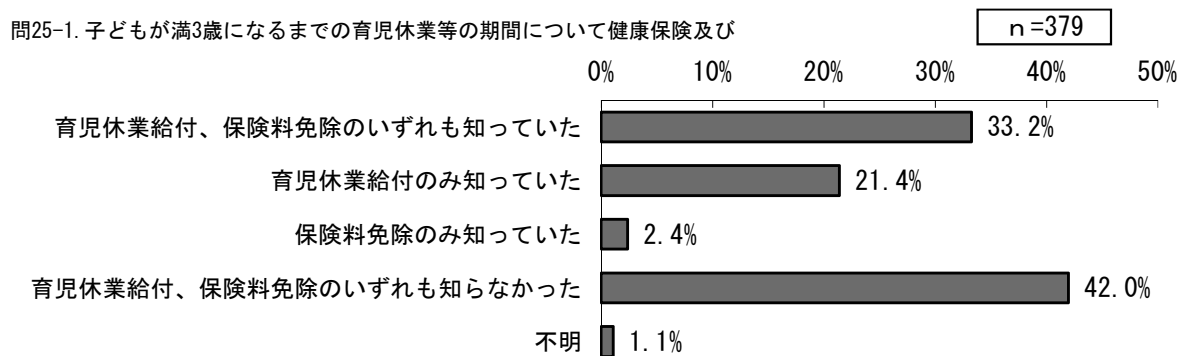
●取得しなかった理由・その他（父親・母親）

自営業のため（※多数）／育休ではなく特別休暇で数日休んだ／まわりに父親がとる人がいなかった／退職させられた／父親は新生児、乳児の育児ができない／会社に一度辞める手続きをしてくれと言われた

(25-1) 育児休業給付・保険料免除の認知状況

問 25-1 子どもが原則1歳（保育園（所）における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6か月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）の期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがあります。あなたは、そのことをご存じでしたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

育児休業給付、保険料免除についての認知状況は、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が42.0%と最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が33.2%となっています。

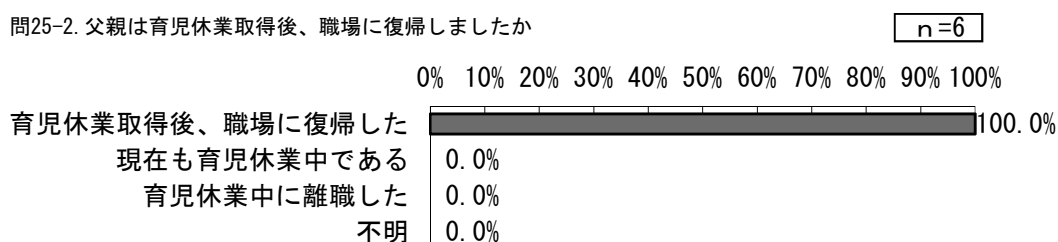


(25-2) 育児休業取得後の復帰状況

問 25-2 問 25 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

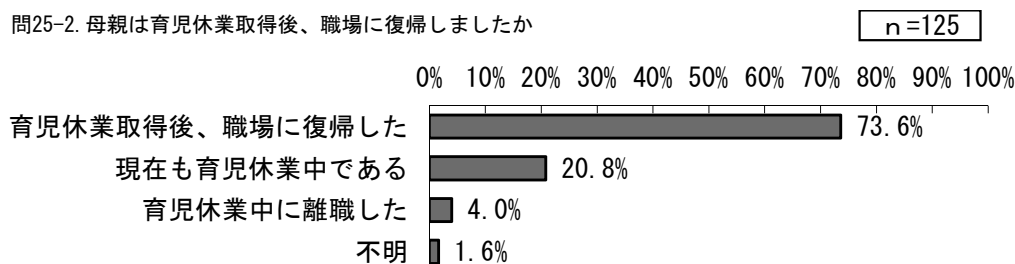
育児休業取得後、職場に復帰したかについては、父親は100%が「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答しています。母親は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が73.6%、「現在も育児休業中である」が20.8%、「育児休業中に離職した」が4.0%となっています。

【父親】



※サンプル数が少ない事に留意する必要があります。

【母親】



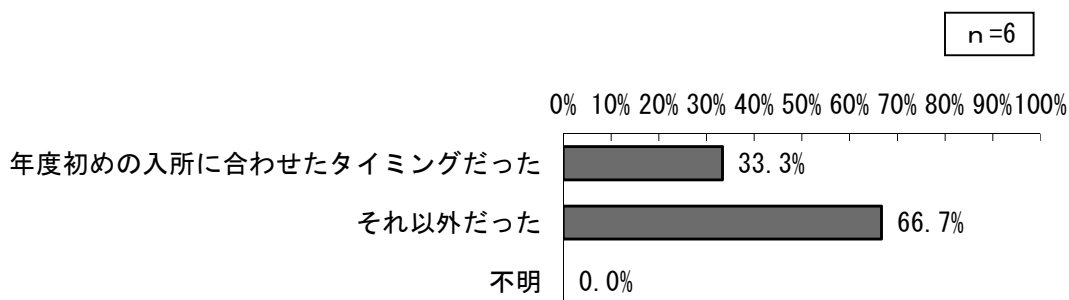
(25-3) 育児休業から復帰したタイミング

問 25-3 問 25-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園（所）入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

育児休業から職場に復帰したタイミングについて、父親の 33.3%、母親の 39.1%が「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」と回答しています。また父親の 66.7%、母親の 60.9%が「それ以外だった」と回答しています。

【父親】

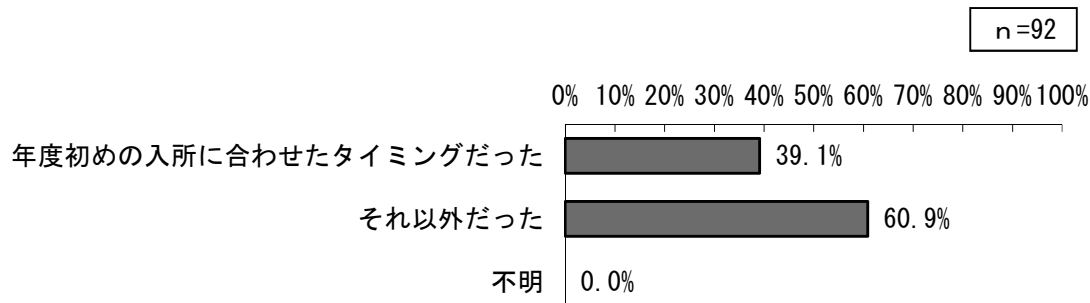
問25-3. 父親は育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園（所）入所に合わせたタイミングでしたか



※サンプル数が少ない事に留意する必要があります。

【母親】

問25-3. 母親は育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園（所）入所に合わせたタイミングでしたか



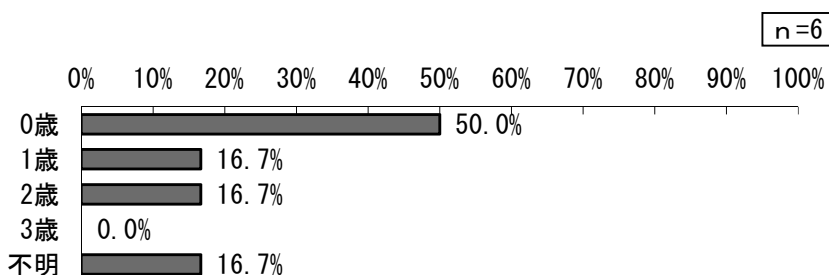
(25-4) 育児休業から復帰した際のお子さんの年齢

問 25-4 問 25-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。[]内に数字でご記入ください。

育児休業から復帰した際の子どもの年齢について聞いたところ、父親の 50.0%が「0歳」で、母親の 47.8%が「1歳」で復帰したと回答しています。

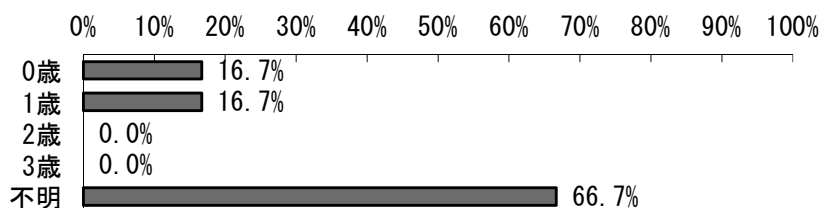
【父親】

問25-4. 実際に父親はお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか（歳）



※サンプル数が少ない事に留意する必要があります。

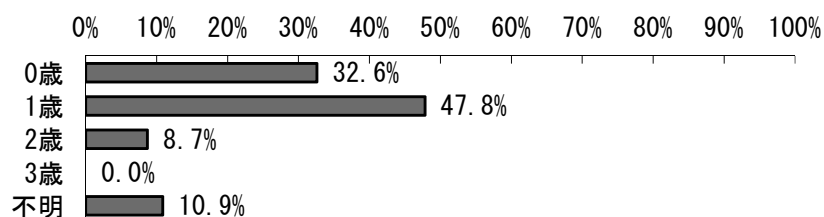
問25-4. 希望は父親はお子さんが何歳何か月のときに職場復帰したいですか（歳） n=6



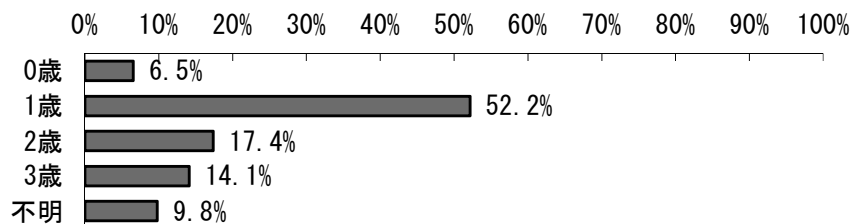
※サンプル数が少ない事に留意する必要があります。

【母親】

問25-4. 実際に母親はお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか（歳） n=92



問25-4. 希望は母親はお子さんが何歳何か月のときに職場復帰したいですか（歳） n=92



(25-5) お子さんが何歳まで育児休業を取得したかったか

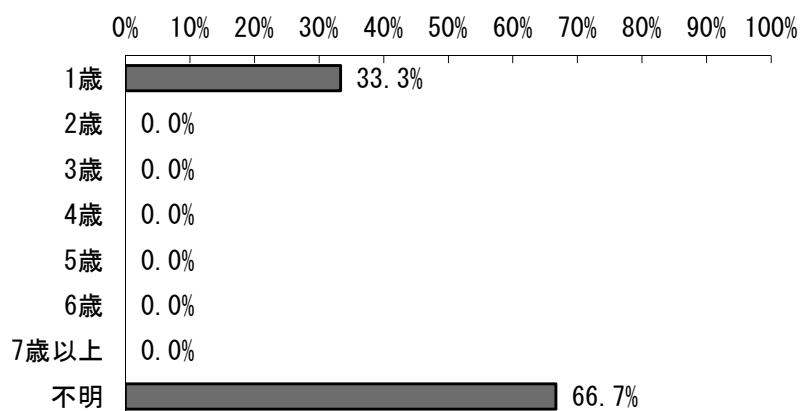
問 25-5 問 25-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。[]内に数字でご記入ください。

勤務先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、お子さんが何歳のときまで取りたかったか聞いたところ、父親の33.3%が「1歳」で、母親の38.0%が「3歳」まで取りたかったと回答しています。

【父親】

問25-5. 父親は3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか（歳）

n=6

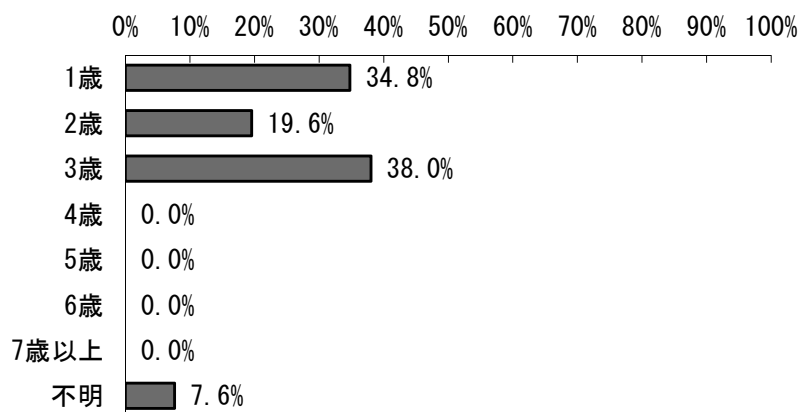


※サンプル数が少ない事に留意する必要があります。

【母親】

問25-5. 母親は3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか（歳）

n=92



(25-6) 希望の時期に職場復帰しなかった理由

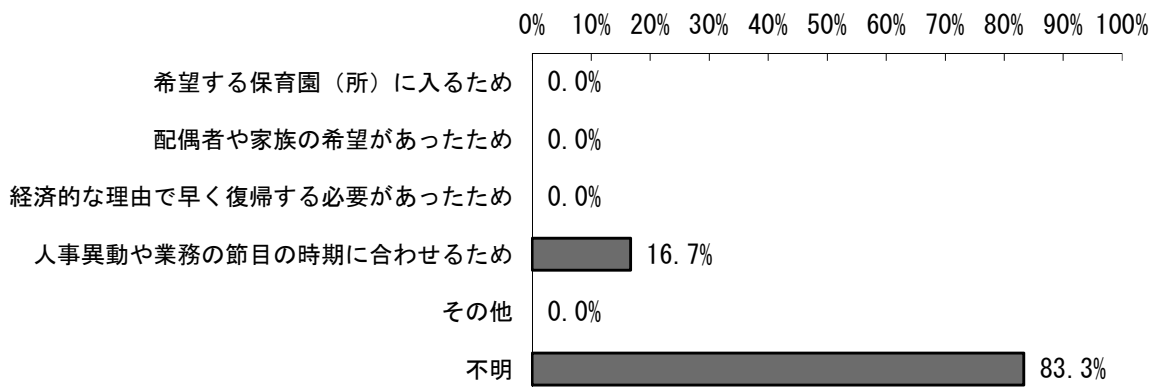
問 25-6 問 25-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

希望していたよりも職場復帰時期が早かった、あるいは遅かった理由としては、母親の31.5%が「希望する保育園（所）に入るため」早く復帰したと回答しています。

【父親】

問25-6(1). 父親が希望より早く復帰した理由

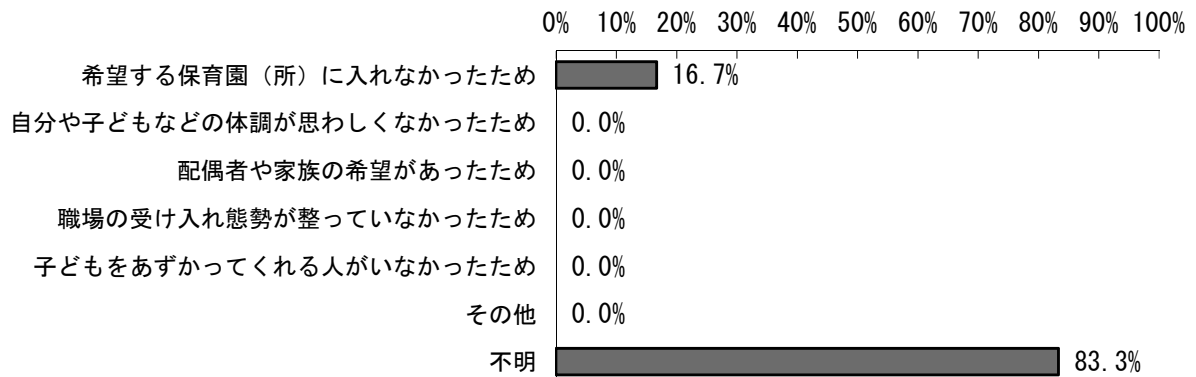
n=6



※サンプル数が少ない事に留意する必要があります。

問25-6(2). 父親が希望より遅く復帰した理由

n=6

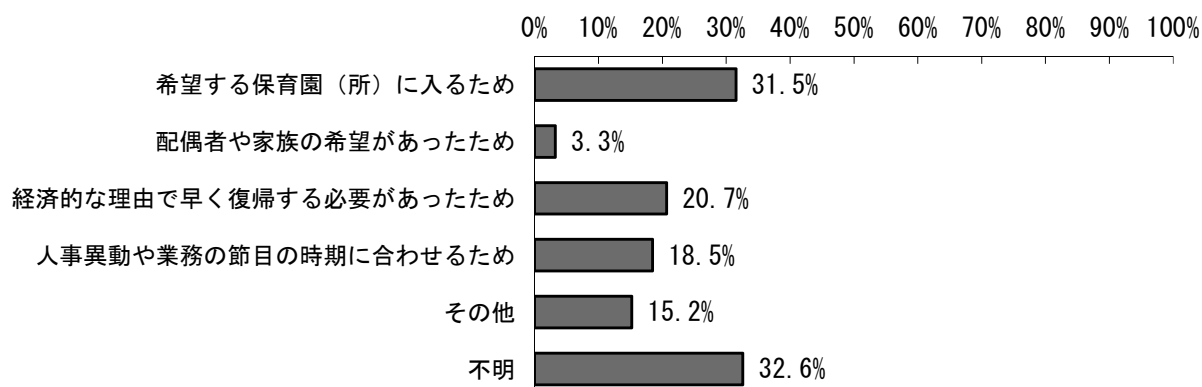


※サンプル数が少ない事に留意する必要があります。

【母親】

問25-6(1). 母親が希望より早く復帰した理由

n=92

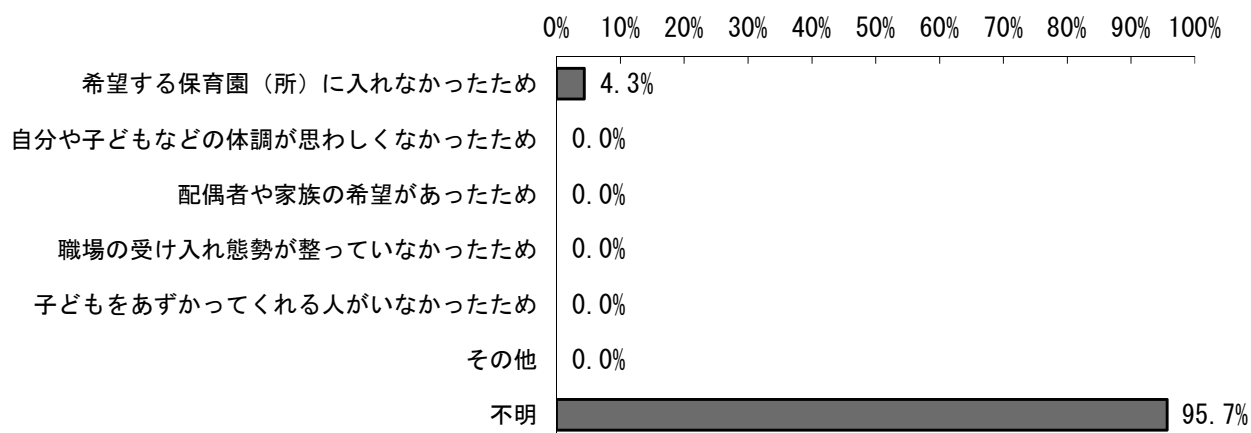


●その他

戻るように職場に言われた／3歳までとれるという風習や制度が職場にない／育児休業が1年と決められていたので／あまり長く休むと仕事の感覚を思い出すのに時間がかかる など

問25-6(2). 母親が希望より遅く復帰した理由

n=92



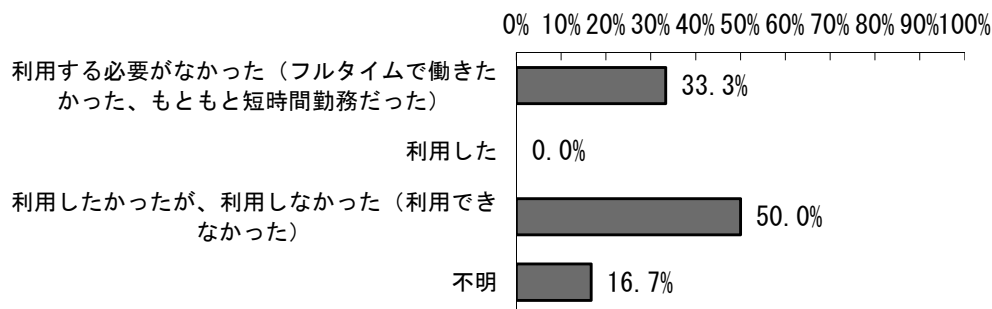
(25-7) 育児休業から復帰時の短時間勤務制度の利用有無

問 25-7 問 25-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

育児休業からの職場復帰時に短時間勤務制度を利用したかについて、「利用した」は父親が0%であるのに対して母親は33.7%となっています。「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」は父親が50.0%、母親が31.5%となっています。

問25-7. 父親は育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか

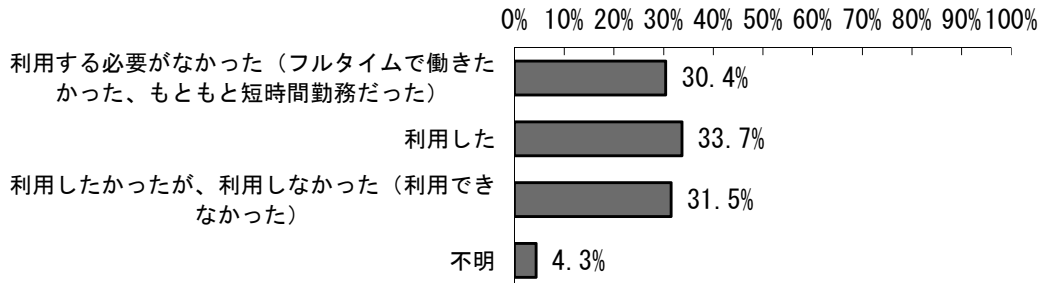
n=6



※サンプル数が少ない事に留意する必要があります。

問25-7. 母親は育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか

n=92



(25-8) 短時間勤務制度を利用しなかった理由

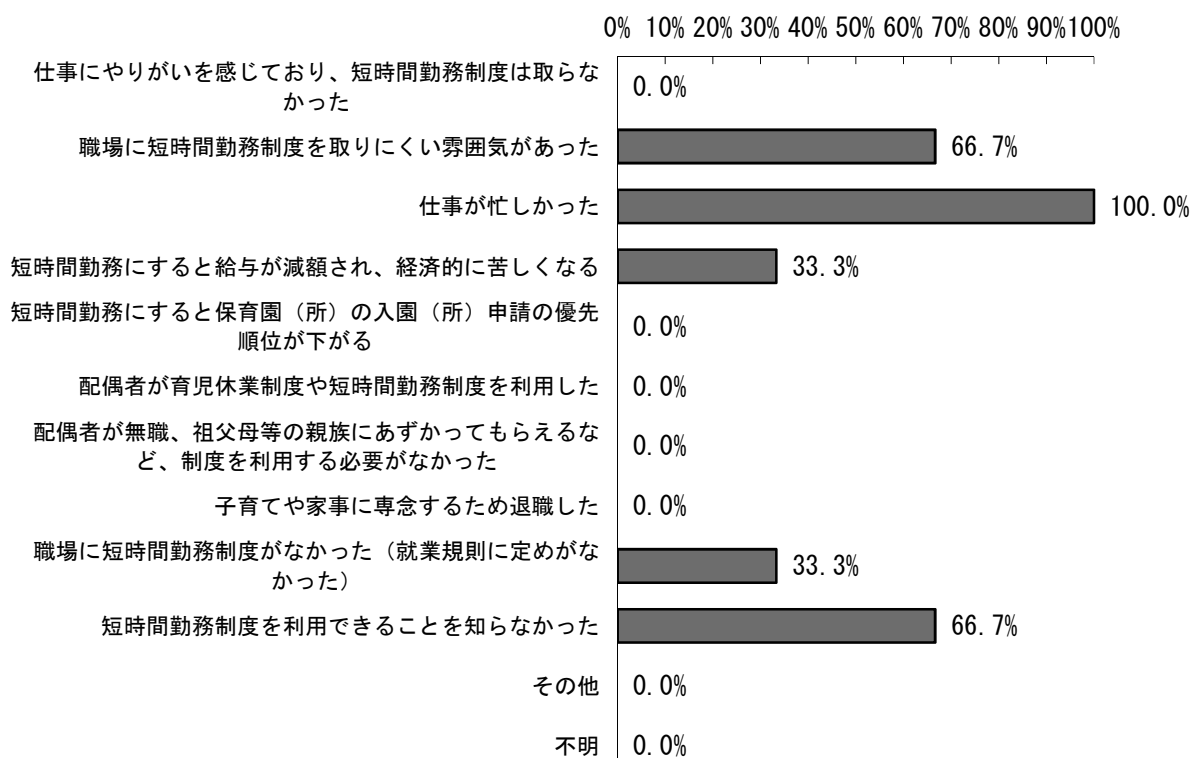
問 25-8 問 25-7 で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。あてはまる理由のすべてに○をつけてください。

短時間勤務制度を利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）理由について、父親の100%が「仕事が忙しかった」と回答しています。一方、母親の回答では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が48.3%と最も高く、「仕事が忙しかった」はそれに次ぐ37.9%となっています。

(1) 父親

問25-8(1). 父親が短時間勤務制度を利用しなかった理由

n=3



※サンプル数が少ない事に留意する必要があります。

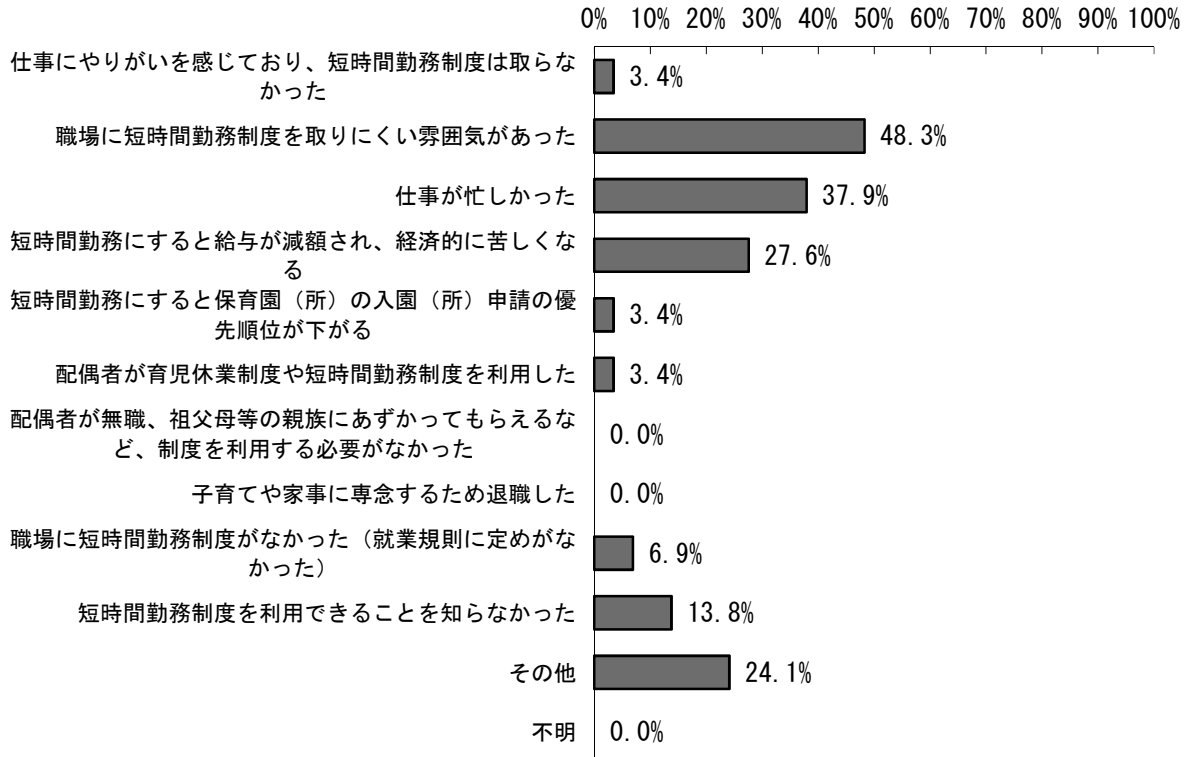
●その他

有給で休めた為／職場の女性が育休・産休を取る為、仕事が増加

(2) 母親

問25-8(2). 母親が短時間勤務制度を利用しなかった理由

n=29



●その他

利用しても、きっと残業してしまうだろうと予想ができたから／職場での人間関係の形成や、役割をこなせるか不安を感じるため／他の人に負担がかかることが懸念されたため／短時間勤務制度が利用できないと職場で言われたためパートになった／短時間をとりにくい職種／パートだったため

(25-9) お子さんのあずけ先が確保できる場合の育児休業取得希望

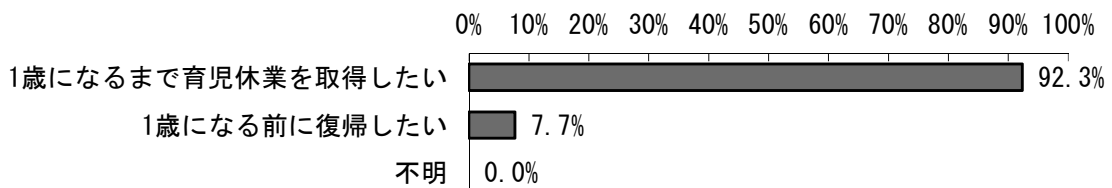
問 25-9 問 25-2 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。あて名のお子さんが1歳になったときにあずけ先が必ず確保できる場合、育児休業を取得しますか。

現在も育児休業中である人に、子どもが1歳になったときにあずけ先が必ず確保できる場合、育児休業を取得するか聞いたところ、「1歳になるまで育児休業を取得したい」との回答が92.3%と9割を超える一方、「1歳になる前に復帰したい」は7.7%にとどまっています。

※父親は該当者なし。

問25-9. 母親はお子さんが1歳になったときにあずけ先が必ず確保できる場合、育児休業を取得しますか

n=26



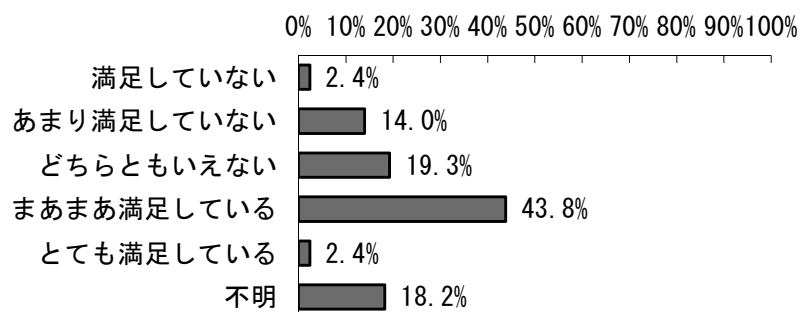
(26) 子育ての環境や支援への満足度

問 26 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

地域における子育ての環境や支援への満足度は、「まあまあ満足している」が43.8%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が19.3%、「あまり満足していない」が14.0%となっています。

問26. お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度

n=379



L. 町の子育て支援策について

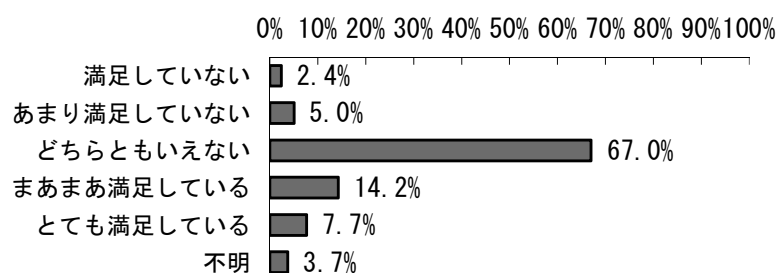
(27) 町の子育て支援に関する取組の満足度

問 27 本町の子育て支援に関する取組について、あなたほどの程度満足していますか。各項目ごとにあてはまる答えの番号に1つずつ○をつけてください。

町の子育て支援に関する取組についてどの程度満足しているかを、項目別にみると、「食育の推進」の「とても満足している」が14.0%と高い割合を示しています。一方、「仕事と家庭の両立支援の促進」と「小児医療等の充実」では8.2%が「満足していない」となっています。

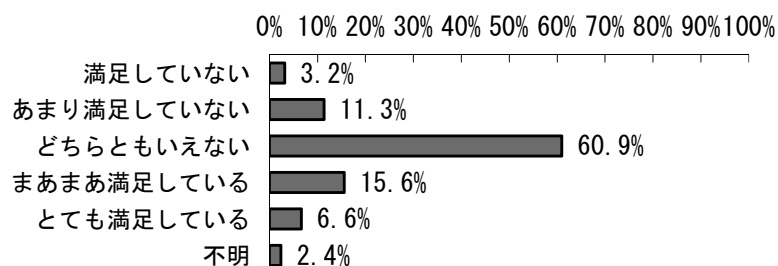
問27-1. 子どもの権利尊重についての理解促進の満足度

n=379



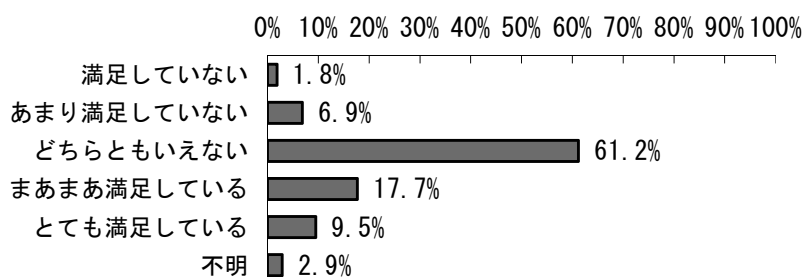
問27-2. 子どもの意見を尊重したまちづくりの推進の満足度

n=379



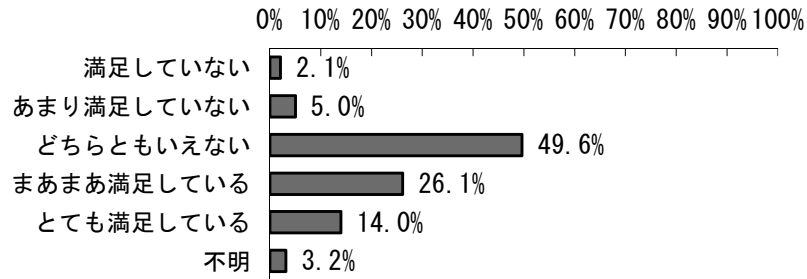
問27-3. 児童の健全育成等の促進の満足度

n=379



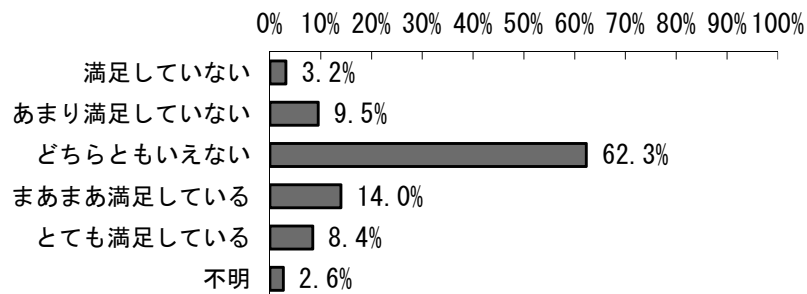
問27-4. 食育の推進の満足度

n=379



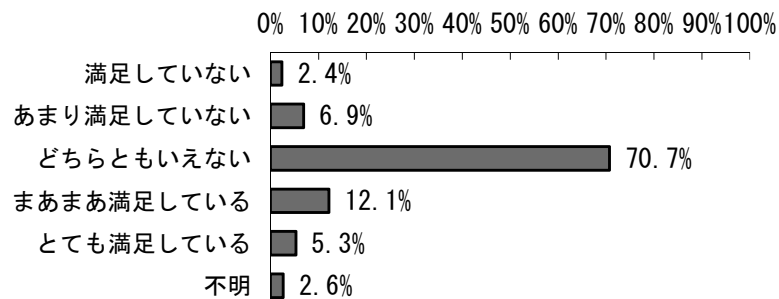
問27-5. 障がい等のある子どもの支援の充実の満足度

n=379



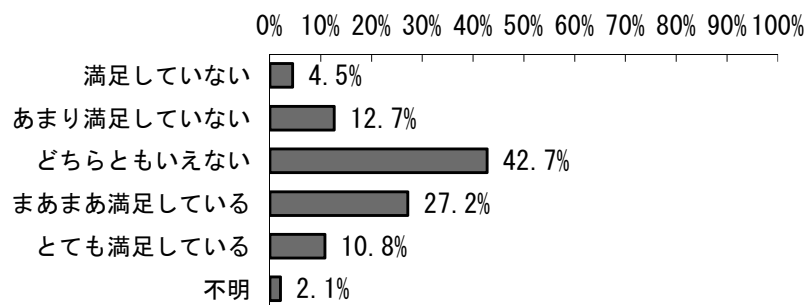
問27-6. 児童虐待防止対策の充実の満足度

n=379



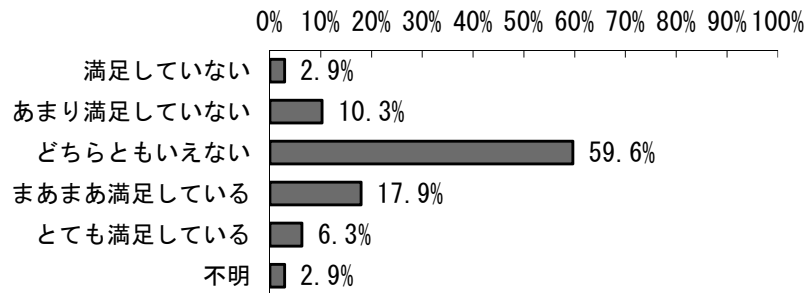
問27-7. 教育・保育・子育て支援サービスの充実の満足度

n=379



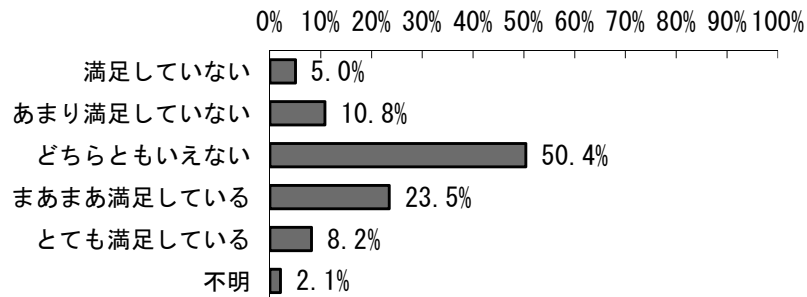
問27-8. 子育ての相互援助活動の促進の満足度

n=379



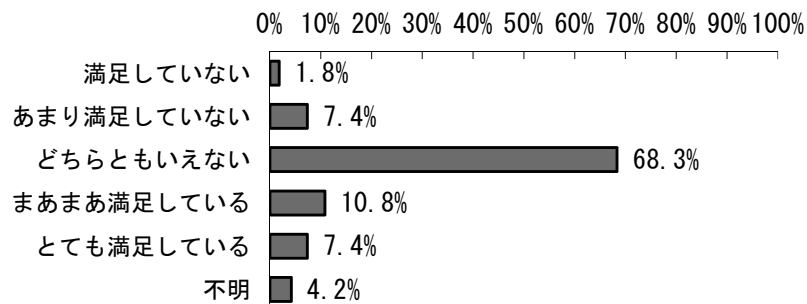
問27-9. 良質な保育の確保と情報提供の充実の満足度

n=379



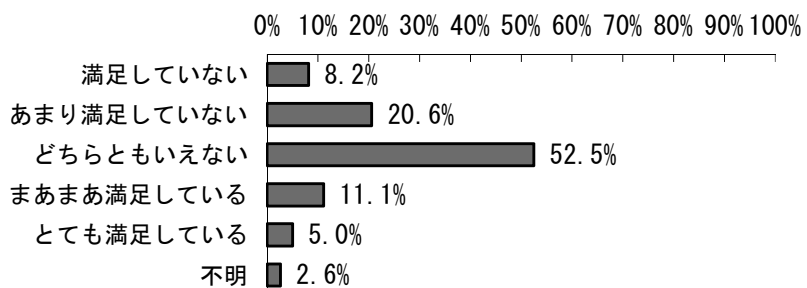
問27-10. ひとり親家庭への支援の充実の満足度

n=379



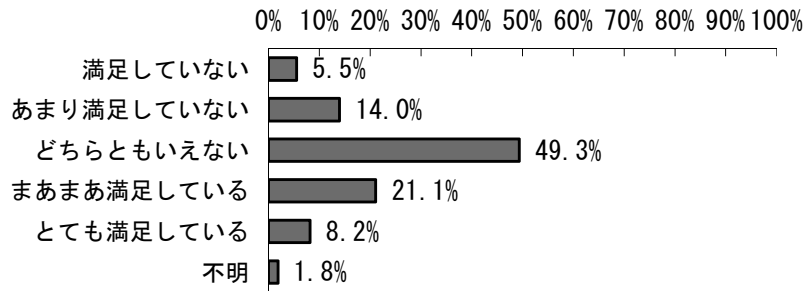
問27-11. 仕事と家庭の両立支援の促進の満足度

n=379



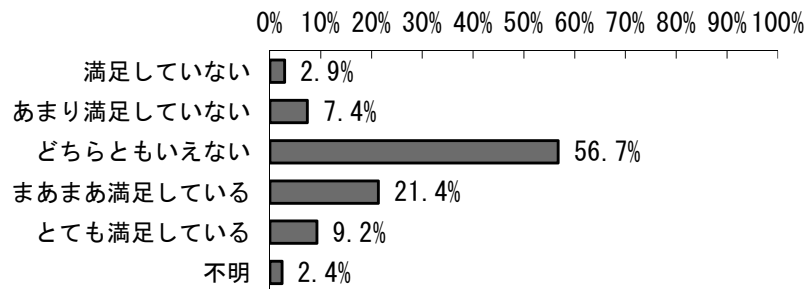
問27-12. 安心して妊娠・出産できる環境づくりの満足度

n=379



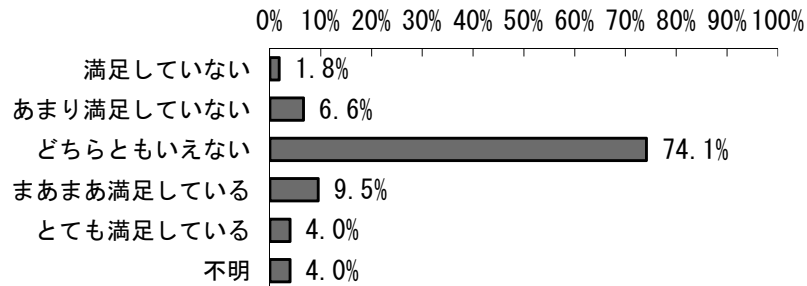
問27-13. 母親と子どもの健康の確保の満足度

n=379



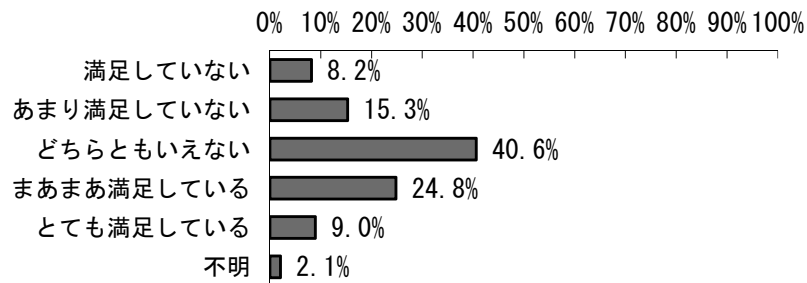
問27-14. 思春期保健対策の充実の満足度

n=379



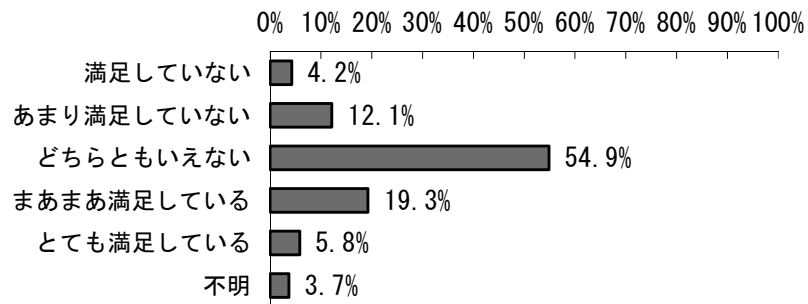
問27-15. 小児医療等の充実の満足度

n=379



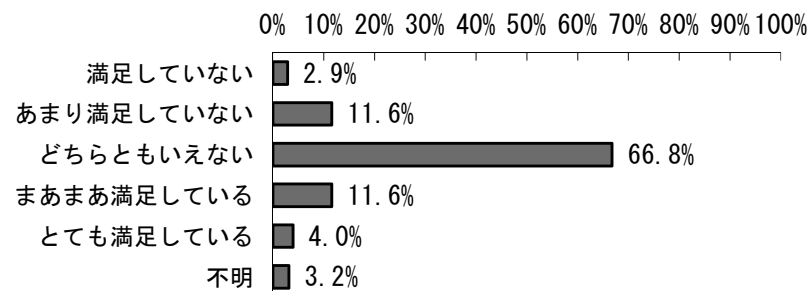
問27-16. 学校の教育環境の整備の満足度

n=379



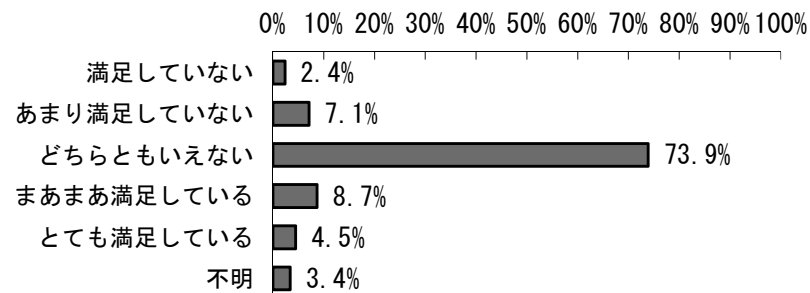
問27-17. 家庭や地域の教育力の向上の満足度

n=379



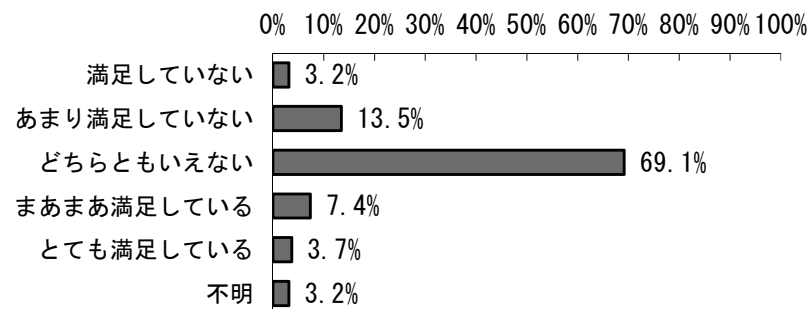
問27-18. 有害環境対策の充実の満足度

n=379



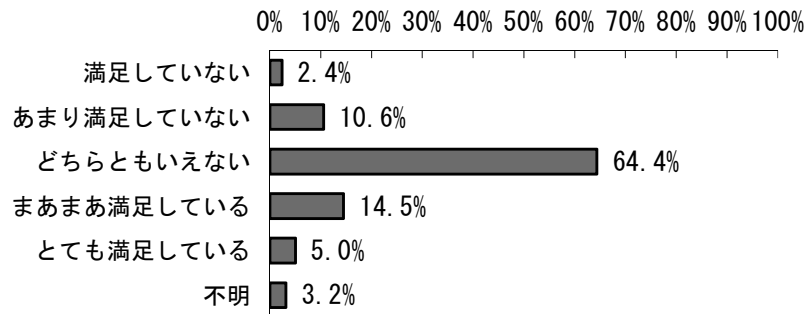
問27-19. 次代の親づくりのための教育の推進の満足度

n=379



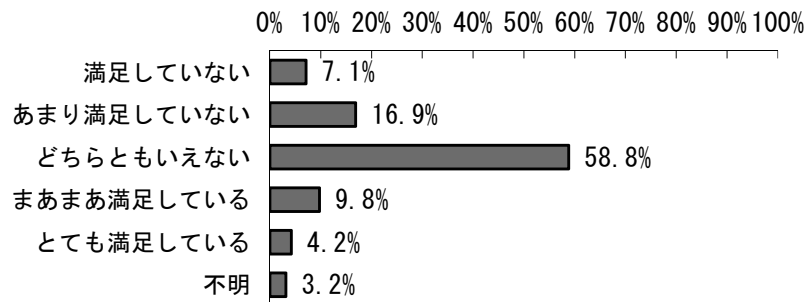
問27-20. 学校教育の充実の満足度

n=379



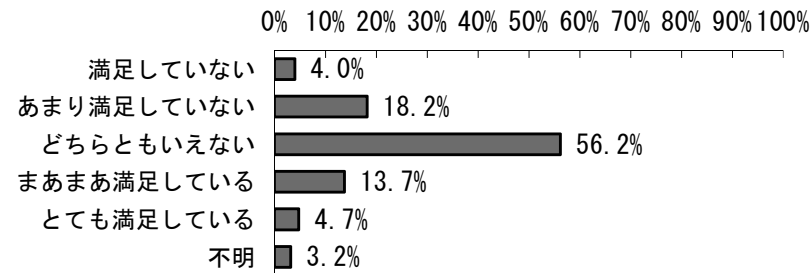
問27-21. 子育てに配慮した住宅の確保の満足度

n=379



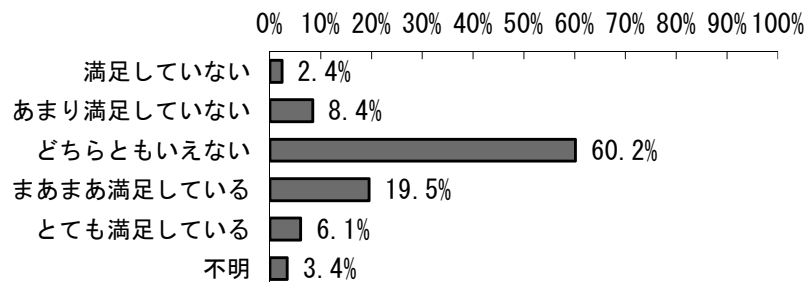
問27-22. 安心して外出できる環境の整備の満足度

n=379



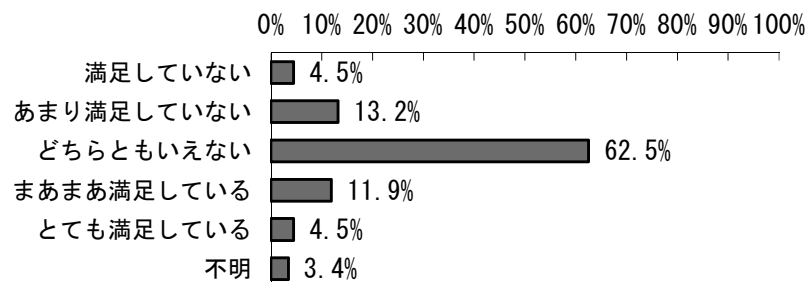
問27-23. 交通安全教育の推進の満足度

n=379



問27-24. 犯罪等の被害防止活動の満足度

n=379



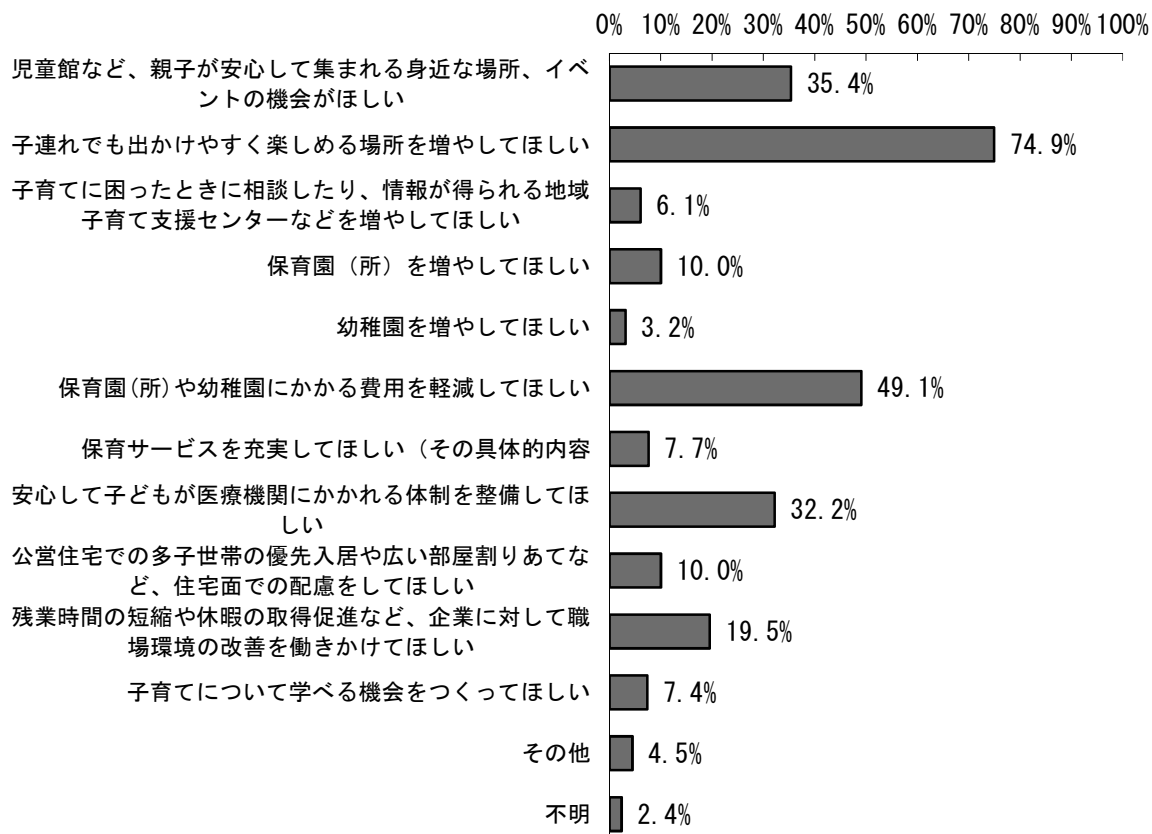
(28) 子育て支援について特に期待すること

問 28 本町の子育て支援について特に期待することは何ですか。主なもの3つまでに○をつけてください。

町の子育て支援について特に期待することは、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が74.9%と最も高く、次いで「保育園(所)や幼稚園にかかる費用を軽減してほしい」が49.1%、「児童館など、親子が安心して集まれる身近な場所、イベントの機会がほしい」が35.4%となっています。

問28. 本町の子育て支援について特に期待すること

n=379



●その他

保育士の確保／一時保育を受け入れる人数を増やして欲しい／医療の無償化／子どもの思いを尊重すること。保育士のモラル向上／短時間(買い物)等で預ける事が普通に出来ると良い／建物が古いところを新しくしてほしい／障害児の一時保育サービス など

(29) 自由意見

問 29 最後に、本町の教育・保育環境の充実など、子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご記入ください。(自由記載)

●音更中学校区域

0 歳	<ul style="list-style-type: none">・すでに存在しているのかもしれませんが、例えば、母が美容院や歯科通院をしたい時等の短時間（長時間でも）気軽に預けられるような場所が有料でもいいのであってくれたらなと思います。
1 歳	<ul style="list-style-type: none">・児童館など、親子が安心して集まれる身近な場所、イベントの機会がほしい・子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい・保育園（所）や幼稚園にかかる費用を軽減してほしい・祖父母対象の子育冊子の配布。（昔と今の違いをパパママ教室等で教えてもらったが、一つひとつを祖父母に説明するのが大変だった。初めての時は特に祖父母も理解できず、強引に子どもに果汁を与えたり、腹帯の強要等、不必要なストレスが多かった。）・企業に対する職場環境の改善については十分に働き掛けを行っていると思うが、実際はあまり徹底されておらず、残業をしない日がある分休日出勤をしたり他の日が長い。子育ては産休、育休の数か月や数年で終わるものではないので、やはり定時で帰宅できる日が続く方が有難い。仕事量と人員確保が勤務時間内で収まる割合であるか見直してほしい。・妊婦の家族だけでなく、子供を希望する家族も風疹などワクチンの補助対象としてほしい。それは子供を守ることにつながります。働くために子供を赤ちゃんのうちから預けられる環境にするのは結果、良くないと思う。子供の基礎となる3才までを母親と過ごすことが精神の安定になり、大人になって困難にぶち当たった時の力や、自分の家族に向ける愛情につながると思う。経済的に厳しい期間となるので、町が助けるなら保育所の確保ではなく、子育て期（0才～3才）の経済的補助だと思います。食料の現物支給（地産地消）でもいいです。・もっと子供が遊べる場所を増やして欲しい（室内、無料で遊べる、土・日・祝日も使える）小上がりのある飲食店を増やして欲しい。子供が楽しめるイベントをもっとやって欲しい。
2 歳	<ul style="list-style-type: none">・夏期は公園など外で遊べる場所がありますが、冬期は遊べる場所が減ってしまうので、室内で遊べる施設があったら嬉しいです。・医療費をせめて小学校卒業までのばしてほしい。他の地域に比べると子育て支援が、あまりなく残念です。少子化と言われながら子供を産んでのメリットがほしいです。・アンケートへの回答を通して、町が真剣に取り組んでくれていることが改めてわかりました。ありがとうございます。今後もよろしくお願いします。（トンチンカンな回答をしていましたらすみません。）・今回、対象となった子どもは2才児なので、あまり直接は関係していませんが、音更町における”食育”について、特に小中学校や保育施設における自校給食や音更産の食材の使用、実際ににんじんやじゃがいもなどを育てるといった取り組みはすごく良いものだと思います、本町で子育てできることをうれしくありがたく思っています。あえて欲を言えば、冬期、屋内で安心して遊べる施設が少なく感じます。支援センターに行くことができない年齢になった時に行ける施設があると助かります。・保育料をもう少し安くしていただけると助かります。・小さい子でも安心して遊ぶことのできる公園の遊具を増やしてほしい。・保健師さんの対応を子育てする人目線で考えた発言ができるように教育しなおしてほしい。相談しに行ってるのに、更に悩まされるような対応をされたことがあり、とても不安な気持ちになった。・町が子育て世帯に対して、どのようなことをしてくれているのか、全くではないがわからない事がたくさんあるので、もっとわかりやすくしてほしい。・千歳市のびっぴなど、商業施設と一体となった子どもの遊び場を希望します。・私は母子家庭で子育てをしています。病気（子どものカゼなど）で仕事の休みがなかなか取れません。下の子は病児保育を利用させて頂いているので困ることなく過ごせていますが、上の子の利用料が高く、2人とも預けることが厳しいです。その為やむを得ず会社に連れて行きますが、仕事をしながらの育児は大変なので（目が行き届かない）病児保育の料金がもう少し安くなってくれたら嬉しいです。・全体を通しての対応や支援には大変満足しております。

3 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生にかかる医療費を周辺の町村のように免除して頂けたら嬉しいです。下の子がいつ治るのか分からない先天性疾病を抱えているので。 ・このアンケートを書き上げるのに真剣に考えて書くと2時間ほどかかりました。この時間を捻出するのにどれだけ苦労するのか理解してほしい。これが仕事なら業務時間として時間を作れますが…。適当に答えれば早く書きあがりますが、そんなアンケートは必要ですか？真剣に書いたのでサービス残業、やり甲斐搾取にならないようにして下さい。・保育士の人数が足りないなら、卒業後になりたいと思えるようなぐらいの給料に上げないと本当に人数が足りなくなった時に間に合いませんよ。・看護師ばかり給料上げてないで、保育士の給料をもっともっと上げないと若い人を都会に取られますよ。5万、10万単位で上げていって目を引かないと人なんて集まりません。みんな保育士の人がいるから働ける！ただ子供みてるだけじゃないですよ！見てくれるからみんな働いてくれる。もっと保育士の待遇、給料改善して下さい。死に行く者にばかりお金をかけて、昔がんばったから老後は楽しみたいその気持ちも分かりますが、キレイ事言っても人はいなくなるだけです。40歳以下の人は景況悪く低賃金しか経験してない。昔がんばったかもしれないけど借金ばかり残してます。もっともっと若い人の話を聞くべきです。若い人の発言する場、組織を増やしてもらいたいです。若い人の現状を本当によく見て！ ・保育士の質の向上
4 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・所得制限はやめてほしい。・低所得や母子に手厚いため、何のために働いているかわからない。・病後児保育を、もっと簡単に利用できるようにしてほしい。増やしてほしい。 ・土曜日、仕事が休みの時は保育園に預けられない事は理解できるが、平日仕事が休みの時は、親も休みたいから預かってほしい。仕事が育児か…。親は休む暇もないのでしょうか？利用料金は決まっているのに、仕事が休みだからと何日も保育園を休ませるなら、利用した日数に応じて料金設定してもらわないと損してる気分になります。（と、言うか損です。）本当にどうかしてほしいです。
5 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・音更の本町の方へ、もう少し活性化してほしい。 ・保育料が高すぎる。来年10月に無償化と言うが、該当にならない人もいるわけで、それは納得いかない。 ・とてもありがたく、助かっております。これからも困っている方々に、より良い支援をしてあげて下さい。ありがとうございました。 ・ホームページは見れないので、町の広報誌で結果を出して下さい。音更は子育てしやすい街と聞いていたが意外と「？」と思うことが多い。乳幼児医療費も中学卒業までは無料にしてほしい。学校に行ってからの方が病気やケガ等も多くなります。学童も入りたい人全員が入れるようにして下さい。働くお母さんは子どもを預ける場所が必要です。身内が側にいなくてみてくれる人がいなくて、預ける場所がない人がたくさんいます。その都度、働くお母さんは仕事を休まなければならないのです。休めば給料も減るし…。生活も大変になります。とにかく何かあった時にすぐに預けられるシステムを作して下さい。現在の病後児保育の制度では、すぐには預けられません。土曜保育→お母さんの仕事が休みでも預かって下さい。お母さんにも休息の時間が必要です。保育園が近いので先生方の「目」が気になり、土曜日が休みでも預けられません。たまにはゆっくり休みたいです。 ・特にない。アンケート長いです。 ・親がICUに入院した時、面会時間が限られていたりして子供達をどこかにあずけたい時、幼稚園は預かりがあるので何とかあったが小学生低学年の兄弟は、あずけ先が無く、仕方なく病院の待合室で1人待たせたりした。緊急の時、こども園の預りみたいに子供を登録しておけば1日だけでも預けれる施設が欲しい。 ・学校の中が夏は暑く冬は寒いらしいので、エアコン完備してほしいです。暖房も付けているのかわかりませんが寒すぎてジャンパーを着ているみたいなので。プールの水がためすぎで心配です。温水にするとか、ちゃっぽ利用してほしいです。冬のスケート授業は要らないです。親の負担が多すぎです（スケート代やひもしぼり、冬休み中の練習付きそい等）（リンク造成も）参観日が多すぎるので減らしてほしい（強制でなくても行かざるを得ない）PTAも負担が多いので要らないです。（強制でなくても退会しづらい）早く置き勉促進して下さい。成長に悪影響です。運動会は午前中で終わらせてほしい（お弁当が負担です）学校アンケートは記名しなくてはいけないのはおかしいです。なのでこちらに書かせて頂きました。教育課をお願いします。

6 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・大谷幼稚園年長です。9月に急に担任が辞めて以来、いまだ担任がいません。保護者から色々言われたから「心が折れた」などと言い、担任をやらない主任や副主任。私は理解が出来ません。教育はしっかりしているようですが、子どもたちの気持は無視していると思います。発達障害の子が教室に入れないからと廊下の椅子に座らせて、隣で園長がただただ新聞を読んでいる。園長がみれない時は、職員室で一人で好きな仕事をさせる。そんな場面を何度も見ました。それは、その子を『見ている』のではないと思います。見ている私が辛かったです。対応できないのなら、対応できるように先生を増やす努力をして欲しいです。あと、下の子を一時保育に利用させてもらっていますが、一日8人は辛いです。一か月先までほぼ埋まってしまっています。難しいかもしれませんが、もう少し受け入れる人数を増やして頂けると有難いです。 ・室内でも遊べるような場所がもっとあってほしい。 ・未就学児の保育事業所（保育園、幼稚園、こども園）におけるトラブルに対応してくれる部署を役場に置いてほしい。（小・中学校における教育委員会のような立場の）直接、事業所に言ってもらちがあかなかったり、また言うことによって子供に仕返しをされるのではと思うとなかなか言えません。事業所と利害関係がない第三者的立場の相談機関（事業所に対しある程度の指導、強制力を持つ）の設置を強く望みます。子の通う園では、ブラックアウトの日に通園バスは運行しなかったにも関わらず何故かバスで園外保育に出かけたり、9月に年長の担任が退職後、新しい担任が決まらず担任不在が続いています。園に訴えても「理解してほしい」とのことで改善される気配がなく、上記のような考えに至りました。
-----	--

●駒場中学校区域

0 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・オムツや粉ミルク等育児用品購入の支援が欲しい。→対象の商品のみ購入できる商品券の配布。 ・子育て世代の住宅購入援助→他市町村で行われているような、町内の事業者で建築した場合に～万円助成等の政策。
1 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の下校時間後、子どもが過ごせるところがほしい。（学童など）地域に公園もなく、親が仕事終わる時間まで（大体17時頃）子どもが1人で家にいる状況である。 ・室内で遊べる大きな場所を作ってほしい。子供手当ももう少し上げてほしい。 ・パパだけでもおむつをかえる台だけあったり、子供と一緒に入れるイス（トイレの中に座らせる）とかあると、もっと、一緒になっておでかけしたり、しやすくなると思います。NHKのワンワンショーや、トーマスのクリスマスイベントなど、帯広や音更文化ホールで開催してくれたり、子供達と一緒に楽しくすごせる時間があるとても感謝しています。幼児も行ってもいい無料のイベント事も利用したりしているので、今後もみなさんにいろいろやってほしいなと思います。
2 歳	なし
3 歳	なし
4 歳	なし
5 歳	なし
6 歳	なし

●緑南中学校区域

0 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・室内で遊べる施設を設けてほしいです。（広めの場所でたくさん子供が来ても安心して遊べる様な所）気軽に子育ての事を相談できるイベントを実施してほしい。 ・赤ちゃん訪問や赤ちゃん相談など、保健師さんに相談できる機会が多く、助かっています。また、子育て支援センターが4ヶ所もあり、色々な所へ連れて行けることが私自身の気分転換にもなるので、とてもありがたいです。 ・公園の整備。オムツ替え、授乳スペースを作って欲しい。赤ちゃんが安心して過ごせる、ママさんがゆっくり過ごせる場所が欲しい。妊婦さんや小さな子どもが楽しめるイベントが月に1～2回あったらいい。冊子になっている、子どもの困った時の緊急連絡先をカードにして配ってほしい。 ・今は子供が大きくなってきたので、いざとなれば一時保育等に預けることができますが、生後2ヶ月の時に急に病院に行かなくてはならない時にどこにも預けることができず本当に困りました。私のように周りに支援者がいない場合、緊急の際には3ヶ月以前でも少しの間だけでいいので預かってもらえる場所がほしいです。もし、私が知らないだけでそういった場所があるのでしたら事前に知りたいので、今後出産する方々への情報提供が必要だと思います。 ・所得の高い世帯でも子どもがいる家庭向けの公営住宅に安く入居したい。（住民税をしっかり払っているのに、安く入居できるのは住民税納付額の安い世帯ばかりでどうしても不平等感を感じてしまう。）・保育園の数が少なく、子育てママの職場・仕事復帰をさまたげているので、町として対策を考えてほしい。・地域のベビーシッター情報が簡単に調べられると良い。 ・関係ないですが、お祭りなどのイベントがもっとあるとうれしいです。
1 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園内定通知12月中にくるとのことでしたが、なるべく早く教えて頂けると準備などできるのでありがたいです。 ・外来の医療費が小学または中学卒業まで無料になってくれるととても助かります。・支援センター（木野、鈴蘭、柳町）に行ってますが、先生方などお話を聞いてくれたり、子供にもとても良くしてもらい、私もリフレッシュさせてもらってます。本当に助かっています。精神的に。・10ヶ月検診や1才半検診など、マニュアル通りなのがとても気になります。1つ例をあげると、息子はおしゃぶりをしてたのですが（10ヶ月検診の時）「おしゃぶりはいつまでにやめればいいんですか？」と伺うと「おしゃぶりはほししないでください！おしゃぶりは必要ありません！」と言われました。こちらはやめたくてもやめられず、おしゃぶりをしてるうしろめたさもあり、いつまでにやめればいいのか目安、目標を欲しかったのに、そのような言い方はないと思います。帰り道、涙が出てきました。もう少し育児でいっぱいいっぱい母親の気持ち、子供みんながマニュアル通りにいかないことわかってほしいと思いました。その後は、もう話し半分で聞くようになってしまいました。 ・支援センター等はだいたい昼3時までしかやっていないので、それ以降も遊び回れる施設がほしい。天気が悪い日の週末はエコパが混み過ぎて少し危ない。もう一箇所そういう場所が増えてくれると嬉しい。5時くらいまでやってる支援センターがあると嬉しい。 ・小学校に入ると、支援センターが利用できなくなるので、子連れで（小学生含む）利用できる施設がほしいです。・インフルエンザの助成を500円からもう少し上げてほしい。 ・天気が悪い日でも遊べる場所がほしい ・問28にも丸をつけたのですが、音更町に時間等を気にする必要のない施設をもっと増やしてほしいです。 ・医療費・保育料の無料化、室内遊び場の充実、子育て世代の実用的なサービス
2 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・現在希望の保育園ではなく、通園までの距離が長い為、通うのが大変。（ガソリン代など金銭面でも）子どもの多い地域の保育事業を充実させてほしい。 ・保育料の無償化。医療費を就学後も負担してほしい。 ・子供3人ほしいですが、保育料・予防接種等お金がかかるのであきらめました。町での補助があればいいのになと思いました。子育てしやすい環境作りをして下さい。 ・満3才での保育所や幼稚園生活の仕方、入園方法などまったくわからない。小学校のように義務化してほしい。くわしい説明の機会を設けてほしい。 ・健診の待ち時間が長過ぎます。また午後からで予定が組みづらい。小さな子はお昼寝時間とぶつかり機嫌が悪くなりがちで大変です。午前と午後に分ける、2日間にする、などはできないのでしょうか。毎回案内される時間に行っても途中の待機時間が長く、2時間以上かかるのが負担に感じます。・支援センター等を利用させてもらっていますが、土、日の開放がもう少し増えたら良いなと思います。（土曜、日曜の開放があるのも知っていますがいつも都合が合わないの）

3 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・悪天候や冬場に子どもが安心して遊べる屋内施設がほしいです。年度初めの入所に合わせて育休（延長）が取得できるような職場環境の整備と、保育園等の希望者すべてが入園できる体制の両輪が必要と思います。受け身の子育て施策では子どもを産み育てようという人は増えない。音更町の人口もいずれ減っていきます。 ・出産後、頼れる親族がない場合、ヘルパーさんが年20日無料で来てくれるという市町村がある。できれば、そういった支援で母親たちの負担を軽減できればいいのではないかと思う。 ・子育て支援センターの方はどのような相談に対応しているのだろうか？検診などで困っている事などに記入してもあまり参考にならない納得のいく答えはもらえない。（食事の事などの相談をした）よくわかっていないんじゃないかと少し疑った気持ちでみてしまったり、しんみになって話を聞くような感じはしない。
4 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費の負担を減らして欲しい。給食費の負担を減らしてほしい。 ・小、中学校の給食が1品少ない。幼稚園等の預かり保育の料金を下げてほしい。地域で不審者がいるが被害がないという理由で放置されている。被害が出る前に対処してほしい。 ・特別支援の必要のある児童についてです。児童の特性が比較的強く出なく、運動も日常の活動もできる状態であっても、学童保育の受入れはできないのでしょうか。障害者差別解消法が制定されています。子どもが健やかに成長でき、安心して子育てができる町を目指すのであれば、現状の見直しを願います。障害を持つ児童や病弱な児童が差別的な扱いを受け、自己否定をしながら人生を送ることは許されないことです。一日でも早く、福祉についての改善がなされることを強く要望します。役場の職員の方々の意識改善を願います。強い言い方をしていることは心苦しいですが、子どもたちの人生を左右することです。（こんな自分では受け入れてもらえないと絶望することはとても悲しいことです。明るい未来を築けないのです。）心よりお願い申し上げます。 ・来年度から保育料が無料になると聞きましたが、明確ではない。母子家庭なので、とても気になります。 ・図書館や常に開放されているスペース（プロSPAのような）が、木野方面にはなく、小学生以上の子どもが近くで気軽に学習に利用できる場がほしいです。よろしく願います！ ・健常の子供に関しては色々と考え取り組んでおられると思います。もっと障害をもった方に優しい町というイメージがあったのですが我が子が障害をもってあまり情報を得られない事、どこへ相談すればいいのか、など悩みがつきません。もっと気軽に相談したり、色々な情報を得られるようになるとありがたいです。又、今通っている保育園（常設）も障害児への理解が足りなく嫌な思いをする事も多いです。 ・現在アレルギー児が増えている状況であるが、町内小学校は、除去や代替等の対応を行っていないと聞いた。万全な対応をするには、設備や人員などの徹底した準備が必要であり難しいと思うが、皆で給食の準備をし、食を楽しむということを非アレルギーの子もアレルギー児も同等にさせてほしい。又、夫婦共働きで代替食を準備するのは、大きな負担となる。芽室町の取組みを、一アイデアとして考えに取り込んでほしい。
5 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・他の市や町みたいに医療助成が出る年齢をもっと上げてほしい。小学生以上は3割負担は高いし、病院にかかるにもお金がかかると思うと少し躊躇してしまう。 ・関係あるかわかりませんが、古い園舎や校舎のリフォームをしてほしい。特にトイレですが、町中の施設のトイレがきれいな洋式が増えている中で、古い校舎のトイレに恐怖感があったり、不潔な印象を持ち、行きたがらないのではないかと思います。また、夏は北海道でも暑すぎる日が多くなってるので、エアコンなど空調で調節できるように配慮して頂きたい。子どもがかわいそうだし、集中力が落ちるのではないかと思う。体が弱い子も増えてるので。 ・子供が3人います。医療費が大変です。保育料なども、仕事していても大変です。礼内町や他の町では、子供の医療費は無料です。保育料無料も素晴らしいのですが、やはり、子供は医療費の方が…と思います。 ・保育所で例えばノロウイルス等が出た場合、それに限らず病気等が出た場合、すみやかに親に報告してほしいと思います。なぜ教えてくれないのかわかりません。大切な子供を預けている親の立場からして不安です。他にも兄弟がいたらうつる可能性もあるので…。事が終わってからの報告は遅い！！町で保育園等に指導してほしいです。 ・働き方改革と最近言われておりますが、実際のところ、行政と企業の捉え方に大きく解離を感じております。一向に勤務時間短縮と会社は言ってもさほど変化は見られないの

	<p>が現状です。問28にある様な働きかけを是非行って頂きたいと思います。保育園や幼稚園にかかる費用も非常に高いイメージが音更町にはあります。以前住んでいた自治体ではもっと負担が軽く、音更が経済的に豊かなイメージの町ただだけに残念です。人口も4万人以上いるので、エコロジーパークの様な子ども連れ、家族で四季を通して遊べる公園など増設していただければと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供がおもいきり遊べる施設がとても少ないので、屋内、屋外共におもいきって大規模な公園など作ったらどうでしょうか？子供は遊ぶのが仕事です。期待しています。いつもありがとうございます。 ・幼稚園の質の向上。認定こども園になったのに、0歳クラスなどの未満児保育がないのはなぜか？5年間で、先生が15人程辞めてしまっている状況に対して、町として何かしらの指導はしないのか？以前は幼稚園だったため、管轄外だったと思うが、こども園なら管轄内では？疑問が多すぎます。長期休み預かり代は別途徴収、給食代は月々もらってると園で回答。預けない人も払う意味は？医療に関して、小学生の内全額とは言わないが、3割ではなく、1割負担にしてほしい。出産する際の妊婦定期検診費を一部でなく、できれば全額負担してほしい。 ・おおそでくんキッチンやママ講座など、すてきな取り組みをしているが、周知度が低い。もっと知ってもらうよう活動したらいいのにと。サンドーム、アクリナちゃっぽ(子ども向けのスポーツ教室)共に本町の方で、子育て世代の多いすずらん、木野地区からはちょっと遠い。木野方面でもやってほしい。 ・第2子出産後以前は生後6ヶ月で仕事に復帰していないと第1子は退園となり再入園できる保証はないと言われたためしかたなく生後6ヶ月で仕事に復帰した。(保育園)しかし、現在では育児休暇を3年取得している人の子が退園とならず登園できている。両親ともにフルタイム勤務でも入園できず待機児童となっているのに3年も働いていない人の子が退園にならないのは納得できない。幼稚園に転園するよう指導して下さい。 ・仕事で残業がある為、21時~22時まで預かってもらえると助かる。残業がある為、保育園を利用できず託児所に預けている。費用の負担を軽減してもらえる制度があるといい。子どもの発達のことを考えると本当は保育園を利用したいが、長く勤めているし、就労形態を変えるのは大変。 ・室内で遊べる場所が増えてほしい。(エコロジーパークの室内のような場所)交通の便のよい場所にそのような場所があると、車移動じゃない人達も楽になる。
6歳	<ul style="list-style-type: none"> ・へき地在住のため、水道が来ていない。地下水を使っていますが、水質検査したところ大腸菌が検出したため、食事などには使っていない。安全な水が使えるようになってほしい。・街灯がほとんどないので、暗くなってからの子供の1人での外出は怖いと思っている。防犯ブザーを鳴らしたところで誰も来てくれないだろうし。・大きな遊具のある公園があまりない。・ハナックにブランコがあればいいのと思う。・支援センターは行った事がありますが、他の子に滑り台の上から突き飛ばされた事があり、その時、親もセンターの人も誰も見ていなく嫌な感じがしたのでそれから行ってない。 ・幼稚園、保育園の数や枠が足りていても質が悪ければ意味がない。某幼稚園(こども園)では担任不在のクラスがあり、職員は「心がおれた」だの「萎えた」だのと保育より自分達の気分を優先したと聞いている。こんな園だったと知っていたら入れなかった。帯広まで行かせたら良かった。もっとしっかり調べなかったことを悔やんでいる。このままでは町外へ流出するのでは？ ・収入増えて就学援助受からなくても、でも毎月の支払いが給料の半分以上あって保育料も増え、家賃も公住なので増え、支払いの負担が多くなり、援助がなくなってから親に借りたり、子供のおこずかいを借りたりと大変です。上の子供達もお金が無いので歯医者に連れていけません。自分も治さなければいけない歯があるけど行けません。(それは我慢してます。)せめて医療費が上の子達も無料になれば、病院に連れて行くこと事ができて良いと思うのですが。あと、どさんこ子育て特典カード？どこでどんな特典が受けられるのか、全然分からない。使ったことない。もっと役立つ特典があればいいかと。 ・音更町の政策の中で子供に関するものがありますか？あまり知られていないのではないのでしょうか？他市町村にはない、独自の政策を期待します。 ・フルタイムやパートで働いている人も多いので、通年の学童の申し込みの時期をもっと早くしてほしい。これから仕事を決める人以外、今までもこれからもずっと同じで働いていく人は、利用の希望が明確なので、早く手続きをしたい。安心したいです。何らかの理由で学童に入れなかった時、その他の預け先を見つけるにも、2月の申し込みでは

	<p>間に合わなくて、仕事を欠勤や時短、退職しなくてはならないので、生活に支障がでしてしまう。改善してほしいです。（他の市町村では、秋に申込しているところもあるようです。）ご検討のほど、よろしくお願いします。※アンケートの答え方が難しい点があった。（大谷はこども園で、1号と2号がいるので、答え方難しかったです。就園していると支援センターなどの利用をする時間がないので、その点なども答え方が難しかったです。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育料だけでなく小学入学以降の医療費も軽減できる方向はないのでしょうか。・延長保育が高い、好きで残業している訳ではないので、2人分となると、月4000円以上は高いと思ってしまいます。
--	---

●下音更中学校区域

0歳	<ul style="list-style-type: none"> ・上の子が、鈴蘭保育園に通っており、子供や親によりそった対応をいつもしてくださり本当に本当にありがたいと思っています。保育園に、不満などはまったくないのですが、下の子（宛名の子）の保育園入所などで不安な気持ちがとてもあります。すずらん支援センターに良く行くのですが、育休中のママさん達でいつも保育園に入所できるか話すことが多い程、皆、仕事にちゃんと復帰できるか、保育園に入所できるか不安です。なかなか難しいとは思いますが、仕事をする子育て中のママの不安が少しでも軽くなるよう、配慮等して頂けたらと思います。他に、保育料についてももう少し分かりやすく具体的に広報等で教えて頂きたいと思います。音更は子育て世代にとってとても住みやすい所です。いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いします。 ・保育園0歳児の募集人数を減らして、1歳児の人数を増やしてほしい。育休復帰の人も無理に0歳から入れなくても良くなるし、退職していて点数の低い人でも入りやすくなるのでは？保育園が決まらないと、仕事をしたくてもできないのが辛いです。上の子供が3歳になったタイミングで保育園に入れたいが、下の子の預け先が決まらないと、仕事に復帰できるタイミングが無くなってしまう。 ・道営住宅の仕組みがおかしい。新婚世帯向けの下の階にシルバー向けがあり苦情が来る。 ・いつも子育て支援センターを利用しています。困った時や誰かと話したい時など温かく対応していただくととてもありがたいです。自分が育休の間は、積極的に利用したいと思います。・音更町の医療費は小学生から有料だと聞いています。もう少し年齢を引き上げてもらいたいです。・友人の母で希望の保育園に落ちたと聞きました。仕事復帰のことも考えると今から不安です。いろいろ事情があるのは承知していますが、せめて第3希望には入りたいです。あと兄弟バラバラの保育園も困るので考慮してもらいたいです。・赤ちゃん相談、すくすく相談がいつも同じ曜日でわかりやすい反面、習い事とかぶってしまい、行けません。月2回（曜日を変えて）開催してほしいです。 ・保育園入園（育休1年）を希望していても、生まれ月によっては、全く空きがなく育休延長せざるを得ないが、子供を出産する段階で情報が無く、後々、会社と延長の相談をするなど、少々困ることがあった。（1年→1年〇ヶ月へ）（自分自身、また会社も・復帰時期を見直すこととなったため）出生届を提出する際に、多少アナウンスがあっても良いのではと思った。・4月入園出来る確約がないので、（町の募集人数<入園希望人数）今も不安である。待機解消もしくは、待機児童の状況は分かりやすくしてほしい。
1歳	<ul style="list-style-type: none"> ・収入により、保育園の料金が違うので、今1才ですが半月だけ託児所に入れてますが、本当の高額所得者だけにして欲しいと思います。年収が600万、700万以上とか…。国の決まりなので音更町に言っても仕方がないのかもしれませんが…。 ・予防接種はメリット、デメリットがあると思う。色んな考え方がある。子どもに受けさせない親を、保護者責任を放棄した親であるかのような見方はすべきでないと思うし、受けていないことを理由に病児保育を断らないでほしい。町内、1ヶ所しかないのに、断られると、行き場がありません。 ・支援センター（特に音更とすずらん）がとても利用しやすく助かっています。預けられない家庭にとって、一日中家に居るわけにもいかないため、こういった施設があると嬉しいですが、ただ、小学生以上の子ども向けの施設がないのが気になります。中・高校生向けに21時まで開放している児童館など、帯広と共同で作っていただけたらと思います。（あったらごめんなさい）（あと、百の樹さんに預けたらアザだらけで帰ってきました。衛生的な面にも疑問を持ちます。）今のところ、音更で子育てできて良かったと思っています。お金足りないけどー！

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園で子どもがもっとのびのびと過ごせるように保育をしてほしい！保健師さんは、ワクチンのことに慎重な母たちの思いをもっと考え、ワクチンの歴史や中身必要性についてももっと学んでほしい。 ・ 保健センターへ子育て相談に行ったら、「子育て支援センターの保健師さんに相談してみては？」や「幼稚園の先生に相談してみては？」とそこで解決策を提案してはいただけませんでした。支援センターや幼稚園では相談しづらかったので保健センターに来たのに…なんのための相談の場なんだろう…と思いました。 ・ ひとり親家庭となったが、フルタイムで働き収入がある程度あるため児童扶養手当等の支援制度を受けられなかった。望んでひとり親になったわけではなく、また、子どもとの時間を犠牲にして生活を守るため働いているのに、不公平だと思ってしまう。（町に言うことではないかと思いますが…。） ・ 保育士さんの確保は大変なことと思いますが、周囲からの話を聞いていると、どうしても町営よりも民営（委託）されている保育所の方が施設や行事など恵まれているなど感じてしまいます。先生の対応も疑問に思うこともあったり、同じ保育料を払っているのに差が有るように感じてしまいます。どこの施設に入っても、等しくあって欲しいと望みます。
2 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今、一番苦しんでいることは、小児医療に選択肢がないことです。病児保育が行われるようになり、以前に比べ、病後児保育が受けにくくなりました。（余程、安定した症状でない限り、全て病児対象と言われるため。）しかし、病児保育は予防接種を全て受け終わっていないと、預かってもらえません。しかし、その予防接種には同意書というものがあ。全て、親の責任のもと受けさせるわけです。受けて何が起ころうと、親の責任です。しかし、今の音更町小児科は予防接種を受けることがあたり前、社会の責任という考えのもと親と子を見ています。子育ては、親の責任で、選択をしていくことの連続です。それは誰から責められることでもなく、自由であるべきだと思います。尊重されるべきだと思います。今、父母の他、預かってもらえる人はなく、せつかくの病児保育システムも、利用できなくなり、とても困っています。インフルエンザや水ぼうそう e t c にかかるのは、予防接種を受けない選択をした親の責任なのだから、誰かに頼らず、自分で何とかしろよと言われていたような気がしてなりません。お医者さんだって、親だって人間です。その子にとっての正解は、誰が知っているわけでもなく、親が直感で選んでいくしかないと思っています。お医者さんは、自分の考えを怒りながら押し付けるのはやめて下さい。病児を受けられないので、父母で休んで何とかするしかないと思いつつも、子育てサポートの利用なども考えています。音更町、大好きです。子育てするのに、最高の地域に住んでいると思っています。なので、そこについて残念に思っています。あともう一つ…、保健センターでの定期健診がとても苦痛です。幼い子を連れ、何時間もかかる健診。子ども眠い時間帯。汗だくでイタズラを止め、追いかけて、くたくた。1%でも数値を超えたら「肥満に気をつけて」と言われ。保健師さんと、もっとリラックスした状態で話ができるなら、行きたいと思えるのに。ただただチェックされに行くだけの時間。栄養指導も…もっと、心に響く伝え方、工夫できないでしょうか。ダメなことをひたすら聞かされる数時間は本当に苦痛です。しかも…、健診でアンパンマンが使われる。メディアに注意して言いながら。TVのない家庭の子はアンパンマン知りませんよね。それで答えられなかったら×がつくのでしょうか。矛盾だらけ…。 ・ 3歳児までの検診、保健師さんのチェックが厳しい。よくママさん達が、検診行きたくないと言い、要観察と言われた（チェックされた）ママさん達は泣いたり、悩んだりして、よくない環境だと思う。母親が一番精神的に安定していないといけないと思うので…。保健師さんは、機械的仕事しかしていないように思える。心が無い。結果がすべてみたいに見える。皆さんじゃないと思うが。こんな状況では相談もしたくない。土日など休日に家族が遊んだりできる施設があればいいと思う。（冬は特に）屋内で自由に遊べる場所。 ・ 支援センターの午後の使用時間（開放時間）を1時間くらい延長してほしいです。・ どの保育所でも英語や体操などのカリキュラムを導入してほしいです。 ・ 街灯が少なく、冬は道が暗いです。小さな子供を連れて歩くのがとても怖いので、街灯を増やしてほしいです。 ・ 子供の医療費の助成を高校生までにしてほしい。 ・ 保育園の利用条件について、「同居の家族の介護」が有りますが、同居じゃなくても利用できるようにしてほしいです。女の場合、結婚して実家を出ますが、実親の介護に通うという方も多いいと思います。同居の嫁がいても、親は実の娘に介護してほしいと思う

	<p>ものです。介護休暇も保育園利用も、同居とする根拠は何なのか？介護しているという事実がわかれば同居・別居関係ないのではと思います。書類提出等で事実確認は必要だと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園、保育園の老きゆう化、道路・信号が整備されるとよい。経営者だけでなく、町でも町内の子どもの安全を守ってほしい。地震の備えをもっと厳しく考えてほしい。（できれば行政の力をもっと発揮してほしい。）少子化なので子どもの安全を第一に考えてもらいたい。
3 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・現状で満足しています。 ・日、祝日に遊べる機会、場所を増やしてほしい。・小学校終了まで医療費を負担してほしい。・保育園では土曜日の預かりは就業の時のみになっているが、育休中なので用事や息抜きなどでも利用できるほうがいい。帯広市の保育園は土曜日もすべての方が利用できる。・一時保育を0才から利用できるようにしてほしい。預け先がなくて通院や学校行事など困っている。 ・職場の保育園があり、4才0ヶ月で職場復帰できたのはありがたいことでしたが、もっと育児休暇を長くとれる仕組みがあったらと思いました。また町内では0才児は保育園の入所人数が少なく、受け入れ人数が増えるといいなと思います。音更から帯広に通勤しているため、病後児保育の開始時間だと遅刻してしまいますので、もう少し早い時間に開けてもらえたらと思います。小学生になっても外来医療費を負担してもらえたらと思います。 ・保育施設の駐車場に街灯が少ない為、夜間や冬場は夕方からとても暗く、送迎が混み合う時間は特に危ない。 ・管外から越してきましたが、町における子育ての支援サービス、イベント等の情報を得る手段がわかりません。どんな事があるのか、わかりやすく教えてほしい。親子で参加できるワークショップ的な事（科学教室、工作、料理など）も開催してほしい。親子で楽しめるイベント等も増やしてほしい。彩凜華のようなイベントが2月だけではなく、小規模で季節ごとにあっても良いと思う。夏の夜もイルミネーションを子供と楽しめる場所があると良いと思う。 ・小学校の間は医療費の免除してほしい。病院にかかる事が多いため。・子供がもっと伸び伸びと生活できるよう町も取り組んでほしい。 ・せめて中学校卒業まで医療費の無償化を行ってほしい。 ・保育園で育休中だと年末年始や年度末などに保育協力期間を求められるが、育休中（下に子どもがいる）だからこそ、上の子を預けたいと思うのに家庭保育を求められるのはどうかと思う。育休中も保育を継続させてほしい。・保育園で土曜日の保育を「仕事のみ」に限られているが、フルタイムで働いているからこそ、土曜日にリフレッシュしたり、用事を足したいと思うのに、それができないのは親への負担が大きい。近くに頼れる親族がいらないものにとっては切実です。・1才未満の子の預かりを充実させてほしい。親の受診などで利用したい。 ・天気が悪い時や、室内で遊ぶ場所がなく、本当に困っています。支援センターは平日しかほとんどやっていませんし、幼児が遊ぶには、体育館等は、まだ早すぎます。うちは男の子で体を動かす事が大好きです。図書館に行く事もありますが、それでは、子供のストレスがたまってしまいます。保育園や幼稚園に通っている子は、平日は室内で思いきり体を動かす事が出来ますが、通う事が出来ない子は、本当に大変なのではないでしょうか？ただ、幼児が走り回れるだけの場所でも構いません。早急に対応して頂きたいです。 ・医療費の助成を小学校・中学校に入ってからしてほしい。 ・町立保育園と民間保育園では保育士の質が違いすぎるので、保育士の質をもっと上げて欲しい。ちゃんとしている人もいるが、子どもをどなりつけたり、親のいる前でも大声で私語をしていたり、驚くことがたくさんあるので、町職員も頑張ってもらいたいと思う。雨の日に出かけるところが少ないので、雨の日でもあそべる所をつくってほしい。だいぶ、授乳室が増えたが、やはり授乳する場所がなくて、車の中で目かくして授乳をしていたので、もっと増やしてほしいです。支援が必要な子どもに対しての勉強会や対応の仕方、療育の場所がもう少しあると理解することができると思うのでそういう機会を増やしてほしい。 ・子育てをしながら両親共働きは母親の負担が大きい。フルタイムで働くとなるとさらに大変です。家事サービス、家庭生活を支えるサービスの充実を切に願います。現在もダスキンの夕食サービス等ありますが料金が割高で都心に比べるとサービスの内容も充実しているとは思えません。子どもとの時間を最大限に確保したいので、家事代行サービス（そうじ、食事の下準備 e t c）のサービスがあれば是非利用したいと思います。

4 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の環境に満足しています。 ・これから保育料無償化になりますが、未満児の保育料ほど高いものではなく、金銭面で共働きをしているが、保育料の高さにいつもなげいてきました。所得によるものでしょうけど、収入が一定ではない家庭にとっても昨年の所得で今年の保育料が決まると辛い。手がかかる、人件費がかかる未満児ということは、わかった上での保育料の見直しをお願いしたいです。 ・小児科の平日は、なるべくお休みなしで開院してほしい。・変な人がいるので子どもが安心して遊べる様にパトロールを強化してほしい。 ・子連れで行きやすいスーパーや飲食店は多く満足していますが、遊べる場所にまよう時があります。エコロジーパークの様な場所が町内にあればいいなと思っています。公園の数は多く、いつもきれいなので、外遊びができないときに室内遊びができる様な幼児、小学生ぐらいの子達が楽しめる施設があったら嬉しいです。 ・今、子供が通っている保育園から病後児保育が移転してしまうと伺いました。上2人はケガが多くよく利用しましたが、同じ園内だったので様子を見ながらクラスの活動に参加していました。末子がもしケガなどしたら、そのように利用できないと思うと残念です。人材確保など大変だと思いますが、各園に病後児が出来るともっと利用しやすく、働く親も有難いと思います。 ・共働きの為、小学校へ進級後、放課後の子どものことが心配です。学童保育は何時まで子どもをみてもらえるのか等、知らない事が多いので（小学校でのこと）不安があります。 ・学校現場で、子どもたちの実態に合わない予算づかいがなされたり、たくさんのアンケートや調査、テストなど子どもの負担になるようなものが多いと聞きました。現場の声に耳を傾けた政策が行われることを期待します。子育て支援に関しては、支援されている実感があまりありません。問28の2, 6, 8を強く希望します。 ・町の保育園はどんどんなくなり、町が保育に関してあまり関与していないように感じる。現場を知らない人しか庁舎におらず、ニーズに合った保育や子育て支援を提供していくのは難しいのでは。 ・子供の医療費の軽減を推進してほしい。子供3人いるので、小学生から3割負担となると出費が多い。幕別のように無料（中学生まで）にして頂けるとうれしい。・公園の遊具についても、点検・改装等をして頂きたい。町内にある比較的小さな公園の遊具で、壊れていて遊べない、数が少なくてつまらない、時計が壊れていて時間がわからない等、子供がよく不満をもらしているの、楽しく遊べる環境を作って頂けると親としても有りがたいです。
5 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具のある公園が少なすぎます！！冬場でも遊べる場所がほしい。音更にはエコロジーパークくらいしかありません。（エコパも屋内狭いし、外もふわふわドームしかない）むつみ公園の遊具の無さ（広さに対して）には悲しくなります。もったいないです。冬場は帯広市の児童会館に行くくらいしか楽しみがありません。釧路の室内砂場など、冬の長い北海道をのり切れる道内の他の地域の方もそこ目当てに来てくれるくらいの楽しい屋内施設、公園（更別のどんぐり公園や農村公園くらいの）を作ってください！！こんなに手間と時間を取らせて集めた意見がどれだけ反映されるか楽しみにしております。 ・正月休み（年末年始）の休みが長すぎ。近郊地域では官公庁と同等に1/4～保育園開園しているとニュースになっていた。休日保育を行っている保育園を通常利用しているならいいが、うちは違うので、慣れない保育園に子どもを行かせるというのが抵抗強く、利用できない。役場等は休みでも支障ないが、保育園がやっていないというのを理由に毎年1/4～5休みを取らなければいけないのが非常に負担です。早期検討を強く望みます。勝毎に投稿した方が話が早く進むのなら、それも考えます。もうすぐ、また年末年始が…どうにか早く考えて下さい。有給がなくなり、その後、子どもの体調不良でも仕事が休みづらくなります。5P、幼児教育無償化予定の説明書書いていますが、年長児は4月から施行されるのでしょうか。はっきり決まっていないのはわかりませんが、今後の予定、見通しについて教えてほしい。もう12月です… ・学校の登校時は横断歩道などに交通指導員さんが立っていて安心ですが、下校時も居てほしい。低学年の子供たちにとっては、とても大切な存在です。 ・教育には関係ないですが、小学校に上がると医療費がかかってくるので少しでも医療費の負担が少なくなるととても助かります。 ・子供の医療費無料の年数を延長してほしい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校までの医療費無料など何か対策を立てないと若い世代の人口増加につながらないと思う。住宅建設の補助などもないので音更町に家を建てるメリットがない。土地価格の安い他の町村を考えてしまう。 ・放課後に小学生が利用できる児童館などを作ってほしい。学童保育が人数の割にせまい。通学路の街灯が暗い。 ・小学校卒業するまで医療費無料化にして頂ければ助かります。病院代のことが気掛かりで、気軽に行けないので。
6 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・小児医療の0円を小学校低学年くらいまでにしていただくと助かります。小学校低学年くらいだと、下の兄弟が風邪等もらってきたときにまだ移る年齢なので。インフルエンザワクチンももっと助成していただくと助かります。 ・子育てに関する医療費の助成を義務教育が終わるまでにひきあげて欲しい。(せめて小学校を卒業するまで)小学生低学年のうち、やはり病院にかかる機会が多く、自費で払うと負担が大きい。兄弟が多ければ、その負担も増えるため、検討していただくとありがたいです。・音更町は公園も多くきれいで、子育てしやすい町だと思います。賛否な意見になるかもしれませんが、悪天候でも遊べる屋内施設があったらもっと嬉しいです。(秩父別町の「キッズスクエアちっくる」や旭川市の「カムイの杜公園わくわくエッグ」のような場所)あくまでも希望であって、本当に子育てしやすい素敵な町だと思います!!いつもありがとうございます。 ・下音更小学校のPTA活動の参加(役員選出)について、2年に1度役員をやらなくてはいけない。兄弟が多ければ非常に大変で、両親が働く家庭が多い中、保護者の負担が多すぎる。夜の部会等、子供たちはどうするの?放置?夏休みのプール見守り隊等、強制されるものが多い。小学校に入ってから保護者負担を減らせる様にして下さい。 ・経済的に助かるチェーンのファミリーレストランが欲しい。・屋内でも遊べるような大きいショッピングモールが欲しい。・医療費無償化(～中学生) ・町内会での子ども会の活動がなくなって、近くの友だちを見つけにくい。 ・保育園が古いのでセキュリティーなど不安がある。 ・特にありません。・学童の中身(内容)を、もう少し充実させて欲しい。(楽しくないから行きたくないと言っている子が多い気がします。) ・「子育て=小さいうち(幼児、小学生)」という訳ではなく、子供が高校生でも子育て期間中だと思うので、小さいうちだけの支援ではなく、高校生くらいまでの支援を考えてほしい。子供が多い家庭への援助がもっとあったらいいと思う。 ・公園すべてに時計をつけてほしい。それか17:00にチャイムなどをならしてほしい。小中の学校からでもいいので。

● 共栄中学校区域

0 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生まで医療費を助成してほしい。 ・音更町の幼稚園、保育園についての情報提供の充実。例えば、0ヶ月検診時に案内、ひとつのHPを見れば各保育事業の情報がわかる等。・グリーンパーク、更別、清流にあるような公園(遊具)があると良い。・土日家族で出かけられる室内の場所。上土幌道の駅スペースのように親がお茶をしながら子供が少し遊べるスペース。・ベビーベッド等、期間が限られている子育てグッズの貸出(本別町で実施されているようです。) ・一時保育について、前日予約、1～2時間利用等、もう少し気軽に利用できると嬉しい。
1 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・病児保育は大変助かっています。共働きで、母親の私はパートではありますが急なお休みをもらうのは困難ではないですが、心苦しいので、病児保育を利用できるのが恵まれてると思います。おたふくかぜワクチンなど、子供に有益なワクチンは、なるべく定期接種になると良いと思います。国の政策かとは思いますが、育児休暇制度は、正社員で雇用されている人のみ恩恵を受けるので、無職の人やパート雇用との格差を感じます。もう少し公平になると良いと思います。これからできる予定の道の駅に子供の遊べる遊具などあったら良いなと思います。 ・保育園、学童の年末年始の休園日が長くて困る。・保育園、学校の給食メニューを良くして欲しい。(うどんと蒸しパンのようにバランス悪い時がある) ・保育園、学校クーラーの設置を希望します。・就学前まで医療費がかからないのが有難い。・豊川小児科の病児保育がとても有難い。安心できる。安いのも有難い。・親は子育てしやすいと思う。 ・帯広の児童館のような施設が欲しい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・上の子が教育支援センターに通所しています。部屋と教育者が不足しているとのことで支援時間が減りました。支援を要する子供が増えているので必要な環境を整えてほしい。又、相談窓口に来るのを待つのではなく、教育を必要とする子供をもう少し吸い上げていく行動も必要なのではないかと思えます。 ・子供課の対応が制度を理解されていない方等があり、一律されておらず、何度も足を運ばなければならない事もあった。・共働き世代があきらかに増えているのに、未満児の入園出来ない状況になるなら、働けなくなってしまう。とくに早生まれの子供については不利な状況だと思う。全ての人が平等に働けるような環境作りをして欲しい。・雨や冬季でも遊べるような室内遊戯施設を作ってほしい（子供の肥満減少につながると思う）・育休中の税金の減税などの制度があるととても助かる・子供連れが入りやすい飲食店やショッピングモールが出来るととても楽・医療費無料の外来分の中学生まで無料とインフルエンザなどの助成
2歳	<ul style="list-style-type: none"> ・町内に大型ショッピングモールの建設（家族で楽しめる場）レストラン等、子ども服、アミューズメントパークなど・町内の空き地の提供（子育て世帯の新築に）・公営住宅跡地（緑陽台北区）の活用、実際に緑陽台に新築したいが土地がなく困っている。多子世帯、小学校に通う子どももいるため緑陽台に住居を構えたい。公営住宅跡地（緑陽台北区）80坪～90坪にて区分し売買していただきたい。緑陽台は人気のため土地提供をすれば町外からも移住してくると期待される。また放置されている（数年）空き家も緑陽台仲区に目立つ。有害環境対策や子ども達が安心して外出できる町づくりとして、子育て世帯が活用できる様、土地もしくは空き家を提供していただきたい。提供する側（地主）にも解体費用補助などの援助も検討してはどうだろうか。音更町はまだ住居（住宅建築）に対する支援が不十分である。将来を担う子育て世帯を大切にしていってほしいと思う。・義務教育期間（中学生）までは医療費無償化。子ども手当の意味がない。なぜ町議員報酬が16%も増になったのか。子育て世帯に十分な支援を。・役場前クリニックにたくさんの子供が受診の様子。ベビーベッドもなく古い造りの病院。トイレも狭く車イスでは入れず。建物は役場の所有と…。子育て世帯にも人気なクリニックのため改築工事の支援を！！
3歳	<ul style="list-style-type: none"> ・残業が多く家に帰るのも遅く残業代もでない夫の職場をどうにかして下さい。子供と居る時間も短く、仕事しすぎで1年で15kgやせてガリガリです。 ・取組がよく見えない ・児童手当や医療費助成などとても助かっている事は沢山あります。 ・もっと、小・中学校増やすべきです。学区が広すぎです。（一校に対し）学校が増えないなら、スクールバスとか出すべきです。不審者が多い音更、治安が悪いので安心して、これから学校など通わずのに不安で仕方ない。車もマナー悪いの多いし、スピード出しすぎたりしてるので… ・音更町内にも労働条件の悪い企業が沢山ある。そういった企業の職場環境を改善していかなければ子どもとの時間の確保や健全な子育て環境の整備は難しく、余裕のなさは家庭環境や心の健康を損なうと思えます。音更町で暮らし、健やかな子どもの成長を願うならば根本的な働きかけ、職場環境のチェックを見直すことも必要かと思えます。 ・子ども達が自分のふるさと音更に誇りを持ち愛することができるよう、教育の現場でも音更の魅力をもっと発信していただけたらと思えます。音更の食材を使った料理教室、幼児向けの物があつたらとても嬉しいです。工作教室等も小学生以上がほとんどなので…。もっと小さな頃から、親以外、園の先生以外の大人から何かを教わってもらい作る経験をさせたいのです。また、地元産の食材を使った体に優しいお料理を食べられる場があればなあと思えます。新しくなる道の駅に期待しております。よろしくお願い致します。 ・保育園の先生の子どもに対する声掛けがとてもきつく感じます。思い通りにならないことへの苛立ちを子ども達にぶつけているようにしか見えません。大人（保育園の先生）の活動や仕事に子どもを乗せたり付き合わせているように見えます。そうではなくて、子どもがしたい活動に大人（保育園の先生）が付き合う、寄り添っていく姿勢にシフトチェンジして欲しいです。今の状態の保育園に自分の子どもが通っていることが大変心苦しく感じます。保育園に行くのも楽しそうな感じではないので、出来るだけ預ける時間帯を短くしたい、又は預けたくないと思うことさえ正直言っております。子どもの活動やしたいことに制限をかけることや、玩具も数ある中から数個しか出さないシステムもどうかと思えます。保育士の人数を増やし、子どもがどこでも遊べ、制限されることなく、伸び伸びと過ごせる保育園が音更町にはほとんど無いと思えます。保育園の先生

	<p>が穴の開いているジーンズをはいて仕事をしているのもかなり印象が悪いです。そんな先生に子ども預けたいとは思いませんし、1度そんな姿を見てからは、信頼関係を築いていくことは絶対にはないと思います。子どもが楽しめる保育園”親が安心して預けられる保育園”を本当に本当に望んでいます。よろしくお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供の予防接種費用の助成について、帯広で受けた場合も対象としてほしい。予防接種も普段のかかりつけの信頼している病院で受けさせたい。
4 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・柳町地区等、東側には公園がたくさんあるが、開進地区等、西側には全く無いので作ってほしい。交通量の多い所に住んでいるので安心して生活できるように歩道の整備などもしてほしい（ハラデンキ北側） ・こども課の対応について、保育所の相談いっても、現状が～で、このようにするのが良い方法！とか、その様なアドバイスとか全然なくてがっかり。ただ「いっぱいなので入れません。」のみ。こっちは困って相談に行っているのに、もっと考えられる方法提案してくれても良いのでは？上の子が保育所入れたけど、下の子はまだ入れず託児所に行っていますが、その差額免除の件とか、こっちから言わないと動いてくれなかった。先にそのような情報をくれても良いのでは？家庭にとってありがたいと思う情報提供、アドバイス、サービス、権利もっとくれてもよいと思う。最近態度も良くない人もいる。 ・屋内で遊べる施設や飲食店の子供連れも行きやすい場所がほしい。・屋外公園などの遊具の充実 ・家の近くに公園が少ないため、車で公園に行くことが多いのですが、駐車場がある公園が少なく、もう少し増やしてほしい。・2年後の就学時に通学路になるであろう道の歩道があまり整備されていない。（せまい上に雑草が伸び放題の所がある）別のルートだと近所の子達と通学できそうだけど、歩道のない所がある。通学路について、今から悩んでいます。 ・幼稚園や保育園は充実していて、病後児保育なども町内にあって、共働き世帯には子育てしやすい環境だと思います。遊ぶ環境について、小さな公園は町内に多く点在していますが、魅力的な遊具もなく、大きさも中途半端で、活発に利用されているとは思えません。木野の中心部にあって、広い芝生のスペースがあるむつみ公園に、大きな遊具を設置し、町内の子育て世帯がもっとたくさん集える公園にしてはどうでしょうか。十勝川温泉のハナックやエコロジーパークは遠く、気軽に利用できません。小学生以上の医療費について、十勝管内でも自己負担を無料にしている自治体が多く、全国的にも珍しくありません。無料にすると、不適切受診が増えると言われますが、3割負担を1割負担にするなど、方法を検討し、何かしらの支援を期待します。 ・町内に、大きな公園や（十勝川は少し遠く、帯広等と変わらないのもう少し街中に…）室内で遊べる施設があると、本当に助かります。また子連れでも行きやすい飲食店（フードコートのような気軽に行ける所）もあるといいなと思いました。小学生未満の子どもを連れて遊んだり、食べたりするのはけっこう大変で…特に実家が遠い家庭は主に母1人で連れ歩く為、そういった施設がある地域が実際あるのでもうらやましいなと思っていました。
5 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・問27についてわかりません。去年、帯広から引越して来ましたが、音更町では子育て支援でどのようなことをしているのか、費用など調べておらず情報がありませんでした。 ・音更町は、魅力ある子育て支援策を打ち出さなくとも人が集まって来る町である（利便性から）と思う。そのことで、町は他町村に比べて子育て支援のあり方、魅力ある政策作りに消極的である印象を受けます。現在子育てをしている世帯が、音更に住んでいてよかったと思える子育て世帯の立場に立った、心のこもった政策作りの促進を願います。 ・音更町は幼稚園が少なすぎる上、幼稚園での親の集まり、やる事が多すぎる。乳児を抱えて、園に出向く苦勞が多い。幼稚園なのに親が先生のように企画を考え、統一させなければならず大変面倒。幼稚園の急な休み、預かれぬ日が多い。1人親に対して偏見を持つ教師が多い。小児科も少なすぎて混雑。病院へ行くと待ち時間で他の病気をもらってしまう。腕の良い医師を選べない。音更町役場は帯広市役所に比べ、態度が悪い。帯広市役所のすばらしい愛想と接客、支援センターはとても良いと思います。 ・保育園の先生の人数配置が、町の保育園と民間委託の保育園では大分違うと思います。町の保育園の人数では少ないと思うのですが…。数があればいいわけではないですが、やはりある程度の人数は必要かと思えます。柳町保育園の先生の数は足りないように見えています。

6 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校に上がってからも医療費免除してほしい。 ・ 保育料が各家庭ちがうのに同じ保育を受ける。我が家よりよい物を購入していることに不満がありました。 ・ 雨の日、雪の日でも楽しく遊べる室内を増やしてほしい。（休みの日でも遊べる場所。有料でも良い。）発達支援の●●先生みたいな先生を増やしてほしい。発達障害を早期発見、療育を受けれるようにしてほしい。（行動をみてもらうのに約1～2ヶ月待ちになっているため。） ・ 医療費助成を期待します。身近に親戚が居ない場合の子どもの保育をしてくれる環境が欲しい。小学生に上がると途端にサービスが減る。幼児までが保育ではない。 ・ 保育園や学童の預かり時間で18時以降の追加料金はやめてほしい。 ・ お年寄りが増えているので、昔ながらのおやつ作りや遊び方を講師になって頂いて開催してほしいと思います。ラジオ体操や盆踊りが少子化でなくなっていますが、3世代で集まって開催できるのが夢です。 ・ 医療費を下げたい・保育所について認定こども園の①“メリット” “デメリット” ②保育士の力量③こどもの対応性について中期的に調査してほしい
-----	---

小学生のいる世帯の調査結果

A. お住まいの地域について

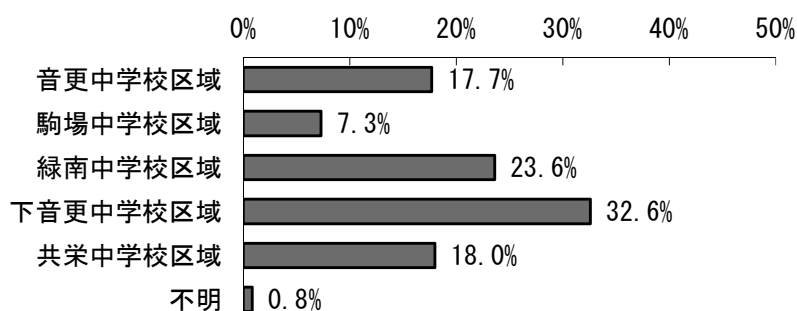
(1) 居住地区

問 1 お住まいの地区としてあてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

居住地区は、「下音更中学校区域」が32.6%、「緑南中学校区域」が23.6%、「共栄中学校区域」が18.0%となっています。

問1. お住まいの地区

n=356



B. あて名のお子さんご家族の状況について

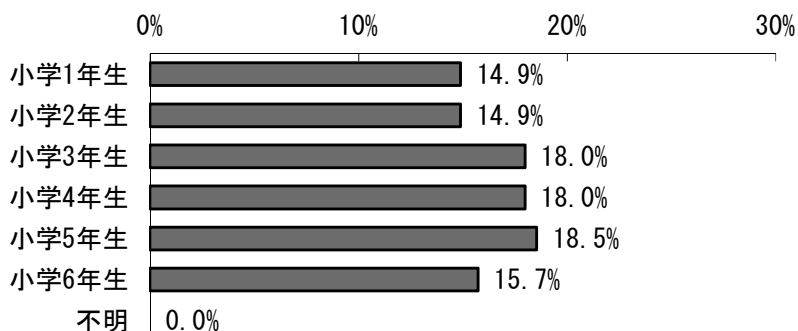
(2) お子さんの学年

問 2 あて名のお子さんの学年をご記入ください。あてはまる番号1つに○をつけてください。

子どもの学年は、「小学5年生」が18.5%と最も高く、次いで「小学3年生」と「小学4年生」が18.0%、「小学6年生」が15.7%、「小学1年生」と「小学2年生」が14.9%となっています。

問2. お子さんの学年

n=356



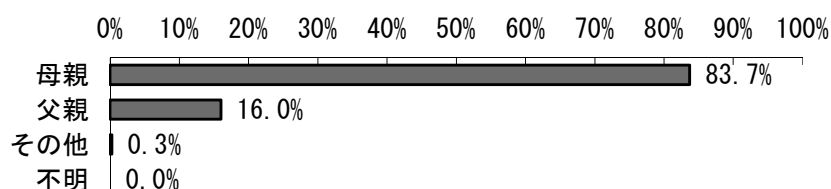
(3) 回答者とお子さんの関係

問 3 この調査票にお答えいただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。あてはまる番号1つに○をつけてください。

この調査票に回答した人は、「母親」が83.7%、「父親」が16.0%、「その他」が0.3%となっています。

問3. 調査票にお答えいただく方

n=356



●その他
祖母

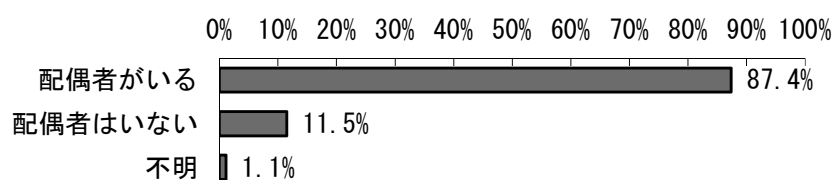
(4) 回答者の配偶関係

問 4 この調査票にお答えいただいている方の配偶関係についてお答えください。あてはまる番号1つに○をつけてください。

回答者の配偶者の有無は、「配偶者がいる」が87.4%、「配偶者はいない」が11.5%となっています。

問4. 調査票にお答えいただいている方の配偶関係

n=356



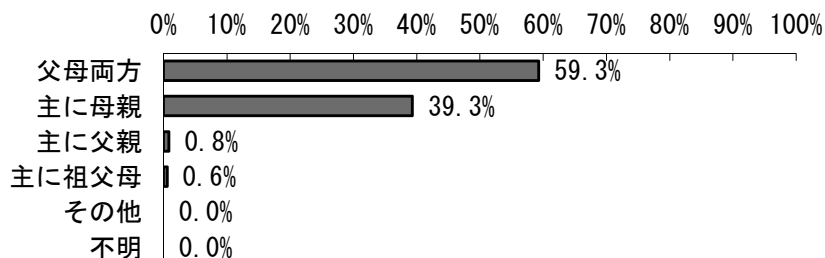
(5) お子さんの子育てを主に行っている方

問 5 あて名のお子さんの子育て（教育含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係ではまる番号1つに○をつけてください。

主に子育てを行っているのは、「父母両方」が59.3%と最も高く、次いで「主に母親」が39.3%、「主に父親」が0.8%、「主に祖父母」が0.6%となっています。

問5. お子さんの子育て（教育含む）を主に行っているのはどなたですか

n=356



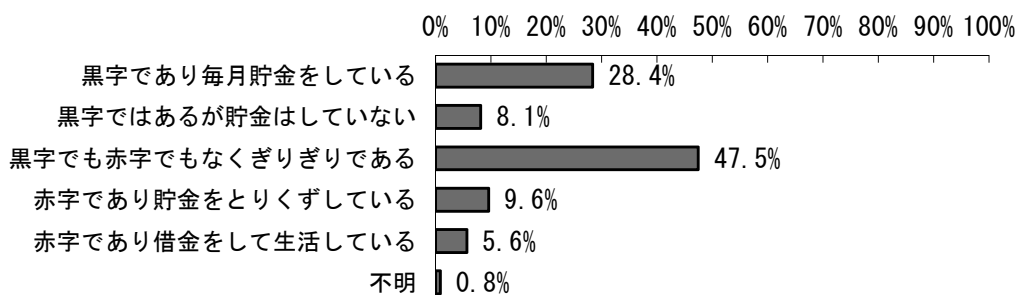
(6) 普段の家計

問 6 あなたのご家庭の普段の家計について、もっとも近いもの1つに○をつけてください（住宅ローンや車のローンなども支出に含めてお答えください）。

家庭の普段の家計について、もっとも近いものは、「黒字でも赤字でもなくぎりぎりである」が47.5%と最も高く、次いで「黒字であり毎月貯金をしている」が28.4%、「赤字であり貯金をとりくずしている」が9.6%となっています。

問6. ご家庭の普段の家計について

n=356



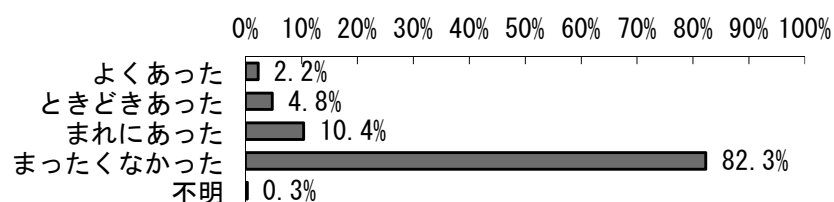
(7) 経済的な理由から日常生活に不自由した経験の有無

問 7 過去1年間に、経済的な理由で、次のようなことがありましたか。①～③のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

過去1年間に経済的な理由から日常生活に不自由した経験があったかについて、各項目の「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」を合計すると、「家族が必要とする食料を買えなかった」の17.4%が最も高い割合となっています。

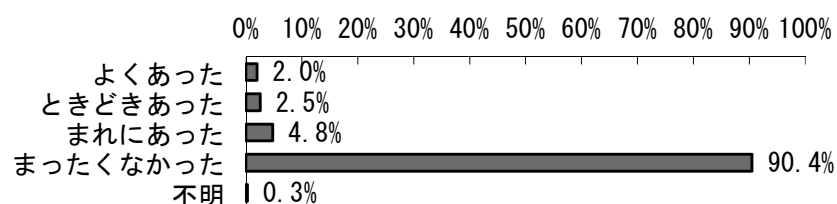
問7-1. 家族が必要とする食料を買えなかった

n=356



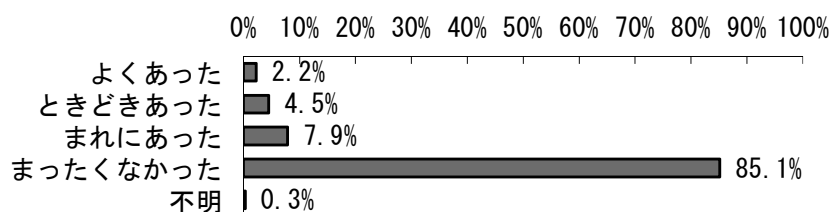
問7-2. 冬に暖房が使えなかった

n=356



問7-3. 病院に受診することができなかった

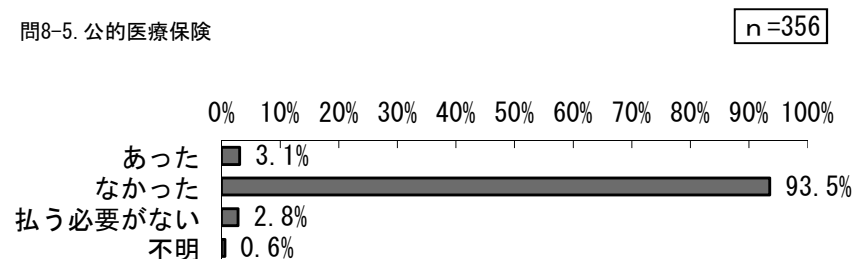
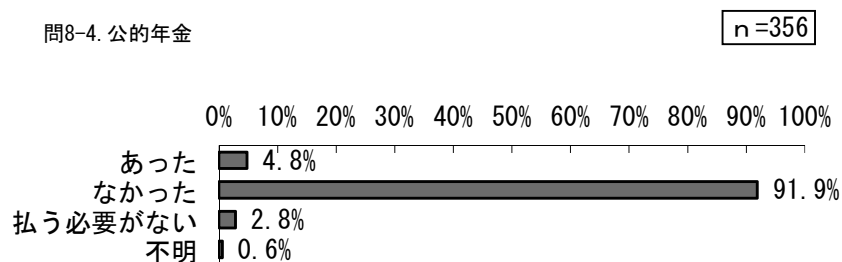
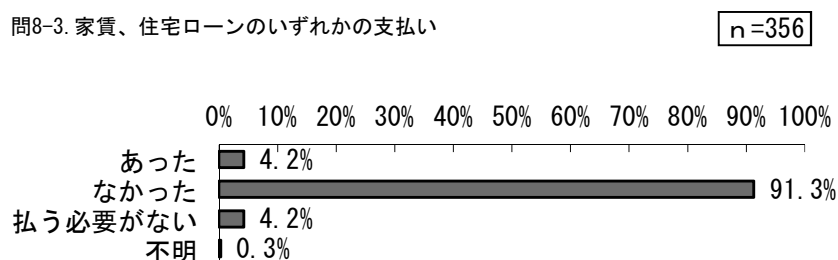
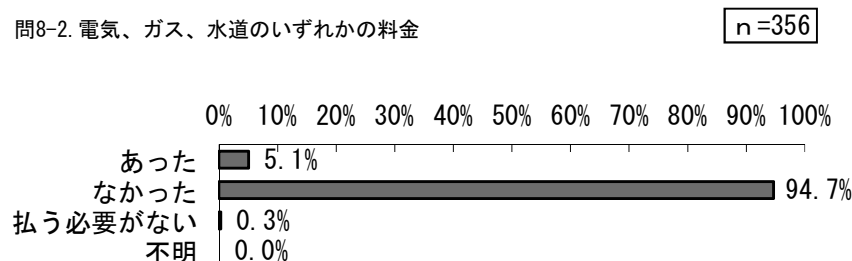
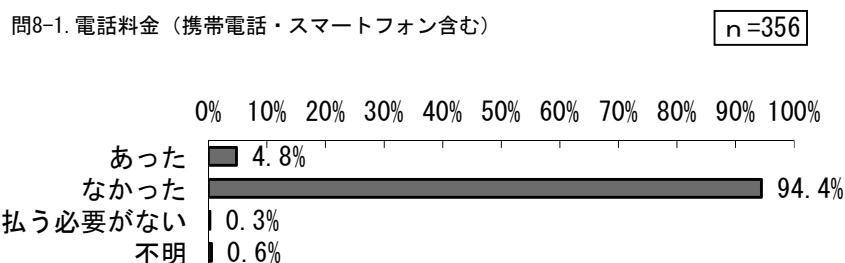
n=356



(8) 経済的な理由から支払いができなかった経験の有無

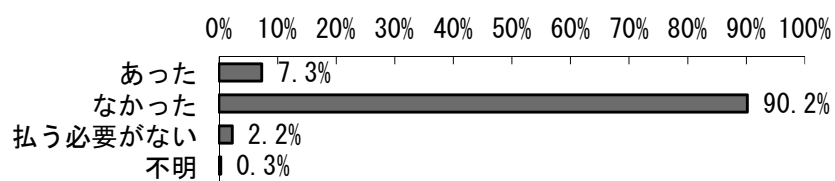
問 8 過去1年間に、経済的な理由で、次の支払いができなかったことがありましたか。
①~⑧のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

過去1年間に経済的な理由から支払いができなかった経験があるかについて、各項目の「あった」をみると、「クレジットカードや他の借金の支払い」の8.7%が最も高く、次いで「税金」の7.3%となっています。



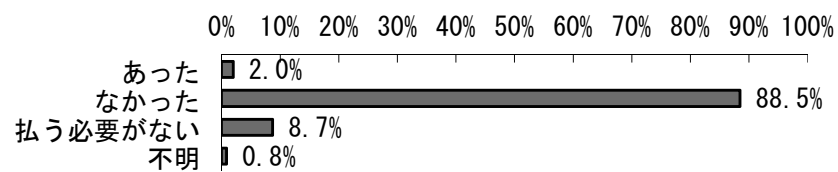
問8-6. 税金

n=356



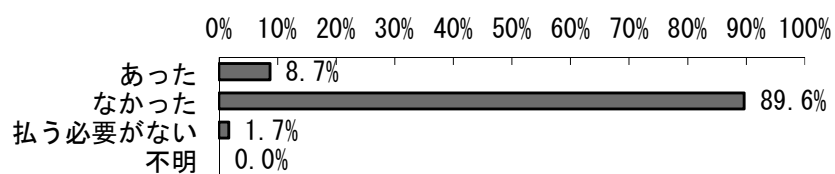
問8-7. 給食費

n=356



問8-8. クレジットカードや他の借金の支払い

n=356



C. 保護者の就労状況について

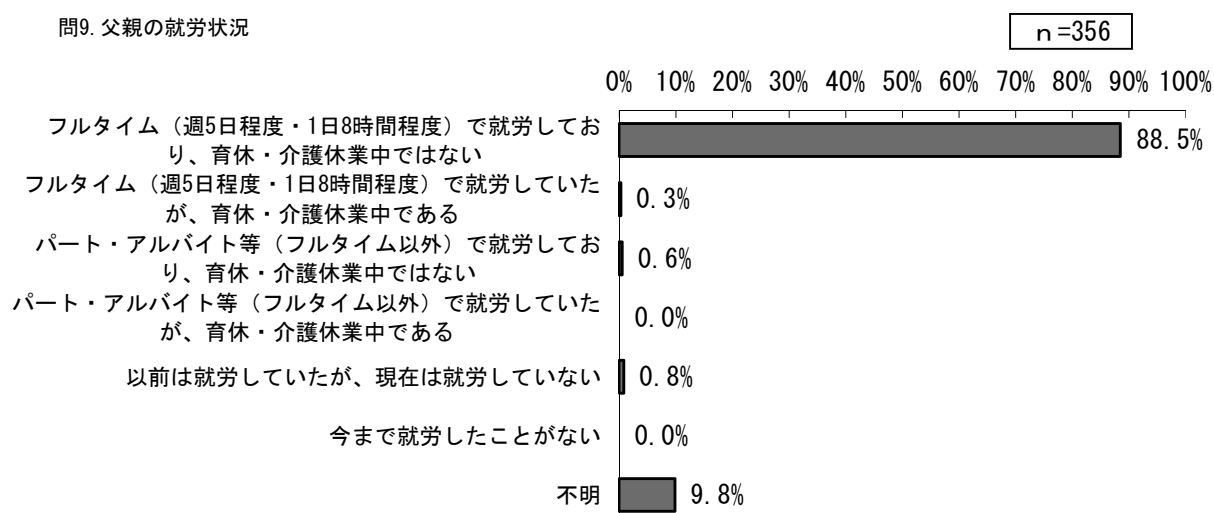
(9) 両親の就労状況

問 9 あて名のお子さんのご両親の就労状況（自営業の方とその家族従事者を含む）についてうかがいます。父親・母親それぞれについてお答えください。ひとり親の方は、ご自身に関する設問のみお答えください。

(1) 父親

父親の就労状況は、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が88.5%と最も高くなっています。

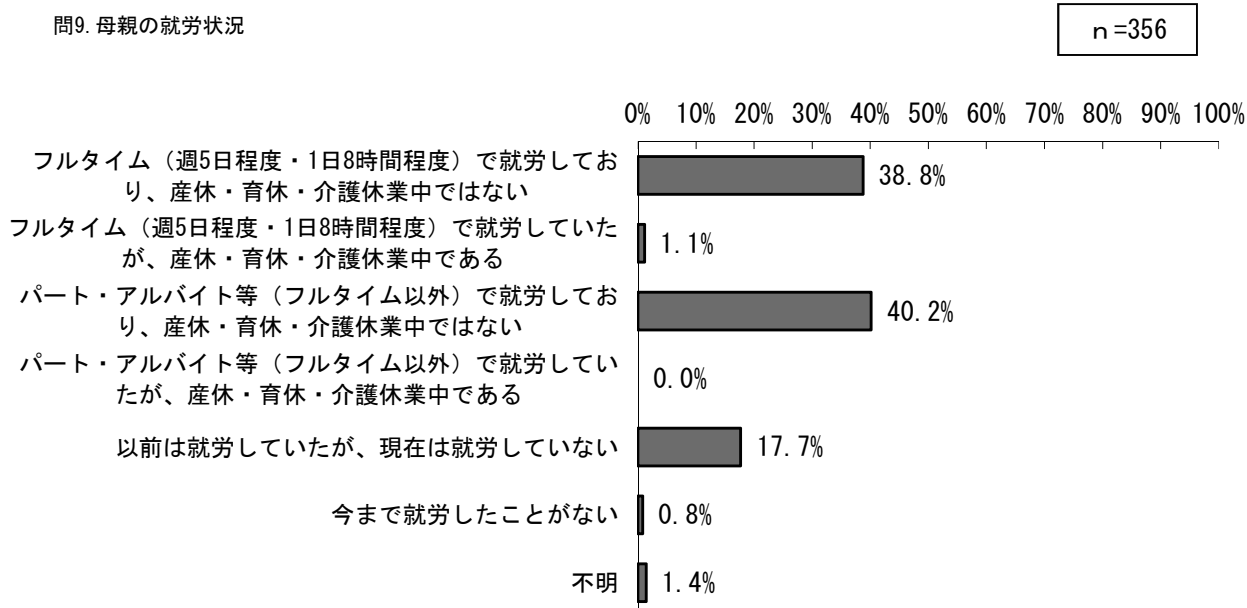
問9. 父親の就労状況



(2) 母親

母親の就労状況は、「パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が40.2%と最も高く、次いで「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が38.8%となっています。

問9. 母親の就労状況



D. 子どもの育ちをめぐる環境について

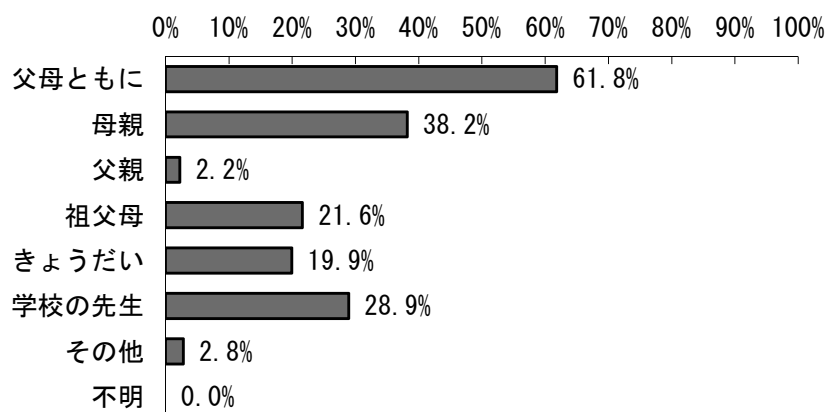
(10) 子育て（教育含む）に日常的に関わっている方

問 10 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなたですか。お子さんからみた関係であてはまる番号すべてに○をつけてください。

子育て（教育を含む）に日常的に関わっているのは、「父母ともに」が61.8%と最も高く、次いで「母親」が38.2%、「学校の先生」が28.9%となっています。

問10. お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方

n=356



●その他

友達／少年団の先生／支援センターの先生／塾／習い事の先生 など

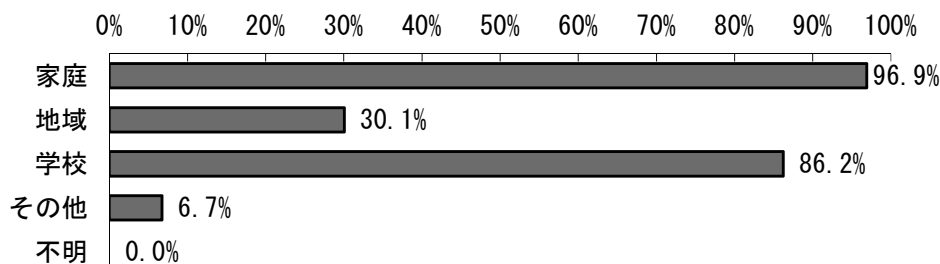
(11) 子育てに影響すると思われる環境

問 11 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境は、「家庭」が96.9%と最も高く、それに続く「学校」の86.2%も非常に高い割合となっています。

問11. お子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境

n=356



●その他

習い事／友達／療育施設／少年団活動／支援事業所／学童 など

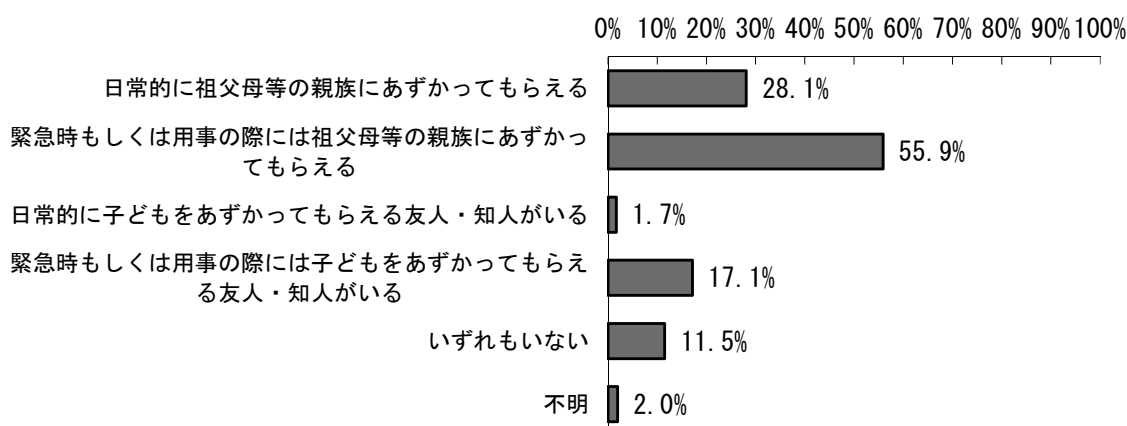
(12) お子さんを預かってもらえる親族・知人の有無

問 12 日ごろ、あて名のお子さんをあずかってもらえる親族・知人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

日ごろ、子どもをあずかってもらえる親族・知人がいるかは、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にあずかってもらえる」が55.9%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にあずかってもらえる」が28.1%となっています。

問12. お子さんをあずかってもらえる親族・知人はいますか

n=356



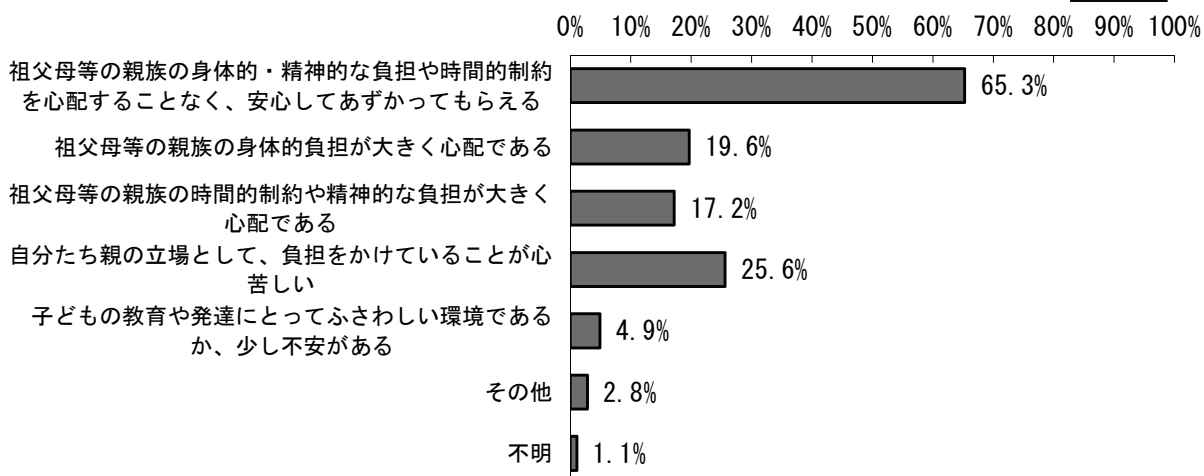
(12-1) 親族にお子さんをあずかってもらっている状況

問 12-1 問 12 で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをあずかってもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

祖父母等の親族に子どもをあずかってもらっている状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心してあずかってもらえる」が65.3%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が25.6%となっています。

問12-1. 祖父母等の親族にお子さんをあずかってもらっている状況

n=285



●その他

祖父母も働いているので緊急時（よっぽど）しか頼めない／見返りを期待される。してやったという恩をきせられる／両親の祖父母ではなく、母方の祖父母でないと安心して預けられない／子供のアレルギーが心配 など

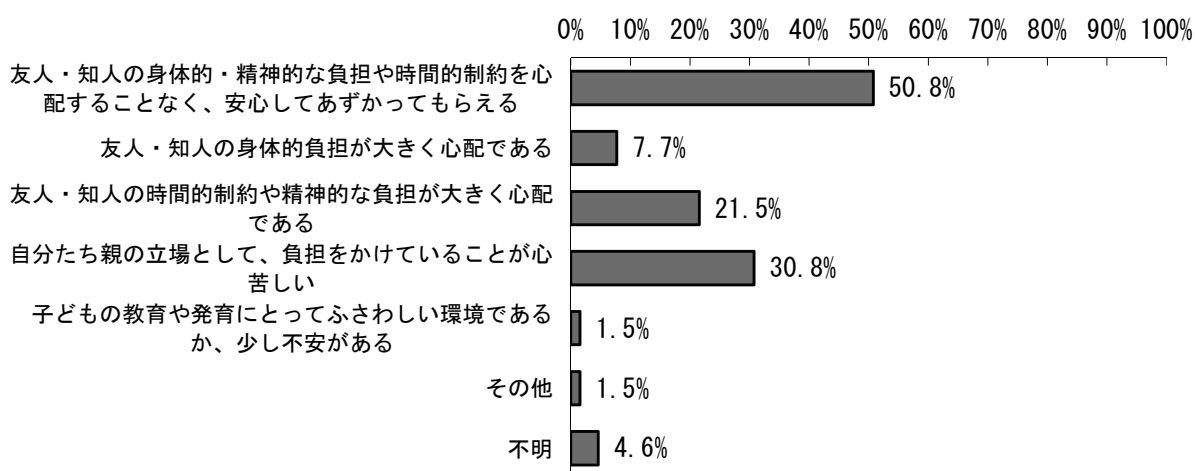
(12-2) 友人・知人にお子さんをあずかってもらっている状況

問 12-2 問 12 で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをあずかってもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

友人・知人に子どもをあずかってもらっている状況については、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心してあずかってもらえる」が 50.8%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 30.8%となっています。

問12-2. 友人・知人にお子さんをあずかってもらっている状況

n=65



●その他

相手も仕事をしている

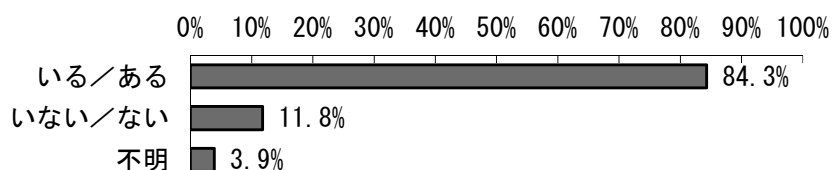
(13) 子育てをする上で気軽に相談できる相手・場所の有無

問 13 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる相手や場所の有無については、「いる／ある」が 84.3%、「いない／ない」が 11.8%となっています。

問13. お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか

n=356



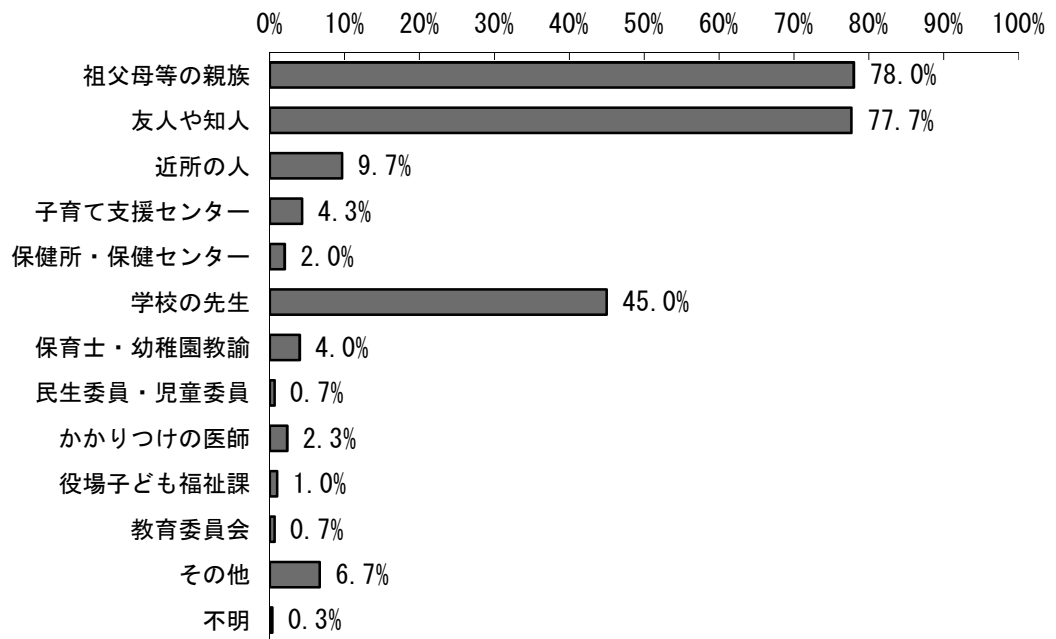
(13-1) 子育てをする上で気軽に相談できる相手・場所

問 13-1 問 13 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる相手先は、誰（どこ）ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

子育て（教育を含む）に関して気軽に相談できる相手や場所については、「祖父母等の親族」が78.0%と最も高く、次いで「友人や知人」が77.7%となっています。

問13-1. お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる相手先は、誰（どこ）ですか

n=300



●その他

デイサービス／学校の担任ではなく教頭、校長／学習塾の先生／児童相談所／医療機関の先生、スタッフさん／ていくたくの先生 など

E. 学童保育所について

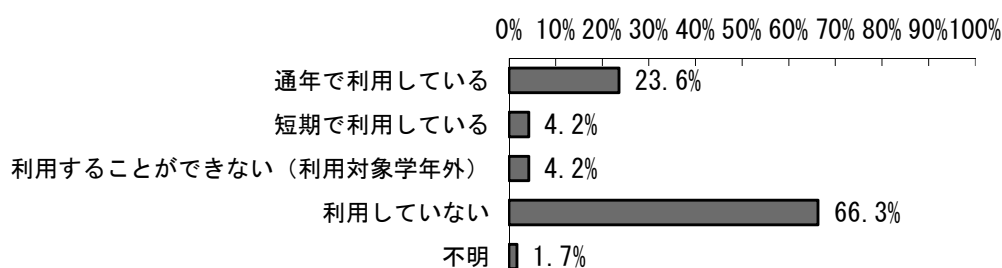
(14) 学童保育所の利用有無

問 14 現在、学童保育所を利用していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

現在、学童保育所を利用しているかについては、「利用していない」が66.3%と最も高く、次いで「通年で利用している」が23.6%となっています。

問14. 現在、学童保育所を利用していますか

n=356



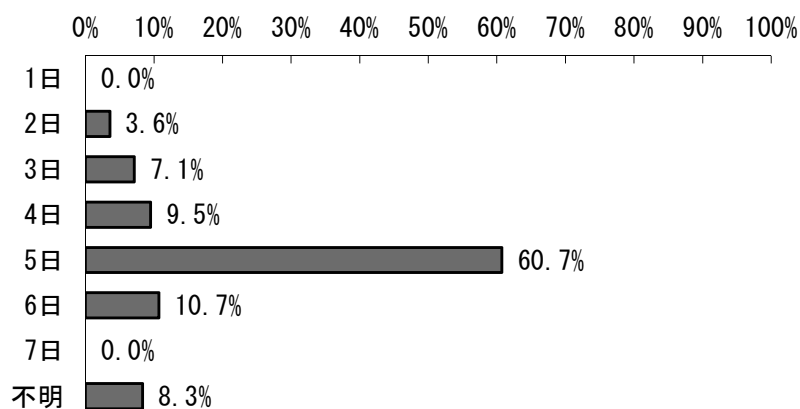
(14-1) 学童保育所の利用状況

問 14-1 問 14 で「1. 通年で利用している」に○をつけた方にうかがいます。
(1) 学童保育所の利用日数をお答えください。
(2) 学童保育所を利用している主な理由は何ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。
(3) 学童保育所を土曜日と日曜日・祝日に実施した場合、利用したいとお考えですか。それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

学童保育所を通年で利用している人の1週間の利用日数は、「5日」が60.7%と最も高く、次いで「6日」が10.7%、「4日」が9.5%となっています。

問14-1(1) 学童保育所の利用日数

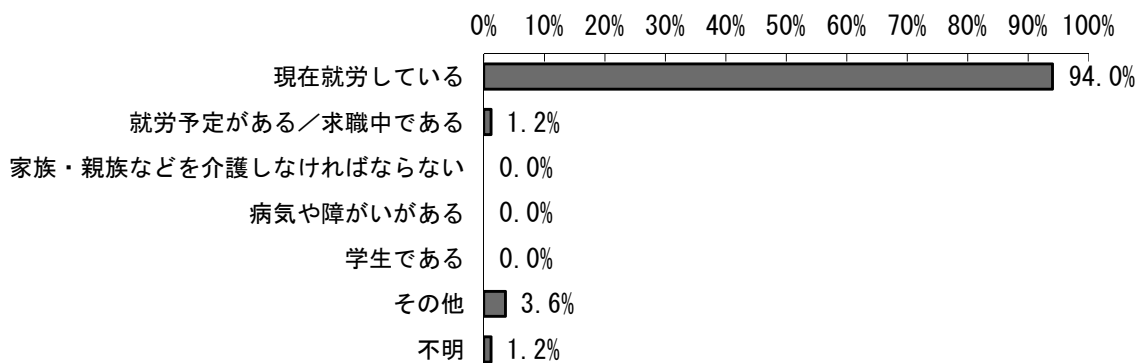
n=84



学童保育所を利用している理由は、(子どもの身の回りの世話を主にしている人が)「現在就労している」が94.0%と大半を占めています。

問14-1(2) 学童保育所を利用している主な理由

n=84



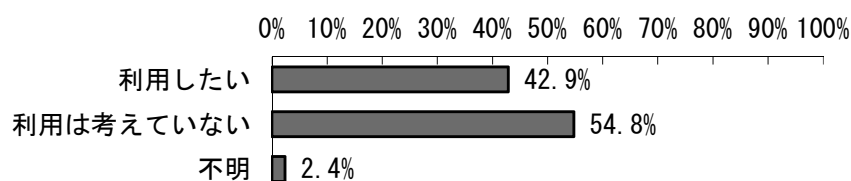
●その他

ていくたくへの迎への待機場所/育休中/育児中

土曜日に学童保育所を利用したいかについては、「利用したい」が42.9%、「利用は考えていない」が54.8%となっています。

問14-1(3). 土曜日に学童保育所を利用したいとお考えですか

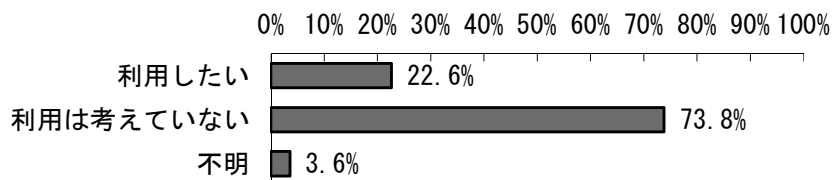
n=84



日曜日・祝日に学童保育所を利用したいかについては、「利用したい」が22.6%、「利用は考えていない」が73.8%となっています。

問14-1(3). 日曜日・祝日に学童保育所を利用したいとお考えですか

n=84



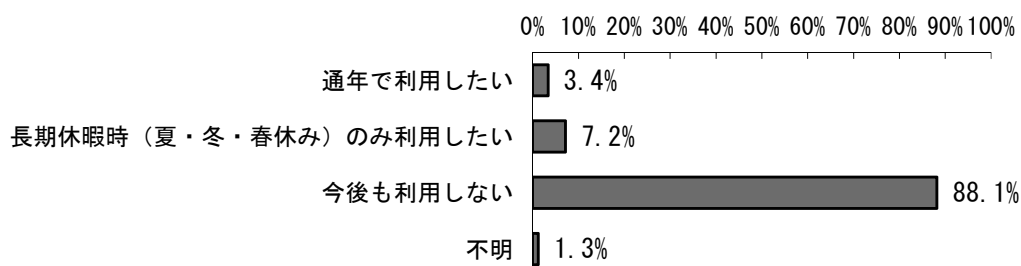
(14-2) 学童保育所の利用希望

問 14-2 問 14 で「4. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。お子さんについて、今後、学童保育所を利用したいとお考えですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい方は、利用日数と土日・祝日の希望もお答えください。

学童保育所を利用していない人の、今後の利用意向は、「今後も利用しない」が 88.1%と最も高く、次いで「長期休暇時（夏・冬・春休み）のみ利用したい」が7.2%となっています。

問14-2. お子さんについて、今後、学童保育所を利用したいとお考えですか

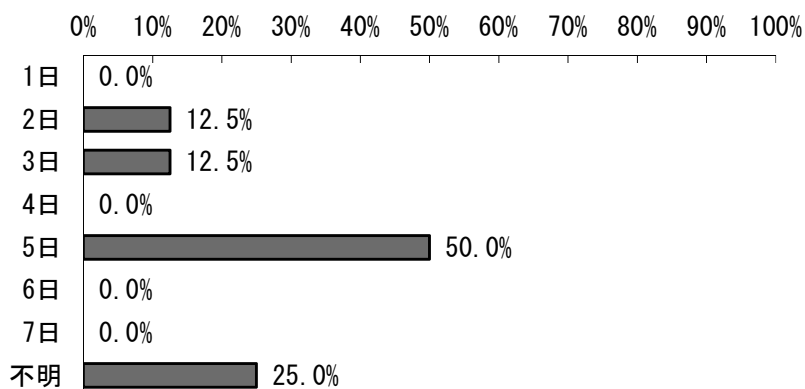
n=236



通年で利用したい場合、1週間の利用日数は、「5日」が50.0%と最も高くなっています。

問14-2_1. 通年で利用したい週あたりの日数

n=8

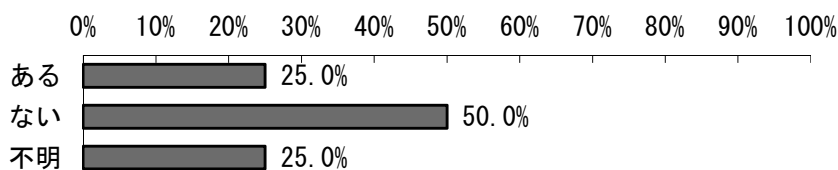


※サンプル数が少ない事に留意する必要があります。

通年で利用したい場合、土日・祝日の利用希望は、「ある」が25.0%、「ない」が50.0%となっています。

問14-2_1. うち土日・祝日の利用希望

n=8

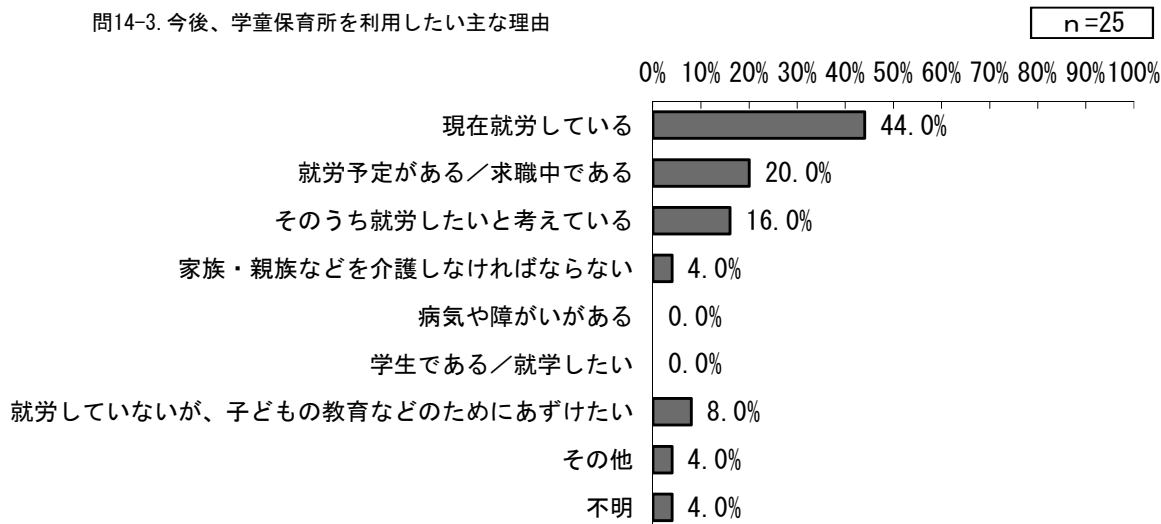


※サンプル数が少ない事に留意する必要があります。

(14-3) 学童保育所を利用したい理由

問 14-3 問 14-2 で「1」または「2」を選んだ方にうかがいます。今後、学童保育所を利用したい主な理由は何ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

今後、学童保育所を利用したい人の、その主な理由は、(子どもの身の回りの世話を主にしている人が)「現在就労している」が 44.0%と最も高く、次いで「就労予定がある／求職中である」が 20.0%となっています。



●その他

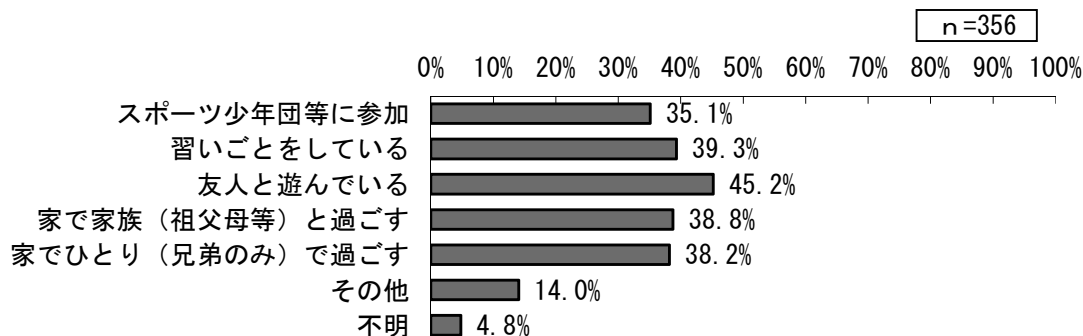
祖母が高齢なのと、僻地なので放課後の友人との交流がほとんどない

(15) お子さんの放課後の過ごし方

問 15 あて名のお子さんは放課後どのように過ごしていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもの放課後の過ごし方は、「友人と遊んでいる」が 45.2%と最も高く、次いで「習いごとをしている」が 39.3%、「家で家族（祖父母等）と過ごす」が 38.8%となっています。

問15. お子さんは放課後どのように過ごしていますか



●その他

学童保育所（※多数）／母が在宅している／子育て支援センター／支援事業所／ていくたく／YMCA アフタースクール／放課後デイサービス／日中一時支援 など

F. ご家庭での子育てと子育て環境について

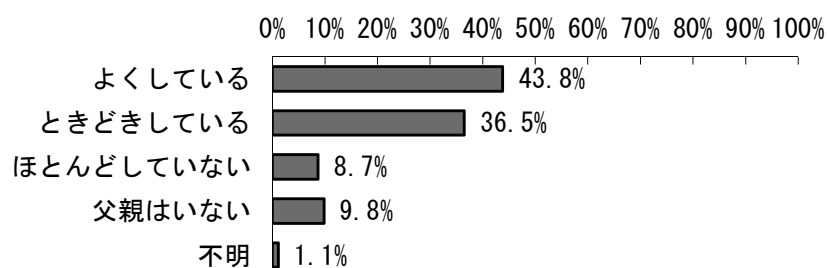
(16) 父親の育児参加状況

問 16 お父さんは育児に参加していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

父親が育児に参加しているかについては、「よくしている」が43.8%と最も高く、次いで「ときどきしている」が36.5%、「父親はいない」が9.8%、「ほとんどしていない」が8.7%となっています。

問16. お父さんは育児に参加していますか

n=356



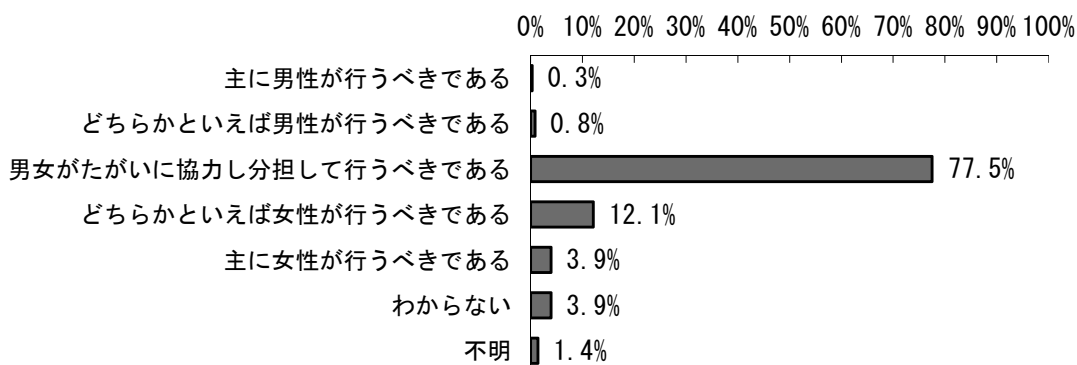
(17) 家事の分担について

問 17 家庭での家事分担はどのようにするのがよいと考えますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

家庭での家事分担はどのようにするのがよいと考えるかは、「男女がたがいに協力し分担して行うべきである」が77.5%と非常に高い割合となっています。以下は「どちらかといえば女性が行うべきである」が12.1%となっています。

問17. 家庭での家事分担はどのようにするのがよいと考えますか

n=356



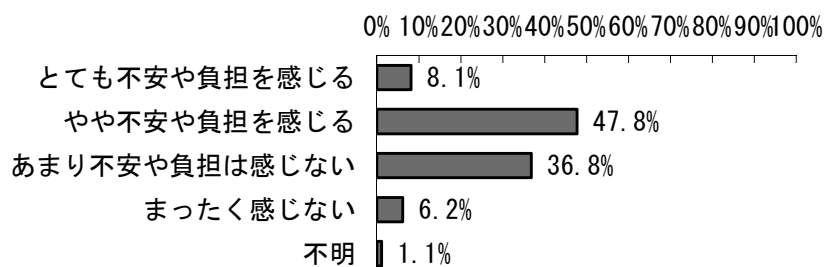
(18) 子育てに不安や負担を感じるか

問 18 子育てに関して不安や負担を感じますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

子育てに関して不安や負担を感じるかは、「やや不安や負担を感じる」が47.8%と最も高く、次いで「あまり不安や負担は感じない」が36.8%、「とても不安や負担を感じる」が8.1%、「まったく感じない」が6.2%となっています。

問18. 子育てに関して不安や負担を感じますか

n=356



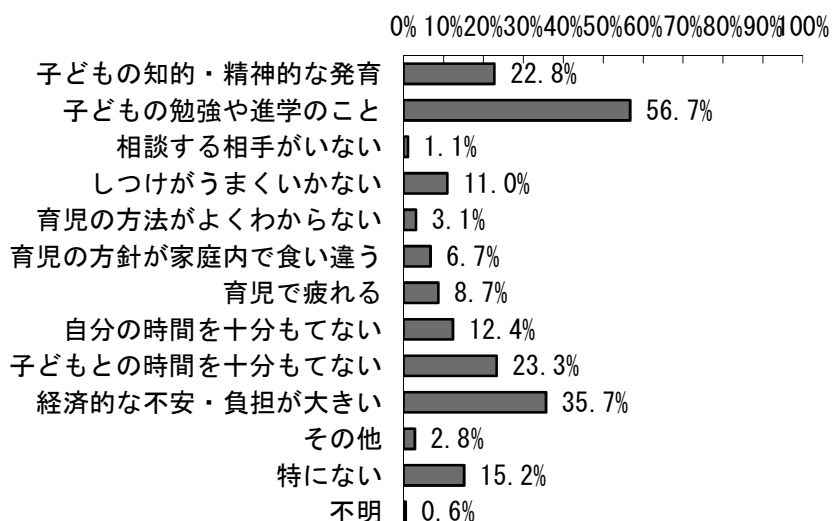
(19) 子育てに関する悩み

問 19 子育てについての悩みはありますか。主なもの3つまでに○をつけてください。

子育てについての主な悩みは、「子どもの勉強や進学のこと」が56.7%と最も高く、次いで「経済的な不安・負担が大きい」が35.7%、「子どもとの時間を十分もてない」が23.3%、「子どもの知的・精神的な発育」が22.8%となっています。

問19. 子育てについての悩みはありますか

n=356



●その他

ゲーム依存症的な所／先天性の疾患について／友人関係／学校へ行きたくないという子供への対応に悩む／障害を持っているのですべてが不安／治安／役場が当てにならない など

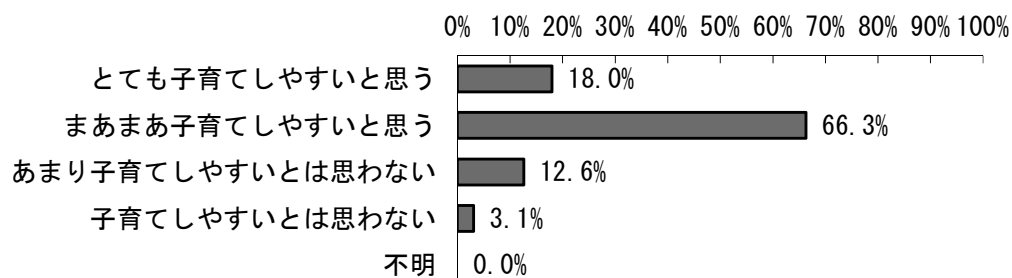
(20) 子育てをしやすい環境だと思うか

問 20 お住まいの地区は、子育てのしやすい環境だと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

住んでいる地区が子育てのしやすい環境だと思うかは、「まあまあ子育てしやすいと思う」が66.3%と最も高く、次いで「とても子育てしやすいと思う」が18.0%、「あまり子育てしやすいとは思わない」が12.6%、「子育てしやすいとは思わない」が3.1%となっています。

問20. お住まいの地区は、子育てのしやすい環境だと思いますか

n=356



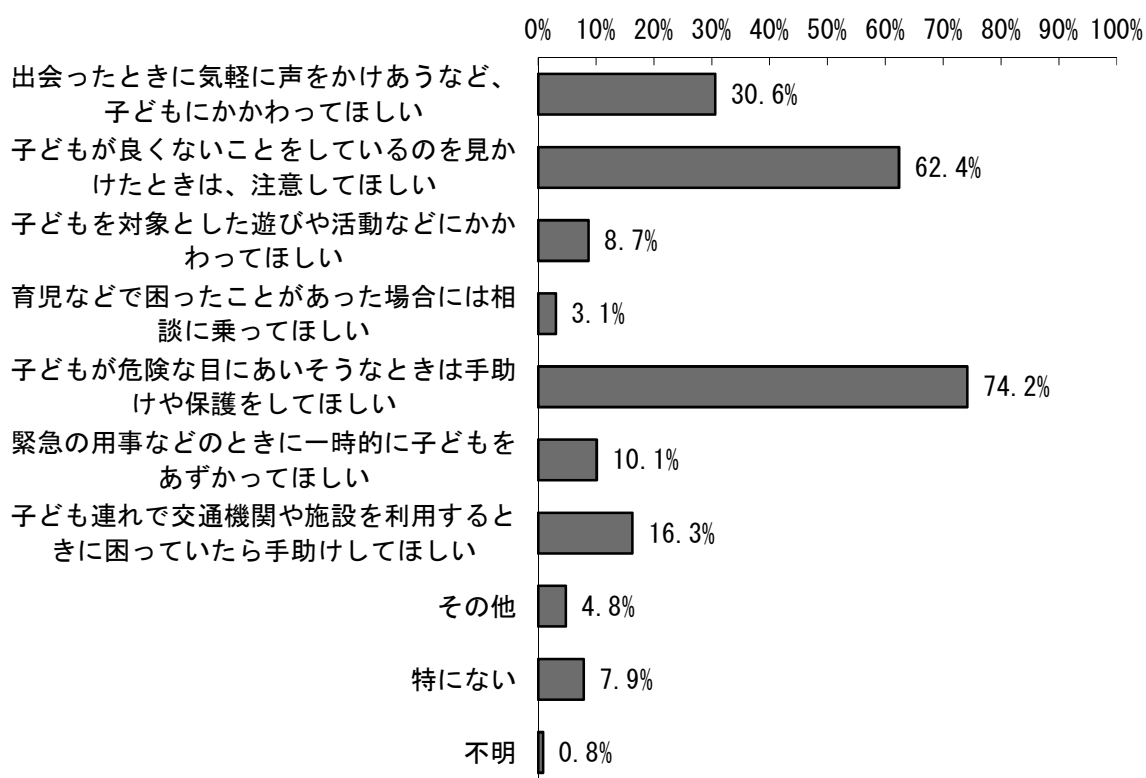
(21) 子育てをする上で近所や地域に望むこと

問 21 子育てをする上で、近所や地域に望むことはありますか。主なもの3つまでに○をつけてください。

子育てをする上で近所や地域に望むことは、「子どもが危険な目にあいそうなときは手助けや保護をしてほしい」が74.2%と最も高く、次いで「子どもが良くないことをしているのを見かけたときは、注意してほしい」が62.4%、「出会ったときに気軽に声をかけあうなど、子どもにかかわってほしい」が30.6%となっています。

問21. 子育てをする上で、近所や地域に望むことはありますか

n=356



●その他

道路整備をして欲しい／下校時の見守りをしてもらい、防犯対策してほしい／子供会の充実／公園の遊具がとても少ない／障害のある子ども安心して利用できる習い事や居場所を作って欲しい／子供が少ない為、増えることを望みます／遊ぶ場所がない／子ども達の手本となる様、常識ある行動・言動をしてほしい／学童を設置して欲しい など

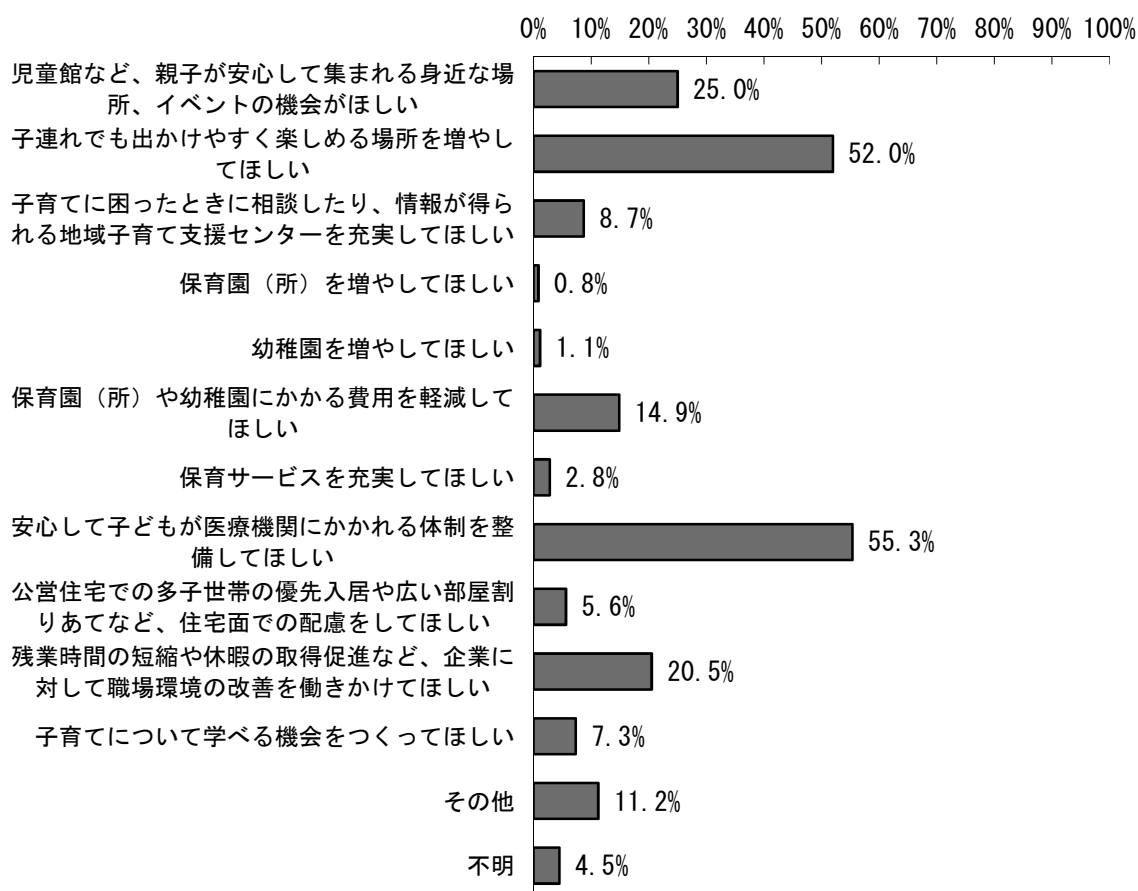
(22) 町の子育て支援に期待すること

問 22 本町の子育て支援について特に期待することは何ですか。主なもの3つまでに○をつけてください。

町の子育て支援について特に期待することは、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」が55.3%と最も高く、次いで「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が52.0%、「児童館など、親子が安心して集まれる身近な場所、イベントの機会がほしい」が25.0%となっています。

問22. 本町の子育て支援について特に期待することは何ですか

n=356



●「保育サービスを充実してほしい」の具体的内容

子育てサポート事業の充実／病児保育等、ひとり親が仕事を休まず子供と暮らしていける環境が欲しい／保育園の保育内容を統一して欲しい。先生によってバラバラな対応なので／一時的に預かってもらえるところが欲しい／就労以外に急な用事等ある時、夜の時間も予約なしで預かってくれないか など

●その他

少年団の指導者がいない。小学校の先生が指導に携わってくれとありがたい／スポーツが出来る環境が欲しい／中学生まで医療費の助成又は免除（※同意見多数）／子供の人数によって助成を手厚くして欲しい。例、3人以上からは税金の軽減等／経済的支援を望んでいる／緊急の時などに一時的に子供をあずかってもらえる大変助かる／学校の環境を整えて欲しい。不衛生、寒すぎるなど／音更町の水道料や生活保護世帯に対する家賃設定の見直しをして欲しい／母子だけの公営住宅／学童を放課後や休日の居場所として機能の充実 など

G. 制度の利用について

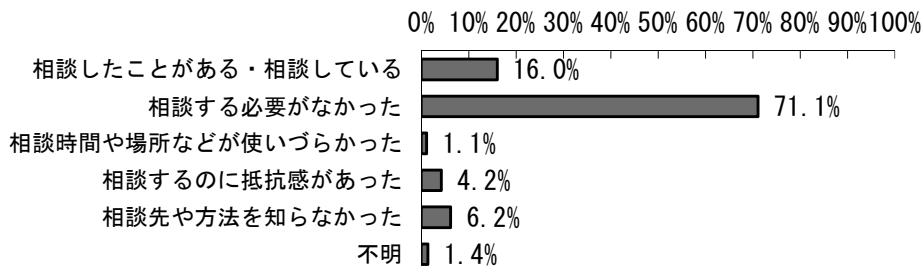
(23) 子育てや生活に関する相談状況

問 23 これまでに、以下のような機関や相談員に、子育てや生活のことで相談をしたことがありますか。また、相談したことがない場合はその理由にもっとも近いものに○をつけてください（①～⑦それぞれについて、あてはまる番号を1つずつ○をつけてください）。

子育てや生活に関する相談状況を、機関や相談員別で見ると、「相談したことがある・相談している」の割合は「保健センター保健課」の19.1%が最も高くなっています。また、「相談先や方法を知らなかった」の割合は「十勝こども家庭支援センター」の16.9%が最も高くなっています。

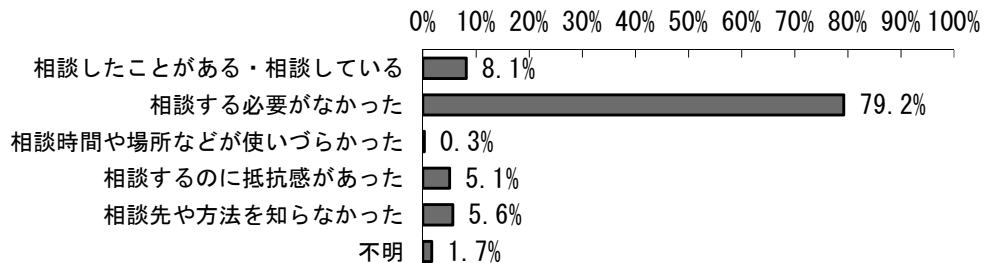
問23-1. 役場子ども福祉課の窓口で相談したことがありますか

n=356



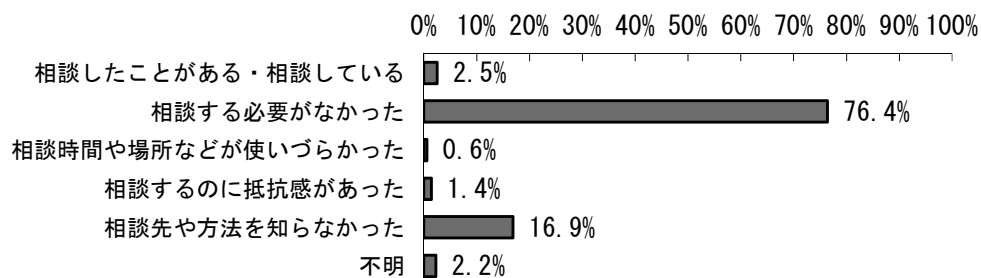
問23-2. 児童相談所で相談したことがありますか

n=356



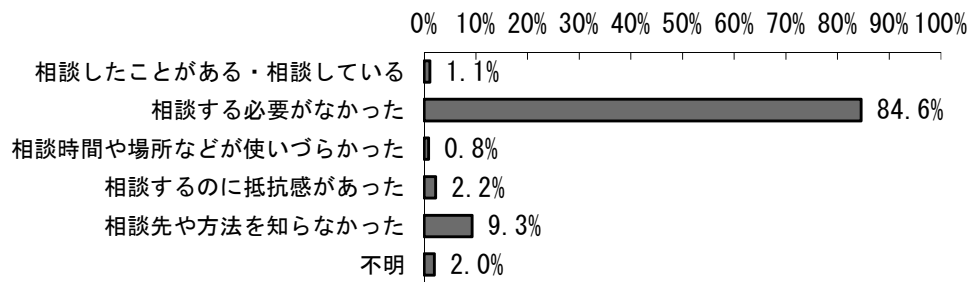
問23-3. 十勝こども家庭支援センターで相談したことがありますか

n=356



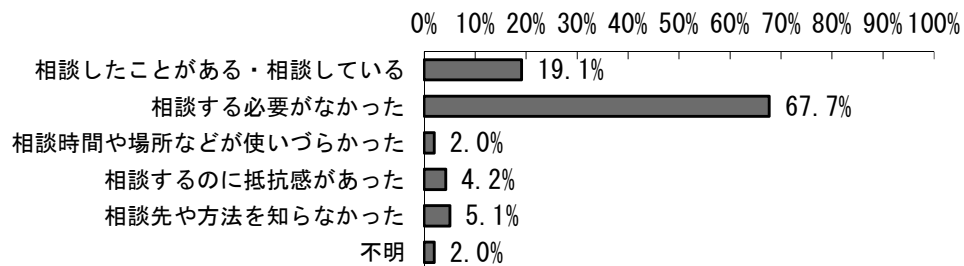
問23-4. 母子家庭等就業・自立支援センターで相談したことがありますか

n=356



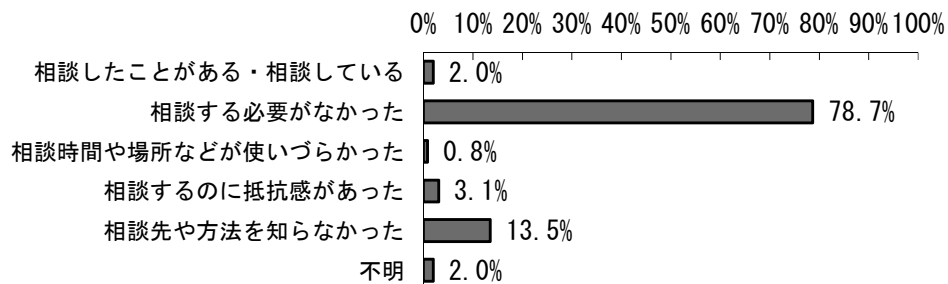
問23-5. 保健センター保健課で相談したことがありますか

n=356



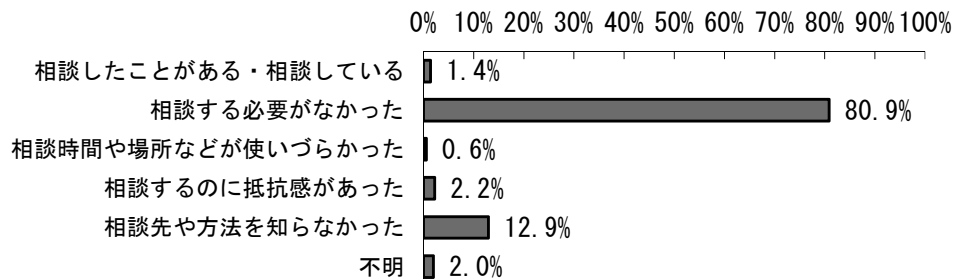
問23-6. 心の教室相談員で相談したことがありますか

n=356



問23-7. 民生委員・児童委員で相談したことがありますか

n=356



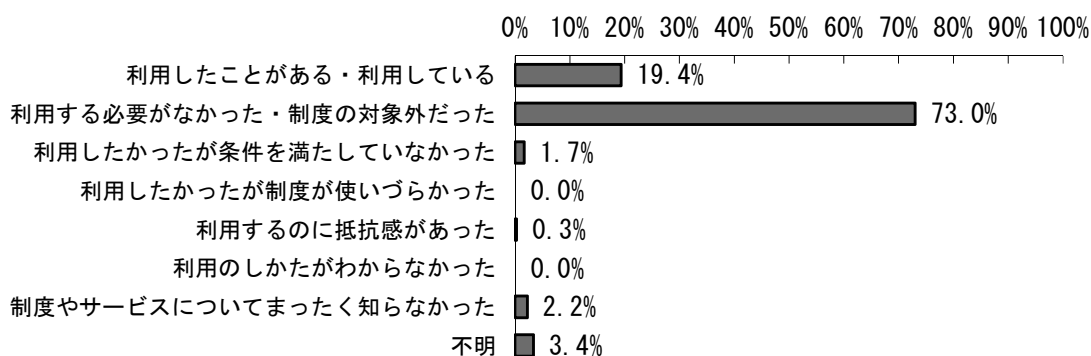
(24) 制度の利用状況

問 24 これまでに、以下の制度を利用したことがありますか。また、利用したことがない場合はその理由にもっとも近いものに○をつけてください(①～⑤それぞれについて、あてはまる番号を1つずつ○をつけてください)。

経済的援助に関する制度の利用状況を、制度別で見ると、「利用したことがある・利用している」の割合は「就学援助」の20.5%が最も高く、「児童扶養手当」の19.4%がそれに続いています。また、「制度やサービスについてまったく知らなかった」の割合は「生活福祉資金」の8.4%が最も高くなっています。

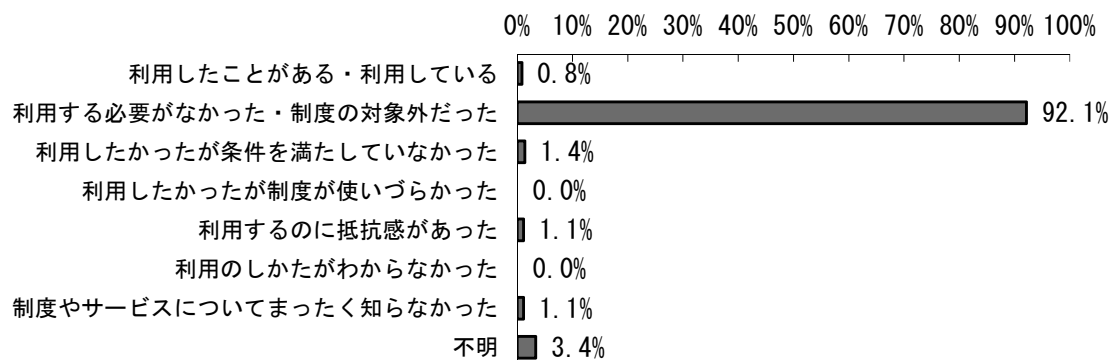
問24-1. 児童扶養手当を利用したことがありますか

n=356



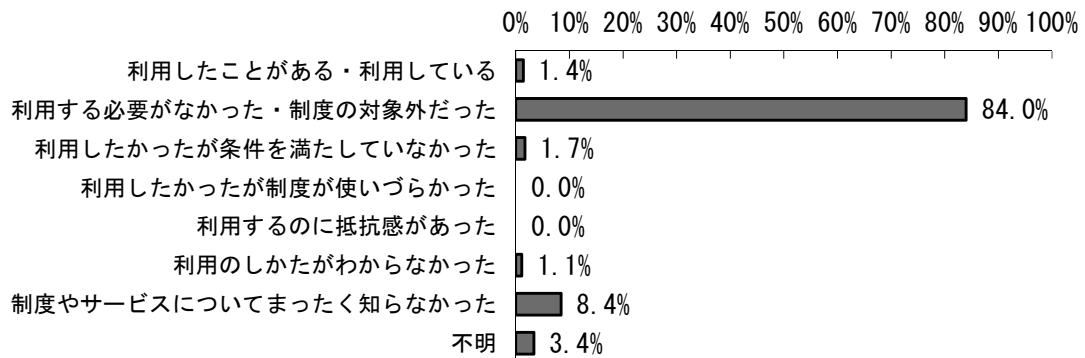
問24-2. 生活保護を利用したことがありますか

n=356



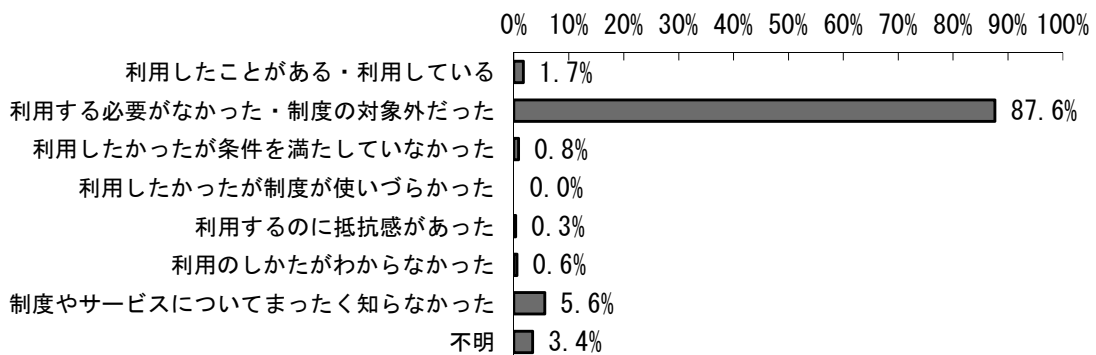
問24-3. 生活福祉資金を利用したことがありますか

n=356



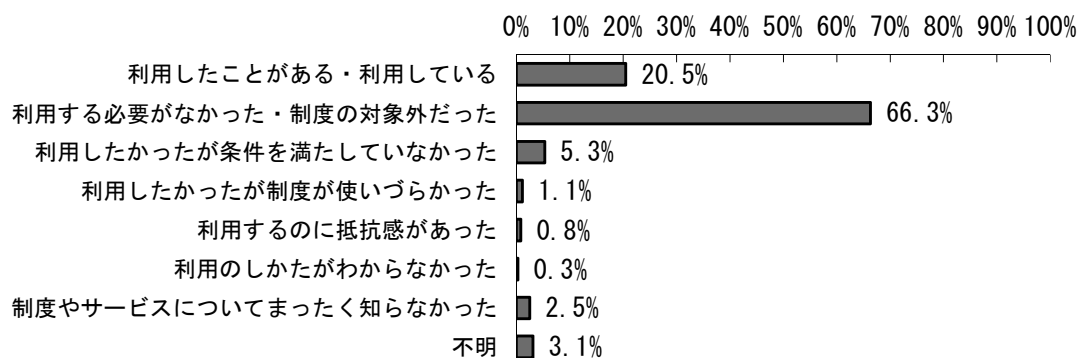
問24-4. 母子父子寡婦福祉資金を利用したことがありますか

n=356



問24-5. 就学援助を利用したことがありますか

n=356



H. 町の子育て支援策について

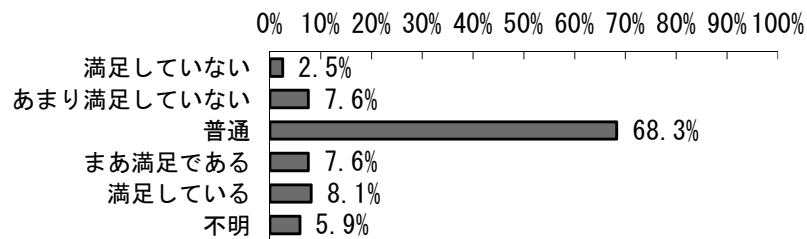
(25) 町の子育て支援に関する取組の満足度

問 25 本町の子育て支援に関する取組について、あなたほどの程度満足していますか。各項目ごとにあてはまる答えの番号に1つずつ○をつけてください。

町の子育て支援に関する取組についての満足度を、項目別にみると、「満足している」の割合は「食育の推進」の14.9%が最も高くなっています。また、「満足していない」の割合は「小児医療等の充実」の13.5%が最も高くなっています。

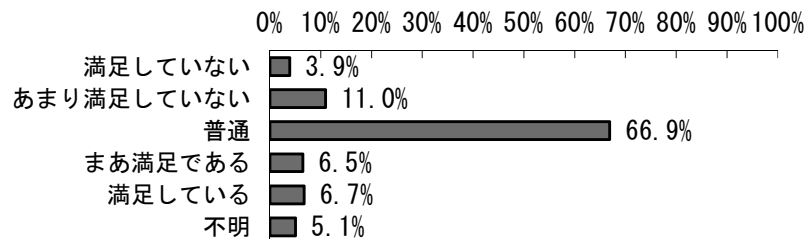
問25-1. 子どもの権利尊重についての理解促進の満足度

n=356



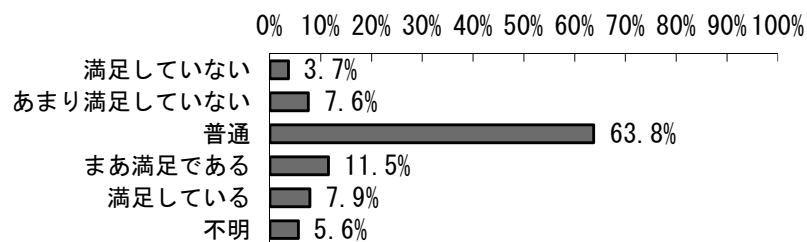
問25-2. 子どもの意見を尊重したまちづくりの推進の満足度

n=356



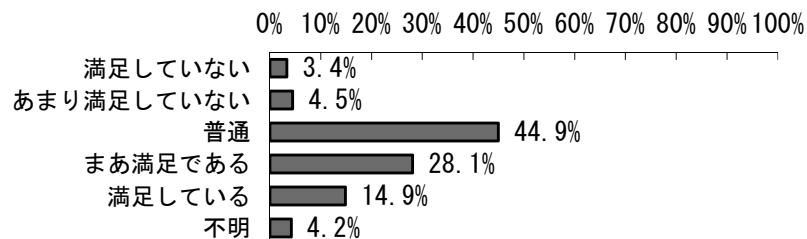
問25-3. 児童の健全育成等の促進の満足度

n=356



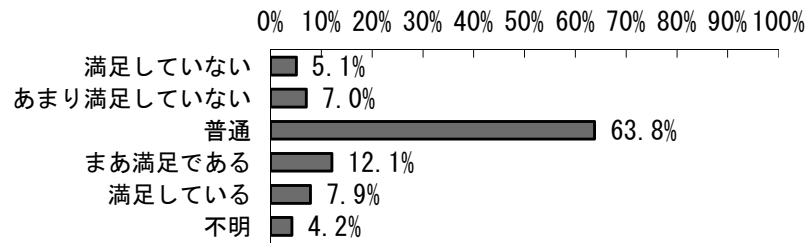
問25-4. 食育の推進の満足度

n=356



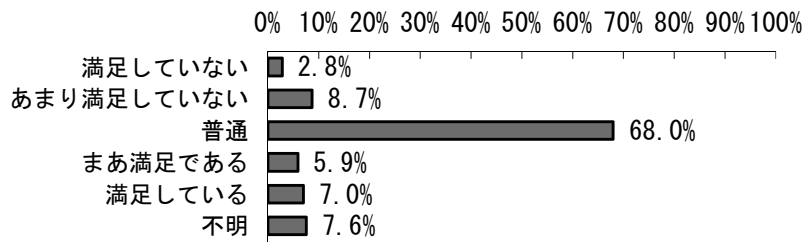
問25-5. 障がい等のある子どもの支援の充実の満足度

n=356



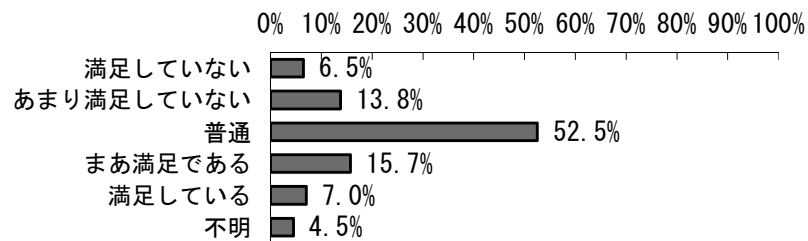
問25-6. 児童虐待防止対策の充実の満足度

n=356



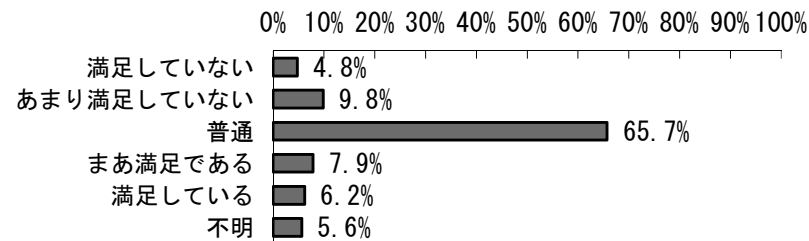
問25-7. 教育・保育・子育て支援サービスの充実の満足度

n=356



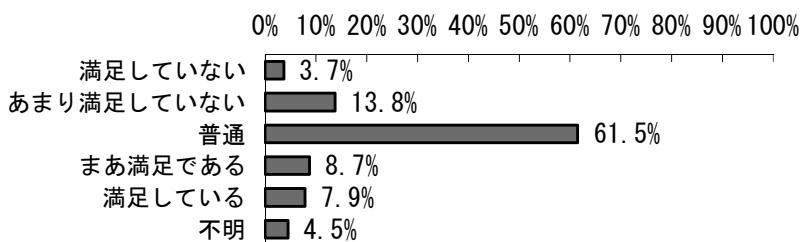
問25-8. 子育ての相互援助活動の促進の満足度

n=356



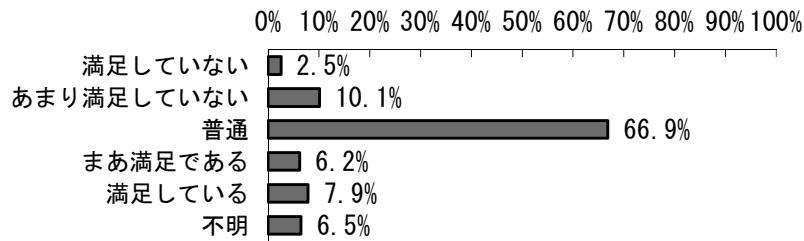
問25-9. 良質な保育の確保と情報提供の充実の満足度

n=356



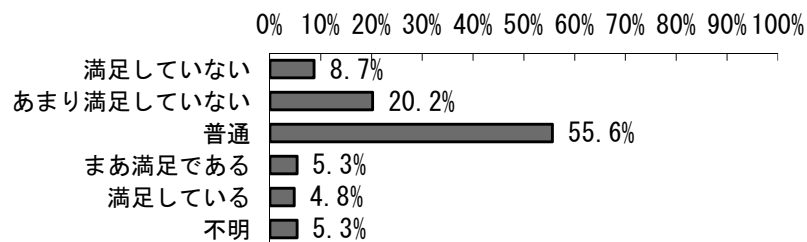
問25-10. ひとり親家庭への支援の充実の満足度

n=356



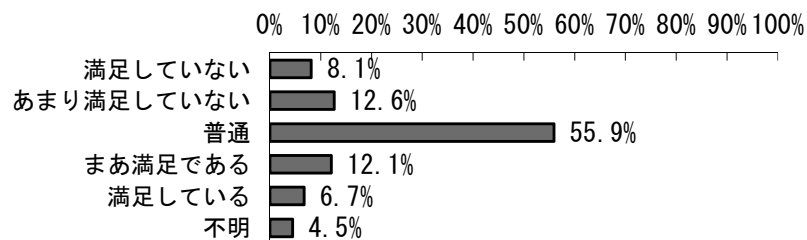
問25-11. 仕事と家庭の両立支援の促進の満足度

n=356



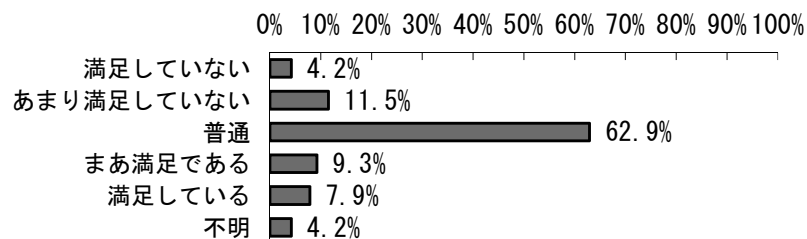
問25-12. 安心して妊娠・出産できる環境づくりの満足度

n=356



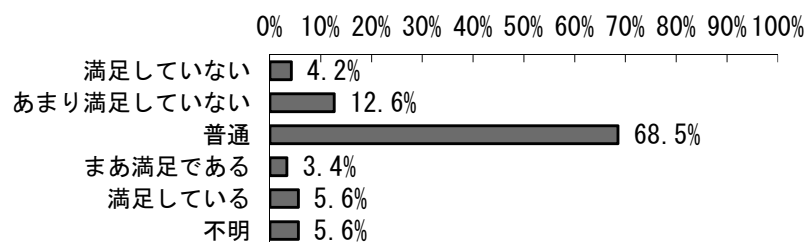
問25-13. 母親と子どもの健康の確保の満足度

n=356



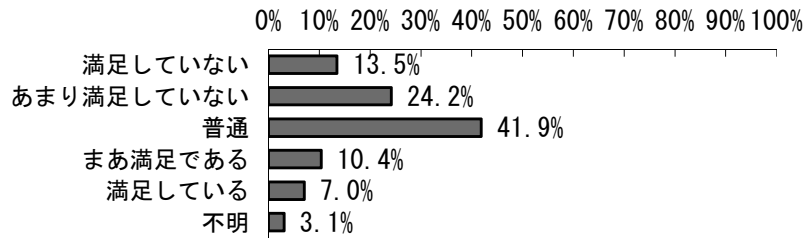
問25-14. 思春期保健対策の充実の満足度

n=356



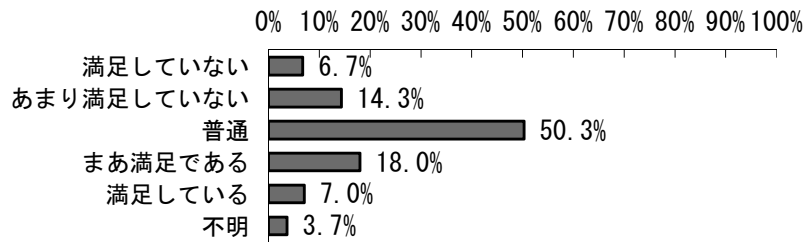
問25-15. 小児医療等の充実の満足度

n=356



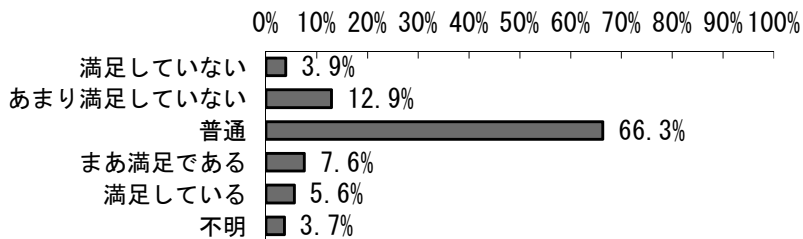
問25-16. 学校の教育環境の整備の満足度

n=356



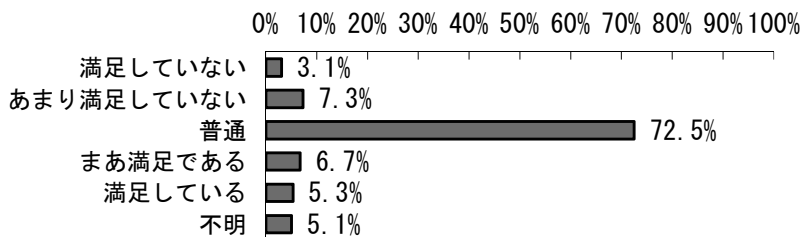
問25-17. 家庭や地域の教育力の向上の満足度

n=356



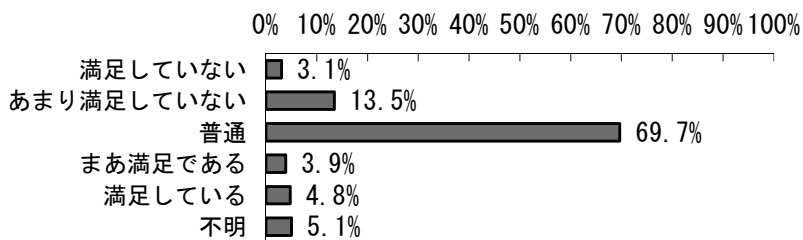
問25-18. 有害環境対策の充実の満足度

n=356



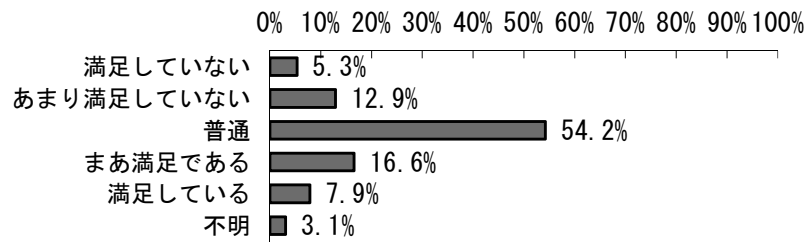
問25-19. 次代の親づくりのための教育の推進の満足度

n=356



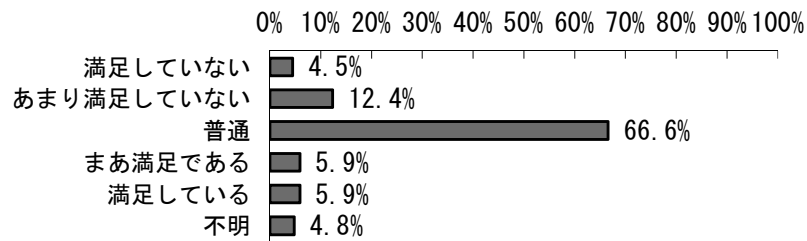
問25-20. 学校教育の充実の満足度

n=356



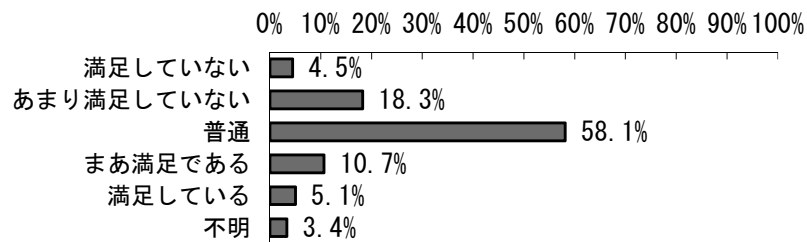
問25-21. 子育てに配慮した住宅の確保の満足度

n=356



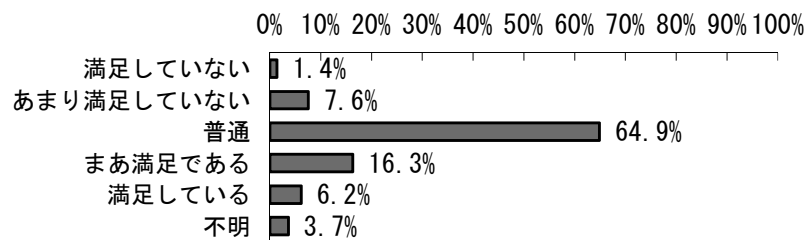
問25-22. 安心して外出できる環境の整備の満足度

n=356



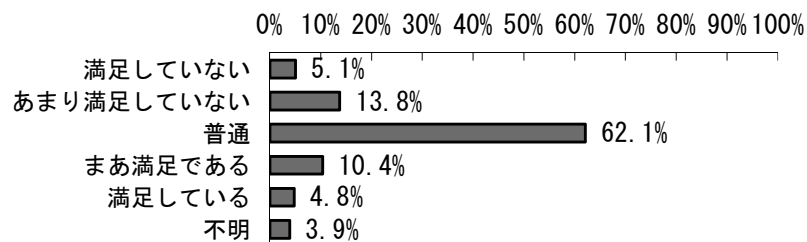
問25-23. 交通安全教育の推進の満足度

n=356



問25-24. 犯罪等の被害防止活動の満足度

n=356



(26) 自由意見

問 26 最後に、本町の教育・保育環境の充実など、子育ての環境や支援に関してご意見がございましたらご記入ください。(自由記載)

●音更中学校区域

1 年生	<ul style="list-style-type: none">・プロスパ3Fや帯広児童会館のような、親子で行けて少々遊ぶものがあり、飲食OKの場所が、もっと沢山あったらうれしい。小学生でも低学年は、親と一緒にないと近所の公園ぐらいしか行かせられないので。・医療費を、せめて小学6年生まで無料にして欲しい！！*この調査票の返信用封筒、もっと小さくていいと思います。三つ折りぐらいできます。・1学級の人数が非常に多い。支援クラスの生徒を含めているため、担任の負担は大きい。1クラス20～25名がベストと考える。特に、小学校1、2年については、大切な時期だと思うので、少人数でしっかり学校の先生が見れる体制を取るべきである。教室にひしめきあって生活、学習することは、いい環境とは言えない。近くに親類が少ない家庭には、子供を預けて土・日に仕事や用をすますることができない。それができる所が町内にあると、父子、母子も含め、仕事と育児が両立でき、安定した生活が送れると考える。医療の補助も、小学校卒業までであると助かる。・子どもの医療費、義務教育中は無償にしてほしい。(他の市町村との差が開きすぎ。差別を感じる。子供が3人いるため、できることなら他の町で子育てしたかった。)・学童をもう少し大きくしてほしい。子供の人数に対し、施設がせますぎる。
2 年生	<ul style="list-style-type: none">・中学生まで医療費を無料、もしくは1割負担にできないでしょうか。小児は無料ですが、なぜ小中学生は無料にならないのか。小児ばかりが優遇されるのは何故でしょうか。・子供たちの体力向上にむけての取り組みを、積極的にやって欲しい。肥満児童が多いのは、町の課題でもあると思うので。体を動かすこと、運動することが楽しいと感じられるような取り組みに期待したい。・野球場やサッカー場、サンドームはあるが、陸上競技場はなく、陸上のクラブも音更町にはない。他の町村にはあるが、陸上をやりたい人は、帯広などに行かなければ指導が受けられず、送迎などの負担が多いと聞く。陸上競技場が出来る環境整備を望む。・特別支援教育に関わる保育士や教員の育成は、追いついている?!専門知識なしに関わることの恐ろしさ、子供の影響を考え、特別支援教育に関わる人材育成に、早急に取り組まれる事を望む。・教員、役場職員含め、禁煙の取り組みは進んでいますか?教育現場での喫煙問題は、子供の健康に直結します。受動喫煙防止に向けた、全町をあげた取り組みに期待します。・学校、学童でのケガがとても多い。特に、学童で年上の子と接する機会が多いので、その時に、顔にボールをぶつけられたり(わざと狙って)、首を絞められたり…。安心して預けられないところが、とても残念です。・音更に引越してきた当時は、子供が2才になる前で、子育てがとても大変な時でした。自分の実家も遠くなり、子育ての支援をお願いすることが難しく、何とか自分で頑張らなくてはと思い、辛いことがたくさんありました。自分が病院を受診するときは、一時預かり保育や、託児所等を利用しましたが、子供が嫌がり、安心して子供を預けることが出来ませんでした。全ての子育て世代の方が、祖父母の協力を受けている状況ではないので、保育所や託児所とは別の、気軽に子育て相談が出来、短時間預け可能なサロンのような施設があると、有難いなあとと思います。子育て中に困っている時の駆け込み先があると、親子共に救われると思います。・学童が古く狭いのが心配。働いている方が多く仕方ないとは思いますが、これからも子供達を預けていくことになるので、きれいにして頂けたら嬉しいです。子供達にとってもいいと思います。発達に心配がある子も多くなっているので(うちの子も含め)、静かな場所が学童にもあると気持ちが落ち着かない時に逃げ場ができて安心できると思います。・保育料無償化や軽減を強く望みます!!特に第3子。主人の収入がある程度あり、保育料払わなきゃいけないのもわかっていますが、だからといって生活がとても楽なわけではなく、今後を考えると不安です。(教育にかかるお金等)そのため働き始めましたが、パート代の半分以上は保育料に消えてしまいます…。無償とまではいかなくても、もう少し安くなったら助かります!!・音更には、エコパ、ハナック、図書館くらいしか、子供を連れて遊びに行ける所がないので、よく車で帯広児童会館まで行きますが、やはり遠いです。エコパも街からはなれているので、朝から予定していないとやはり行きにくいです。街内に、もう少し遊べる所がほしい。特に冬場に室内で遊べる所を作ってほしい。・音更には、学校の少年団以外にスケート教室がないので、冬場に帯広の森まで通っています。短期間で

	<p>もいいので、町内で習いたい。（少年団に入らない理由は、①1ヵ月単位で習うことができない。②毎日のように通えない。③親が係などのお手伝いできない。④練習時間が日没後の16時から18時、19時までで、強風の吹く外で、ライトをつけて、なので、あまりに寒すぎる）・音更町内で子供向けのイベントがあっても幼児向けがほとんどなので、小学生は参加しにくい。小学生向けのイベントがもう少しほしい。・子供の発育のことで、担任の先生に相談したくても、あまりにいそがしそうで声をかけられない。先生方は放課後こそ忙しいので、カウンセリングや相談を専門にしている方がいてほしい。・帯広での事件を受けて集団下校（12/12）。念の為迎えに行ったが、児童用玄関も職員通用口も鍵はかかっていないし、保護者に入らないように注意する人も貼紙もないので、校舎に入っていく人もいて、犯罪目的で侵入しようと思えばいくらでも可能だな、と再認識。また、集団下校とはいっても、玄関先で『お迎えが来てたら行っていいよ』と先生が言っていて、本当に親がいるか先生が確認することなく子供達が解散。また集団下校グループも、玄関先で、児童1人1人を確認せず、だいたい集まったら出発して、おくれで玄関を出て走っていく子供も見た。事件がけんかの延長程度の認識なのか、音更の学校の危機意識はのん気すぎる！</p>
3年生	<ul style="list-style-type: none"> ・住みやすい環境に恵まれた町です。 ・医療費について。小・中までは、無料にして欲しい。経済的に、厳しくはないであろう我が家でも、病院にはギリギリまで行かせません。（昔の薬をストックして活用）もっと厳しい家は…と考えると、子供がかわいそうです。・学童。通所しているが、とにかく古く、災害時には大きな危険も想像できる。また、学校からの道のりに危険が多い。建て替え、移転すべきだと思う。 ・保育所等の整備も大事かもしれませんが、小学校・中学校の方の整備ももっとして欲しいです。先生1人だけではなく、もっと支援員の先生を増やしたり、勉強の方に支援をして欲しいです。期待しています。
4年生	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費を、中学生、最低でも小学生は無料にして欲しい。実施している他の町がうらやましい。 ・姉（中学生）はバス通学できるのに、小学生はバス通学対象地区ではないのが残念です。小学生は、徒歩通学しています。中学生は、学区が広いので、昭和地区の子達のついでに、共和地区の子供も一緒にバスに乗せてもらっているのが、本当に助かっています。ありがとうございます。なので、できれば小学生もバスに乗せてもらえると良いな、と思っています。 ・雪の季節に、子供たちが遊べる室内施設が、充実して欲しいと感じています。プール・体育館はありますが、児童館のように、子供だけでも行って遊べる場所がもっとあってほしいです。また、町の子供向けのスポーツスクール（水泳教室やその他のスポーツの教室など）も、幼児向けは充実していると思いますが、小学生向けも充実するとうれしいです。 ・近所にも公園があり、良く子供とボールを持って遊びに行きますが、ブランコもアスレチック？も遊具はサビサビで、うんていをしたりすると、剥がれている所でケガをするくらい痛くて、長い時間あそぼうとも思えなくなります。どこに、どのように言えば改善されるでしょうか。バスケのゴールだったのか？という物もそのままになっています。もっともっと外で遊べる子供のうちに、住みやすい音更本町になってほしい。・図書館（分館）は外からでも、休みだとわかるようになれば、上に行ってから休みなのかと帰ることが無くなるので、何とかなればなあと思う。 ・本町だけで必要な物が揃えは良いなと（無理だけど）日々思う。 ・経済的に厳しいので、現在就学援助を利用させていただいており、とても助かっています。就業援助がなければ、貯金を取り崩して生活しなければいけないぐらいの状態です。なので、子供の病院に行くのも、就学援助の対象になっている病気以外では、通院するのをためらってしまいます。自分たち親なんて、特にそうです。子供だけでも幕別町などのように、中学校卒業まで医療費を援助して頂けると、とてもありがたいです。インフルエンザの予防接種も、年々高くなってきているのに助成の金額が変わらないので、毎年大変です。音更町は子育てに優しいと聞いていたのですが、最近は全くそのような話になっていません。宜しく願います。 ・教育・保育面では、特に意見はありませんが、音更小～ひまわりの家学童へお世話になっています。学童の環境があまり良くなく、人数も増えているので、予算もあると思いますが、建物は建替えたりした方がいいのではと思います。駐車場がない、学校から遠い、入口が混雑している、など通う際、子供の立場になると危険だなと心配な部分が多いです。医療面、就学してから、何かあると病院へ行くのをためらう時もあります。解熱剤があるから様子を見ようなど。お金がかかるので…。（それに、いくらかかるか見当もつかないので）財布に余裕があるかを先に気にしてしまいます。他の町村は、小学

	<p>校にあがっても医療費がかからないようなので、なおさらです。よろしくお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療費がせめて小学生まで1割負担になったらありがたいと思います。 ・金銭的なことを気にせず、医療機関にかかれることが理想です。
5年生	<ul style="list-style-type: none"> ・母子家庭などの（デイサービス）手続きや、福祉関係の手続きで、自分から聞かないと、制度や支援について一切教えてくれない。だから知らない制度や支援が結構あった。ちゃんとあるなら相談した時に全部教えてほしい。 ・町内会に加入していない為か、広報をいただいたことがなく、子育て支援をはじめ、町がどんなサービスを行っていらっしゃるのか存じ上げませんので、問25の回答は、全て1にさせて頂きました。こちら（音更町）でお世話になるにあたり、まず驚いたことは、これだけの人口もある町に、児童館が無かったことでした。子供の放課後の居場所が、公園かプロスパくらいで、例えば少し仕事が長引きそうなどときなど、大人が子供たちを見ていて下さる児童館のような場所がないことに、不安を感じるがあります。学校に関しては、特別支援学級のお友達に対する学校全体（教職員も、児童も）の空気が冷たいと感じることが、娘の学校での話を聞いていると感じます。障害児教育に関して、町はどの様にお考えなのか、先生方は専門の最新の情報をとっていらっしゃるのか、また、子供達に対してどのように指導していらっしゃるのか、疑問に感じるが多々あります。また、児童の医療費負担が小学生から3割という点も、この町で子育てを続けるにあたり、負担が大きく感じます。 ・中学卒業まで、医療費を無料にして欲しい。 ・小中学生の医療費が無料になると助かります（せめて小学生まで）。 ・公園の遊具が少ないし、壊れていたりする。音更町で働いている方の子供を、集中して預かったり、企業にそのような施設を作るようにしたら良いのでは。 ・医療費が小学生まで町からのふたんがあり無料になるとうれしい。
6年生	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校の給食費、無料化にして欲しいです。 ・医療費負担の軽減を望みます。せめて小学生、できれば中学生までは負担0、もしくは1割くらいになれば助かります。

●駒場中学校区域

1年生	<ul style="list-style-type: none"> ・荒天時にも遊べる場があるといいと、常に思っています（小学校中学年まで）。・子育てに関してではないのですが、子供達が育って大きくなった時、音更にいたい、働きたい、ずっと暮らしたい、そう思ってくれる子供たちが増えていくといいな…と思っています。子育て支援の先は、そこなのかな…と思うので、町づくり、人づくり、大切にしたいです。町民一人一人がそう思えるよう伝えて、何かできるようなもの・事があるといいな…と思います。 ・地域外から音更へきました。ぱっと見、目についたのが公園の遊具の少なさです！！広さは十分にひろいのですが、子供が楽しめる遊具が無く、体を動かすということに力を入れていないのかな？と思いました。公園へ行っても楽しめないから、家でゲーム。保健センターでは肥満の指導がされていると聞きますが、楽しく遊べる場所がないからでは？と後悔してしまいます。子供たちが、体を動かせる場を作って欲しいです。家の中にこもってしまう町にしてほしくない、と強く思いました。 ・ひとり親家庭への支援等を、もっと充実させてほしい。小さい子供を、一時的に預かってくれる場所を増やして欲しい（利用しやすい金額で）。不妊治療の助成金額を増やして欲しい。
2年生	<ul style="list-style-type: none"> ・音更町は、他の市町村に比べて、子育て支援が無さすぎる。高校生になるまで医療費なしや、障害等ある子供・親の支援、農業で4世帯同居で収入をいっしょにされたら、手当など全く受けられません。・役場各窓口へ相談しても、人事異動が激しく、支援制度に詳しい人が居ないのには衝撃を受けました。（異動してきたばかりでわかりません！冊子で調べますと、目の前で言われました）頼りないです。相談したくても出来ません。何とかして下さい。 ・東士幌には学童がないのはなぜですか？夏は農業の一番忙しい時期なので、あったらすごく助かります！！・小学生の医療費無料やワクチン予防接種の無料化をお願いします。インフルエンザを家族5人分うけたら、1万5千円。よろしくお願いします。
3年生	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもにかかる医療費の面で、他の市町村に比べると音更町は遅れていると感じます。せめて小学生のうち、医療費が無料になってほしいです。 ・僻地の小学校に、もっと手厚い助成金が欲しい。・駒場中学校を、音更中学校と合併して欲しい。理由、部活もままならない人数しかいないから。
4年生	なし

5年生	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模校で生徒が少なく、友達づくりや中学校、高校へと進学した際に不安を感じる。子供たちが成長した時に、子供のためになるとはとても思えない。小さな学校を残しているのは地域の年寄の意見で、子供たちの事を考えているわけではない。わかっていて知らないふりをしている町の考え方には本当にがっかりしている。 ・スポーツ少年団活動に、町としても、もっと積極的に推進する体制を整えて欲しい。例えば、指導者の配備など。 ・子どもが大きくなってきて気にもとめなくなったせいと思いますが、町のサービスがあまりよく分かりません。子どもが小学校へ入学してから低学年は帰宅が早いので、職業をもつお母さんは、子どもを預ける場所がありますが、働かないお母さんは一時的に預けたい時があってもそれができず厳しく感じた時もありました。働かなくても用事のある時はあるので――。 ・子供がいて自分がもともといる仕事は辞め、嫁に来た。いろんなものを捨てて音更へ来ました。不安な毎日で病院へ行くのも悩んだりします。病院通いに月に2～3万しています。生活は楽と感じたことはありません。いろんなお金が毎日かかります。保育料は無料になりますが、小学生の子を持つ母としては、なにも得なことはなく日々いろんなものに追われている感じです。子どもが小さい頃支援センター、保健センターの職員の方には心がとても救われました。居場所が無かった時本当に話などきいていただきありがたかったです。
6年生	<ul style="list-style-type: none"> ・親のニーズの変化もありますが、公共交通機関の便の悪さもあり、農村部での子育て環境は、悪化の一途と感じます。このままでは農村部に定住し、農業・生活をしようとする人はますます減少し、学校が維持できなくなり、更に農村部での子育てメリット（少人数教育）も失われ、一層の過疎化が進むことでしょう。既にあきらめています。 ・「教育を考える日」に参加しました。他校の活動を知る良い機会でした。講演もとても良い話が聞けました。内容がどれも素晴らしいのに、大きな会場が空席が目立ち残念な気持ちで帰宅しました。もっとPRを考えた方がよいと思います。幼児の発表が終わると観客が半減してました。「医療費」について、小・中・高まで是非無料にしてください。

●緑南中学校区域

1年生	<ul style="list-style-type: none"> ・学童に通っている子と通っていない子が、一緒に遊べるような児童館があってもいいのかな、と思う。あったらあったで、いろいろ問題も出てくると思うが、仲の良い子同志、会える時間があると、放課後も充実するのでは。ひとり親、低所得だけではなく、対象とならない家庭でも、将来や生活の為に共働きをしています（必死です）。そういう家庭にも、戸建てであれば、子育て世帯に補助があればと思う（子供手当とは別に）。 ・小・中学生の医療費の無料化を進めて欲しい。 ・小・中学校に通う児童への医療の通院の無料化の実施をしてほしい。学童の玄関を自動ロック化できないのか。先日外国人による帯広市の暴行事件の際、学童の玄関は誰でも入れる様な状況であるのは預ける親としては心配。費用面で事業者が難しいのであれば町が負担してはどうでしょうか？宝来中央公園に小さい子（小学低学年）が把握できるように時計の設置をしてほしい。
2年生	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の医療費を無料にして欲しい。 ・ひとり親家庭なので、冬季は特に、保育園や学童にお迎えに行ける時間が雪道などの影響で遅くなります。学童内で学習を見てもらえるようなことがあれば、ありがたいです。・町内に関する事も、LINEで配信してもらえると、町内の状況がわかりやすく、感染に関してもよりいっそう対策していけるので、情報の共通を不審者情報だけではなく、まちコミ等で、解り合いたい。 ・障害のある子供のための、療育出来る場所が少ない。一番子供の成長が伸びる時期に、利用できず残念。医療機関など、障害のある子の理解が難しい。他町村のように、医療費無料の年齢を上げて欲しい。 ・医療費（子供）助成して欲しい。生活が苦しい。音更町ひびき野付近、不審者が多い。パトカーでパトロールするだけでも抑制になるので、子供達の通学時、安全性確保してほしいです。 ・公営住宅の母子世帯に対する配慮が欲しい（優先や1階入居等）。2階以上に入居していると小さい子供が居ると足音などが小さい子は大きいので下の階の迷惑になり苦情などでストレスになり、子供にもその度注意をしなくてはならない。子供達も気を付けていてもそこに気を張ったりして、子供にもストレス。お互い様でお互い気を遣うのは仕方ない事ではあるが家にいても親も子も落ちつけない。のびのびと育てる事も出来ず、毎回子供をしかるのも疲れストレスで病気になってしまった。なので子供が居る家庭や母子の公営住宅への入居に対してもう少し配慮があれば…と思いました。

3年生	<ul style="list-style-type: none"> ・地区によって、気軽に子供たちが利用できる公共施設に差があると思います。音更→プロspa、共栄→図書館など。特に冬場に、子供たちが室内でも気兼ねなく集まれて遊べる場所があると良いです。一家庭に集まり過ぎるのも負担になるし、仕事で親が不在の家に出入りするの心配です。 ・医療費を無料にして欲しい。ケガが増えたり、大人の歯になるので定期的に見て欲しい為。・本町にはサンドーム、プール、中央？（共栄中地区）には図書館があるが、木野地区には、子供が行ける場所がない（知らないだけかもしれませんが）ので、あると嬉しい。・地区によって、ラジオ体操が無く、すごく残念。夏休み＝ラジオ体操ではなかった。・放課後の学校を開放してほしい。帯広のつつじが丘小のように…。・子供はあっという間に大きくなってしまいます。宜しく願いいたします。 ・医療ケアが24時間必要な子供がいます。養護学校に登校しています。通学に30分かかります。冬はもっとかかります。医療ケア児は、送迎バスには乗れません。そのため、家族が病気やケガをして、送迎が出来ない時は、子供は学校を休まなくてはなりません。中学・高校とあと9年以上、送迎が必要です。1. 医療ケア児の送迎サービスについて。2. 家族が病気やけがで送迎できない時の、送迎サービスについて。3. 音更町に養護学校の分校をつくってほしい。以上の事を、検討宜しくお願いします。 ・うちの子は、運動全般が苦手で、少年団や習い事など何もやっていないのですが、何か運動させたいなと思っています。月に一度でも、子供が気軽に参加して、遊びながら運動（体を動かす）が出来るようなイベントだったり、場所があるといいなと思います。音更は、子供が遊べる場所（公園とかではなく）が少ないです。 ・医療費の補助があれば助かります。ただし、未就学児の様に、全額負担にすると、行かなくても良いのに通院してしまう事もあるかと思うので、「1回〇〇円」と言う様に最低限かかる金額は払うなどの自己負担は必要と考えます。
4年生	<ul style="list-style-type: none"> ・音更町は他の市町村に比べ、子育てのしづらい町だと思います。町民として、もう少し子どもたちへ税を使う町になって欲しいと思います。宜しく願いいたします。 ・子供が通っている中学校（緑南中）ですが、建物的に不安がある。子供が「床がボコボコする」という話を聞いて怖くなりました。これから大きな地震がきた時になどは大丈夫なのでしょうか。
5年生	<ul style="list-style-type: none"> ・音更町に引っ越してきて、良いことばかりでとても満足しています。特に農作物が豊富で、食育には最高の環境と言えらと思います。ずっとここに居たいです。いつも感謝しています。ありがとうございます。 ・中学卒業まで、医療費負担が減るといいな。小学生になってから3割負担になり、年々考えると、よほどのことがないと、かかりづらい。 ・学校で使用している机、椅子が古かったり、備品が揃っていません。学校ごとに違うのかもしれませんが、教育への予算を見直して、子供達が安心して学べるようにして欲しいです。 ・子供達が楽しめる商業の誘致を。（室内施設等）十勝全体を見ても、自然や食がウリなのはわかるが、子供からすると面白くない（札幌圏に行きたがる）。大きくなると余計に十勝（住んでいる地域）に居るより、都市圏を目指す。少子高齢化が進む中、数年先のことを考え、魅力があり、定住・永住したいと思わせることが大事では？ ・小学生から医療費3割は負担が大きい。喘息があるので月に何度も発作が出ると1回4千円の出費は大きく食費を削るしかない。1割になると病院に行きやすくなる。せめて3年生までだけでも。・歩道の整備もしてほしい。くぼみがあって大きな水たまりができてしまったり、ひび割れや段差でベビーカーを押せない。・乳幼児検診は保健センターで行うのに近くのバス停がコミバスしかなく、本数が少なすぎる。
6年生	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の敷地内にある使われなくなったトイレについて、2年続けて撤去の要望をしていますが、いまだ叶いません。費用が掛かることは承知していますが、防犯の面を考えると、何かがおきてからでは遅いので、早急に対応して頂きたいと思います。以上の点から、問25の23は2を選択しました。 ・本町の方には、プロspaなど雨の日でも子供たちが集まったり、本を借りたりする場所がありますが、木野東のマンモス学校の近くには、公園があってもボールを使えなかったり、雨宿りできる場所がないので欲しい。「学校を放課後開放し、お年寄りたちと子供がふれあえる場所に」という話は進んでいるのでしょうか？ ・こんなに大きな封書、経費の無駄です。 ・医療費の助成は中学3年生までしっかりと手厚く確保される事を望みます。・乳幼児医療助成の制度についてですが、有効期限に差があり過ぎると感じます。4月（4/2以降？）誕生日の子供は翌年3月末日迄助成されるのに対し、3月誕生日の子供には全く助成期間が短く不公平さが明らかだと思います。子供が2人居りますが第一子が3/30誕生日だった事もあり尚更強く感じました。仕方のない事かとは思いますが、せめ

	て3月誕生の子供には以降6ヶ月程度の助成期間の延長等、何かしらの措置がある様になればと思います。
--	--

●下音更中学校区域

1年生	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校低学年まで医療費を無料となるようにして欲しい。 ・町内の保育園、小学校で“頭ジラミ”が出ていますが、対応に疑問を感じます。案の定、保育園から拡大し、小学校でも出たのに、注意喚起するどころか、いじめなどを心配してか、何の対応もなし…これ以上広まらないように、何か対策すべきだと思います。 ・幕別町のように、子供医療費助成が中学卒業までだと大変助かります。子供が小学生になってから、医療費が結構掛かっているの。 ・学校では、ITC教育などが重視されていますが、音更町ではあまり重視されているように思いません。お金がかかりますが、次代を担う子供たちの教育環境を整えて欲しいと思います。・各教室への大型TV、実物投影機等の導入。・パソコン室は、フィルターが強すぎて、調べ活動などができません。プログラム教育で検討されている「s c r a t c h」などのソフトも使えるようになるのでしょうか…。・普通学校の「35人学級制度」を実現してほしいです。人数が多すぎると、子供達にも、先生方にも負担が大きくなりすぎ、心配です。 ・保育園が古くて寒い。新しくして欲しい。保育園によって、教育内容が違うのが不満(そのほかでは、先生もコロコロ変わり、辞めていくし)。学童も狭く、人数が多いのでかわいそうに思う。夏は、エアコンもなく、外より暑いし息苦しいし、学童まで歩道もない場所、民家の軒下を通るし、曲がりカーブもあり危険だと思うので、学校の敷地内に建てて欲しい。この地区なのに、人数がいても、この環境がかわいそう。鈴蘭小学校が良かった。医療費、小学生在籍中は、まだまだかかるので、無料または1割にして欲しい。なかなかつれて行けなくなった。意見を聞いたからには、是非反映させてほしいですね。宜しくをお願いします。 ・①小学校になったと同時に、医療費がかかるようになりましたが、他の市町村で、中学生まで医療費がかからないと言う話も聞いた事があります。小学生のうちには特に病院にかかることが多々あり、家計に負担となるので、音更町も助成など何かないのでしょうか？検討して頂ける事を願います！！②音更町には、あまり大きな公園がないので、そう言うのがあれば、もっと人が集まってくるのではないのでしょうか？エコパもよく行きますが、遊具などあれば、小さいお子さんも遊べると思います。 ・鈴蘭大橋を渡り、音更側に進んですぐに、セイコーマートやファーマーズがある交差点の信号を手押しのものではなく、定期的に変わる普通の信号にしてほしい。交通量が多く、南北で横断する子供たちが危険だといつも感じます。 ・前年、今年度と就学援助の申請をしましたが認定されませんでした。子供も多く、主人が単身赴任中のため、主人だけの収入では生活が追いつかず、子供それぞれに送り迎えや放課後の世話があり、学校に行っている短い時間で働くことしかできない状況です。申請される方も多く、それぞれの家庭の生活状況を反映させるには膨大な業務になってしまうとは思いますが、年収と家族の人数だけで判定されてしまうのに不満もっています。同じ町内でも、我が家と同じ家族構成ですが、生活費は祖父母の援助がほとんどで、ローンなしの持家、車を3台保有し、夫のみの収入で申請するので生活に困っていても支援の対象となり、就学援助をここ数年受け取っているお宅もあります。我が家は単身赴任のため生活費は倍、来年には2人の受験生を抱え、大学進学を希望している上の子の進学費用を貯めなければいけないのに、少ない貯金を取り崩し、貯蓄をできる状態ではありません。必要としている所へ支援が届かず、上記のような“隠れ受給”ともいうべきことが存在していることに怒りを感じます。前年度は私幼の就園奨励費にも一学年下として4年生の子が該当となり、多額の奨励費までもらっています。このような人を受給対象とみなされることに納得がいかず、ずるい受給者がなくなるよう何か手だてを講じて頂きたいです。 ・中学生までは医療費がかからないようにしてください。 ・中学校の下校時がちょうど夕暮れ時なので、中学校のジャージには、反射シールをつけてください。 ・学童に行っている子は将棋クラブ等に行けない子もいるので、学童に老人クラブの訪問日をつくったり、高齢者の余暇をうまく子育てに利用できる制度があるといい。
2年生	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育のうち、医療費(通院)を無料にもらえるとう有難いです。小学校に上がってからのほうが、ケガや感染症(人数が多いので)のリスクが高いように感じます。・柳町地区で夕方になると音楽が鳴っていたのが印象的で、子供自身が帰宅時間の目安を知ること、とても良いと思った(時間を指定していても帰ってこない事がしばしばあるので)。車通りも多い地区なので、うちの地域でもそういうのがあるといいなあ、と思います。

	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生と未就園児がいます。二人を同時に連れて行き、安心して遊べる場所がありません。十勝の傾向として、子供は外で遊ぶものなのかな…とってしまうことがあります。道内の他の地域に比べ、全天候型で、体を使いあそぶことのできる場所が、明らかに不足しています。外で遊ぶことも大切だとは思いますが、寒い時期が長く続く土地柄、また子育てしやすいという点からも、未就園児から小学生まで、また親子など世代をこえて利用出来る児童館などを、ご検討いただきたいと思います。 ・通学路に横断歩道がなく、交通量も多いことや、除排雪が影響して見通しも悪く、心配である。 ・インフルエンザ等の感染症に対する出席停止等のルールが、守られてないように感じる（保育園・学校共に）。・学童保育所を短期で利用しているが、行事の振休や臨時休校、開校記念日等、学校と連動した休みに利用できないことが不便である。・更なる教育・保育環境の充実を願っています。宜しく願いいたします。 ・大雪の際、小学校の通学路の除雪が時間（予定）に間に合わず、学校との連絡も取れず、安全に通学できないと感じたことがあった。（親側は、除雪されていると思って登校させていたが、除雪されていないと確認した保護者が、車で登校させていた。）忙しいことは承知しておりますが、通学路の除雪は最優先として頂きたいと、考えております。宜しく願いいたします。 ・この度ひとり親家庭になりました。今後色々ご相談したい事などがあるかと思えます。その時にはよろしく願います。 ・問12でも書きましたが、子供が大きくなるにつれて、お金がかかってきます。学校で使用する物、服、給食費、医療費、フルタイムで働けばもしかすると解決出来るのかもしれませんが、がしかし、我が家の下の女の子は発達障害、母である私が、毎日仕事に家事に、先生の対応、事務所への送迎、こんな毎日を過ごす、母である私の心が健全ではなくなると、私自身も主人も考え、子供達中心の働き方をせざるを得ません。今はギリギリでも、食べる事は可能です。しかし、ゲーム等は買えず、子供達にも我慢をさせています。その分、朝学校へ送り出したり、迎えたり、食事を共にしたり、休日にはお弁当を持ち、公園等に行ったり、私達も努力しています。多分このように努力している人は私だけではないかと。ですから出来るのであれば、給食費、医療費の軽減等をお願いしたいと。これからの子供達に音更町はもう少し、やさしくしていただければと思います。そして学校の先生方の要求もぜひ聞いていただきたいと思います。支援の子供達が増える中、先生方は大変御苦労されています。私達町民の為にも現場の声を聞きにぜひ行動してください。長々書きましたが、よろしく願いいたします。音更町は老人にやさしい町と聞きます。それをぜひ子供達にもやさしい町にしてください。
3年生	<ul style="list-style-type: none"> ・先生の確保 ・芽室町のように、子育てや子供に関わることを一貫してサポートできる体制を目指して欲しい。・水場のある公園も手入れがあまりされておらず、子供を安心して遊ばせられる環境ではないのが残念です。・発達支援センター等も委託してしまっていて、充実しているとはいえないと感じる。・冬場は子供たちが遊べる場所も少ないので、芽室町のように、学童に所属しない子も遊べる場所があると良いと思う。学童も狭くて十分に遊べていないのでは??図書館付近だと、色々な校区から行きやすいのでは…??子育てしやすい町づくりは、長い目で見ると必要。重要な事だと思うので、力を入れて欲しいです。 ・医療費、ワクチンなど、子供が多いほど負担が大きくなるので、もう少し補助がある方が、ワクチン接種・病院受診が気軽にできてありがたいなあ、と思います。 ・特別支援高等学校が、音更町からでは遠い所にしかないので、支援の高校選びでは、非常に悩みます。もう少し近ければ、と思います。不登校気味の子などが、結構多いので、そういった子達への相談場所など、あると良いのでは?発達障害グレーゾーンの子たちなどへの配慮など。 ・学校で支援を受ける際、診断書が無ければいけないのは、ハードルが高すぎる。自分の子がグレーゾーンかも?と思っても、すぐに病院へとは行きにくい。すごく悩みます。支援を受けて、それでも変化が見られなければ行こうと思うが…。 ・幕別町のように、中学校卒業までではなくても、せめて小学校卒業まで、医療費を助成して欲しい。 ・娘の小学校のクラスでは、支援を必要とする生徒がいます。感情的になりやすい子です。低学年の頃は、親を含む周りも理解しようと努めておりましたが、今はその子を中心とした授業になってしまい、支援の先生だけではなく、担任の先生までもが、その子を追いかけ、授業を中断する場面が多くみられます。他のクラスとの勉強面での差に、とても不安を感じます。また、行事等のクラス委員を生徒間で決めるときなども、不平等さを感じます。いつ怒り出すか分からず、先日扉のガラスを割り、そのガラスをかぶってしまった子もいました。学校全体の生徒数がとても多い小学校なので、色々な子

	<p>がいて当たり前だと思いますし、障害も様々なのも理解できます。ですが、危険なことがある限りは、同じクラスにいるのは良い気持ちはしません。ケガをしてから大騒ぎする学校には、うんざりです。普通に素直に学校生活を送っている子は、損をするんですね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年では発達障がいも認知され始めてはいますが、社会では十分な理解がまだまだされておらず、不安やなやみを持った人が多くいると思います。学校、地域、家庭での支援体制づくりに取り組んで欲しいと思います。(札幌市の支援プロジェクトチームの発達障がいのある人たちへの支援ポイント「虎の巻シリーズ」の様な活動がステキだと思います。)他、子供達が外で遊べない時でも、室内で、体を使って遊べる施設があったら良いなと思います。また、エコロジーパークにかぎらず、ステキな遊具のある公園が欲しいと思います。
4年生	<ul style="list-style-type: none"> ・この事業にかかわる職員の方のモチベーションが大事だと思います。責任者は人材育成に力を入れてください。 ・小学校の始業式、終業式の日時が各学校により異なったり、授業時間数が異なるのが気になります。中学校の部活動時間数を、減らすように指導して欲しい。 ・自校式給食は、ありがたいので続けて下さい。 ・子供が中学生まで、医療費が無料になれば大変ありがたいと感じます。 ・医療費を、18歳まで無料化が望ましいが、例えば…1割負担にすることや(18才までは)、義務教育期間の15才までの無料化を、強く希望します。 ・放課後に、子供が自由に遊べる児童館があると良い。すでにあるかもしれませんが、よくわかっていない。利用の仕方や案内などがあるとわかりやすいと思う。 ・鈴蘭小学校の車の出入り口について、夕方からの交通量の多い時間帯の学校へのお迎えがとてもキケンだと感じます。道路が整備されて、ますます国見通りの交通量は増えていると感じます。スピードを出す車も多いうえに幅の広い二車線なので、右折がとても困難です。特に暗くなるのが早まる時期が危険だと思います。音更町は小・中学校の通学区域が広いので、習い事等・家庭の用事のためや、学童保育へのお迎えに来られる保護者も多いと思います。車には子供達が乗っています。安全に帰宅できるよう対策を考えていただけると幸いです。 ・幕別町から引越して来ました。教育+子どもの医療制度の面をつい比較してしまうのですが…ソフト、ハード面もう少し充実していても良いかなあと感じます。例えば、1学級につき1人町の支援員さんをつけて頂ける等…老人介護く子どもの学校教育の方により多くの予算を充てて頂ける様に望みます。これからも、宜しくお願い致します。
5年生	<ul style="list-style-type: none"> ・安心した妊娠、出産までは整えられているものの、産後がまだ不安が大きい。共働きの身としては、母親が働いていない期間、産休でも今までの様には給料をいただけないし、育休なんて減額の為、通常の生活を保ていけない。育休をしっかりとることが出来るのは、しっかりと安定している役場の人くらいです。実際の企業で育休を安心して取ることが出来ないという意味がない。産後仕事に復帰できるまで、保育機関にあずけることが出来るようになるけど、未満児は高い。入れるかもわからない。不安が大きく、まだ安心が見えない分、妊娠、出産は女性にとってマイナスでしかない。(環境的にのみ)(働く) ・部活動で夕方学校の周りを走っている様子をよく見かけるが、外灯が暗くわかりにくいので、もっと明るい外灯を増やして欲しい。 ・鈴蘭小～ローソンまでの歩道は、柵やガードレール等もなく、危ない。今は、歩道を歩いても、車が突っ込んでくる時代。片側2車線、トラックなど、スピードを出す。車も多い。早く対応して欲しい。・今の先生はやさしすぎる。怒らなければいけない時もある。“言い聞かせる”も大切ですが、そればかりではいけない時もある。今の子は、変に知恵もあるので、子供に関わる先生方の質の向上も必要。現在は子供(宛名の兄弟)を学校に行かせることに不安を感じている。 ・もう何年も前の話しですが、保育園申込みの際、希望する保育園の抽選からまれて、他保育園への入園を促された。家から遠く、送迎が大変だった。抽選した家庭のキャンセル待ちもできたようだが、役場の方は「キャンセルは出ないかも知れない」と言ったので、やむなく別の保育園にしたのだが、後になってから、その保育園でキャンセルが多く出たことがわかった。そのまま申込んでいけば入園できたらしかった。他保育園に申込んでいても希望があれば、空きができたと保護者に連絡するくらいのことができるのではないだろうか。親切でない。 ・医療費を、月1回まで無料とか年1万円まで無料とか少しでもいいので負担を少なくしてほしい。・すずらん台から体育館やプール図書館に子どもだけで行く手段がないので活用できない。学校のプールが使えない時期で、午前授業の日(家庭訪問の日とか)などに臨時バスが出ればいいのと思っている。・交換留学、姉妹都市(外国)訪問ツアーなどがあたらうれしい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・休日など、子供が安心して時間を過ごせるような場所（児童館のような）があるとよい。 ・不審者の情報が多く聞かれるが、登下校時間に地域の見守り（高齢者（老人会、町内会））の方の目が少しでも増えるとよいと思います。 ・中学生の下校時間は部活等で冬季は暗くなってからになります、学校周辺でも街灯が少なく感じる。安全に帰宅できるよう、明るい通学路にしてほしい。 ・肢体不自由児の通学は養護学校等はスクールバスが利用できない。障害者のサービス等として事業所等を利用したりできないのは残念です。（下校時は事業所をお願いしているが登校時はできない。） ・子ども（小学生以上）の医療費を無料にして欲しいです。
6年生	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費の助成が小中学校までであると良い。

● 共栄中学校区域

1年生	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の支援員の数を増やし、支援の子供達、親への支援を充実して欲しい。 ・小中学生の医療費、無料になるとありがたい。 ・音更町内に、幼児から小学校までの療育施設が少ない。療育施設が増えることを願う。役場、養育施設、保育園、幼稚園、小学校と連携が繋がると、もっとよくなると思う。そこが足りないと思う。
2年生	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校ごとに、夏休みの日程が違うので、統一して欲しい。 ・子供とあそびに行く場所がない。作ってほしい。 ・よく夏は、むつみ公園に行っていたのですが、水遊びをするところに緑色の「藻」のようなものがついていて、不潔です（水が流れている通路や池?）。あそび場が少ない上に不潔だと、本当に行くところがありません。きれいに清掃してほしいです。 ・音更町でも、子供の医療費無償化が出来ると思います。
3年生	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の水回り（トイレなど）を清潔にしてほしい。 ・真夏の対策（暑すぎて具合悪く帰ってくる事がある）←これは最優先では？ ・緑陽台小学校前の道路。ガードレールをして欲しい。（数年前、冬に歩道に車が突っ込んだことあり。） ・保育に関する、抜本的な改善を望みます。保育園費（給食を含め）の無料（償）化、保育士の待遇など、音更町として独自に動いてほしい。さらには、小・中学校の給食費の無償化、医療や予防接種への補助もしくは公費による全額負担。「すくすく育つ環境作り」は曖昧で抽象的すぎますから、まずは目に見える子育てに関わる金銭的負担を軽減することで、子育て世帯の現状が変わる。町の人口増加と経済の活発化、税収増加にも繋がるはずです。 ・小児医療の無料化をお願いしたい。 ・学級閉鎖や休校になった際に行われなかった授業時間は、後日補充されたのか、されなかったのか、説明がない点が不満。 ・ベビーカーや自転車等で通るには危ない、通りづらい道、橋、歩道があります。改善してほしいと思います。
4年生	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が古く、トイレが臭い、水道水が美味しくないなど、ハード面の問題に取り組んでほしい。多様化の進んでいる社会で、学校は遅れている。教員は大変だと思う。もっと、国レベルで学校が変わって欲しい。 ・子供が冬でも気軽に遊べる帯広の児童会館みたいな施設が欲しいです。むつみ公園に遊具が欲しいです。
5年生	<ul style="list-style-type: none"> ・今時、医療費を負担していないのは音更町くらいでは？税源はあるはず。ないのであれば、上士幌のように努力すべき（ふるさと納税）。又、父子家庭に対しての補助が全くない。年収で引かかるが、今後家庭に時間を使い、出世しにくいことを考えれば、補助すべき。条件が厳しすぎる。東京のように、児童育成手当等も全くなく、子育てに全く力が入っていない。 ・問25のような設問のアンケートが毎年のように送られてくるが、具体的に音更町がどのように取り組んでいるか、他自治体との比較等がないと判断できない。あやふやな質問にあやふやな回答を得て、何の意味があるのだろうか？町の自己満足で毎回終わっていないだろうか？自分に関連した質問以外に答えられない方が普通であろう。毎回同じ内容で、記入しているが変わらない。 ・子供同士で放課後に安全に遊べる室内施設があると良い。図書館ぐらいしかない。 ・教育面に於いては学校、家庭特に不安はありませんが、子供の健全な生活の一部である登下校にランドセル、カバン等に入る授業道具等が多くかなりの重量になっていますので、不審者対応の場合、走るのがかなり負担増です。良い方法はないのかと考えてしまいます。1例として→各教科1時間ごとの時間割をせず算、算、国、国、とかにしても良いのでは？子供の身体の負担も気になります。
6年生	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食が各学校でそれぞれ作られているのは、他の町村とは違い良いと思いますし、子供たちも美味しいと言っているのが良いと思います。 ・他の町村では児童の医療費が高校や中学まで無料のところもあり、以前別の町に住んでいた時には本当に助かりま

した。音更町でも医療費無料になるといいなと思います。・就学援助の手続きが、以前住んでいた町より書類や提出物が多く大変なので、もう少し簡単にできないかなと思いました。

- ・なんといっても、医療費の負担の軽減を希望します。最低でも、小学生の間は医療費全額助成していただきたいです。予算の確保は厳しいかとは思いますが、どうかご検討くださいませ。子育て三世帯の負担を、何とか軽くしていただき、より安定した環境で、安心して子供と過ごしたいです。
- ・中学に入ると、塾に通う子が増える。中学生のいる家庭に補助金が出ると嬉しいかも？・小学生までは、インフルエンザの予防接種を2回しなければいけない。1回分だけ助成金が出たら…か、無料にしてくれたらいいかも？・学校だけでは対応しきれない家庭の問題（子供の問題）を相談できる場所があるといいかも？例えば、いつも問題を起こす子供さんの親に、家庭でのしつけや、子供との接し方を教える場所とか…。
- ・近隣町では小学生の通院費が無料のところが多いが、音更町は幼児期までだったので、負担が大きかった。・病院やスーパーが多く、その他、子育てに必要なものがほぼ町内でまかなえるため、とても過ごしやすいです。
- ・共栄中学校の前の道路に横断歩道を増やしてほしい。
- ・音更は少年団活動も多くあり、スポーツをする子供も多いと思います。全道大会や全国大会に参加できることに対して町からの支援をもっと充実させてほしいと考えることが多くありました。子育てを大切にするのであれば、町内だけの事に関わるのではなく町外で頑張る子供に対して応援してほしいと思います。
- ・小児医療の無料を小学生まで拡大して欲しいです。小学生のうちは、ケガをしたり、体調を崩すことも多いので医療費の負担が大きいです。入院までになる事は、ほとんどないので一般受診への負担軽減を希望します。

音更町子ども・子育て支援事業計画策定のための
ニーズ調査 結果報告書

発行年月：平成 31 年 3 月

発 行：音更町

編 集：保健福祉部 子ども福祉課

住 所：〒080-0198

北海道河東郡音更町元町 2 番地

電 話：0155-42-2111